

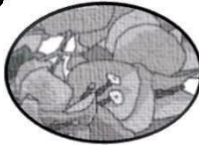


令和7年度
那覇市の教育

那覇市教育委員会

(那覇市市民文化部・こどもみらい部)





【市花】 ブーゲンビレア／Bougainvillea

ブラジル原産のツル性花木。

花（実際は苞（ほう））は、秋から春の低温期に開花し、色は紫、赤、白、混色と多彩。

土壌適応性が広くて乾燥にも強く、鉢植えやビルの壁面緑化、垣根などに幅広く利用できます。



【市蝶】 オオゴマダラ／Ideia leuconoe

マダラチョウ科の蝶。

マダラチョウ科の蝶。日本最大の蝶で、ひらひらと舞うように飛び優雅な姿から「南国の貴婦人」の別名でも呼ばれ、さなぎは鮮やかな「黄金色」で神秘的な輝きを放っています。

生息域は沖縄以南の亜熱帯地域で南国を象徴する蝶であり、市内各所で自然に舞うオオゴマダラの姿が見られます。

表 紙

題字揮毫

宮城久一（潭洞）氏

※「令和7年度 那覇市の教育」の紙資料については、一部に誤りがございましたので、
正誤表による訂正を行っております。紙資料をご覧になられた皆さまにご迷惑をお掛け
しましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、本データにつきましては、該当箇所を訂正したものとなっております。

は じ め に



みやさと ひさこ
教育長 宮里 寿子

はいたい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

「那覇市の教育」の刊行にあたりご挨拶を申し上げます。

令和7年は沖縄戦の終戦から80年という節目の年にあたります。本市は沖縄戦で市域の約9割を焼失し甚大な被害を受けました。しかし、先人たちのたくましい生命力と英知、たゆまぬ努力により今日の復興と繁栄を築きあげてきました。現在、私たちを取り巻く環境は目まぐるしいスピードで変化しています。将来の予測が困難な時代においても、このような先人の精神を子どもたちが受け継いで自らの土壌とし、やがては色とりどりの希望に満ち溢れた大輪の花を咲かせることを願っております。

戦後80年という節目の年にあたり、那覇市教育委員会においても、図書館の展示やおはなし会等の特別企画、公民館の関連講座等により平和を希求する取り組みを実施してまいります。

す。

それでは、今年度の那覇市教育委員会の取り組みの一部を、「第3次那覇市教育振興基本計画」の各施策からご紹介いたします。

「支援が必要な子どもや保護者に必要な支援が届くまちをつくる」の施策では、那覇市立小中学校に通学する児童生徒の保護者及び県内私立・県立・国立小中学校に通学する那覇市在住の児童生徒の保護者に対して学校給食費の支援を行い、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。

「自ら学び心豊かに成長する子どもを応援するまちをつくる」の施策では、不登校等への対策として、支援が必要な子ども達への居場所づくりや学習支援、様々な悩みを持つ児童生徒・保護者・教員に対する教育相談等、個々の状況に応じた適切な支援を行います。

「どこでも誰でも生涯学習ができるまちをつくる」の施策では、地域・学校連携施設の耐用年数を経過した空調機の計画的な更新を行います。また、同施設における管理運営自動化システム導入校数を拡大し、ICT環境の整備を推進することで、利便性の高い地域住民の学びの場並びに地域コミュニティ活動の場としての環境整備に取り組みます。

「学校が学びや育ちの拠点となるまちをつくる」の施策では、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を支援する地域学校協働活動推進員を14人増員して17校区に配置し、支援体制の強化を図ります。

また、昨年度より本格的に取り組んでおります学校の働き方改革を継続して推進してまいります。

結びに、この「那覇市の教育」は、本市の教育行政を網羅し、各分野の事業が把握できるよう編集しております。教育関係者をはじめ、多くの方々に本市の教育行政についてご理解を深めていただき、なお一層のご協力を賜りますよう、ゆたさるぐとう うにげーさびら。

いっぺー にふえーで一びる。

	目次		頁
		頁	
第 1 章 総説		9	ICT教育の充実…………… 50
1	那覇市の概況……………	1	10 学校規模の適正化…………… 51
2	那覇市管内別人口……………	1	11 那覇市コミュニティ・スクール…………… 54
3	第5次那覇市総合計画体系……………	2	
第 2 章 教育行財政			第 2 節 学校施設の補修・整備をすすめ、安全 安心な教育環境があるまちをつくる
第 1 節 教育行政			重点目標…………… 55
1	教育の基本理念……………	3	1 学校施設の耐震化に向けた改築による 施設整備…………… 55
2	教育の目標……………	3	2 学校施設の維持管理や整備の強化 及び長寿命化対策…………… 56
3	第3次那覇市教育振興基本計画……………	3	3 借用校地の購入…………… 56
4	那覇市の教育及び 文化の振興に関する大綱……………	4	
5	総合教育会議……………	5	第 5 章 生涯学習を推進し、地域の教育力を 向上させるまちづくり
6	学校の働き方改革……………	6	
7	教育委員会の概要……………	7	第 1 節 どこでも誰でも生涯学習ができる まちをつくる
8	教育委員会組織及び事務分掌……………	20	重点目標…………… 57
9	現員配置一覧……………	22	1 生涯学習の活動拠点の整備・充実…………… 57
第 2 節 教育財政			2 生涯学習関連事業の充実…………… 77
1	令和7年度那覇市一般会計予算……………	23	3 地域コミュニティ活動の充実…………… 79
2	教育予算の推移……………	23	4 地域との連携による青少年健全育成… 80
3	令和7年度教育予算分類……………	24	
4	令和7年度教育予算性質別分類表……………	24	第 2 節 どこでも誰でも生涯スポーツができる まちをつくる
5	教育委員会各課の主な事業……………	25	重点目標…………… 83
第 3 節 なは教育の日			1 身近でスポーツ・レクリエーションができる 環境の整備・充実…………… 83
	なは教育の日……………	27	2 市民のライフステージに合わせた スポーツ・レクリエーションの推進…………… 83
第 4 節 育英事業			3 人材育成と指導者の確保…………… 83
	公益財団法人那覇市育英会の設立……………	28	4 地域、学校、企業、スポーツ団体等 との連携・協働推進…………… 84
第 3 章 子育てが楽しくなるまちづくり			5 スポーツ教室、大会等…………… 85
第 1 節 すべてのこどものそれぞれの時期に 適した居場所のあるまちをつくる			6 社会体育施設…………… 87
重点目標……………		29	第 3 節 学校が学びや育ちの拠点となるまちを つくる
1	就学前の教育・保育の質の向上……………	29	重点目標…………… 94
第 2 節 支援が必要な子どもや保護者に 必要な支援が届くまちをつくる			1 学校を拠点としたコミュニティの充実…………… 94
重点目標……………		32	2 地域との連携による青少年健全育成…………… 95
1	経済的な支援による育ちの応援……………	32	3 生涯学習関連事業の充実…………… 96
2	子どもや保護者のそれぞれに適した 支援の実施……………	33	4 身近でスポーツ・レクリエーションができる 環境の整備・充実…………… 97
第 4 章 自らの力で未来を拓く子ども達を 応援するまちづくり			第 6 章 郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、 新たな文化を創造するまちづくり
第 1 節 自ら学び心豊かに成長する 子どもを応援するまちをつくる			第 1 節 文化が保存され継承されるまちをつくる
重点目標……………		35	重点目標…………… 99
1	学力向上の推進……………	35	1 文化財の認知度を高める…………… 99
2	防災教育、キャリア教育、人権教育等の 充実及び不登校児童生徒の支援……………	37	2 文化財の保全…………… 101
3	特別支援教育に関する支援の充実……………	42	3 地域連携の充実…………… 103
4	校務支援システムの活用……………	43	4 文化財の活用推進…………… 104
5	学校保健・学校安全……………	43	
6	学校給食……………	44	
7	生活リズム確立の推進……………	47	
8	教師の指導力向上のための研修機会 の充実……………	48	

目 次

頁

頁

【資料編】

～各種委員会～

1	那覇市教育事務点検評価委員会委員……	111
2	那覇市奨学生選考委員会委員……………	111
3	那覇市青少年問題協議会委員……………	111
4	那覇市生涯学習推進協議会委員……………	111
5	那覇市社会教育委員……………	112
6	那覇市立図書館協議会委員……………	112
7	那覇市立壺屋焼物博物館協議会委員……	112
8	那覇市文化財調査審議会委員……………	113
9	那覇市歴史博物館運営審議会委員………	113
10	那覇市琉球王尚家伝来品修理等 審議会委員……………	113
11	那覇市学校給食運営審議会委員……………	114
12	那覇市立教育研究所運営審議会委員………	114
13	那覇市スポーツ推進審議会委員……………	114
14	那覇市スポーツ推進委員……………	115
15	那覇市青少年指導員……………	115
16	学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧……	116
17	那覇市教育委員会教科等指導員……………	118

～園児・児童・生徒・教職員等～

1	令和6年度卒業者の状況(中学校)……………	119
2	就学援助を受けた児童生徒数(推移)……………	119
3	令和7年度小学校児童数……………	120
4	令和7年度中学校生徒数……………	122
5	令和7年度幼保連携型認定こども園園児数…	123
6	認定こども園(幼稚園)・小学校・中学校の 園児・児童・生徒在籍数の推移……………	124
7	小学校別児童数の推移……………	125
8	中学校別生徒数の推移……………	126
9	こども園別園児数の推移……………	127
10	教員数の推移及び年齢構成比……………	128

～予算・学校施設状況～

1	令和7年度那覇市一般会計歳入歳出予算…	131
2	年度別一般会計予算と教育予算対比表……	131
3	令和7年度教育予算目別集計表……………	132
4	令和7年度小学校施設保有状況……………	133
5	令和7年度中学校施設保有状況……………	134
6	令和7年度認定こども園施設保有状況………	135
7	学校用地管理状況……………	136
8	小学校校地及び運動場基準に対する 保有状況……………	137
9	中学校校地及び運動場基準に対する 保有状況……………	138

～学校・教育機関等一覧～

1	学校一覧	
	幼保連携型認定こども園(公立型)……………	139
	幼保連携型認定こども園(公私連携型)…	139
	小学校……………	140
	中学校……………	141
2	教育委員会事務局・学校電話番号等一覧…	142
3	教育機関等一覧……………	145
4	市内県立・私立学校一覧……………	146
5	令和7年度那覇市の教育行政に関する 刊行物一覧……………	147

第1章 総説



1 那覇市の概況

位置と気候

那覇市は沖縄本島の南部にあり、東シナ海に面し、東経 127.41 度、北緯 26.13 度に位置する県都である。地形は、旧市内を中心とする中央部においてはほぼ平坦をなし、これを取り巻くように周辺部には小高い丘陵地帯が展開し、東西に 10.9km、南北に 8.0km、総面積は 41.46 k m²である。

亜熱帯モンスーン地帯に属する沖縄県の気候は、四季を通じて温暖で、年間の平均気温は 23.8℃※、平均湿度は 75.6%※であり、春から夏にかけては雨量が比較的多く、夏から秋にかけては毎年数個の台風が襲来している。
(※の数値は 2015 年～2024 年の平均値 気象庁ホームページより)

人口と産業

大正 10 年に市制が施行されたとき 63,000 余人であった那覇市の人口は、以後徐々に増加を続けていたが、昭和 19～20 年の沖縄戦で市域の 90%を焼失し、8,000 余人に激減した。終戦後、那覇市は米軍の全面占領下におかれ、立入禁止区域となっていたが、昭和 20 年 11 月に産業復興の名目で陶器製造産業先遣隊が壺屋地域一帯に入域して以来、民政府など中央機関が那覇に移転し、旧那覇市街が漸次開放されるようになり、市民の活動も活発になってきた。昭和 29 年に首里市と小禄村、昭和 32 年に真和志市と合併し、一挙に 186,000 余人となり、新しい那覇市建設の基盤ができた。現在の人口は約 313,000 人、平成 25 年 4 月 1 日には県内初の中核市へ移行するなど、県都として沖縄県の政治、経済、文化の中心として発展している。

本市の産業構造は、第 3 次産業の比率が非常に大きく都市型構造となっている。現在、観光産業の充実、中心市街地の活性化、地場産業の振興等のための環境整備が進められている。

那覇市の教育行政の歴史的特色

本市は、「大和ぬ世からアメリカ世、また大和ぬ世」といわれる数奇な歴史を歩んできた。その中でも教育行政においては、アメリカ施政権下の影響を受け、全小学校に幼稚園が併設されるなど、沖縄の歴史的背景をもち、他とは異なる特色を有している。

2 那覇市管内別人口（登録 人口）

令和 7 年 4 月末時点

区 分	世帯数	人 口		
		総数	男	女
本 庁	54,908	98,551	47,517	51,034
真和志支所	53,502	101,346	48,867	52,479
首 里 支 所	25,375	54,879	25,978	28,901
小 禄 支 所	28,075	57,628	28,672	28,956
合 計	161,860	312,404	151,034	161,370

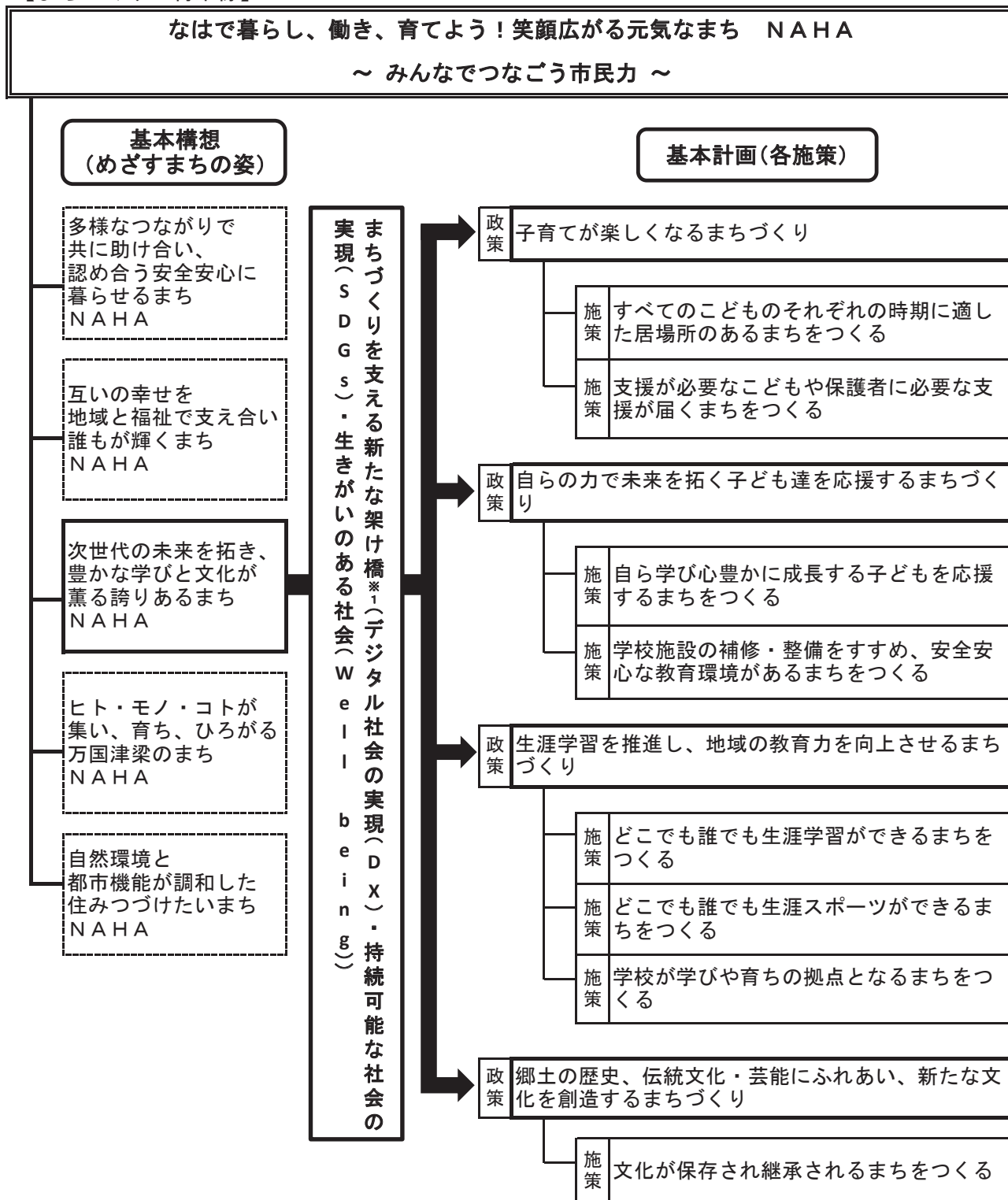
※住民基本台帳法の改正（平成 24 年 7 月 9 日施行）に伴い、外国人住民も含む。

3 第5次那覇市総合計画体系（令和6年一部改訂）

第5次那覇市総合計画（令和6年一部改訂）

（基本構想・基本計画）

【まちづくりの将来像】



※ 第5次那覇市総合計画（令和6年一部改訂）より教育分野に関する政策・施策を抜粋

※1 未来への視点を補完する新たな視点として、令和6年一部改訂にて新たに追加された項目。
全ての施策を遂行する上で、それぞれの視点を強く意識する。

第2章 教育行財政



第1節 教育行政

1 教育の基本理念（平成5年7月設定）

郷土の歴史と文化を活かし、「あけもどろの都市・なは」を拓く
人間性豊かな人材の育成をめざして教育を推進する

私たちの祖先は、海と空へひらけた地理的立地条件や進取の精神と人情味あふれる国際性豊かな人間性を生かし、世界に誇れる沖縄独自の歴史と文化を創造してきた。

それらの精神は、過去の苦難に満ちた歴史的道程においても揺るぎなく発揮され、たくましい生命力と英知とたゆまざる努力により今日の復興と繁栄を築き上げてきた。

そして、それらは、隣人を大切にし、敬う「守礼の精神」や、互助・協調・連帯の「ゆいまーるの精神」を通して培われ、県民の特性としていきづいてきたのである。

那覇市教育委員会は、このような祖先のたくましく、豊かな人間性と苦難に立ち向かう不撓不屈の精神を継承し、『人間性豊かな人材の育成をめざす教育の推進』を基本理念として掲げ「あけもどろの都市・なは」を拓く担い手の育成をめざすものである。

※ 「あけもどろ」という言葉は、沖縄・奄美諸島に伝わる古代歌謡「おもろさうし」のなかで語られた言葉である。

この言葉は、南国の太陽が東の空に昇るとき、一瞬、色あざやかな光がうず巻状をなして織りなしてくる荘厳で雄大な光景をさしたもので、それを天空に輝く大きな花にたとえて、「あけもどろの花」とうたわれたものである。

「あけもどろの都市」は、融和と集合の美しいまち、未来への希望に輝く市民生活の理想郷として表現したものである。

2 教育の目標（平成5年7月設定）

那覇市教育委員会は、人間尊重の精神を基底とし、郷土の自然と文化に誇りをもち、個性豊かで創造性・協調性に富む人材の育成を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。

- 進取の精神と自ら学ぶ意欲をもち、心豊かでたくましく、个性的かつ創造性あふれる幼児児童生徒の育成を図る。
- 平和で活力ある社会の形成者として、連帯と協調の精神を発揮し、郷土の文化の継承と発展に寄与する英知と創造に富んだ心身ともに健康な市民の育成を図る。
- 家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、社会の変化に主体的に対応し得る教育の方途を追求し、生涯学習社会の実現を図る。

3 第3次那覇市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）

（1）計画の位置づけ

本計画は、本市の「教育の基本理念」のもと、「教育の目標」の実現に向けて、本市の教育に関する施策を体系的に示すものである。

策定にあたっては、国の「第3期教育振興基本計画」及び「沖縄県教育振興基本計画」を参酌し、市長が策定した「那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱」や、本市における既存の計画等との整合性を図っている。

（2）計画の進捗管理

教育行政マネジメントシステムや組織目標管理を活用して毎年具体的な組織目標を定め、PDCAサイクルにより適切に進捗管理を行い、各施策の計画的な推進を図る。

4 那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱

那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱（令和5年度～令和8年度）

まちづくりの原動力となるのは「人」であり、一人ひとりが夢や志と、地域への愛着と誇りを持ち、グローバルな視点で多様な主体と積極的に協働できる社会性を身につけた人材の育成は大切です。

これまでの大綱を受け継ぎ、第5次那覇市総合計画で掲げる「次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち NAHA」の実現を目指し、教育及び文化振興に関する施策を教育委員会とともに推進していきます。

1 人間性豊かでたくましい人材の育成

学校・家庭・地域が連携して取り組む協働体制の下、未来を担う子どもたちの夢と希望を育み、子どもたちの個性と可能性を伸ばす教育環境を整えることにより、人間性豊かで創造性に富み協調性を持つ、複雑・多様化する現代社会にも対応できる自立した人材の育成を図ります。

2 人権教育及び平和教育の充実

寛容の心が広がり、互いの多様性を認め合う誰もが心豊かに安心して暮らせる平和なまちをつくるため、人権への理解を深めていく取組を推進します。また、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ伝えていく平和学習の充実を図ります。

3 協働による生涯学習のまちづくり

社会教育施設の整備・充実を図り、様々な市民や団体等がつながる協働による生涯学習の取組を推進し、その成果が社会に還元され、社会が市民や団体等を育むという好循環を生み出し、全ての市民が生き甲斐を感じられる生涯学習のまちづくりに取り組みます。

4 子どもの育ちや子育て支援などの推進

子どもの学びや居場所として学校のプラットフォーム化及びオープン化を推進します。また、地域の協力と多様な人材を活用し、コミュニティの拠点として学校施設の有効活用を進めることで、子どもの育ちや子育て支援などの施策を推進します。

5 どこでも誰でも生涯スポーツができるまちづくり

市民がスポーツ・レクリエーションに身近に親しむことができる環境の整備を進め、健康長寿おきなわの復活へつなげるとともに、本市の気候や立地条件を最大限に活用し、スポーツアイランド沖縄の中心的役割を担うためのまちづくりに取り組みます。

6 伝統文化の継承発展及び文化活動の支援

未来を担う若者を始めとする全ての世代の文化芸術・芸能活動が活発に行われるまちをめざし、郷土の伝統文化を見つめ直し、その貴重な価値を守り、育て、未来へつなぐとともに、市民が文化芸術にふれあう機会の創出と活動への支援を推進します。

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の3の規定に基づき定めるものです。

この大綱の期間は、令和5年度から令和8年度までの4年間としますが、この期間の途中において、必要に応じて内容の見直しを行うことができるものとします。

令和5年3月17日

那覇市長 知念 覚

5 総合教育会議

(1) 総合教育会議の設置

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行（平成 27 年 4 月 1 日）により、市長が招集し、市長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置された。

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 4 の規定に基づき、市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき諸施策について対等に協議・調整を行う場であり、両者が教育政策の方向性を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としている。

協議・調整事項

- 教育行政の大綱の策定
- 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
- 児童、生徒等の生命・身体のプロテクト等緊急の場合に講ずべき措置

(2) 総合教育会議の開催

令和 6 年度 第 1 回那覇市総合教育会議 令和 6 年 11 月 20 日（水） 庁議室

<協議事項>

- (1) 那覇市立小中学校における災害時の対応について（協議）
- (2) 那覇市立小中学校における教員のメンタルヘルス対策について（報告）



総合教育会議の様子

6 学校の働き方改革

背景

令和5年の中央教育審議会の提言によると、「子供たちが抱える困難が多様化・複雑化するとともに、保護者や地域の学校や教師に対する期待が高まっていることなどから、結果として業務が積み上がり、教師を取り巻く環境は、我が国の未来を左右しかねない危機的状況にあると言っても過言ではない。^{※1}」とされている。

本市も例外ではなく、このような状況は未来を担う子どもたちに大きな影響を及ぼす可能性があることから危機感を持って対応してきた。なかでも教育委員会と市長事務局が一丸となり「那覇市立小中学校教員負担軽減タスクフォース」を立ち上げ、教員の負担軽減を着実に推し進めているところである。

(1) 那覇市立小中学校教員負担軽減タスクフォースの設置

那覇市立小中学校における教員業務の多忙化を解消することにより負担軽減を図り、質の高い教育の維持と更なる充実を実現するため、教育委員会と市長事務局で連携し、令和5年7月に那覇市立小中学校教員負担軽減タスクフォース（以下「TF」という）を設置した。TFでは教員業務の実態把握及び負担軽減に向けたアンケート等を実施し、現場の声を受け止めながら業務の効率化や支援体制拡充等の具体的な検討を進めてきた。

(2) 教員の負担軽減に関する取り組み

教員の負担軽減に資する実効性のある施策として、以下の取り組みを実施している。

ア 人的支援

教員業務支援員や特別支援教育補助員、中学校部活動支援員等の教員以外の人材の拡充

イ 校務のDX化

採点システムや保護者等連絡ツールの整備、地域連携室における鍵管理予約システムの導入による業務の効率化

ウ 制度的支援

春季休業期間の延長による事務整理期間の確保、産業医の配置による労働環境の改善及び健康の増進、スクールロイヤー導入による法律相談体制の強化、学校で起こる困難事案に対して専門的な知見から助言等を行う学校問題解決支援員の配置による相談体制の整備

エ その他

令和6年度にモデル校等において実施した学校業務改善活動を全小中学校でも実践できるよう、業務改善の考え方や活動の進め方をまとめた那覇市立学校教職員の業務改善アクションプログラムの策定。また、モデル校等における実践事例をまとめた業務改善事例集の作成。

※1 出典：中央教育審議会 教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言） 1P

7 教育委員会の概要

(1) 教育委員会とは

教育委員会は教育長と4人の委員で構成する合議制の執行機関であり、教育長及び委員は、いずれも地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し識見を有するものの中から地方公共団体の長が議会の同意を得て任命する。任期は教育長が3年、委員が4年で、再任されることできる。

教育長は、教育委員会会議を招集する他、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属職員を指揮監督する。

(2) 教育委員会（教育長・教育委員）



教 育 長
宮 里 寿 子



委 員（教育長職務代理者）
安 里 恒 男



委 員
仲 本 千 佳 子



委 員
二 木 志 保



委 員
山 城 達 彦

令和7年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	みやさと ひさこ 宮 里 寿 子	令和6年4月8日 ～ 令和9年4月7日
委 員 (教育長職務代理者)	あさと つねお 安 里 恒 男	令和5年10月5日 ～ 令和9年10月4日
委 員	なかもと ちかこ 仲 本 千 佳 子	令和6年4月4日 ～ 令和10年4月3日
委 員	ふたき しほ 二 木 志 保	令和4年1月5日 ～ 令和8年1月4日
委 員	やましろう たつひこ 山 城 達 彦	令和4年4月8日 ～ 令和8年4月7日

(3) 教育委員会会議

教育委員会の会議は、月2回の定例会と随時に開催する臨時会がある。

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの会議開催数、付議件数は次のとおり。

	定例会	臨時会	計
開催数	23	－	23
付議件数	47	－	47

<令和6年度教育委員会会議 議案一覧>

- 議案第1号 那覇市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第2号 那覇市社会教育委員の委嘱について
- 議案第3号 那覇市教育事務点検評価委員の委嘱について
- 議案第4号 教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について
- 議案第5号 那覇市文化財保護条例の一部を改正する条例制定に関する意見の申出について
- 議案第6号 那覇市文化財調査審議会規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第7号 財産の取得に関する意見の申出について（議案）
- 議案第8号 令和6年度那覇市一般会計補正予算（第1号）に関する意見書について
- 議案第9号 那覇市教育事務点検評価委員会への諮問について
- 議案第10号 那覇市立教育研究所運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 議案第11号 財産の取得（液晶ディスプレイ一体型電子黒板）に関する意見の申出について
- 議案第12号 那覇市就学支援員会委員の委嘱について
- 議案第13号 那覇市立図書館協議会委員の委嘱について
- 議案第14号 令和6年度那覇市一般会計補正予算（第4号）に関する意見書について
- 議案第15号 那覇市壺屋焼物博物館協議会委員の委嘱について
- 議案第16号 那覇市学校施設等長寿命化計画の改定について
- 議案第17号 那覇市教育委員会定員管理計画（令和7年度～令和11年度）について
- 議案第18号 那覇市スポーツ推進審議会への諮問について
- 議案第19号 令和7年度に使用する小学校教科用図書の採択について
- 議案第20号 令和7年度に使用する中学校教科用図書の採択について
- 議案第21号 令和7年度に小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
- 議案第22号 那覇市教育事務点検評価の答申及び報告書について
- 議案第23号 財産の取得（コンテナ消毒装置）に関する意見の申出について
- 議案第24号 財産の取得（洗浄機、シンク等）に関する意見の申出について
- 議案第25号 財産の取得（消毒保管機、冷凍・冷蔵庫）に関する意見の申出について
- 議案第26号 財産の取得（真空冷却機等）に関する意見の申出について
- 議案第27号 那覇市学校給食運営審議会委員の委嘱について
- 議案第28号 「那覇市教育委員会市費負担職員（指導主事を除く。）定期人事異動基本方針」について
- 議案第29号 令和6年度那覇市一般会計補正予算（第5号）に関する意見書について
- 議案第30号 那覇市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定に関する意見の申出について
- 議案第31号 財産の取得（液晶ディスプレイ一体型電子黒板）に関する意見の申出について
- 議案第32号 那覇市文化財調査審議会委員の委嘱について

- 議案第 33 号 那覇市立壺屋焼物博物館協議会委員の委嘱について
- 議案第 34 号 那覇市いじめ問題専門委員会への諮問 について
- 議案第 35 号 県費負担教職員途中人事の内申について
- 議案第 36 号 令和 6 年度那覇市一般会計補正予算（第 8 号）に関する意見書について
- 議案第 37 号 令和 7 年度当初予算に関する意見書について
- 議案第 38 号 那覇市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例制定に関する意見の申出について
- 議案第 39 号 那覇市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
- 議案第 40 号 那覇市職員定数条例の一部を改正する条例制定に関する意見の申出について
- 議案第 41 号 那覇市立小学校及び中学校の学校給食費の額の決定等に関する規程の一部を改正する訓令制定について
- 議案第 42 号 那覇市教育委員会の組織等に関する規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第 43 号 職員人事（管理職指導主事の退職及び採用）について
- 議案第 44 号 職員人事（管理職定期人事異動）について
- 議案第 45 号 那覇市教育委員会障がい者活躍推進計画の策定について
- 議案第 46 号 那覇市スポーツ推進計画（中間見直し）の策定について
- 議案第 47 号 那覇市教育委員会人事評価実施規程の制定について

（４）教育委員会の沿革

- | | | | |
|------|---|-------|--|
| 昭21. | 1. 27 壺屋初等学校創立 | 4. 1 | 那覇教育区臨時教育委員任命
委員 又吉 康和（那覇市長） |
| | 4. 6 壺屋幼稚園創立 | | 委員 渡久地 政功（那覇中学校長） |
| 昭22. | 2. 3 みなと初等学校創立 | | 委員 阿波根 直英（開南小学校長） |
| | 4. 5 みなと幼稚園創立 | | 会計係 渡久地 政功（那覇中学校長） |
| | 4. 8 みなと初等学校楚辺分校創立 | 4. 1 | 琉球教育法公布により、初等学校を小学校に、中等学校を中学校に改称 |
| | 4. 8 みなと幼稚園楚辺分教場創立 | 4. | 教育税創設 |
| | 6. 6 開南初等学校創立 | 5. 11 | 琉球教育法による教育委員公選の結果
下記のとおり決定 |
| | 6. 10 開南幼稚園創立 | | 委員長 又吉 嘉栄（4年委員） |
| 昭23. | 4. 1 学制改革（6.3.3制）により中等学校
を初等学校に併置 | | 副委員長 仲井間 宗吉（2年委員） |
| | 4. 8 那覇中等学校創立（壺屋初等学校 地内） | | 委員 富山 徳潤（4年委員） |
| 昭24. | 6. 30 みなと初等学校・みなと中等学校の楚辺
分校が城岳初等学校・城岳中等学校とし
て独立 | | 委員 又吉 康和（市長任期中） |
| | 7. 1 みなと幼稚園楚辺分教場が城岳幼稚園と
して独立 | 5. 15 | 婦人委員立候補者及び会計係立候補がな
いため下記のとおり任命 |
| | 12. 9 教育委員会制度発足 | | 婦人委員 牧志 静（2年委員） |
| | 12. 9 那覇地区教育長任命
真栄田義見（那覇高等学校長兼任） | | 会計係 中村 良才（2年委員） |
| | 12. 9 那覇地区教育委員任命
長嶺 秋夫（小禄村長） | 12. 6 | 布令第70号による区教育委員選挙法を一
部改正 |
| | 胡屋 朝賞 | 昭28. | 4. 7 那覇連合教育区教育長の真栄田義見 文
教局長へ転出、後任として阿波根朝松
任命 |
| | 山口 重和（城岳中学校長） | | 4. 10 上山中学校設置認可（中教委指第10号） |
| | 金城 和信 | | 4. 10 城岳中学校が上山中学校への統合のため
廃止（中教委指第11号） |
| | 与那嶺 松助（首里高等学校長） | 7. 1 | 那覇教育区教育委員会事務局を那覇市役
所内に設置 |
| | 祖慶 剛（浦添中学校長） | 9. 22 | みなと小学校・みなと中学校を垣花小学
校・垣花中学校に校名変更 |
| 昭26. | 12. 1 久茂地初等学校創立 | 11. 9 | 當間重剛那覇市長就任により教育委員に
なる |
| | 12. 31 久茂地幼稚園創立 | 昭29. | 1. 31 富山徳潤委員死去による委員欠員のた
め、次のとおり任命 |
| 昭27. | 2. 28 布令第66号による琉球教育法公布 | | |
| | 3. 17 布令第70号区教育委員並びに教育区会計
係特別選挙法公布 | | |
| | 4. 1 那覇教育区教育長真栄田義見（那覇高等
学校長兼任）、那覇連合教育区教育長
（専任）に任命 | | |

	委員 宮里 敏慶(任期は次期選挙まで)	委員長、副委員長互選	
3. 28	2年委員任期満了並びに4年委員補充公選の結果下記のとおり決定	委員長 西平 守由	
	委員 高良 勝雄 (4年委員)	副委員長 高良 勝雄	
	委員 友寄 喜弘 (2年委員)	4. 小学校全児童にミルク給食開始	
3. 31	婦人委員立候補者及び会計係立候補者がいないため下記のとおり決定	5. 1 那覇教育区補習学級設置規則を制定し中学校に併置	
	委員 仲井間 八重子 (2年委員)	那覇補習学級 (那覇中学校)	
	会計係 中村 良才 (2年委員)	上山補習学級 (上山中学校)	
6. 8	教員、校長及び教育長免許に関する布令公布 (布令第134号)	首里補習学級 (首里中学校)	
9. 1	首里市及び小禄村を合併	小禄補習学級 (小禄中学校)	
10. 29	都市合併に伴い首里、小禄の教育区を那覇教育区に合併	6. 25 那覇教育区立前島小学校設置認可	
	首里教育区立及び小禄教育区立の下記学校、幼稚園が那覇教育区立となる	那覇教育区立若狭小学校設置認可	
	城西小学校 (昭21. 4. 1創立)	11. 10 當間重剛委員琉球政府首席就任に付退任	
	城西幼稚園 (昭21. 4. 1創立)	11. 11 當間重剛委員の欠員補充として那覇市長職務代理助役嘉手納並水委員となる	
	城南小学校 (昭21. 8. 14創立)	昭32. 1. 5 瀬長亀次郎那覇市長就任により教育委員に任命	
	城南幼稚園 (昭21. 9. 1創立)	3. 2 布令第165号による新教育法公布	
	城北小学校 (昭21. 4. 1創立)	3. 3 瀬長亀次郎那覇市長、教育委員の資格失う (布令第165号)	
	城北幼稚園 (昭21. 4. 1創立)	6. 29 裁判の判決により仲井間八重子委員当選無効となり古堅ユキ当選、委員となる	
	高良小学校 (昭21. 2. 13創立)	7. 11 高良小学校移転認可	
	高良幼稚園 (昭21. 2. 15創立)	12. 17 真和志市を合併	
	小禄小学校 (昭22. 1. 6創立)	12. 22 委員補充選挙(4年委員3人、2年委員2人)立候補者5人に付無投票当選	
	小禄幼稚園 (昭23. 4. 12創立)	国吉 有慶 大嶺 真英	
	首里中学校 (昭23. 4. 8創立)	名城 政雄 友寄 喜弘	
	小禄中学校 (昭29. 4. 1創立)	当間 嗣文	
10. 29	都市合併に伴い、教育委員が下記のとおり決定	12. 24 委員任期満了	
	委員長 又吉 嘉栄	国吉 有慶 大嶺 真英	
	副委員長 高良 勝雄	高良 恵三 高良 勝雄	
	委員 上江洲 安健 委員 上原 光男	12. 26 昭和32年12月22日の無投票当選者に対し抽選により任期決定	
	委員 大嶺 真英 委員 長嶺 知	大嶺 真英 (4年委員)	
	委員 花城 清用 委員 當間 重剛	友寄 喜弘 (")	
	委員 仲井間 八重子 委員 友寄 喜弘	名城 政雄 (")	
	委員 真栄城 喜福 委員 儀間 ヨシ	国吉 有慶 (2年委員)	
	委員 高良 恵三	当間 嗣文 (")	
11. 8	那覇教育区教育委員会事務局を那覇市役所から那覇高等学校構内に移転	昭33. 1. 20 兼次佐一那覇市長就任により教育委員に任命	
昭30. 3. 29	高良勝雄副委員長辞退に付互選	3. 11 那覇教育区立泊小学校設置認可	
	副委員長 友寄 喜弘	3. 30 幼稚園助手廃止	
8. 4	那覇教育区立垣花小中学校奥武山分校廃止認可	4. 1 教育四法施行 (教育基本法・学校教育法・教育委員会法・社会教育法)	
10. 12	委員長 又吉嘉栄、琉球政府へ転出のため辞任	4. 1 都市合併により真和志教育区合併	
10. 18	委員長互選	真和志教育区立の下記学校、幼稚園が那覇教育区立となる	
	委員長 上江洲 安健	真和志小学校 (昭21. 2. 10創立)	
昭31. 1. 13	那覇教育区主催教育展覧会開催 (久茂地小学校30教室使用15日迄)	真和志幼稚園 (昭21. 2. 10創立)	
3. 31	教育委員任期満了	大道小学校 (昭21. 12. 2創立)	
	委員 大嶺 真英 委員 上江洲 安健	大道幼稚園 (昭22. 4. 1創立)	
	委員 花城 清用 委員 上原 光男	松川小学校 (昭31. 8. 9創立)	
	委員 真栄城 喜福 委員 友寄 喜弘	楚辺小学校 (昭21. 2. 19創立)	
	委員 仲井間 八重子 委員 長嶺 知	楚辺幼稚園 (昭21. 2. 25創立)	
	委員 儀間 ヨシ	安謝小学校 (昭21. 5. 1創立)	
4. 1	教育委員公選	真和志中学校 (昭23. 4. 8創立)	
	委員 西平 守由	寄宮中学校 (昭29. 6. 26創立)	
	委員 仲井間 八重子	安謝中学校 (昭28. 4. 1創立)	
	会計係に中村良才再任命	4. 1 各幼稚園に事務職員 (書記) 配置	

	7. 15	那覇教育区立前島幼稚園設置認可	昭40. 3. 21	教育委員補充選挙施行4人当選
	9. 27	那覇教育区立与儀小学校設置認可		委員 翁長 助静 委員 西平 守由
	12. 28	国吉有慶副委員長辞任		委員 嵩原 久勝 委員 伊波 広定
昭34.	3. 27	那覇教育区立若狭幼稚園設置認可	4. 10	新庁舎工事起工式（那覇市樋川2-8-8）
	3. 27	那覇教育区立松川幼稚園設置認可	4. 23	那覇教育区立識名中学校を那覇教育区立石田中学校に校名変更認可
	3. 27	那覇教育区立泊幼稚園設置認可	6. 16	教育12団体結成大会（沖縄県教育振興会）
	3. 30	那覇教育区立楚辺小学校を那覇教育区立与儀小学校に、那覇教育区立与儀小学校を那覇教育区立神原小学校に校名変更認可	7. 10	本土政府へ教育費要求団出発
	5. 21	那覇教育区立教育研究所設置認可	8. 19	教育税廃止
	12. 31	当間嗣文委員長任期満了	11. 17	阿波根直成教育長再任（和42年12月まで）
昭35.	1. 8	那覇教育区立小中学校パン給食実施	昭41. 1. 26	那覇教育区立天妃小学校設置認可
	3. 30	神原幼稚園設置認可	1. 26	那覇教育区立天妃幼稚園設置認可
	4. 1	神原小学校設置認可	3. 3	新庁舎落成につき移転
	4. 25	委員長、副委員長互選	4. 3	委員長、副委員長互選
		委員長 西平 守由		委員長 嵩原 久勝
		副委員長 翁長 助静		副委員長 宮里 政秋
	9. 10	那覇教育区立繁多川小学校設置認可	5. 18	首里学校給食共同調理場竣工
	10. 23	副委員長翁長助静立法院議員立候補のため辞任	7. 30	教育委員大城朝亮首里支所長へ転出
	11. 8	那覇教育区立繁多川小学校を那覇教育区立識名小学校に校名変更認可	昭42. 3. 19	教育委員補充選挙施行3人当選
				外間 正栄 渡久地 政功
				宮里 政秋
昭36.	2. 17	那覇教育区立与儀中学校設置認可	4. 3	委員長、副委員長互選
	3. 12	教育委員選挙施行		委員長 嵩原 久勝
	3. 13	昭和36年3月12日施行の教育委員補充選挙の結果、次の4人が当選		副委員長 宮里 政秋
		西平 守由 大城 三郎	7. 10	小禄学校給食共同調理場開始
		平良 仁一 上原 正顕	11. 19	教育長阿波根直成辞任
	7. 27	那覇教育区立与儀中学校を那覇教育区立神原中学校に校名変更認可	11. 20	教育長譜久山朝直就任
	9. 1	那覇教育区立安謝中学校移転認可	昭43. 9. 29	組織改編し、保健体育課新設
	10. 27	那覇教育区教育委員会事務局組織規則制定	昭44. 3. 23	教育委員補充選挙施行4人当選
	10. 27	那覇連合教育区教育長阿波根朝松琉球育英会理事長に転出のため辞任		嵩原 久勝 伊波 広定
	11. 29	那覇連合教育区教育長に阿波根直成就任		翁長 助静 源 ゆき子
昭37.	3. 26	委員長、副委員長互選	4. 28	大道小学校に「風疹児相談室」を設置、風疹児（3才）の指導、教育相談開始
		委員長 西平 守由	5. 13	那覇学校給食共同調理場給食開始
		副委員長 大城 三郎	10. 1	学校給食単独校へ栄養士配置6人
	10. 1	那覇教育区立安謝中学校を那覇教育区立安岡中学校に校名変更認可	昭45. 1. 10	留守家庭子ども会開所式
	10. 21	友寄喜弘委員辞任	3. 18	那覇教育区立石嶺小学校設置認可
	10. 22	那覇市長西銘順治補充委員任命	5. 28	那覇教育区立石嶺小学校を那覇教育区城東小学校に校名変更認可
	11. 22	那覇教育区立真嘉比小学校設置認可	11. 14	伊波広定委員辞任
	11. 22	那覇教育区立壺川中学校設置認可	11. 18	那覇教育区立宇栄原小学校設置認可
昭38.	2. 16	高良小学校新校舎へ移転	11. 28	教育委員補充 芳沢弘明選任
	3. 24	教育委員補充選挙施行3人当選	昭46. 3. 25	那覇教育区立城東幼稚園設置認可
		委員 宮里 政秋 委員 山口 重和	3. 28	教育委員任期満了
		委員 大城 朝亮		渡久地 政功 宮里 政秋
	3. 27	那覇教育区立安謝幼稚園設置認可		外間 正栄
	3. 27	那覇教育区立識名幼稚園設置認可	3. 31	教育委員選挙3人無投票当選
	3. 31	教育委員任期満了		宮里 政秋 友寄 喜弘
		委員 名城 政雄 委員 大嶺 真英		外間 正栄
		委員 西銘 順治	5. 4	教育委員補充 芳沢弘明選任
	10. 24	那覇教育区立壺川中学校を那覇教育区立古蔵中学校に校名変更認可	8. 31	那覇連合教育区教育長譜久山朝直退職
	11.	前島小学校完全給食実施第1号	9. 1	那覇連合教育区教育次長赤嶺貞義を教育長に任命
昭39.	1. 21	那覇教育区立真嘉比幼稚園設置認可	11. 18	那覇教育区立宇栄原幼稚園設置認可
	7. 15	那覇教育区立識名中学校設置認可	昭47. 3. 31	那覇教育区立補習学級廃止
			3. 31	琉球政府立松島中学校廃止
			4. 1	那覇教育区立松島中学校設置
			4.	開南小学校、壺屋小学校、大道小学校に「風疹難聴学級」設置、86名入学

	5. 9	那覇連合教育区庁舎取得	8. 1	那覇市立図書館設置
	5. 14	1972年度那覇教育区歳入歳出予算を打ち切る決算をする	8. 27	那覇市立与儀小学校分離校地鎮祭
	5. 14	「教育委員法」に基づく那覇連合教育区制度廃止	昭51. 1. 10	那覇市立古蔵小学校を設置
	5. 14	那覇連合教育区教育長赤嶺貞義辞任	1. 10	那覇市立古蔵幼稚園を設置
	5. 15	日本復帰に伴い、本土法律（一部特措法）により那覇教育区教育委員会が那覇市教育委員会となる 組織再編し企画課、庶務課、施設課、学校教育課、保健体育課、社会教育課の6課をおく	11. 5	移動図書館車「青空号」巡回開始
	5. 15	復帰特別措置法により教育委員を継続 委員 翁長 助静 委員 宮里 政秋 委員 外間 正栄 委員 芳沢 弘明 委員 友寄 喜弘 委員 高原 久勝 委員 源 ゆき子	昭52. 1. 1	那覇市立上間小学校を設置
	5. 15	委員長、委員長職務代理者（以降「職務代理者」と表記）を選出 委員長 翁長 助静 職務代理者 宮里 政秋	1. 1	那覇市立上間幼稚園を設置
	5. 15	教育長に高原久勝任命	1. 1	那覇市立大名小学校を設置
	5. 15	学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき市立小学校、市立中学校及び市立幼稚園を設置	1. 1	那覇市立大名幼稚園を設置
	9. 2	那覇市青少年センターを設置（補導委員40人委嘱）	昭53. 1. 1	那覇市立鏡原中学校設置
	11. 3	琉米文化会館の施設を日本政府が買い上げ、那覇市に無償譲渡「市立那覇文化センター」として開館	4. 1	那覇市立垣花中学校を那覇市立鏡原中学校へ統合のため廃止
	11. 8	委員長翁長助静辞任	4. 1	真和志学校給食センター設置
	11. 9	委員長、職務代理者互選 委員長 宮里 政秋 職務代理者 外間 正栄	4. 7	神原中学校に「風疹難聴学級」設置、61名入学
昭48.	1. 11	那覇市立視聴覚ライブラリー設置	10. 28	健やかな青少年を育てる市民大会開催（於：壺屋小学校）
	3. 8	国鉄よりD51型蒸気機関車の無償貸与を受ける	11. 10	第1回那覇市社会教育振興大会開催
	3. 26	那覇市立松島幼稚園設置認可	昭54. 1. 1	那覇市立石嶺小学校設置
	3. 31	教育委員復帰特別措置法により辞任 翁長 助静 宮里 政秋 外間 正栄 芳沢 弘明 友寄 喜弘 高原 久勝 源 ゆき子	1. 1	那覇市立石嶺幼稚園設置
	4. 1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行に伴う第1回教育委員任命 委員 宮里 政秋 委員 外間 正栄 委員 源 ゆき子 委員 友寄 喜弘 委員 高原 久勝	4. 1	那覇市久茂地公民館開館
	4. 1	那覇市立松島小学校設置	昭56. 4.	私立沖縄高等学校に「風疹難聴学級」設置、36人入学
	4. 11	那覇市立教育研究所設置	5. 1	テレフォン教育相談「なほ」開設
	5. 3	復帰記念沖縄特別国民体育大会（若夏国体）開催	5. 18	那覇市立久茂地図書館開館
昭49.	1. 22	「ガーナ森」市指定文化財第1号	7. 3	組織改編により、保健体育課を社会体育課へ名称変更、同課の保健給食係を学校教育課へ移籍 新たに社会体育課に国体準備係を設置
	4. 1	那覇市立城北中学校設置	7. 29	那覇市青少年健全育成市民会議結成
	7. 1	組織改編により、教育長室、総務課、施設課、学校教育課、社会教育課、保健体育課の1室5課となる	9. 29	第42回国民体育大会那覇市準備委員会設立
昭50.	7. 20	沖縄国際海洋博覧会開催	11. 1	国体施設建設準備室設置
	8. 1	組織改編により、教育長室を企画課に改める	昭57. 1. 1	那覇市立仲井真小学校を設置
	8. 1	那覇市中央公民館設置	1. 1	那覇市立仲井真幼稚園を設置
			4. 1	事務局機構改革により、企画課を廃止して財務課を新設、学校教育課より学務課を分離新設
			4. 8	ブラジル連邦共和国サンビセンテ市と幼稚園教諭交換制度実施
			5. 13	那覇市小祿南公民館設置（5. 14開館）
			昭58. 1. 1	那覇市立松城中学校設置
			6. 1	那覇市立小祿南図書館開館
			11. 1	那覇市首里公民館設置（11. 30開館）
			昭59. 3. 1	聴覚障害生徒36人沖縄尚学高等学校卒業
			3. 3	那覇市立首里図書館設置
			11. 1	那覇市立仲井真中学校設置
			昭60. 3.	「あけもどろ青少年プランー那覇市青少年健全育成総合施策ー」（S61～H7）策定
			4. 1	組織再編により、社会教育課から文化課を分離新設
			11. 1	那覇市立金城小学校設置
			11. 1	那覇市立金城幼稚園設置
			11. 1	那覇市立金城中学校設置
			12. 8	第1回NAHAマラソン開催
昭61.	4. 1	事務局の機構改革により部制を導入、指導部、管理部を設置し、部長、主幹、技幹、主任指導主事を新設		
昭62.	1. 1	那覇市民体育館設置		
	4. 1	指導部次長を廃止、指導部参事を設置		

	4. 1	社会体育課より那覇市民体育館を分離新設	平10. 2. 1	壺屋焼物博物館設置
	4. 1	那覇市青少年指導員連絡協議会会則制定(補導委員から青少年指導員へ職名変更)	4. 1	組織改編により、管理部、指導部を廃止し、生涯学習部、学校教育部を設置(生涯学習部)総務課、社会教育課、市民スポーツ課、青少年課、文化財課(学校教育部)学校教育課、学事保健課、施設管理課
	5. 1	外国人英語指導員の導入		教育研究所の「相談業務」が青少年センターに統合
	7. 23	第1回那覇市「少年の船」事業実施	平11. 11. 1	那覇市立さつき小学校設置
	9. 20	第42回国民体育大会「海邦国体」(夏季)	11. 1	那覇市立さつき幼稚園設置
	10. 25	第42回国民体育大会「海邦国体」(秋季)	11. 30	第1回那覇市地域教育懇談会開催
	11. 1	那覇市立石嶺中学校設置	平12. 3. 30	「那覇市生涯学習推進基本計画」策定
平元. 12. 26		第1回児童生徒県外交流事業実施	3. 30	名勝「識名園」が特別名勝に指定される
平元. 11. 1	11. 1	那覇市立曙小学校設置	7. 7	『那覇市教育史 資料編』発行
平元. 11. 1	11. 1	那覇市立曙幼稚園設置	12. 2	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」玉陵、識名園を含む9つの文化財がユネスコの世界遺産に登録された。
平 2. 4. 1	10. 11	指導部参事、主任指導主事を廃止、指導部次長、管理部次長を設置	平13. 3. 3	『那覇市教育史 写真集—写真で見る那覇市教育のあゆみ—』発行
	10. 11	教育研究所に適応指導教室「あけもどろ学級」開設	4. 1	若夏学園内に城北中学校若夏分校設置
平 3. 4. 1	4. 1	テレフォン教育相談「なは」を青少年ダイヤル「なは」に呼称変更	4. 1	組織改編により、青少年課を廃止し社会教育課に青少年班を設置
	5. 1	青少年センターに専任指導員を設置(2人委嘱)	4. 1	幼稚園の預かり保育モデル実施(3園)
	11. 1	那覇市立小祿南小学校設置	平14. 3. 3	『那覇市教育史 通史編』発行
	11. 1	那覇市立小祿南幼稚園設置	4. 1	組織改編により、学事保健課の保健係を学校教育課へ移設、学事保健課は学事給食課へ名称変更、施設管理課の建設部門を市長部局建築工事課へ移設
	11. 1	那覇市若狭公民館設置	4. 1	幼稚園の2年保育モデル実施(3園)
	11. 1	那覇市立若狭図書館設置	6. 1	那覇市立森の家みんな設置
平 4. 3. 30	4. 1	那覇市育英会設立	6. 26	寄贈された尚家美術工芸品85点(附美術工芸関係文書12点)、国の重要文化財(工芸部門)に指定される
	4. 1	社会教育課を生涯学習課に名称変更	7. 25	「那覇市教育行政運営ビジョン」策定(H23まで)
	4. 1	那覇市育英会第1回貸与生5人決定	平15. 4. 1	組織改編により、学事給食課の給食班を学校給食室に分離新設、学事給食課は学務課に課名変更、学校教育課の振興係は学務課へ、総務課のOA推進係は教育研究所へ移行、社会教育課の青少年班は青少年センターへ移行し健全育成班に名称変更、市民スポーツ課と社会教育課と統合して社会教育・スポーツ課へ課名変更、視聴覚ライブラリーは中央図書館へ統合、施設管理課は学校教育部から生涯学習部へ移行、教育研究所の「適応指導教室」、及び「教師のメンタルヘルス相談事業」が青少年センターに移行
	6. 3	那覇市若狭公民館開館	4. 1	市費負担学校事務職員引き上げ開始
	6. 3	那覇市立若狭図書館開館	平16. 4. 1	組織改編により、学校教育部にやる気・元気サポート室を新設、青少年センターの健全育成班を健全育成室として、社会教育・スポーツ課へ移設、青少年センターは生涯学習部から学校教育部へ移行やる気・元気サポート室に自立支援教室「きら星学級」開設
	8. 4	パソコン通信「NAHAあけもどろネット」若狭公民館に開局	11. 1	那覇市立銘苅小学校設置
	8. 5	D51型蒸気機関車の贈与を受ける	11. 1	那覇市立銘苅幼稚園設置
	1. 12	学校週5日制開始(第2土曜日が休日となる)	平17. 4. 1	那覇市繁多川公民館設置
	11. 1	尚裕氏から玉陵・識名園の無償譲渡		
平 5. 5. 1	7. 26	国指定史跡「玉陵」公開		
	7. 26	那覇市の「教育の基本理念」及び「教育の目標」を設定		
	11. 1	那覇市立真地小学校設置		
	11. 1	那覇市立真地幼稚園設置		
平 6. 8. 10		那覇市の「教育の方針」を策定		
平 7. 4. 1		学校週5日制(第2・第4土曜日が休日となる)		
	9. 5	尚裕氏から尚家古文書の無償譲渡		
	11. 1	国指定文化財名勝「識名園」開園		
平 8. 3. 6		石嶺公民館・図書館・プールの複合施設の愛称を「石嶺文化スポーツプラザ」に決定		
	3. 16	那覇市立図書館全てを結ぶコンピュータネットワークが完成		
	4. 1	組織改編により、財務課と総務課企画調整係を統合して課名を企画課に変更、壺屋焼物博物館準備室を文化課より分離して新設、全国スポーツレクリエーション祭準備室を設置		
	5. 2	尚裕氏から尚家美術工芸品の無償譲渡		
	6. 1	那覇市石嶺公民館設置		
	6. 1	那覇市立石嶺図書館設置		
	6. 1	那覇市民首里石嶺プール設置		
平 9. 4. 1		指導部に参事を設置		

	4. 1	那覇市立繁多川図書館設置	7. 8	那覇市久茂地公民館廃止
	4. 1	組織改編により、社会教育・スポーツ課を生涯学習課と市民スポーツ課に分離	7. 8	那覇市立久茂地図書館廃止
	5. 26	那覇市育英会の財団法人化実現	7. 8	那覇市牧志駅前ほしぞら公民館設置
平18.	2.	「那覇市子どもの読書活動推進計画」(H18～H22) 策定	7. 8	那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館設置
	3. 17	「那覇市立学校適正配置基本方針」策定	10. 6	「那覇市教育振興基本計画」(H23～H27) 策定
	4. 1	幼稚園に関する事務の市長事務部局（子どもみらい局）への補助執行実施	11. 1	那覇市立天久小学校設置
		那覇市社会体育施設及び那覇市立森の家みんなへの指定管理者制度導入	11. 1	那覇市立天久幼稚園設置
	4. 1	那覇市立の全小中学校で2学期制実施	平24. 4. 1	組織改編により、総合青少年課を教育相談課と青少年育成課に分離、平成25年度の中核市移行準備のため指導主事1増（教育研究所配置）
	4.	隣接校選択制実施（小学校）	4. 1	初の幼保総合施設（あめくみらい幼保園）設置
	6. 9	那覇市へ寄贈された尚家資料（文書・記録類1,166点、工芸品85点）、沖縄県では戦後初の「国宝」（歴史資料部門）指定	4. 1	那覇学校給食センター廃止。安謝学校給食センター、天久学校給食センター設置
	9.	「那覇市スポーツ振興基本計画」（H18～H27）策定	4. 1	小中一貫教育モデル事業開始（H24～H25、神原中校区）
平19.	4. 1	組織改編により、やる気・元気サポート室、青少年センター及び健全育成室を統合し総合青少年課を新設	4. 1	教育相談課に学習支援室「ていんぼう」開設
	4.	隣接校選択制実施（中学校）	平25. 1. 7	那覇市教育委員会事務局を移転（泉崎1丁目1番1号（市長部局と合同庁舎））
	5. 1	12月9日を「なは教育の日」と定める要綱施行	3.	「那覇市生涯学習推進計画」（H25～H29）策定
平20.	3. 28	移動図書館車「青空号」巡回終了	3.	「第2次那覇市子どもの読書活動推進計画」（H25～H29）策定
	4. 1	「平成22年度全国高等学校総合体育大会」開催準備のため、市民スポーツ課に高校総体推進グループを新設	4. 1	文化財課を市長事務部局（市民文化部）に組織移管
	12. 1	地教行法改正に伴う教育事務点検評価の実施、議会報告及び公表を開始	4. 1	那覇市が中核市へ移行。初任者研修・10年経験者研修・教職員研修が法定移譲事務となる。その対応のため指導主事1名増（教育研究所配置）
平21.	3.	「那覇市青少年育成総合施策」（H21～H25）策定	7.	「那覇市人材育成施設（社会教育施設等）整備基本構想」（H25～H34）策定
	4. 1	那覇市立壺屋焼物博物館を、市長事務部局（市民文化部）に組織を移管し、当該事務は補助執行させる。高校総体推進室を設置	11. 1	那覇市立那覇小学校設置
	12. 28	那覇市教育委員会事務局を移転（前島3丁目25番1号（とまりん））	11. 1	那覇市立那覇幼稚園設置
平22.	4. 1	組織改編により、施設管理課を施設課（市長部局から教育施設建設関係に移管）に、学校給食室を学校給食課に課名変更	平26. 2. 1	那覇市営奥武山トレーニング室設置
	4. 1	那覇市営奥武山体育施設を設置。市で初となるネーミングライツ制度を導入（野球場：沖縄セルラースタジアム那覇、屋内運動場：沖縄セルラーパーク那覇）	3. 31	那覇市立前島小学校、同幼稚園及び那覇市立久茂地小学校、同幼稚園を廃止
	4. 1	初の小規模給食センターとなる神原学校給食センター、城岳学校給食センター設置	4. 1	統合新校となる那覇市立那覇小学校開校及び那覇市立那覇幼稚園開園
	7. 28	全国高等学校総合体育大会（美ら島沖縄総体2010）開催（8月20日まで） 那覇市開催は6競技7種目（弓道、なぎなた、柔道、テニス、女子バレーボール、競泳・飛び込み）	4. 1	小中一貫教育本格実施（小禄ブロック【4中学校区】）
平23.	4. 1	組織改編により、学校教育課内に小中一貫教育推進室を新設	8. 26	「那覇市いじめ防止基本方針」策定
	4. 1	古蔵学校給食センター、銘苅学校給食センター設置	10. 19	第1回ひやみかなはウオーク開催
	6. 24	那覇市の「教育の方針」（H6.8.10）を改定（H23～H27）	平27. 3.	「な一ふあめわらび・わかむん計画（那覇市青少年育成総合施策）」（H27～H31）策定
			4. 1	組織改編により、生涯学習課と青少年育成課を統合し生涯学習課を新設
			4. 1	小中一貫教育拡大実施（真和志南ブロック【4中学校区】、本庁ブロック【2中学校区】）
			4. 1	那覇市繁多川公民館・那覇市若狭公民館への指定管理者制度導入
			4. 1	教育相談課に自立支援教室「きら星第2学級」を開設し、アウトリーチ・送迎開始 教育相談課の相談支援チームを「相談室（はりゆん）」に、街頭指導チームを「がいとうPolaris」に名称変更

6. 12	「那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱」策定	稚園のすべてがこども園に移行
7. 1	大名学校給食センター設置	令元. 7. 1 高良学校給食センター設置
7. 15	「那覇市立幼稚園の今後のありかた」(幼稚園の整備運営方針) 策定	7. 23 那覇市へ追加寄贈された尚家資料の文書・記録類41点が「国宝」(歴史資料部門)に追加指定され、国宝指定を受けた尚家資料は、文書・記録類1,207点、工芸品85点となる
平28. 3. 17	「第2次那覇市教育振興基本計画」(H28～H32) 策定	7. 23 那覇市が預かる伊江御殿家関係資料146点が国の重要文化財(歴史資料部門)に指定される
3. 23	「不登校児童生徒の出席扱い・評価に関する指針」策定(教育相談課)	7. 26 令和元年度全国高等学校総合体育大会(大会愛称:感動は無限大 南部九州総体2019)開催(8月20日まで)那覇市開催は3競技4種目(水泳(飛込・水球)、相撲、なぎなた)
4. 1	小中一貫教育を、那覇市立全小中学校において実施	令2. 3. 3 国より、新型コロナウイルス感染症対策のための学校における全国一斉臨時休業要請を受け、那覇市立小中学校を臨時休業(3月3日～3月15日)
4. 1	教育相談課に「子ども寄添支援員執務室」を開設し、子ども寄添支援員(スクールソーシャルワーカー)を配置並びに、「自立支援教室(むぎほ学級)」を開設し、むぎほ学級支援員を配置	3. 31 「那覇市社会教育施設長寿命化計画」(R2～R11)策定
4. 1	大道幼稚園が市立こども園に、識名、若狭、さつき、銘苅幼稚園が公私連携型認定こども園に移行	3. 31 城岳学校給食センター廃止
5. 14	那覇市津波避難ビルオープン3Fにて「青少年交流推進事業」開始	4. 1 那覇市人材育成支援センターまーいまいNaha設置
10. 24	教育研究所が那覇市金城の保健センターから大道小学校2階へ移転	4. 8 新型コロナウイルス感染症対策のため、那覇市立小中学校の入学式を5月21日に延期し、臨時休業(4月8日～5月20日)
平29. 4. 1	開南、石嶺幼稚園が市立こども園に、金城、曙、真地幼稚園が公私連携型認定こども園に移行	7. 8 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第36回NAHAマラソンを翌年12月5日へ延期発表(市長定例記者会見にて)
7. 1	鏡原学校給食センター設置	8. 1 那覇市立小中学校の夏季休業期間を授業時数確保のため短縮(8月1日～8月10日)
平30. 3. 29	「第3次那覇市子どもの読書活動推進計画」(H30～H34) 策定	8. 11 新型コロナウイルス感染症対策のため、那覇市立小中学校を臨時休業(8月11日～8月30日)なお中学3年については8月25日より登校再開
3. 31	「第2次那覇市生涯学習推進計画」(H30～H34) 策定	令3. 3. 10 「第3次那覇市教育振興基本計画」(R03～R07)策定
4. 1	城北、城南、壺屋、与儀、天妃、小禄南幼稚園が市立こども園に、松川、神原、城岳、松島、古蔵、仲井真幼稚園が公私連携型認定こども園に移行	3. 30 「那覇市学校給食施設整備計画」(R03～R22)策定
4. 1	「平成31年度全国高等学校総合体育大会」開催準備のため、市民スポーツ課に高校総体推進グループを新設	3. 31 GIGAスクール構想に基づく、校内Wi-Fi環境の整備、および児童生徒一人1台のタブレット端末の整備
4. 8	地教行法改正に伴う新「教育長」の就任	6. 8 新型コロナウイルス感染症対策のため、那覇市立小中学校を臨時休業(6月8日～6月20日)
4. 9	那覇市給付型奨学金制度の創設	6. 16 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第36回NAHAマラソンを翌年12月へ再延期発表(市長定例記者会見にて)
9. 1	上間学校給食センター設置	6. 25 「那覇市学校給食基本方針(H14.2.7)」を全部改正
10. 15	弁之御嶽が国指定史跡に指定され、あわせて国指定名勝「アマミクスミイ」に追加指定される	7. 22 那覇市立小中学校の夏季休業期間を授業時数確保のため短縮(7月22日～8月22日)
12. 25	玉陵が国宝(建造物)に指定される	8. 23 新型コロナウイルス感染症対策のため、那覇市立小中学校の夏季休業期間を延長(8月23日～8月29日)
平31. 1. 29	「那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱」改定	8. 30 新型コロナウイルス感染症対策のため、那覇市立小中学校を臨時休業し、オンライン授業を実施(8月30日～9月5日)
3.	「那覇市スポーツ推進計画」(R01～R10) 策定	9. 6 臨時休業していた那覇市立小中学校を分
3.	「那覇市真和志南地区活き活き人材育成支援施設(仮称)管理運営計画」策定	
3. 29	「那覇市学校施設等長寿命化計画」策定	
4. 1	市民スポーツ課の高校総体推進グループを廃止し同課内に高校総体推進室を設置	
4. 1	城西、大名、泊、天久、真嘉比、那覇、上間、真和志幼稚園が市立こども園に、城東、安謝、垣花、小禄、宇栄原、高良幼稚園が公私連携型認定こども園に移行したことに伴い、36園あった那覇市立幼	

- 散登校等により段階的に再開、9月21日から通常授業となる（中学3年については9月14日から通常授業）
10. 14 那覇市立小中学校の秋季休業期間を授業時数確保のため短縮（10月14日～10月15日）
- 令4. 1. 12 新型コロナウイルス感染症対策のため、那覇市立小中学校を分散登校とする（1月12日～1月25日、その後1月31日まで期間再延長）
3. 「第2次な～ふあぬわらび・わかむん計画（那覇市子ども・若者計画）」（R04～R08）策定
3. 3 なはし電子図書館スタート
3. 31 壺屋小学校・首里中学校の単独調理場を廃止。センター受配校となる
- 令5. 1. 16 教育相談課が真和志庁舎4階から那覇市津波避難ビル2階へ移転
3. 17 「那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱」改定
3. 31 「那覇市学校教育情報化推進計画」（R05～R09）策定
「那覇市学校教育情報セキュリティポリシー」の策定
4. 「第4次那覇市子どもの読書活動推進計画」（R05～R09）策定
4. 3 大名小学校に地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員を配置
7. 24 「那覇市立小中学校教員負担軽減タスクフォース」設置
10. 1 開南学校給食センター設置
- 令6. 2. 「那覇市立小学校及び中学校における医療的ケア実施に関するガイドライン」を策定
4. 学校における医療的ケアの本格実施
4. 1 組織改編により、学務課内に学校支援室を新設
学校運営協議会 第1期導入（3校）
- 令7. 3. 31 「第3次那覇市生涯学習推進計画」（R7～R11）策定
- 令7. 4. 1 組織改編により、学務課学校支援室に教育研究所情報支援グループを移行
学校運営協議会 第2期導入（4校）

(5) 歴代教育委員の就任年月日等

[昭和48年以降を掲載。()内数字は在任期間、点線は再任、×は欠員]

年 度	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	教 育 長
昭 和 48 年	※1 宮里 政秋 (48. 4. 1～52. 3. 31)	外間 正栄 (48. 4. 1～50. 3. 31)	源 ゆき子 (48. 4. 1～49. 3. 31)	友寄 喜弘 (48. 4. 1～50. 4. 1)	嵩原 久勝 (48. 4. 1～50. 2. 28)
昭 和 49 年			任期满了 源 ゆき子 (49. 4. 1～53. 3. 31)		辞任(50. 2. 28)
昭 和 50 年		友寄 喜弘 (50. 4. 2～51. 3. 31)		委員長職務代理者へ	× (50. 3. 1～50. 4. 1)
昭 和 51 年		友寄 喜弘 (51. 4. 1～55. 3. 31)		渡久地 政一 (50. 4. 2～54. 4. 1)	石川 盛亀 (50. 4. 2～52. 3. 31)
昭 和 52 年	宮里 政秋 (52. 4. 1～56. 3. 31)				任期满了 外間 永律 (52. 4. 2～52. 11. 15)
昭 和 53 年			任期满了 稲嶺 盛國 (53. 4. 1～57. 3. 31)		死亡退職 × (52. 11. 16～53. 3. 31)
昭 和 54 年				任期满了 伊波 圭子 (54. 4. 2～58. 4. 1)	伊波 静男 (53. 4. 1～56. 3. 31)
昭 和 55 年		友寄 喜弘 (55. 4. 1～57. 4. 7)			
昭 和 56 年	任期满了 × (56. 4. 1～57. 3. 31)				任期满了 伊波 静男 (56. 4. 1～59. 7. 31)
昭 和 57 年	友寄 喜弘 (57. 4. 8～58. 4. 1)	委員長へ 稲嶺 盛國 (57. 4. 8～58. 4. 1)	任期满了 宮里 政秋 (57. 4. 8～59. 4. 1)		
昭 和 58 年	稲嶺 盛國 (58. 4. 2～61. 4. 7)	委員長へ 伊波 圭子 (58. 4. 2～62. 4. 1)	任期满了 宮里 政秋 (57. 4. 8～59. 4. 1)	友寄 喜弘 (58. 4. 2～59. 3. 31)	
昭 和 59 年	宮里 政秋 (59. 4. 2～. 61. 4. 7)		委員長へ 稲嶺 盛國 (59. 4. 2～60. 2. 14)	友寄 喜弘 (59. 4. 1～61. 4. 3)	辞 任 ※2 × (59. 8. 1～60. 2. 14)
昭 和 60 年			砂川恵昭 (60. 2. 13～60. 3. 31)		稲嶺 盛國 (60. 2. 15～61. 4. 7)
			砂川恵昭 (60. 4. 1～61. 4. 7)	辞 任	
昭 和 61 年	任期满了 砂川恵昭 (61. 4. 8～)		委員長へ 宮城 信勇 (61. 4. 8～62. 4. 1)		任期满了 山田 義良 (61. 4. 8～)
昭 和 62 年		任期满了 宮城 信勇 (62. 4. 2～)	委員長職務代理者へ × 島川 勇作 (62. 9. 11～)	× 森田清子 (62. 9. 11～)	
昭 和 62 年	砂川 恵昭 ～平元. 3. 31)	宮城 信勇 ～平1. 3. 31)	島川 勇作 ～63. 3. 31)	森田清子 ～平元. 3. 31)	山田 義良 ～平2. 4. 7)
昭 和 63 年	任期满了	委員長へ	島川 勇作 (63. 4. 1～)	委員長職務代理者へ	
平 成 元 年	宮城 信勇 (平元. 4. 1～2. 4. 7)	森田 清子 (平元. 4. 1～3. 9. 10)		× 砂川 恵昭 (平元. 11. 8～2. 4. 7)	
	任期满了			委員長へ	任期满了
平 成 2 年	砂川 恵昭 (2. 4. 8～)			上原 美智雄 (2. 4. 8～)	嘉手納 是敏 (2. 4. 8～)

※1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行に伴う第1回教育委員任命

※2 助役就任のため。教育長職務代理者に米田精仁教育次長を指定(昭59. 7. 12～昭60. 2. 14)

〔()内数字は在任期間、点線は再任、×は欠員〕

年 度	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	教 育 長
平 成 3 年	砂川 恵昭 ～4. 3. 31)	森田 清子 任期満了	島川 勇作 平3. 6. 30辞任	上原 美智雄 ～4. 3. 31)	嘉手納 是敏 ～6. 4. 7)
		森田 清子 (3. 9. 18～4. 3. 31) 3. 10. 3に職務代理 者に選出される 委員長へ	与儀 達則 (3. 9. 18～4. 3. 31)	委員長職務代理者へ	
平 成 4 年	森田 清子 (4. 4. 1～7. 3. 31)	上原 美智雄 (4. 4. 1～6. 3. 31)	与儀 達則 (4. 4. 1～6. 3. 31)	砂川 恵昭 (4. 4. 1～5. 11. 7) 任期満了	
平 成 5 年			×	×	
平 成 6 年		与儀 達則 (6. 4. 1～7. 3. 31) 委員長へ	委員長職務代理者へ 上原 美智雄 (6. 4. 1～6. 4. 7) 任期満了 又吉 達雄 (6. 4. 8～7. 3. 31) 委員長職務代理者へ	備瀬 ヒロ子 (5. 12. 27～9. 4. 7)	嘉手納 是敏 (6. 4. 8～10. 4. 7)
平 成 7 年	与儀 達則 (7. 4. 1～8. 3. 31) 任期満了	又吉 達雄 (7. 4. 1～8. 4. 3)	森田 清子 (7. 4. 1～7. 9. 17) 任期満了 × 神山 陽子 (7. 10. 3～8. 4. 3) 委員長職務代理者へ		
平 成 8 年	新垣 英一郎 委員長就任は4月4日 (8. 4. 1～10. 4. 7)	神山 陽子 (8. 4. 4～9. 4. 6)	又吉 達雄 (8. 4. 4～10. 4. 7)	委員長職務代理者へ	
平 成 9 年		備瀬 ヒロ子 (9. 4. 8～9. 12. 26) 任期満了 × 神山 陽子 (10. 1. 5～11. 4. 7)	任期満了	神山 陽子 (9. 4. 8～10. 1. 4) 委員長職務代理者へ	任期満了
平 成 10 年	又吉 達雄 (10. 4. 8～14. 4. 7)	大城 節子 (11. 4. 8～14. 1. 4)	新垣 英一郎 (10. 4. 8～12. 3. 31)	大城 節子 (10. 1. 5～11. 4. 7) 委員長職務代理者へ	渡久地 政吉 (10. 4. 8～14. 4. 7)
平 成 11 年				神山 陽子 (11. 4. 8～11. 10. 3) 任期満了	
平 成 12 年		任期満了	任期満了 鳩間 用吉 (12. 4. 3～14. 1. 15)	高良 ミチ子 (11. 10. 4～15. 10. 3)	
平 成 13 年	任期満了	× 鳩間 用吉 (14. 1. 16～16. 3. 31)	委員長職務代理者へ		任期満了
平 成 14 年	野原 正徳 (14. 4. 8～16. 4. 7)	任期満了	新城 洋子 (14. 1. 5～16. 4. 7)	任期満了	仲田 美加子 (14. 4. 8～18. 4. 7)
平 成 15 年		仲村渠 良雄 (16. 4. 3～17. 4. 4)	委員長へ	吉田 久子 (15. 10. 4～17. 4. 4)	
平 成 16 年	新城 洋子 (16. 4. 8～18. 1. 4)	16. 4. 5に職務代理者 に選出される	野原 正徳 (16. 4. 8～18. 4. 7)	委員長職務代理者へ	
平 成 17 年	任期満了	吉田 久子 (17. 4. 5～ 19. 1. 4)		仲村渠 良雄 (17. 4. 5～ 18. 1. 4) 委員長へ	任期満了
平 成 18 年	仲村渠 良雄 (18. 1. 5 ～20. 1. 4)	任期満了	任期満了 西原 篤一 (18. 4. 8～20. 1. 4)	新城 伸子 (18. 1. 5 ～19. 1. 4) 委員長職務代理者へ	桃原 致上 (18. 4. 8～
平 成 19 年	委員へ 西原 篤一 (20. 1. 5～	新城 伸子 (19. 1. 5～	委員長へ 仲村渠 良雄 (20. 1. 5～20. 4. 2) 任期満了	吉田 久子 (19. 1. 5～19. 10. 3) 任期満了	
平 成 20 年			有銘 寛之 (20. 4. 3～	田端 温代 (19. 10. 4～	

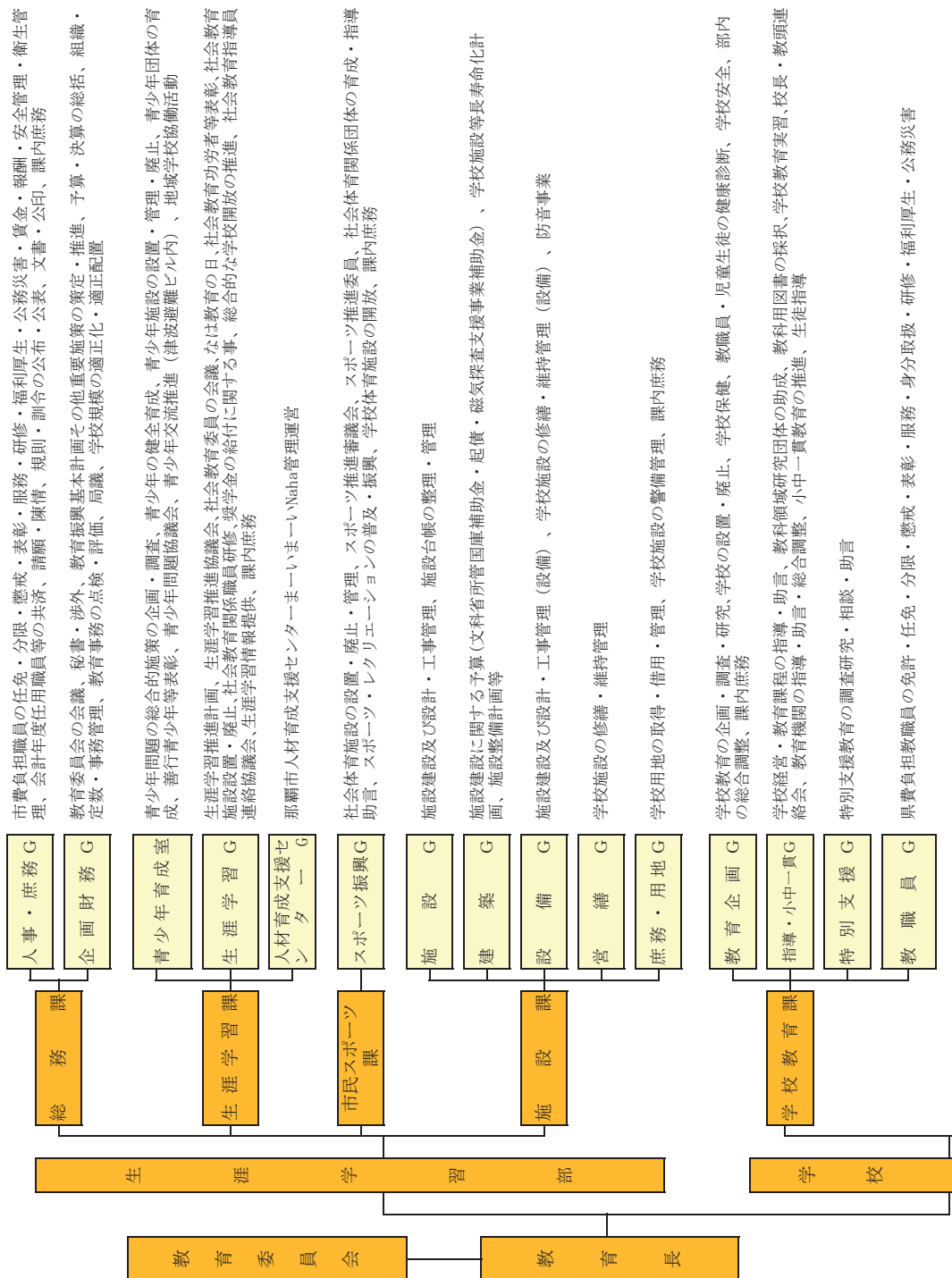
〔（ ）内数字は在任期間、点線は再任、×は欠員〕

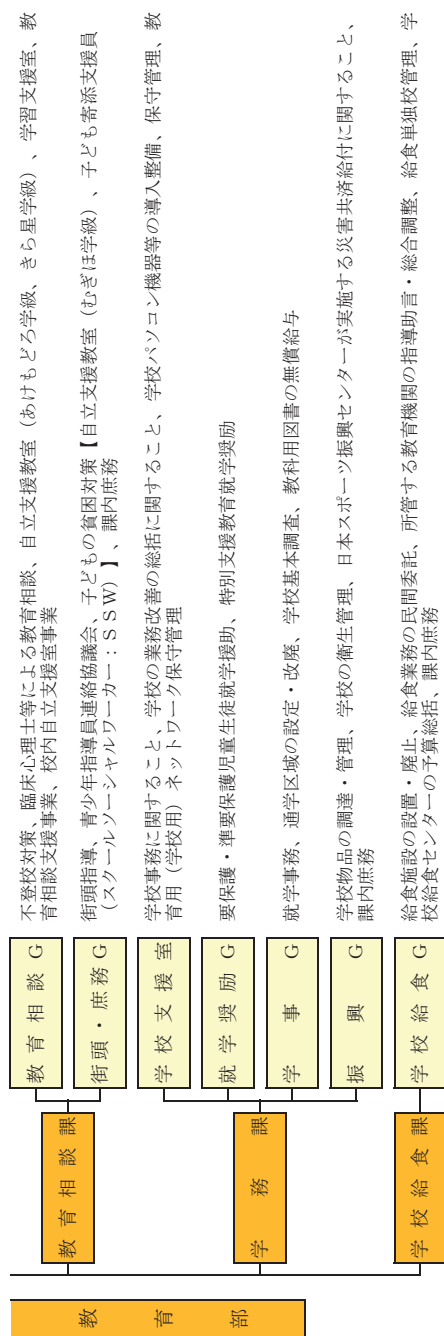
年 度	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	教 育 長
平 成 21 年	西原 篤一 ～22. 1. 4)	新城 伸子 ～22. 1. 4)	有銘 寛之 ～22. 1. 4)	田端 温代 ～22. 1. 4) 委員長へ	桃原 致上 ～22. 4. 7)
	委員へ	任期満了	委員長職務代理者へ	西原 篤一 (22. 1. 5～22. 4. 7) 任期満了	
平 成 22 年	田端 温代 (22. 1. 5～23. 1. 4)	有銘 寛之 (22. 1. 5～23. 1. 4)	金城 眞徳 (22. 1. 5～23. 10. 5)	城間 勝 (22. 4. 8～23. 1. 4) 委員長へ	城間 幹子 (22. 4. 8～26. 4. 7)
	委員長職務代理者へ	委員へ		有銘 寛之 (23. 1. 5～23. 1. 26) 辞任	
平 成 23 年	城間 勝 (23. 1. 5～26. 1. 4)	田端 温代 (23. 1. 5～23. 10. 3)		×	
				任期満了	
平 成 24 年		金城 眞徳 (23. 10. 6～25. 2. 21)	喜久里 美也子 (23. 10. 4～26. 1. 7)	添石 幸伸 (24. 4. 3～25. 2. 21) 委員長職務代理者へ	
		辞任		×	
平 成 25 年	委員へ	添石 幸伸 (25. 2. 22～26. 1. 4)	委員長職務代理者へ	饒波 正博 (25. 6. 21～26. 1. 4)	
		委員長へ	城間 勝 (26. 1. 5～26. 4. 7) 任期満了	饒波 正博 (26. 1. 5～30. 1. 4)	
平 成 26 年	添石 幸伸 (26. 1. 5～28. 1. 4)	喜久里 美也子 (26. 1. 8～27. 10. 3)	神村 洋子 (26. 4. 8～27. 10. 4)		任期満了 渡慶次 克彦 (26. 4. 8～30. 4. 7)
平 成 27 年	28. 1. 12に委員長職務 代理者へ選任される 神村 洋子 (28. 1. 5～30. 1. 4)	任期満了	委員長職務代理者へ		
		神村 洋子 (27. 10. 5～28. 1. 4)	本仲 範男 (27. 10. 5～28. 4. 6)		
平 成 28 年		添石 幸伸 (28. 1. 12～28. 4. 2) 任期満了	28. 4. 7に委員長職務 代理者へ選任される 比嘉 佳代 (28. 4. 4～30. 1. 4)		
平 成 29 年		本仲 範男 (28. 4. 7～30. 1. 4)			
平 成 30 年	委員へ	委員長へ	委員長職務代理者へ	任期満了	任期満了
	本仲 範男 (30. 1. 5～30. 4. 7) 教育長職務代理者へ	比嘉 佳代 (30. 1. 5～30. 4. 7) 委員へ	神村 洋子 (30. 1. 5～30. 4. 7) 任期満了	喜屋武 裕江 (30. 1. 5～30. 4. 7)	
	新教育委員会制度 (30. 4. 8～)				
	教育長	委員 (教育長職務代理者)	委員	委員	委員
平 成 31 年	田端 一正 (30. 4. 8～令3. 4. 7)	本仲 範男 (30. 4. 8～令元. 10. 4) 任期満了	比嘉 佳代 (30. 4. 8～令2. 4. 3) 任期満了	喜屋武 裕江 (30. 4. 8～令4. 1. 4)	平良 浩 (30. 4. 8～令4. 4. 7)
		本仲 範男 (令元. 10. 5～令5. 10. 4)			
令 和 2 年			仲本 千佳子 (令2. 4. 4～令6. 4. 3)		
令 和 3 年					
令 和 3 年	任期満了				
	山城 良嗣 (令3. 4. 8～令6. 4. 7)				
令 和 4 年				二木 志保 (令4. 1. 5～	山城 達彦 (令4. 4. 8～
令 和 5 年					
令 和 5 年		任期満了			
		安里 恒男 (令5. 10. 5～			
令 和 6 年	宮里 寿子 (令6. 4. 8～		仲本 千佳子 (令6. 4. 4～		
令 和 7 年					

8 教育委員会組織及び事務分掌

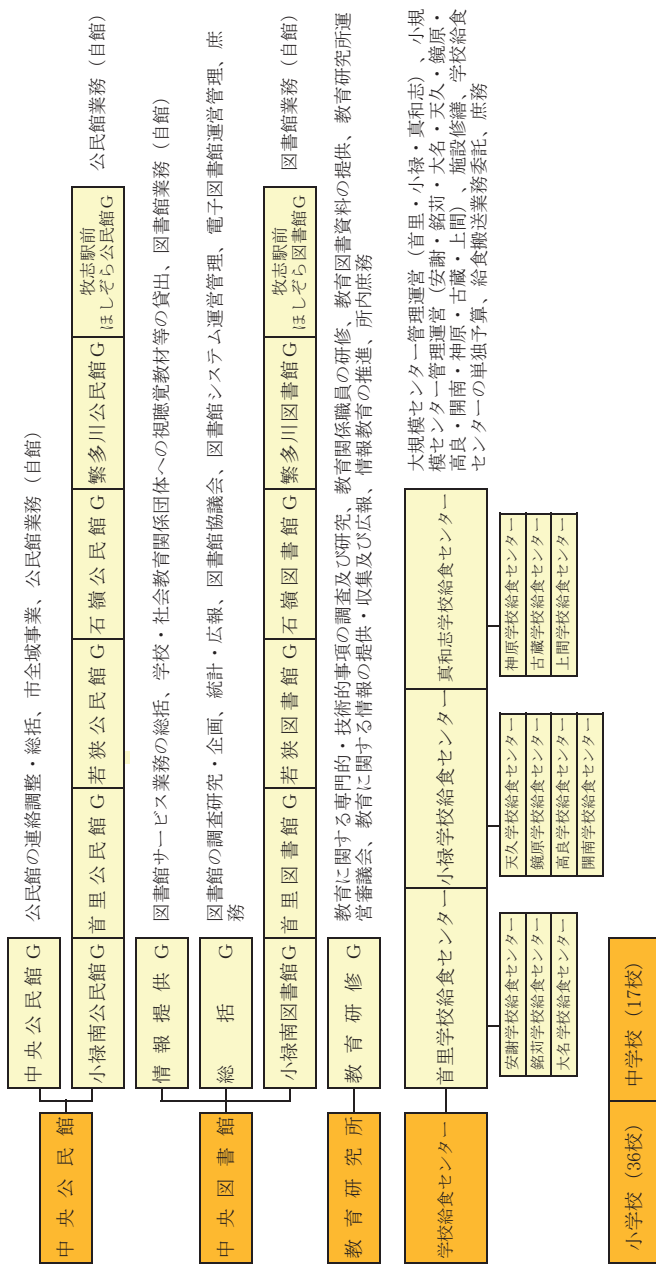
[事務局]

令和7年4月1日現在
※Gはグループの略





[教育機関]



＊関連施設 那覇市民体育館・那覇市民宮里石鐘ブール・那覇市民宮武山野球場・那覇市民宮武山屋内運動場・那覇市民宮武山トレニング室（市民スポーツ課所管）、那覇市立森の家みんみん・那覇市人材育成支援センターまーいす いNaha（生涯学習課所管）

9 現員配置一覧(302名)

令和7年4月1日現在

	合計	部長級		副部長級		課長級		課長		館長・所長・室長		副参事		主幹級			副所長		主幹			主査級		(公)館長・分館長	主査	教育相談員主査	管理主事	指導主事	栄養士等	主事級等		教育相談員等	主事等	公民館主事等	技師等	保健師	栄養士等	現業職	調理主査	調理員等	用務員	運転手
		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計																				
配置定数計〔現員〕	302	2	3	21	7	6	8	26	3	23	61	9	34		2	15	1	132	7	98	9	14	1	3	57	3	42	10	2													
事務局 計	157	2	3	17	7	2	8	20		20	44		30		2	11	1	70	7	47		14	1	1	1		1															
生涯学習部	79	1	2	8	3	1	4	10		10	21		21					36		22		14			1		1															
部長	1	1																																								
副部長	1		1																																							
総務課	16		1	2			2	2		2	4		4					6		6					1		1															
参事兼課長	1		1																																							
人事・庶務G	9			1			1	1		1	2		2					5		5																						
企画財務G	5			1			1	1		1	2		2					1		1																						
派遣	1																								1		1															
生涯学習課	18			2	1	1		3		3	5		5					8		8																						
課長	1			1	1																																					
青少年育成室	7			1		1		1		1	2		2					3		3																						
生涯学習G	5							1		1	1		1					3		3																						
人材育成支援センターG	5							1		1	2		2					2		2																						
市民スポーツ課	9			2	1		1	1		1	2		2					4		4																						
課長	1			1	1																																					
スポーツ振興G	8			1			1	1		1	2		2					4		4																						
施設課	34			2	1		1	4		4	10		10					18		4		14																				
課長	1			1	1																																					
施設G	8			1			1				2		2					5				5																				
営繕G	7							1		1	3		3					3				3																				
設備G	9							1		1	2		2					6				6																				
庶務・用地G	5							1		1	1		1					3		3																						
建築G	4							1		1	2		2					1		1																						
学校教育部	78	1	1	9	4	1	4	10		10	23		9		2	11	1	34	7	25			1	1																		
部長	1	1																																								
副部長	1		1																																							
学校教育課	28			5	1		4	1		1	13		3		2	8		9	4	4			1																			
課長	1			1	1																																					
指導・小中一貫G	6			1			1				5					5																										
教育企画G	7			1			1	1		1	3		2			1		2		2																						
教職員G	6			1			1				3		1		2			2		1			1																			
特別支援G	8			1			1				2					2		5	4	1																						
教育相談課	12			1	1			3		3	2					2		6	3	3																						
課長	1			1	1																																					
教育相談G	5							1		1	1					1		3	3																							
街頭・庶務G	6							2		2	1					1		3		3																						
学務課	29			2	1	1		5		5	6		5			1		16		16																						
課長	1			1	1																																					
学校支援室	12			1		1		2		2	4		3			1		5		5																						
就学奨励G	5							1		1	1		1					3		3																						
学事G	6							1		1	1		1					4		4																						
振興G	5							1		1								4		4																						
学校給食課	7			1	1			1		1	2		1				1	3		2				1																		
課長	1			1	1																																					
学校給食G	6							1		1	2		1				1	3		2				1																		
教育機関 計	145			4		4		6	3	3	17	9	4			4		62		51	9			2	56	3	41	10	2													
公民館	16			1		1		1		1	5	4	1					9			9																					
図書館	24			1		1		2		2	7	5	2					14		14																						
教育研究所	5			1		1					4					4																										
所長	1			1		1																																				
教育研修G	4										4					4																										
学校給食センター	32			1		1		3	3															28	3	23		2														
所長	1			1		1																																				
小緑給食センター	9							1		1														8	1	5		2														
真和志給食センター	8							1		1														7	1	6																
首里給食センター	10							1		1														9	1	8																
開南給食センター	4																							4		4																
小学校（36校）	50										1		1					26		24			2	23		18	5															
中学校（17校）	18																	13		13				5				5														

*Gはグループの略、再任用(フルタイム)を含む。

第2節 教育財政

令和7年度の那覇市一般会計予算は、185,397,000千円で、前年度の当初予算と比べて10,608,000千円（6.1%）の増となっている。

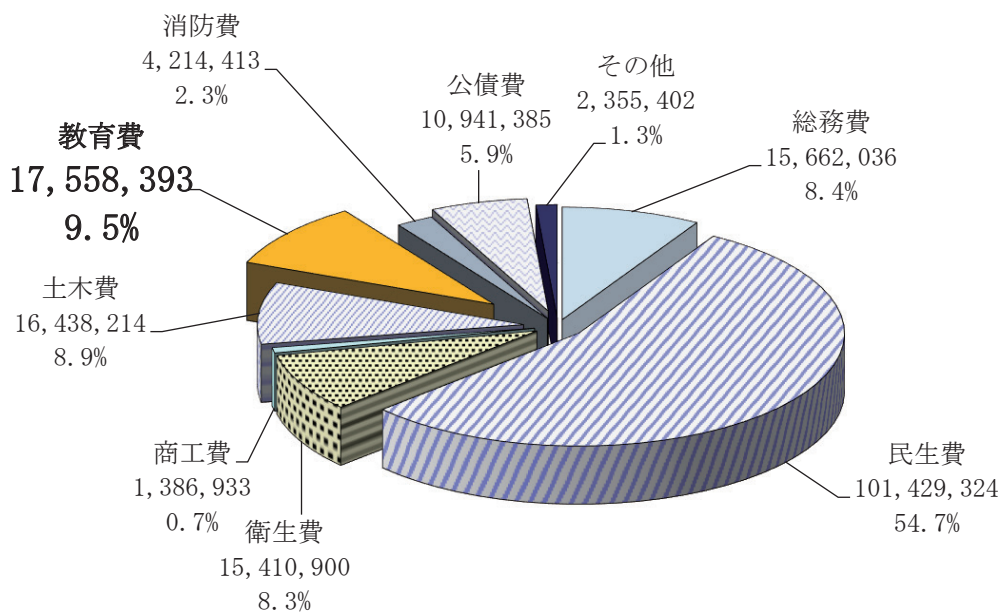
そのうち教育予算は、17,558,393千円で、前年度当初予算と比べると2,105,004千円（13.6%）の増で、一般会計に占める比率は、9.5%となっている。

なお、本市の一般会計予算の構成、教育予算の推移、教育予算の構成及び性質別分類は次のとおりである。

1 令和7年度那覇市一般会計予算（当初予算）

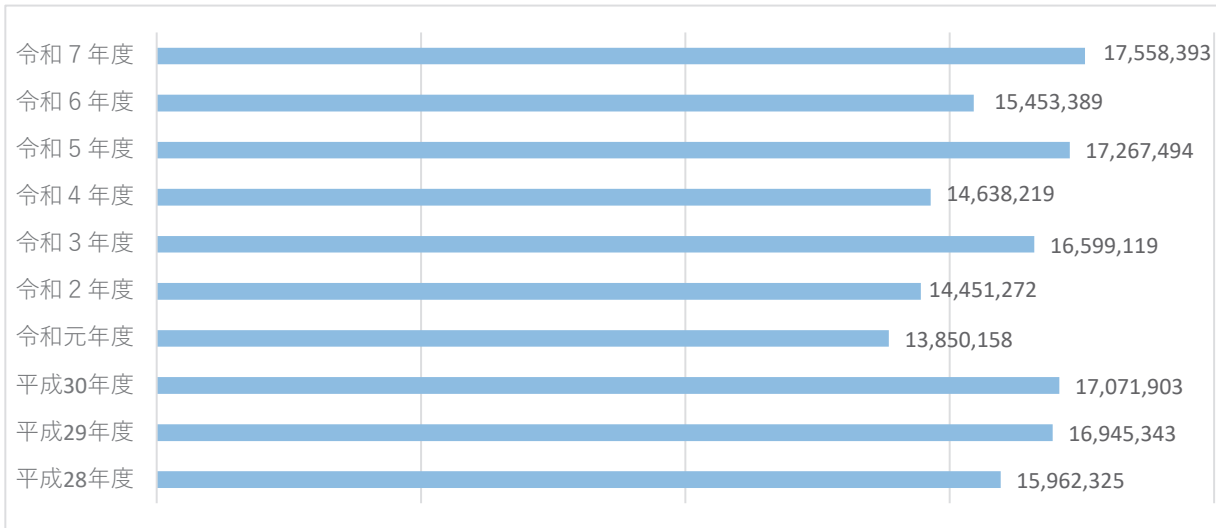
単位：千円

那覇市一般会計予算（歳出） 185,397,000千円

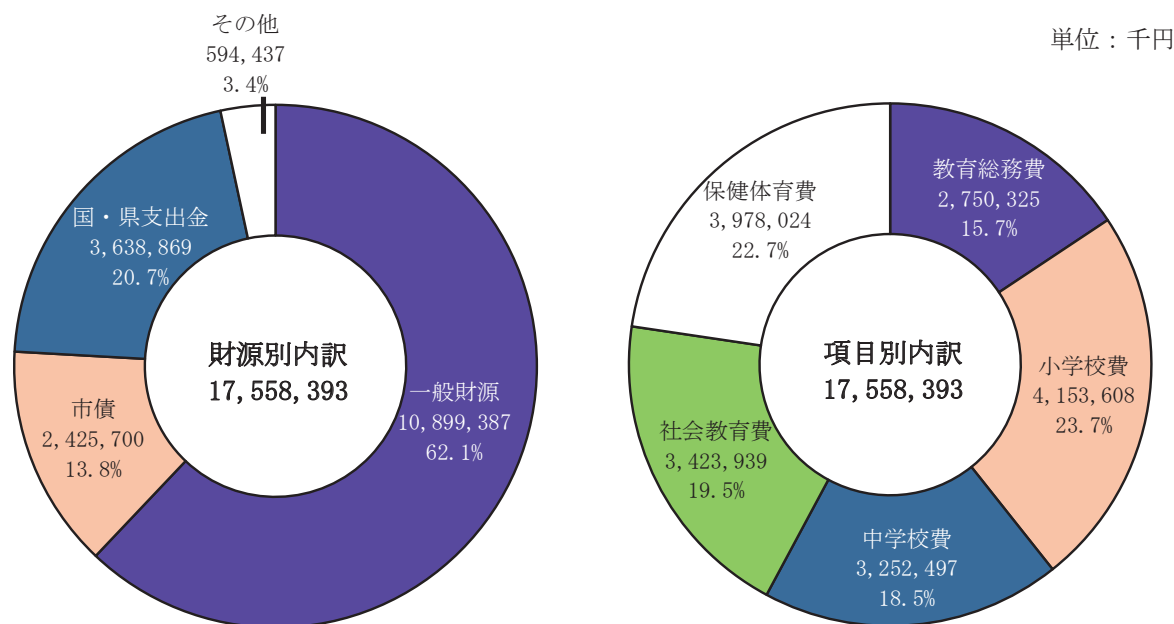


2 教育予算の推移

単位：千円



3 令和7年度教育予算分類



項目別財源別の内訳

単位：千円 (%)

項 目	合 計	(%)	国・県支出金	(%)	市債	(%)	その他	(%)	一般財源	(%)
1 項 教育総務費	2,750,325	15.7	471,939	13.0	0	0.0	104,111	17.5	2,174,275	19.9
2 項 小学校費	4,153,608	23.7	660,690	18.2	495,100	20.4	179,794	30.2	2,818,024	25.9
3 項 中学校費	3,252,497	18.5	376,147	10.3	886,200	36.5	75,374	12.7	1,914,776	17.6
4 項 社会教育費	3,423,939	19.5	1,142,836	31.4	544,500	22.4	182,824	30.8	1,553,779	14.3
5 項 保健体育費	3,978,024	22.7	987,257	27.1	499,900	20.6	52,334	8.8	2,438,533	22.4
合 計	17,558,393	100.0	3,638,869	100.0	2,425,700	100.0	594,437	100.0	10,899,387	100.0

民生費（教育相談課 子供の貧困対策関係）

2 項 児童福祉費	107,477	100%	86,258	80.3%	0	0.0%	6,934	6.5%	14,285	13.3%
-----------	---------	------	--------	-------	---	------	-------	------	--------	-------

4 令和7年度教育予算性質別分類表（歳出）

単位：千円 (%)

区 分	令和7年度		令和6年度		増 減 額	
	金額(A)	比 率	金額(B)	比 率	(A) - (B)	伸 率
義務的経費	5,099,382	29.0	4,713,752	30.5	385,630	8.2
人 件 費	4,364,283	24.9	4,050,194	26.2	314,089	7.8
扶 助 費	735,099	4.2	663,558	4.3	71,541	10.8
投資的経費	5,725,184	32.6	5,447,324	35.3	277,860	5.1
(普通建設事業費)						
補 助	4,198,013	23.9	2,350,212	15.2	1,847,801	78.6
単 独	1,527,171	8.7	3,097,112	20.0	△ 1,569,941	△ 50.7
その他の経費	6,733,827	38.4	5,292,313	34.2	1,441,514	27.2
物 件 費	5,090,115	29.0	4,464,766	28.9	625,349	14.0
維持補修費	432,324	2.5	408,398	2.6	23,926	5.9
補 助 費 等	1,211,388	6.9	419,149	2.7	792,239	189.0
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	17,558,393	100.0	15,453,389	100.0	2,105,004	13.6

5 教育委員会 各課の主な事業（令和7年度当初予算）

No.	事業名	予算額 単位:千円	概要説明
総務課			
1	職員管理関連事業	262,705	会計年度任用職員報酬、共済費等の経費
2	小・中学校管理事務費	219,606	小・中学校の事務の円滑な執行のために市費負担職員の管理に係る経費
生涯学習課			
3	社会教育施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)(首里公民館・図書館)	811,886	首里公民館・図書館屋上の防水処理、外壁の塗装等の工事及び内装の改修に係る経費(工事)
4	地域学校協働活動推進事業	16,278	地域と学校が連携・協働し、子どもたちの多様な活動や学びの機会の充実を図るための経費
5	総合的な学校開放推進事業	7,845	地域住民の生涯学習の場および地域コミュニティ活動の場として、小・中学校の地域学校連携施設の利活用を推進するための経費
6	給付型奨学金事業	15,586	経済的な理由で大学等への進学が困難な者に対し県内大学等への進学及び本市における人材の育成を促進していくため、入学及び修学を支援するための給付に係る経費
7	はたちの記念事業	3,331	地域自主開催「はたちの記念式典」への支援等に係る経費
8	青少年旗頭事業	5,337	伝統文化である旗頭の活動をとおり、子どもたちの「居場所」や「出番」を作るなど健全育成に資するための経費
9	人材育成支援センターまーいまいいNaha管理運営事業	46,100	人材育成支援センターまーいまいいNahaの管理運営に係る経費
10	那覇市公民館指定管理事業(若狭・繁多川)	46,372	公民館における指定管理者制度導入施設の管理運営に係る経費
市民スポーツ課			
11	児童のスポーツ県外派遣補助金	25,786	市・県を代表して県外大会へ派遣される児童生徒等への派遣費用(航空運賃・宿泊料)の一部補助
12	学校体育施設開放事業	43,728	市民の健康や体力の維持増進を行う場所として、小・中学校体育館及び中学校夜間運動場を開放するための経費
13	那覇市健康ウォーキング推進事業	8,985	那覇市健康ウォーキング大会等に係る経費
14	体育施設管理運営事業(2事業)	198,589	那覇市民体育館・漫湖公園市民庭球場・首里石嶺プール・那覇市宮奥武山野球場・奥武山屋内運動場・奥武山トレーニング室の管理運営に係る経費
施設課			
15	施設維持管理費(小・中学校)	1,478,189	小・中学校の施設等の維持管理運営に係る経費
16	小・中学校環境整備事業(トイレ整備)	271,658	大便器の洋式化などトイレ施設の改修を行う経費
17	小・中学校空調設備改修整備事業	378,232	耐用年数を超えた既設空調設備の改修を行う経費
18	小・中学校消防用設備等重点整備事業	16,588	消防用設備等の点検等により不良箇所として報告のあった防火シャッター等の修繕を行う経費
19	小・中学校環境整備事業(屋内運動場照明整備)	24,373	学校施設屋内運動場(体育館)における高天井照明をLED照明へ機能更新するための経費
20	小・中学校施設ブロック塀対策事業	194,714	小・中学校に築造されている安全性に問題のあるブロック塀の撤去等を行う経費
21	小・中学校擁壁改修事業	25,729	小・中学校にある老朽化し安全性に問題のあるコンクリート擁壁や石積み擁壁について、改修工事を行う経費
22	小・中学校バリアフリー化等施設整備事業	409,290	エレベーター設置など施設のバリアフリー化に係る経費
23	小学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	355,486	建築物の長寿命化を図るため、校舎等の外壁の全面塗装工事を行う経費
24	城西小・松川小・真嘉比小・安岡中・神原中・石嶺中学校長寿命化改良(予防改修)事業	698,676	校舎等を健全な状態に保ち、施設の長寿命化を図るための予防的な改修に係る経費
25	城北小・松島中学校長寿命化改良事業	676,061	施設の長寿命化を図るための予防的な改修に加え、構造体の長寿命化や施設内部改修、必要に応じた設備改修等に係る経費
中央公民館			
26	公民館講座事業	3,741	生涯の各期(乳幼児・少年・青年・成人・高齢者など)の学習機会の提供として、各種学級・講座を実施する経費
27	石嶺・小禄南公民館・図書館高効率照明整備事業	42,836	既存照明設備をLED照明(高効率照明)へ入れ替える経費
中央図書館			
28	図書館資料等購入事業	28,352	図書資料の購入等に係る経費
29	電子図書館サービス事業	3,304	電子図書館に係るコンテンツ利用料等の経費

No.	事業名	予算額 単位:千円	概要説明
-----	-----	--------------	------

学校教育課

30	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	15,581	児童生徒の文化的活動及び生徒の部活動の成果として学校代表で出場する県外派遣費用(航空運賃・宿泊料)の一部補助
31	特別支援教育充実事業(小・中学校)	327,835	特別支援を要する児童・生徒や医療的ケアが必要な児童生徒を支援するための特別支援教育補助員、保健師の配置等に係る経費
32	教員業務支援員配置事業	140,541	教員の業務を支援し負担軽減を図る教員業務支援員を各小中学校に配置するための経費
33	小中学校法律相談(スクールロイヤー)事業	1,232	「子どもの最善の利益」を目的に、法的側面から助言を行うスクールロイヤー(弁護士)を活用し、学校におけるトラブル未然防止のための法律相談を行うための経費
34	公立学校教員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業	9,117	那覇市の教職員を対象にメンタルヘルス対策に関するモデル事業を実施し、事例の創出や効果的な取組の研究を行う
35	学校運営協議会(コミュニティスクール)事業	649	学校における様々な課題や取組について地域住民等が参画し学校運営を支えていく学校運営協議会を運営する経費
36	学校問題解決支援事業	8,215	学校における理不尽・過剰なクレームや、児童生徒のいじめ・触法行為・SNSトラブル等の課題に初期段階から対応するため、学校問題解決支援員を配置するための経費
37	中学校英語学習支援・国際交流事業	19,604	国際的に活躍できる人材の育成を図るため、市立中学校17校において英語学習ソフトを活用し、オンラインによる国際交流を実施する経費

教育相談課

38	子ども寄添支援員(スクールソーシャルワーカー)配置事業	87,061	市内全17中学校区に子ども寄添支援員(スクールソーシャルワーカー)を配置し、貧困状態にある児童生徒の実態把握等を行い、社会福祉等の専門的な知識を用いて支援機関に繋げ、子どもの貧困対策に取り組むための経費
39	自立支援教室(むぎほ学級)事業	20,416	生活困窮世帯(準要保護世帯等)で不登校等の小中学生に対して日中の居場所を確保し、様々な体験活動等とおして、将来の社会的自立に向けて支援する経費
40	学習支援室事業	15,375	学習支援室に支援員を配置し、小中学校の不登校及び登校しぶりのある児童生徒や、来所相談を受けている児童生徒、また、高等学校への進学を希望している過卒生を対象に、高校受検等に向けた学習支援を行う経費
41	自立支援教室(きら星学級)事業	39,026	自立支援教室(きら星学級)に支援員を配置し、不登校児童生徒(遊び・非行傾向を含む)等に日中の居場所を確保し、様々な体験活動等を通して集中的にサポートを行い、自立心を高め、学校復帰、社会的自立を図るための経費
42	街頭指導事業	30,592	専任指導員6人を教育相談課へ、青少年指導員を各中学校区に配置し、問題行動が多く見受けられる繁華街、公園、学校周辺の溜まり場等を巡回して青少年への声かけを行う。また、関係機関と連携を図り、非行の未然防止と早期発見・対応に努め、規範意識を育み社会的自立を促すための経費
43	教育相談・自立支援教室(あけもどろ学級)事業	42,524	心理士及び教育相談員を配置し、不登校等の悩みを持つ児童生徒や保護者、教師等へ相談・支援を行う。また心理的・情緒的不安が要因で不登校等の児童生徒を対象とする自立支援教室(あけもどろ学級)を運営する経費
44	教育相談支援事業	36,002	市立全小中学校53校に教育相談支援員を各1人配置し、不登校又は教室に入ることができない児童生徒や、子どもの不登校等に悩みを持つ保護者の話し相手となり、登校や教室復帰に向けた支援を行う経費

学務課

45	働き方改革コンサルティング事業	7,348	全小中学校において、学校業務改善策(アクションプログラム)を活用した業務の見直しや、効率化を図るための業務委託に係る経費
46	学校情報機器等整備事業(GIGA)	124,895	「GIGAスクール構想の実現」のために整備した児童生徒一人一台の情報端末の維持管理及び授業支援ソフト等に係る経費
47	学校ICT支援員配置事業	58,806	教員のICT機器活用能力の向上のため、学校現場で機器の活用方法の助言や操作支援等のサポートを行うICT支援員を派遣するための経費
48	小・中要準等児童生徒就学援助費	694,439	経済的な理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校給食費、学用品費等の必要な費用の一部を援助する。また、特別支援学級等へ通う児童生徒の保護者に対して、経費の一部を支援する。

学校給食課

49	学校給食費支援事業	883,131	物価高騰が高止まりしている現状を踏まえ子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、中学校の給食費については、県補助に加え本市が半額を公費で支援することにより完全無償化とする。また小学校の給食費については、本市が保護者負担分の半額を支援するための経費。
50	学校給食調理場空調設備整備事業	17,462	調理室等の空調整備に係る経費
51	与儀小学校給食調理場改築事業	831,315	校舎と屋内運動場の改築に併せて同校の単独調理場を改築し、新たに小規模学校給食センターとして整備するための経費
52	真和志学校給食センター改築事業	32,547	老朽化した真和志学校給食センターの改築に係る経費

教育研究所

53	教育図書資料提供事業	1,217	教育に関する図書資料の収集を行い、教育関係職員及び市民に対し、図書資料の貸し出しを通して教育情報提供と検索サービス等を行う経費
54	初任者・中堅教諭等・その他研修事業	4,533	教職員の資質向上等を図るため、初任者研修、中堅教諭等研修、その他研修の実施に係る経費

第3節 なは教育の日

なは教育の日を定める要綱

平成19年5月1日
那覇市教育委員会告示第3号

(目的)

第1条 教育に対する市民の意識と関心を高めるとともに、那覇市の明日を担う子どもたちの健やかな成長を願って、家庭、地域、学校、企業及び行政が連携し、市民全体で教育に関する取組を推進するため、なは教育の日を設ける。

(なは教育の日)

第2条 なは教育の日は、12月9日とする。

(なは教育の期間)

第3条 なは教育の日の目的にふさわしい活動を重点的に実施する期間として、12月9日から翌年の1月末日までを、なは教育の期間とする。

(委任)

第4条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

付 則

この要綱は、平成19年5月1日から施行する。

戦後、那覇市の学校は、沖縄戦により破壊され、壊滅的な状態であった。

教材教具等、何もない中、木陰で授業を行う「青空教室」が開校され、米軍の払い下げテントを確保し授業を行う風景もあった。その後、かまぼこ型の「コンセット校舎」が児童生徒、教職員、保護者、地域住民の協力で建てられ、やがて「かやぶき校舎」へと変わっていった。

そのような中、沖縄民政府文教部が「教育委員会規程」を制定し、那覇地区を含む10の教育地区に教育委員会が設置された。

その日が1949年（昭和24年）12月9日であった。

よって、この日を戦後那覇市の教育の原点と捉え12月9日を「なは教育の日」とする。

また、同日から翌年の1月末日までを「なは教育の期間」とし、「なは教育の日」の目的にふさわしい事業や式典を実施している。

令和6年度は令和6年12月に式典を開催し、「人材育成の方法 才能（個性）を見出し、伸ばすには」をテーマに沖縄アクターズスクールの牧野アンナ氏と那覇市教育長との対談が行われた。各種表彰では、教育長表彰11名、善行表彰32組、社会教育功労者表彰20組が受賞された。

【式典の様子】



表彰状授与



受賞団体による発表

第4節 育英事業

公益財団法人那覇市育英会の設立

那覇市は、昭和39年那覇市奨学金給付条例を制定し、人材育成のための事業をスタートした。平成4年4月1日には、新たに奨学金貸与事業を展開するにあたって、「那覇市育英会」を発足。また、平成17年5月26日には、沖縄県の教育・文化及び産業並びに国際社会に資するための有為な人材を育成することを目的に「財団法人 那覇市育英会」を発足、さらに平成23年11月1日には、事業拡大と組織充実のため、「公益財団法人 那覇市育英会」に移行した。

本会の役員及び評議員については、教育関係者及び企業関係者を選任し、常務理事及び専任職員を配置して組織体制を充実し事業の拡大を図っている。

これまでの事業成果として、平成4年の事業開始から令和6年度まで貸与生が延べ1,168人、累計貸与額5億9,173万円の学資貸与が行われてきた。

- (1) 名称：公益財団法人 那覇市育英会
- (2) 設立（移行）日：平成23年11月1日
- (3) 所在地：那覇市銘苅2丁目3番1号（なは市民協働プラザ3階）
- (4) 事業：奨学育英事業（無利息の学資貸与事業）
- (5) 役員：理事9人 監事2人

（任期 理事：令和6年～令和8年評議員会終了まで

監事：令和4年～令和8年評議員会終了まで）

役職名	氏 名	備考（職業等）	役職名	氏 名	備考（職業等）
理 事 長	知 念 覚	那覇市長	理 事	宮 里 寿 子	那覇市教育委員会教育長
常務理事	當間 順子	事務局担当	理 事	國 吉 博 樹	沖縄セルラー電話(株)取締役
理 事	山川 宗徳	(一社)タコライ斯拉バーズ 代表理事	理 事	田 名 毅	首里城下町クリニック第一院長
理 事	仲田 秀光	(公財)沖縄県平和祈念財団副会長	理 事	平井 りい子	沖縄女子短期大学 特任教授
理 事	仲 里 学	(株)沖縄パナコムシステム 代表取締役社長	監 事	仲 田 恵 司	元 那覇市社会教育関係職員
			監 事	石 川 正 剛	税理士

(6) 貸与生の資格

- ①引き続き1年以上沖縄県に住所を有する者の子弟
- ②学校教育法に定める高等専門学校（4、5年のみ）、大学（大学院、短期大学を含む）及び専修学校（専門課程のみ）に在学している者
- ③学業・人物ともに優秀と認められる者
- ④経済的理由により学資の支払いが困難な者
- ⑤貸与した奨学金の返済義務を確実に履行できる者

(7) 貸与生の募集人員、募集時期 ①30名（予定） ②毎年4月（1回）

(8) 貸与の区分、期間、金額及び償還期間

区分	期 間	金額(月額)	償 還 期 間
県内	貸与生の採用時から学校の最短修業年限の終期まで	30,000 円	貸与を終了した年の翌年の4月から償還開始。 償還期間は5年もしくは10年。
県外		50,000 円	

(9) 令和7年3月31日現在の貸与生数 ①県内3人 ②県外24人

第3章 子育てが楽しくなるまちづくり



第1節 すべてのこどものそれぞれの時期に適した居場所のあるまちをつくる

重点目標

第5次那覇市総合計画に沿って、就学前の教育・保育の質の向上を図る。

施策事業の概要

1 就学前の教育・保育の質の向上

令和元年度にこども教育保育課を新設。令和7年度は、研修・指導内容の精選に努め、就学前教育保育施設に向けた研修・指導体制の充実を図る。

(1) 文部科学省幼児教育の理解・発展推進事業の取り組み

- ア 幼児教育研究協議会：令和7年度、本市は都道府県協議会協議主題「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」のもと、研究を進める。
- イ 園長等管理運営協議会：園長等に対する運営・管理に関する専門的な講義や研究協議等。
- ウ 保育技術協議会：保育教諭に対する保育技術についての専門的な講義や研究協議等。

(2) 職員の研修

保育教諭等の資質や指導力の向上を図るため、理論や実践について学ぶ機会を充実させる。

ア 各種研修

園長・教頭等研修、園運営協議会、教頭等協議会、保育教諭研修会、特別支援教育研修会、他、教育・保育施設等研修会の企画・運営をする。開催方法については、集合開催、オンデマンド開催、オンライン開催等、研修内容に応じて開催方法を検討する。

イ 教育研究員

那覇市立教育研究所へ教育研究員を2名派遣。

ウ 法定研修

県が主催する法定研修（初任者研修・教職2年目研修・中堅教諭等資質向上研修）へ対象保育教諭を派遣。

(3) 確認監査の実施

特定教育・保育施設における適切な事業実施を確保することを目的とし、各園の教育・保育の質の向上を図るため、子ども子育て支援法に基づき、集団指導・実地指導を実施している。



保育の質の向上に向けた園内研修風景

2 学力向上推進計画

(1) 那覇市学力向上推進計画に基づき、こども園での体験等を通して学びの芽生えを育む。また、幼児期から3つの資質能力を育み、義務教育以降の学習の基盤を育む。

【環境を通した教育・保育実践の充実】

- 幼児理解に基づく保育の工夫改善
- 安心して自己を発揮できる関係性の構築
- 園児一人一人が大切にされ、可能性を認め合う学級経営

- 言葉による伝え合い、数量や文字等への関心や感覚を育む
- 友達と十分に関わり、協同して遊ぶ
- 身近な人に親しみ、関りを深め愛情や信頼感を育む

【専門性の向上につながる園内研修の充実】

- 研修体制の充実
- 実践的な研修の充実
- PDCA サイクルを活用した保育改善
- 乳幼児の発達の特長や連続性等についての理解を深める
- カリキュラム・マネジメント

【基本的な生活習慣の形成】

- 幼児期にふさわしい生活習慣の形成や望ましい生活リズムの定着に向け、家庭と連携した取組の充実



(2) 具体的取り組み事項及び重点的に取り組む事項

「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の資質能力を一体的に育む。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を小学校と共有し、幼児教育の充実と小学校への円滑な接続をめざす。

令和6年度に引き続き、令和7年度においても、「重点的に取り組む事項」を各園で設定し、それぞれの実態や課題に応じた取り組みの充実を図る。

3 特別支援教育

- (1) インクルーシブ教育の推進
- (2) 就学前教育保育施設における医療的ケア実施ガイドラインに基づき、就学前教育保育施設での医療的ケア児の受け入れを実施する。
- (3) 特別な支援を要する幼児については、那覇市発達支援保育事業及び特別支援教育充実事業に基づいた保育士等の配置や、特別支援教育ヘルパー等の配置に取り組む。
- (4) 那覇市こども発達支援センターにおいて、地域支援事業（発達支援巡回相談・施設支援巡回相談）を実施する。
- (5) 特別支援コーディネーターを中心に各関係機関と連携を図り、指導・支援を推進する。
- (6) 「個別の教育及び保育支援計画」「個別の指導計画」を作成・活用し、計画的・組織的な支援の取り組みを推進する。

4 保幼小連携

幼保連携型認定こども園の公立こども園と公私連携こども園が小学校同一敷地内にあるという利点を生かし、他府県には見られない「こ小」の様々な連携の取り組みが行われている。さらに公立こども園等が小学校との結節点となり、沖縄型幼児教育に取り組んでいる。保育園、私立幼稚園も含めた「保幼小」の接続については、相互の教育及び学びの連続性について理解を深めるため、保幼小合同研修会や各小学校区を単位とした保育参観・授業参観等を実施している。

幼児期から小学校への円滑な接続を目指し、各園・各校接続のカリキュラムを作成している。令和7年度も、幼児期から小学校への円滑な接続及び架け橋期のカリキュラムの作成に向けて、就学前教育保育施設と小学校が協働で取り組んでいけるよう、教育委員会と連携のもと取組を推進していく。

5 子育ての支援

(1) こども園の子育て支援

子育てに関する相談や関係機関等の子育てに関する情報提供、在園児の保護者同士が交流できる場の提供を行う。また、子育て応援 DAY として在宅親子を対象に、遊びや行事への参加受け入れ等、未就園児の子育て支援に取り組む。

(2) 地域子育て支援センター（公立みらいこども園）

みらいこども園では、交流保育・育児相談・育児講座や子育て支援センター等の無い地域へ出向く出前支援を行う。

(3) 一時預かり保育事業

ア 一般型（未就園児保護者対象）

- ・私的保育サービス：保護者の育児に伴う心理的、肉体的負担感の解消を目的とする
- ・緊急保育サービス：疾病、災害、事故、介護、出産、冠婚葬祭等、他、社会的にやむを得ない事由
- ・非定形型保育サービス：パート就労、職業訓練、就学等の事由

イ 幼稚園型（在園児保護者対象）

(4) 保護者のニーズに合わせた教育・保育時間

1号認定児 教育・保育時間 午前8時15分～午後2時

2号認定児 教育・保育時間 午前7時30分～午後6時30分

※延長保育 午後6時30分～午後7時30分

※土曜保育実施

(5) こども誰でも通園制度の本格実施を見据えた試行的事業

全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」の創設を見据えた試行的事業を実施する。

6 幼保連携型認定こども園受け入れ状況（令和7年5月現在）

公立こども園					公私連携こども園				
No.	園名	3歳	4歳	5歳	No.	園名	3歳	4歳	5歳
1	城北		○	○	1	城東	○	○	○
2	城西	○	○	○	2	石嶺	○	○	○
3	城南		○	○	3	安謝	○	○	○
4	大名		○	○	4	曙		○	○
5	泊		○	○	5	銘苅	○	○	○
6	真嘉比		○	○	6	松島	○	○	○
7	那覇		○	○	7	若狭	○	○	○
8	壺屋		○	○	8	神原	○	○	○
9	開南		○	○	9	城岳	○	○	○
10	天妃	○	○	○	10	古蔵	○	○	○
11	上間	○	○	○	11	松川	○	○	○
12	真和志		○	○	12	識名	○	○	○
13	与儀		○	○	13	真地		○	○
14	小禄南		○	○	14	仲井真	○	○	○
15	天久みらい	○	○	○	15	垣花		○	○
16	大道みらい	○	○	○	16	金城	○	○	○
17	宇栄原みらい	○	○		17	小禄		○	○
18	久場川みらい	○	○	○	18	さつき	○	○	○
					19	宇栄原	○	○	○
					20	高良		○	○

※天久みらいこども園・大道みらいこども園・久場川みらいこども園・宇栄原みらいこども園については、0～2歳児の受け入れあり。

第2節 支援が必要な子どもや保護者に必要な支援が届くまちをつくる

重点目標

国公立小中学校に通う児童生徒の保護者へ就学援助制度による支援を行い、こどもが生まれ育った環境に左右されないよう、子ども寄添支援員を配置してこどもの家庭環境を把握し、課題緩和に取り組む。また、経済的な理由で大学等への進学が困難な学生に対し、奨学金制度（給付型）により経済的に自立して修学できるよう支援を行う。

施策事業の概要

1 経済的な支援による育ちの応援

（1）保護者への支援

ア 小・中学校就学援助費

義務教育の円滑な実施を図るため、国公立の小・中学校に通学している児童生徒の保護者へ就学援助制度により支援を行う。

区分	援助対象者	援助対象費目
要保護	・生活保護を受けている者	・修学旅行費
準要保護	・生活保護を廃止又は停止になった者 ・市町村民税が非課税の者 ・生活保護を受けている家庭に準ずる程度に生活が困窮していると認められる者	・新入学児童生徒学用品費等 ・学用品費 ・通学用品費（小学1年生及び中学1年生を除く） ・校外活動費 ・通学費（通学距離が小学生片道4km以上、中学生片道6km以上で、公共交通機関を利用する者） ・修学旅行費 ・体育実技用具費（中学校で該当者のみ） ・生徒会費（中学校対象） ・学校給食費 ・小学校入学準備金（翌年度に那覇市立小学校に入学を予定しているお子様の保護者） ・卒業アルバム代等

イ 特別支援教育就学奨励費

就学のために保護者が負担する経費の一部を保護者の負担能力の程度に応じて補助することで、特別支援教育の普及奨励を図ることを目的とする。

援助対象者	援助対象費目	援助額
特別支援学級に在籍する児童生徒及び通常の学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に該当する児童生徒の保護者	・ 学校給食費 ・ 修学旅行費、校外活動費 ・ 体育実技用具費（中学校対象）	実費の 1 / 2 (限度額あり)
	・ 学用品通学用品購入費 ・ 新入学児童生徒学用品通学用品購入費	定額
	・ 通学費、交流学习交通費 ・ 職場実習交通費（中学校対象）	実費又は 実費の 1 / 2

2 こどもや保護者のそれぞれに適した支援の実施

(1) 子どもの貧困対策の推進

「沖縄子供の貧困緊急対策事業費補助金（平成 28 年～）」を活用し、貧困の連鎖を断ち切るため、貧困家庭の児童生徒を対象に、一人一人にあった教育機会の確保や自立を促す。特に、貧困家庭の児童生徒に寄り添い、その課題緩和への働きかけや児童生徒を居場所へつなぐ等の支援を行う。

ア 子ども寄添支援員（S S W：スクールソーシャルワーカー）の配置

貧困家庭により問題を抱える（不登校、いじめ、問題行動等の）児童生徒を支援するために、各中学校区(17 校)に子ども寄添支援員を配置する。子ども寄添支援員は、担当小中学校や家庭を訪問して、不登校等の児童生徒の実態把握を行い、社会福祉等の専門的な知識を用いて学校や関係機関と連携してその児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけ、課題の緩和を図る。

イ 自立支援教室（むぎほ学級）の設置

生活困窮世帯（準要保護世帯等）により不登校等の児童生徒の支援として、日中の居場所を確保する自立支援教室「むぎほ学級」を設置し、様々な体験活動（調理、栽培、創作、奉仕など）や学習支援を通して、将来の社会的自立につなげることを目指す。

(2) 那覇市奨学金制度（給付型）

成績優秀で修学する意欲があるにもかかわらず経済的な理由で大学等への進学が困難な者に対し、返済を要しない奨学金を給付する。

ア 奨学生の要件 次に掲げる要件全てに該当する者とする。

- ・ 沖縄県内にある学校教育法に定める高等専門学校（4、5 年のみ）、大学（短期大学を含む。）及び専修学校（専門課程のみ）、職業能力開発促進法に定める職業能力開発大学校（専門課程のみ）に進学する者
- ・ 学業成績が優秀であると認められる者
- ・ 経済的理由により修学が困難であると認められる者
- ・ 保護者が本市に 3 年以上引き続き住所を有している者
- ・ 日本国籍を有している者又は別途定める在留資格を有している者

イ 奨学金の内容

種類	対象とする経費	給付額
入学金	大学等の入学金(1回限り)	入学金の実費相当額で 282,000 円を上限とする。
授業料	大学等への校納金のうち授業料に相当する経費	授業料に相当する経費の実費相当額で各年次 720,000 円を上限とする。
施設費	大学等への校納金のうち施設費に相当する経費	施設費に相当する経費の実費相当額で各年次 200,000 円を上限とする。

ウ 給付の期間

奨学生の認定を受けたときから当該大学等の標準修業年限の終期まで

エ 採用実績(過去3ヵ年分)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
15名	15名	14名

第4章 自らの力で未来を拓く子ども達を

応援するまちづくり



第1節 自ら学び心豊かに成長する子どもを応援する まちをつくる

重点目標

児童生徒が安心して豊かな学校生活を送れるよう小中一貫教育の取組を柱とした継続的計画的な学習指導、生徒指導を行い、学力の向上や問題行動等への取り組みを行う。また、学校全体として学校の課題を共有し全職員と保護者、地域の方々や学校評議員等とが連携し「チーム学校」として子ども達を支援する。さらに、教師が高い資質や能力を持ち教育実践が行えるよう、学習指導方法の研究、研修等の充実を図る。

施策事業の概要

1 学力向上の推進

(1) 那覇市学力向上推進計画

那覇市学力向上推進計画では、那覇市の教育目標である「人間尊重の精神を基底とし、郷土の自然と文化に誇りをもち、個性豊かで創造性・協調性に富む人材の育成」を実現するために、その推進の目標を「社会に開かれた教育課程」の実現による、豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手となる幼児児童生徒の育成を目指す。

令和7年度の学力向上推進計画は、昨年までの取り組みや本市の実態を踏まえ、また、不登校児童生徒を含む、多様な児童生徒一人一人に対応するため推進計画を策定。(推進期間：令和7年度から令和9年度)

ア 目指す児童生徒の姿

- ・学ぶことに興味・関心をもち、自分で計画を立て、粘り強く取り組む（創造性）
- ・他者との関わりの中で、異なる考えにふれ、自己の考えを広げ深めている（協働性）
- ・自らの学びを振り返り、新たな問題を見いだしている（探究心）

イ 学力向上推進の基本方針

本市では、授業改善を基本とし、その手立てとして「授業づくり」と「学級（学年）づくり」に「生徒指導4つのポイント」を関連させながら推進する。

(ア)「授業づくり」

「授業づくり」では、「見方・考え方」を働かせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を目指す。また、県の施策「『自立した学習者(※1)』育成のための授業改善4つの取組」と関連付けて推進に努める。

※1「自立した学習者」とは、目的や状況に応じて、自分に合った学び方を工夫したり、学習意欲を自ら引き出したりして学習できるような児童生徒。「授業改善4つの取り組み」は、

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 「指導と評価の一体化」の実現
- 「自学自習力」を育む取組の充実
- 「学習基盤としてのICT」の活用

【沖縄県学力向上推進施策「自立した学習者」育成プロジェクトより】

(イ)「学級（学年）づくり」

「学級（学年）づくり」では、「支持的風土」醸成のための4つのポイント(※2)を基盤に、「生徒指導の4つのポイント(※3)」を意識しながら児童生徒理解に努める。児童生徒

がお互いの違いや考えを認めて尊重し、協力し合える関係を築き、それを「協働的な学び」の充実へつなげていく。

※2「支持的風土」醸成のための4つのポイント：安心・所属・承認・自立

※3「生徒指導の4つのポイント」

- 自己存在感の感受
- 共感的な人間関係の育成
- 自己決定の場の提供
- 安全・安心な風土の醸成

「授業づくり」「学級（学年）づくり」「生徒指導の4つのポイント」を連動関連させながら、「創造性」と「協働性」を発揮し、「探究心」を持って新たな問題を見つけ、解決する力の育成を目指す。

また、本施策が目指す児童生徒の姿を実現できるよう、学校・家庭・地域と連携し、児童生徒の成長を支えていけるよう取り組みの推進を図っていく。

（2）那覇市教育課程研究協議会

学習指導要領が平成29年3月に告示され、小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から全面实施となった。那覇市教育委員会では、平成29年度から令和5年度まで教育課程研究協議会を立ち上げており、学習指導要領の実施を確実なものとした。令和6年度から次期学習指導要領改訂時までは、いったん休止する。以下に那覇市教育課程研究協議会実施要項の一部を記載する。

ア 趣旨

- (ア) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導と評価の説明及び研究報告会を実施することで、各教科におけるモデルとなる学習活動を示す。
- (イ) 目指す資質・能力の育成のため、各教科における指導と評価の在り方について全職員に周知し、学習指導要領の着実な実施を図る。
- (ウ) 小中一貫教育を柱として、児童生徒の連続した学びを意識した研究を行う。

イ 教育課程研究協議会の果たす役割

学習指導要領に対応した指導の在り方等の実践的検証に基づく提案を行う。

ウ 研究協議会の内容

- (ア) 学習指導要領の趣旨に沿った指導と評価の在り方についての説明
- (イ) 目指す資質・能力の育成のための、各教科等における具体的な指導方法の研究
- (ウ) 研究の成果等についての研究報告

エ 教科別研究部会及び研究委員

国語、算数・数学、理科、社会、外国語活動・外国語、特別の教科 道徳、特別活動の7部会を設置し、小学校3名程度、中学校3名程度（計6名程度）の研究委員による小中合同の研究部会とする。

オ 担当指導主事

教科別研究部会は、各部会を1～2名の指導主事が担当する。担当指導主事は、原則、那覇市教育委員会指導主事とする。

カ 研究方法

- (ア) 年間7回の教科別研究部会（以下、各部会）を開く。また、研究のまとめを報告書で行う。
- (イ) 「第2回那覇市教育課程研究協議会」を各部会で開催し、指導と評価についての説明ならびに研究報告会を実施する。全ての教科等についての説明を指導主事が行う（教育センター等から

の講師派遣も可能)。

- (ウ) 各学校において、「第3回那覇市教育課程研究協議会」を実施し、学習指導要領の趣旨に沿った指導と評価の在り方について全教諭で共通理解を図る。
- (エ) カリキュラム・マネジメントの視点で、成果と課題を集約し、今後へつながる対応策を考える。

(3) 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

ア 正答率の全国との差 (各教科の合計正答率)

年度	小学校			中学校			
	国語	算数	理科	国語	数学	英語	理科
令和3年	+3.3	+1.8	実施なし	-2.6	-2.2	実施なし	実施なし
令和4年	+0.4	-0.2	-0.3	-2.0	-5.4	実施なし	-3.3
令和5年	+0.8	-0.5	実施なし	-2.8	-6.0	-5.6	実施なし
令和6年	+1.3	-1.4	実施なし	-2.1	-4.5	実施なし	実施なし

イ 全国平均正答率以上の学校数

年度	小学校 (校)			中学校 (校)			
	国語	算数	理科	国語	数学	英語	理科
令和3年	27	18	実施なし	4	3	実施なし	実施なし
令和4年	20	13	16	3	1	実施なし	1
令和5年	19	15	実施なし	2	3	0	実施なし
令和6年	14	19	実施なし	2	3	実施なし	実施なし

ウ 学校間の正答率の差 (最上位校と最下位校の正答率の差)

年度	小学校			中学校			
	国語	算数	理科	国語	数学	英語	理科
令和3年	20.0	23.0	実施なし	11.0	18.0	実施なし	実施なし
令和4年	23.0	27.0	28.0	20.0	28.0	実施なし	17.0
令和5年	19.0	26.0	実施なし	42.0	30.0	24.0	実施なし
令和6年	16.6	22.3	実施なし	17.2	21	実施なし	実施なし

2 防災教育、キャリア教育、人権教育等の充実及び不登校児童生徒の支援

(1) 防災教育の充実

- ア 各学校では、災害時における「危機管理マニュアル」の作成・見直し・改善を行い、家庭・地域と連携した防災教育の実施を通して、避難経路や保護者引き渡し方法を確認する等、体制づくりに努める。
- イ 避難訓練等を通して、実践的な防災教育を行い、児童生徒の危険回避能力を育成する。
- ウ 各学校の消防計画に基づいた防火管理体制のもと、日常的・定期的な安全点検を実施し、危険箇所の改善を図り、適切な訓練等を実施する。

(2) キャリア教育の充実

教育課程全体を通じて必要な資質・能力の育成を図り、児童生徒のキャリア発達を促す取組を推進

し、自分で考え、計画して、行動に移すことのできる児童生徒の育成に努める。

ア キャリア教育の視点を踏まえた教育課程の編成

イ 地域・企業等と連携した体験活動等の充実

ウ 児童生徒の学びをつなぐ「キャリア・パスポート」の活用

(3) 人権教育の充実

人権教育の充実に向けて、各学校においては全体計画の作成および見直しを行い、校内における指導体制を充実させるとともに、教職員の人権意識の向上に努める。

ア 学校の取り組み

- ・教育相談週間等の実施
- ・定期的なアンケートの実施
- ・毎月の「人権の日（人権を考える日）」の実施
- ・人権教育に関する全体集会、学年集会の実施

イ 教育委員会の取り組み

- ・各学校の人権教育担当者との連携、情報提供、指導助言
- ・「性の多様性を尊重する学校づくり」等研修会の実施
- ・「性の多様性を尊重する学校づくりのための指針」等の周知

ウ その他

人権に関わるいじめ、性の多様性、男女平等、エイズ教育、偏見・差別問題、介護・福祉問題、北朝鮮拉致問題、外国人理解、ハンセン病理解、身障者理解、世界人権宣言、子どもの権利条約等を盛り込むなど、人権教育における内容の充実を図ることを推奨する。

(4) 平和教育

平和教育の充実に向けて、各学校においては全体計画の作成及び見直しを行い、郷土の歴史的な特性を理解することや平和教育関連施設の活用を推進し、平和教育の充実を図る。

ア 学校の取り組み

- ・各教科や総合的な学習の時間において、児童生徒による探究学習等の実施
- ・図書館等での資料展示を一定期間実施
- ・「平和集会」の実施
- ・戦争体験者や地域人材等の外部講師による講話
- ・「対馬丸記念館」「沖縄県平和祈念資料館」等の平和教育関連施設及び戦跡を活用し、郷土の歴史的な特性を理解

イ 教育委員会の取り組み

- ・学校の教育活動全体を通じて平和教育が推進できるように指導・助言や情報提供を行う。
- ・「平和教育担当者研修会」を5月に「対馬丸記念館」で開催し、外部講師による講話・施設案内、平和教育関連施設等の活用紹介、各学校の取組について情報共有等を行い、平和教育の推進を図る。

(5) 道徳教育の充実

命の大切さや共生の心、規範意識や自立心などの豊かな心の育成に努める

ア 学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。

イ 「特別の教科 道徳」（道徳科）の充実を図る。

- ・「考え、議論する道徳」（授業の質的な転換と量的な授業時数の確保）

(6) 国際理解教育・外国語教育

世界の平和と発展に貢献できる能力と態度を身に付けた幼児児童生徒の育成に努める。

ア 学校の教育活動全体を通じた国際理解教育の充実を図る。(国際理解教育の推進)

(ア) 各教科等の目標と内容をふまえた全体計画を作成し、計画的に指導を行う。

イ 英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。(外国語教育の推進)

(ア) 市内小中学校に配置される英語指導員(AET/JTE)を活用し、異文化理解の充実とコミュニケーション能力の向上を図る。

(イ) 年一回、異文化交流会(ICEプログラム)を実施し、国際的視野を育むとともに、コミュニケーションへの積極的な態度を育成する。

(ウ) 中学校においては、英語学習ソフトの活用による授業改善、また同世代間で行われるオンライン国際交流事業を通して即興的に話す力の向上を図る。

ウ 帰国・外国人児童生徒に係る日本語教育の充実を図る。(日本語指導の推進)

(ア) 該当する児童生徒の実態把握に努め、日本語指導協力者を積極的かつ効果的に活用する。

(7) 子どもたちの精神的なケア体制の整備による不登校対策の充実

ア 不登校等対策の取り組み

(ア) 不登校等対策委員会

那覇市立小中学校の不登校問題の現状把握と、不登校への対応について協議する「不登校等対策委員会」を設置し、「不登校・問題行動等の状況把握学校訪問」「不登校対策研修会」「なは市登校支援リーフレット」他の不登校対策事業が有機的に機能するよう努める。

(イ) 不登校・問題行動等の状況把握学校訪問の実施

小中学校における不登校・問題行動等の実態を把握し、望ましい支援方法や取り組み等について意見交換及び助言等を行う。さらに、教育相談・生徒指導体制の充実・強化に資する目的で、年間を通して随時学校訪問し、継続的な支援を行う。

(ウ) 不登校対策研修会の実施

那覇市における不登校の実態を把握し、小中が連携した支援の方法や取り組みについて情報交換を行うことにより、不登校の未然防止及び教育相談・生徒指導体制の充実強化に資する事を目的に「不登校対策研修会」(オンデマンド)を5月と10月の年2回、那覇市立全小中学校の管理職及び生徒指導・教育相談担当等の教諭を対象に実施する。

(エ) なは市登校支援リーフレットの配付

不登校・登校しぶりのある児童生徒への支援、欠席しがちな児童生徒への早期対応の流れ、不登校予防のチェックリスト、不登校の未然防止の取り組みが一覧できるリーフレットを作成・配付することで、那覇市の全小中学校の全ての教職員が同水準の不登校対策の取り組みができることを目指す。

イ 教育相談事業

複雑化、深刻化する青少年問題に対応するために、心理相談の専門職として心理士及び教育相談員を配置するとともに、困難ケースについては精神科医からのスーパーヴァイズを受け、青少年相談の充実強化に努める。

(ア) 電話相談

相談専用電話である「青少年ダイヤル『なは』」(TEL: 941-7867)では、青少年自身や保護者等からさまざまな相談を受ける。内容は素行上の問題、不登校、しつけ上の悩み、発

達に関する相談等、多岐にわたる。

(イ) 来所相談

青少年に関するいろいろな悩みについて、青少年自身や保護者等からの相談はもとより、学校や他機関からの紹介を受けて相談を行う。青少年自身との面接だけでなく、保護者等との面接、学校との連携を行う。相談内容によっては心理検査等を行い、必要に応じて他機関を紹介する場合もある。複雑化したケースについては、問題解決に向けての見通しや問題の軽快がみられるまで継続的に相談を行う（継続相談）。その他、保護者からの申請を受けて、翌月はじめに「来所日報」、学期末に「経過報告書」を送ることにより学校と連携を図る。原則として週1回の来所であるが、ケースによっては来所回数を調整している。継続相談のプログラムとして次のものがある。

a 集団・体験活動

集団適応を図るため、スポーツ活動、ものづくり活動（バステルン）、その他の集団活動（不定期）、夏休み子ども体験教室等

(ロ) 教師のメンタルヘルス

教師の抱えるストレスフルな問題や悩みに対応するため、心理士や指導主事が来所、訪問、電話等で相談を受け援助を行う。

ウ 自立支援教室（あけもどろ学級）事業

心理的・情緒的不安が要因で登校できない子ども達に安心できる居場所を与え、自主性や社会性の育成と人間関係の改善を図り、学校適応・社会的自立を促進するため、学校と連携しながら指導を行う。

エ 自立支援教室（きら星学級）事業

不登校で、学校外での指導や相談を必要とする児童生徒に対し、日中の居場所を確保し、必要な支援を行う。「きら星学級支援員」が学習や相談をはじめ、栽培活動、職場体験、創作活動及びスポーツ活動等の体験活動を通じて児童生徒の支援に当たっている。また、きら星学級での支援にとどまらず、支援員が必要に応じて直接学校に出向いての学校支援も行っている。さらに、通級困難な児童生徒に対しては、アウトリーチ（家庭訪問や送迎等）を行い、支援の拡充を図っている。

オ 学校での教育相談の支援（教育相談支援事業）

不登校または不登校傾向のある児童生徒と、子どもの不登校等に関し悩みを持つ保護者に対する支援を充実させる目的で、児童とその保護者に対応するための教育相談支援員を市内全小中学校に配置する。教室に入る事ができない児童生徒を相談室で対応しながら教室復帰への手助けや、家庭訪問による登校支援や保護者に対する相談、支援等を行う。

カ 学習支援室事業

不登校や登校しぶりのある生徒に、学習支援を行う。また、社会的自立を促すことを目的に、中学校を卒業して高等学校への進学を希望している青少年に高等学校入試へ向けた学習支援を行う。

キ 街頭指導事業

専任指導員を中心に、不登校等青少年の問題行動がよくみられる繁華街、公園、ゲームセンター、カラオケボックス、学校周辺等での街頭指導を行い、非行の未然防止と早期発見、早期対応に努める。

また、専任指導員は、学校との連携や地域で活動している青少年指導員の指導技術等の向上にも努めている。

(ア) 市内広域街頭指導（ブロック巡回指導）

市内 17 中学校区を 5 ブロックに分け、巡回計画に従って、平日の午前と午後に専任指導員を中心とした街頭指導を実施する。必要に応じて学校とも連携しながら巡回指導を行う。

(イ) 市内重点地域街頭指導

繁華街、公園、ゲームセンター等の不登校等青少年のたまり場となりやすい場所を重点的に、街頭指導を実施する。

(ウ) 夕方の街頭指導（毎週火・水・金曜日）

学校の就業時間後、5 ブロックと重点地域の街頭指導を実施する。

(エ) 夜間街頭指導（第 1 金曜日【教育相談課主催】）（第 3 金曜日【青少協主催】）

第 1 金曜日は専任指導員やボランティアで、繁華街を中心に帰宅指導等の街頭指導を実施する。

第 3 金曜日は青少協・青少年指導員と連携し、帰宅指導等の街頭指導を実施する。

(オ) 特別街頭指導

那覇ハーリー、那覇大綱挽まつり、琉球王朝祭り首里等の全市的な催しや中学校卒業式等の際に、会場内や会場周辺を専任指導員が巡回指導する。なお、青少年指導員は主催団体や中学校の依頼により巡回指導を実施する。また、「青少年の深夜はいかい防止」「二十歳未満者飲酒防止」県民一斉行動へも参加する。

(カ) 団体の育成と支援

那覇市青少年指導員連絡協議会を支援し、会の自主的な運営を促進するとともに、他の青少年関係団体との連携を図る。併せて青少年指導員の資質向上を図るための研修会を開催する。

(キ) 社会環境実態調査

青少年のための環境を整備することを目的に、沖縄県からの委託を受け、沖縄県青少年保護育成条例第 20 条に基づき、興行場やカラオケボックス、有害図書販売店などに立ち入り、条例の遵守状況等の調査を行う。

ク 校内自立支援室事業

様々な理由で不登校・別室登校になった児童生徒に対し、学校内に校内自立支援室を設置し、学習支援員を配置して当該児童生徒の学習を支援することで、学級復帰・不登校解消に努める事業。令和 7 年度は 5 校（小学校 4 校、中学校 1 校）にて実施。沖縄県委託事業。

(8) 児童生徒への対応

ア 生徒サポーター派遣事業

「あそび・非行」による不登校等の問題行動の早期発見・早期対応や未然防止のため、教職員を補佐し、個別の指導や相談を必要とする生徒に対し、継続的な支援活動や様々な体験活動等を通じた個別指導を行う生徒サポーターを配置し、生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制の構築を図る。平成 19 年度から市内全 17 中学校に生徒サポーターを配置しており、令和 6 年度も引き続き市内全 17 中学校に生徒サポーターを配置する。

イ 小中学校生徒指導主事連絡協議会

生徒指導担当教諭としての役割について認識し、問題行動等の未然防止や健全育成の観点から生徒指導実践力を高める研修会を実施し、さらに生徒指導主事同士の連帯および、関係機関とのネットワークを広げる研修会の充実を図る。

回	月 日	ねらい
第1回	4月15日	・不登校児童生徒への対応について共通理解を図る。 ・令和6年度那覇市内の生徒指導の状況を理解し対応方法を考える。
第2回	5月20日	・生徒指導の役割について共通理解を図る。 ・いじめに特化した校内研修の実施について共通理解を図る。
第3回	6月24日	・希死念慮や自傷行為のある児童生徒への対応について共通理解を図る。 ・別室対応等の生徒への支援について共通理解を図る。（実践事例紹介）
第4回	11月4日	・関係機関との連携について ・校内の生徒指導体制について（実践事例紹介）
第5回	令和8年 1月22日	・問題行動等の未然防止に向けた協議を通し連携を図る。 ・積極的な生徒指導の取り組み事例協議・実践事例紹介
第6回 (中学校のみ)	2月19日	・卒業式に向けて積極的な生徒指導の取り組みについて協議する。 ・積極的な生徒指導の取り組み（今年度の反省）

3 特別支援教育に関する支援の充実

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行い、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。

（1）校内支援委員会の充実

全教職員で特別支援教育の理解と認識を深め、指導体制の工夫・改善に取り組むことで校内支援委員会の充実を図り、児童生徒一人ひとりのニーズを的確に把握する。

（2）個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成

「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し活用する。これらの計画のもと一貫した支援を行い、積極的な社会参加・自立に向けた取組を推進することで、児童生徒一人ひとりの能力や特性が発揮できるようにする。

（3）特別支援学級・通級指導教室における教育課程の編成

児童生徒の障がいの状態、特性等や学級の実態に即した教育課程を編成することにより、見通しのある充実した教育活動を行うことができるようにする。

（4）専門的知識・経験を有する者による学校支援

教育相談員及び特別支援教育指導コーディネーターを計画的に活用し、担任・学校関係者、保護者への支援・指導、相談等を行う。

（5）学校における医療的ケアの推進・充実

医療的ケアを必要とする児童生徒の安全・安心な教育環境の確保、保護者の負担軽減及び医療的ケア児の自立促進を図るため、必要な支援を行う専門員等を配置又は派遣するなど、学校における医療的ケアの推進・充実に努める。

（6）保健、福祉、医療等との連携体制の構築

専門家チームの要請指導により指導・助言等を行い、支援体制を強化する。

（7）指導力の向上を図る研修の充実

ア 特別支援学級担任研修

イ 通級指導教室担当者連絡会

ウ 特別支援教育補助員研修会

エ 特別支援教育コーディネーター連絡会

(8) 園職員や保護者を対象とした就学説明会の実施による就学に関する理解を図る。

4 校務支援システムの活用

市内小中学校で校務支援システムを活用し、校務の効率化を図り、教師と児童生徒が向き合う時間を確保することで、教育の質と学力のさらなる向上を図る。校務支援システムを活用してできる主な業務としては、通知表や指導要録、調査書の作成、出席状況の集計作業等があり、これらを一元化することで、転記誤りの防止や帳票の作成にかかる時間の短縮が期待できる。また、二要素認証システムを導入し、情報漏洩対策に取り組んでいる。

5 学校保健・学校安全

(1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、那覇市医師会、南部地区歯科医師会、沖縄県薬剤師会、医療機関ならびに学校の協力を得て、児童生徒の健康保健増進のため、次の事業を実施し、学校保健の推進に努める。

ア 学校保健事業

(ア) 児童・生徒・園児の健康管理

検診名	実施時期	検診科目	対象者
定期健康診断	6月30日まで	内科・眼科・耳鼻咽喉科	全児童・生徒・園児
		歯科	全児童・生徒・園児
		蛭虫検査	中学校を除く全児童・園児
		心臓検査	小学校1年・中学校1年
		尿・視力検査	全児童・生徒・園児
就学時健康診断	9月～10月	内科・歯科・視力・聴力	次年度小学校入学予定児童
小児生活習慣病 検診	夏休み期間中	採血 身体測定	小学校4年生で学校定期健診において肥満度 20%以上と判定された児童（保護者の同意有り）
		医師の面談 栄養指導	

(イ) 職員の健康管理

(職員健診)

時 期：10月31日まで

対 象 者：全職員

検診科目：身体計測、腹囲、視力、聴力、血圧、尿、貧血検査、胸部X線直接撮影、
LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、肝機能検査、血糖、
心電図、医師の検診、HbA1c、クレアチニン、胃検診（40歳以上）

(その他)

職員のメンタルヘルス対策（ストレスチェック実施、産業医配置）

(ウ) 環境衛生管理

実施項目	実施時期	対象	実施者
飲料水定期水質検査	6月～9月	各小中学校	委託業者
水泳プール定期水質検査	6月～9月	各小中学校	委託業者
照度及び照明環境検査	年度中に2回	各小中学校	学校薬剤師
学校のゴミ処理	通年	各小中学校	委託業者

(2) 学校安全

安全教育と安全管理を総合した計画を策定し、その推進の強化に努める。

ア 安全教育の徹底と管理の充実

(ア) 学校安全について、児童生徒の認識と自覚を高め学校内外における事故の防止に努める。

(イ) 学校施設・設備の定期安全点検を強化し、危険場所の排除に努める。

(ウ) 登下校中における安全管理（スクールゾーン及び通学路の整備、学校安心安全支援員の配置）の強化に努める。

(エ) 日本スポーツ振興センター法に基づいて日本スポーツ振興センター保険に加入し、学校管理下における児童・生徒等の災害については災害共済給付を受ける。給付の種類は、医療費、障害見舞金、死亡見舞金の3つであり、医療費の給付額は通常療養額の4割である。

イ 令和7年度センター共済掛金額

単位：円

	保護者負担	那覇市の負担	国の負担	合 計
一般児童生徒	270	205	0	475
準要保護児童生徒	0	475	※	475
要保護児童生徒	0	35	※	35

※実績に応じた充当補助あり（センターに対する国庫補助の範囲内）

ウ 令和6年度におけるセンターへの共済掛金払い額及びセンターからの災害給付額

単位：円

	共済掛金支払額	共済給付額
小学校	8,411,015	6,520,620
中学校	3,984,435	6,995,446
計	12,395,450	13,516,066

(3) 令和6年度学校事故発生状況

ア 負傷の場合別災害発生状況

単位：件数

	各教科	特別活動	学校行事	課外指導	休憩時間	通学中	計
小学校	310	86	19	0	272	27	714
中学校	185	15	20	228	59	10	517

イ 負傷の種類別災害発生状況

単位：件数

	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	挫創	切創	裂創	その他 (疾病含む)	計
小学校	158	155	15	248	13	4	21	100	714
中学校	150	102	11	124	10	2	9	109	517

6 学校給食

(1) 学校給食の実施状況

学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食

事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材として活用できるように工夫している。また、児童生徒が生涯にわたり健康な生活を送るのに不可欠な、栄養バランスのとれた食事のモデルとして、家庭における日常の食生活や、児童生徒の日常又は将来の食事作りの指標になるよう、献立作成において配慮している。

ア 給食実施人員

小学校：17,463 人 中学校：8,560 人 合計：26,023 人（若夏分教室・分校除く）

イ 学校給食費

学校給食法では、学校給食の運営に要する経費のうち、食材費と光熱水費等は保護者が負担するものとしているが、那覇市では食材費のみを学校給食費として徴収している。

学校給食費の月額

小学校：5,700 円が半額補助により 2,850 円（児童 1 人当たり、年 11 月徴収）

中学校：6,500 円が全額補助により 0 円

（2）学校給食摂取基準

「学校給食摂取基準」の基準値設定の考え方は次のとおりである。

厚生労働省が策定した「日本人の食事摂取基準(以下「食事摂取基準」という。)(2020 年版)」が定めた目標量又は推奨量の 3 分の 1 とすることを基本としつつ、不足または摂取過剰が考えられる栄養素については「昼食必要摂取量」の中央値程度を学校給食で摂取することとして、「食事摂取基準」の推奨量または目標量に対する割合を定め、基準値が設定されている。

【児童又は生徒 1 人 1 回当たりの学校給食摂取基準】

区分	基準値			
	児童（6 歳～7 歳）の場合	児童（8 歳～9 歳）の場合	児童（10 歳～11 歳）の場合	生徒（12 歳～14 歳）の場合
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 13～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 20～30%			
ナトリウム (g) (食塩相当量)	1.5 未満	2 未満	2 未満	2.5 未満
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミン A (μ gRAE)	160	200	240	300
ビタミン B ₁ (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミン B ₂ (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミン C (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4 以上	4.5 以上	5 以上	7 以上

(注) 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。

亜鉛・・・児童（6～7 歳）2mg、児童（8～9 歳）2mg、児童（10～11 歳）2mg、生徒（12～14 歳）3mg

(3) 方式別給食実施状況

ア 那覇市学校給食センター

令和7年5月1日現在(人)

番号	センター名	所長	副所長	栄養士・ 栄養職員等	事 務	調理員	運転手	学校名	児童・生徒数		委託開 始年月
									学校計	合計	
1	首 里 センター	1	1	2(2)	3(3)	26(16)	-	城東小 城南小 石嶺小 松島中 松城中 石嶺中 首里中	485 365 816 616 236 464 638	3,620	
2	安 謝 センター			1(1)		-	-	安謝小 那覇中	544 603	1,147	H24. 3
3	銘 苅 センター			1(1)		-	-	銘苅小 若狭小 上山中	549 251 371	1,171	H26. 4
4	大 名 センター			1(1)		-	-	大名小 城北小 城北中	168 659 391	1,218	H27. 7
5	小 禄 センター		1	2(2)	3(3)	19(12)	3(1)	小禄小 垣花小 さつき小 小禄中 金城中	327 216 559 778 532	2,412	
6	天 久 センター			2(2)		-	-	天久小 安岡中	690 825	1,515	H24. 3
7	鏡 原 センター			1(1)		-	-	小禄南小 鏡原中	612 614	1,226	H31. 4
8	高 良 センター			1(1)		-	-	高良小 字栄原小	789 497	1,286	R4. 8
9	開 南 センター			1(1)		12(7)	-	城岳小 天妃小 開南小	543 390 367	1,300	
10	真 和 志 センター		1	2(2)	3(3)	19(12)	-	仲井真小 真地小 大道小 与儀小 壺屋小 真和志中 石田中 仲井真中	673 462 251 268 234 268 385 475	3,016	
11	神 原 センター			1(1)		-	-	神原小 神原中	355 286	641	H22. 4
12	古 蔵 センター			1(1)		-	-	古蔵小 古蔵中	653 569	1,222	H23. 4
13	上 間 センター			1(1)		-	-	上間小 寄宮中	526 509	1,035	H30. 12
センター計		1	3	17(17)	9(9)	76(47)	3(1)	小学校計 12,249	中学校計 8,560	総 計 20,809	

※1 栄養士・栄養職員等() 数字は県費負担職員で内数

※2 事務、調理員、運転手() 数字は会計年度任用職員で内数。

※3 小禄センター以外の運転手は民間委託

※4 神原、古蔵、銘苅、安謝、天久、大名、鏡原、上間、高良センターは調理業務民間委託

イ 単独給食校

(人)

番号	学校名	児童・ 生徒数	栄養士・ 栄養職員等	調理員	委託開始 年月
1	城西小	609	1(1)	7(4)	
2	真嘉比小	552	1(1)	7(4)	
3	泊小	681	1(1)	8(5)	
4	松川小	472	1(1)	5(2)	
5	識名小	601	1(1)	-	H19. 7
6	真和志小	436	1(1)	-	H21. 7

(人)

番号	学校名	児童・ 生徒数	栄養士・ 栄養職員等	調理員	委託開始 年月
7	松島小	535	1(1)	-	R6. 8
8	金城小	659	1(1)	-	H21. 7
9	曙小	264	1	4(1)	
10	那覇小	405	1	6(3)	
小学校計		5,214	10(8)	37(19)	

※1 栄養士・栄養職員等() 数字は県費負担職員で内数

※2 調理員() 数字は会計年度任用職員で内数

※3 識名小、真和志小、金城小、松島小は、給食調理業務民間委託校

7 生活リズム確立の推進

(1) 望ましい生活リズムの確立

ア 「早寝早起き朝ご飯」「食べて動いてよく寝よう」についての取り組みの充実

- ・就寝、起床、朝食摂取、運動などについて児童生徒の望ましい生活リズムを確立させるため児童生徒への各教科等と関連した指導、保護者への啓発を充実させる。

※ 生活リズムの確立の推進に関する資料

(保幼こ)「基本的な生活習慣に関する調査」より

(小・中学校)「全国学力・学習状況調査」〔児童生徒質問紙より〕

〔当てはまる・どちらかといえば当てはまる〕

就寝時刻について

推奨時刻	保幼こ
	9時まで
令和4年11月	17.8%
令和5年11月	19.4%
令和6年11月	R6調査なし

「決まった時刻に寝ていますか」

	小学校	中学校
令和4年	79.1%	83.5%
令和5年	79.8%	81.2%
令和6年	83.6%	83.4%

起床時刻

推奨時刻	保幼こ
	6時半まで
令和4年11月	21.3%
令和5年11月	23.8%
令和6年11月	R6調査なし

「決まった時刻に起きていますか」

	小学校	中学校
令和4年	89.0%	92.5%
令和5年	88.9%	92.7%
令和6年	91.1%	92.9%

朝ご飯

毎日摂取	保幼こ
	100%
令和4年11月	89.8%
令和5年11月	89.2%
令和6年11月	R6調査なし

「朝ごはんは食べていますか」

	小学校	中学校
令和4年	93.5%	92.2%
令和5年	93.7%	91.2%
令和6年	94.4%	90.8%

イ 部活動等の適正化と質の向上

- ・小学校は、スポーツ少年団等の活動における適切な練習時間や休養日について学校内や地域指導者と調整し、児童のバランスの取れた生活や成長に配慮する。
- ・中学校は、参加しやすい実施形態等を工夫するとともに、休養日や活動時間を適切に設定し、生徒のバランスの取れた生活や成長に配慮する。
- ・「那覇市部活動の在り方に関する方針」に沿って実施する。

(2) 規範意識・マナーの育成

ア あいさつをする、きまりを守る指導の充実

- ・「あいさつ」「他人に迷惑をかけない」「いじめをしない、させない、みのがさない」等の指導の充実を図る。
- ・正しい言葉遣いができるよう指導の徹底を図る。
- ・情報モラルの指導を行う。

イ 身の回りの整理整頓や自他の物を大切にする指導の充実

- ・道具の準備や後片づけ、公共の物を大切にする実践の充実を図る。

ウ 命を大切にする指導の充実

- ・命を大切にする心を育む指導の充実を図る。
- ・児童生徒の発達段階を踏まえた危険予知・危機回避能力を高める指導を行う。

8 教師の指導力向上のための研修機会の充実

(1) 学校訪問による研修機会の充実

教育施策の浸透を図り各学校における教育活動の改善・充実を目的とする計画訪問を実施している。

ア 計画訪問

学習指導要領の改善の方向性と示された「社会に開かれた教育課程」の理念を念頭に、市の教育施策が学校経営に浸透しているかを把握し、学校教育全般を支援する。

(ア) 認定こども園への訪問

- ・「環境を通した教育・保育実践の充実」「主体的・対話的な深い学び」のある教育・保育の実現について保育実践の参観

(イ) 小・中学校への訪問

- ・学校の取組・課題についての懇談
- ・授業づくりの視点（「見方・考え方」を働かせた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業）と学級（学年）づくりの視点（「支持的風土が醸成され、児童生徒が参画する学級」の具体的な取組がみえる授業の参観

イ その他学校訪問

県教育庁義務教育課の実施する学校支援訪問、那覇教育事務所の実施する学校訪問に同行している。

(2) 教育研究員の研修の充実

市内こども園及び小・中学校の教職員の中から教育研究員（前期・後期）の長期研修を実施する。

ア 研究員研修の趣旨

教育実践の質を高めるため、課題を明らかにし、教育の内容や方法について工夫し、方策を導き出して研究を行う。

イ 令和7年3月現在の修了者（累計）

単位：人

総合計	(内訳) 校種別		
	こども園（幼）	小学校	中学校
802	138	426	238

ウ 研修内容

(ア) 各研究員の課題に応じた研究活動を行う。

- ・半年間の研究テーマを決め、テーマに沿った研究活動を行う。
- ・理論研究並びに実践（授業・保育）検証を行う。
- ・検証授業(保育)を基に、報告書を作成する。

(イ) 研究員の教師としての力量を高めるため、所内・所外講座を実施する

- ・所内講座 研究の心構え、教科等（特別活動、道徳科）、コミュニケーションスキル、Google活用、情報モラル・プログラミング教育、タブレット基礎・活用、効果的なプレゼンテーション
- ・所外講座 那覇市議会傍聴、不登校支援施設（教育相談課）見学、教育関連施設見学

(3) 経年研修

ア 教職員研修の基本方針

沖縄県公立学校教員等育成指標に基づき、教員のキャリアステージに応じた資質能力の向上を図るために研修を実施する。

イ 指標項目（沖縄県公立学校教員等育成指標から）

キャリアステージ	ステージ像
学校に活力を与える！ 採用ステージ (1年目)	○教育活動に関する基礎的・基本的な知識・技能等を生かして、児童生徒等の実態等を踏まえた教育活動を実践することができる。 ○沖縄県の教員としての自覚を持ち、チームとしての学校の一員として、他の教職員に積極的に指導・助言を求めながら、連携・協働体制のもとで、担当する校務に取り組むことができる。
担当校務をしっかりと担う！ 基礎ステージ (2～4年目)	○教育活動に関する知識・技能等を生かして、児童生徒等の実態等に応じた教育活動を実践することができる。 ○チームとしての学校の一員として、他の教職員と連携・協働しながら、担当する校務を担うことができる。
教育活動を推進する！ 充実ステージ (5～9年目)	○教育活動に関する知識・技能等を充実させ、創意工夫を生かした教育活動を実践・推進することができる。 ○経験の浅い教職員に積極的に関わる等、同僚性の向上や連携・協働の充実を図り、連携・協働体制の構築を推進することができる。
中心的な役割を果たす！ 発展ステージ (10～17年目)	○自らの経験や強み等を生かして、学校全体の状況や地域の実態等を踏まえた教育活動を効果的に推進することができる。 ○学年や分掌等の連携・協働体制において、中心的な役割を果たし、他の教職員に指導・助言をすることができる。
全校的な視点から学校を支える！ 指導ステージ (18年目以降)	○豊かな知識・技能や経験等を生かして、全校的な視点から、教育活動をより効果的・効率的に推進することができる。 ○全校的な視点から、チームとしての学校の連携・協働体制を支え、他の教職員を適切に支援・育成することができる。

ウ 令和7年度経年研修受講者数

単位：人

	初任者研修	2年目研修	3年目研修	5年経験者研修	中堅教諭等資質向上研修
小学校	48	46	46	18	43
中学校	29	25	29	7	20
合 計	77	71	75	25	63

(4) 教育用図書資料提供事業

教育情報の収集及び提供を行い、教育活動を支援する。

ア 図書資料提供

(ア) 図書室での閲覧及び貸出（貸出は図書のみ。研究紀要等の資料は館内での閲覧のみ。）

(イ) 貸出期間は個人が2週間、団体は4週間

イ レファレンスサービス

図書・資料検索システム等を活用し必要な資料の検索を担当職員が行う。また、電話・FAX・メールでの問い合わせも受付ける。

ウ 図書・資料の収集管理

所報、要覧、研究紀要、指導資料等を刊行すると共に、教育関係図書や教育関係雑誌、県内の教育研究所等の研究紀要、資料等を収集保管し、情報提供を行っている。

エ 図書館資料共有化搬送システムの活用

那覇市内の各学校図書館や那覇市立図書館等をネットワークで結び、図書資料を搬送システムの活用を通して共有化する。

9 ICT教育の充実

学習指導要領には総則及び各教科において、ICT機器等の活用が明記されており、情報活用能力を育成する重要性が一層高まっている。また、スマートフォンやインターネットを介したゲーム等の普及もあり、今後は児童生徒を取り巻くICT環境は益々身近に、また複雑化していくと考えられる。

そのような中、児童生徒には全ての学習の基盤となる資質・能力として、情報を主体的に選択・活用、また情報発信の際におけるモラル等を身に付けることが求められている。そのため、学校教育においては必要なICT環境を整えるとともに、情報教育や各教科等の指導に効果的なICT機器の活用を推進し、それらを適切に活用した学習活動の充実を図る。

(1) ICT研修の充実

ア 情報教育研修

ICT機器活用に伴う、情報活用能力(情報モラル含む)を育成するための指導についてや教職員の情報セキュリティについての研修を実施するとともに周知徹底を図る。

イ ICT情報教育推進部会

ICT情報教育推進部会を運用し、学校教育全体を通じたICT機器(電子黒板、タブレット端末等)の活用や一人一台のタブレット端末を活用した授業実践(情報モラル教育、プログラミング教育を含む)を推進する。

ウ 学校ICT支援員配置

ICT支援員の派遣を業務委託し、各学校において教員のICT活用指導力向上のため授業支援や校内研修等の支援を行う。

(2) ICT機器の整備と活用

学校教育全体を通じたICT機器の活用を推進し環境の充実を図る。

ア ICT機器の導入及び保守、校務系ネットワーク環境の運用管理

イ GIGAスクール構想の推進

(ア) 全小中学校の普通教室及び特別教室にWi-Fi環境を整備する。

(イ) 全小中学校の全児童生徒にタブレット端末を配付する。

(ウ) 小学校3～6年生及び中学生へタブレット端末持ち帰りの環境を整える。



電子黒板を活用した授業風景



タブレット端末を活用して学習している様子

10 学校規模の適正化

(1) 背景

終戦後、那覇地区各学校の児童・生徒数は増加の一途をたどり、特に中心市街地においてこの傾向は著しく、4,000人を上回る規模の学校も出現するのではないかと憂慮された。

このような事態に対処するため、1950年代半ばに「那覇区学校配置研究委員会」が設置され、1学校の在籍数を1,500人に平均化しようとする学校配置計画が策定された。

また、本市は、首里市、小禄村、真和志市との市村合併により、小中学校数は増えたが、適正配置及び通学区域を考慮することなく、そのままの状態で編入されたため、学校規模において過大な状況になった。

本土復帰後は、過大規模校の解消や老朽校舎の改築等、施設整備を重点施策として推進してきた結果、過大規模校の減少を図ることができた。しかし、学校建設が急務であったことから、狭隘な市域の中、学校用地面積は多少狭くても、容易に学校用地が確保できる場所に学校を建設した結果、適正配置及び通学区域について十分な配慮を欠き、現在に至っている。

近年における全国的な少子化傾向のなか、本市においても児童生徒数は減少していく傾向にあり、加えて中心市街地における人口のドーナツ化現象により、中心市街地での小規模校と周辺市街地での大規模校の発生をみている。

学校規模の大きな学校と小さな学校には、それぞれにメリット・デメリットがあると考えられるが、那覇市教育委員会では子どもたちにとって、よりよい教育環境の整備を図るうえで、この格差を見過ごすことができない問題として平成13年8月に検討が行われた。

(2) 那覇市立学校適正規模等審議会

教育委員会では、平成14年6月に那覇市立学校適正規模等審議会（以下「審議会」という。）に対して那覇市立学校の適正規模、適正配置及び通学区域等について諮問し、平成15年9月に答申を受けた。

(3) 答申を踏まえた取組

教育委員会では、この答申（平成15年9月）を尊重し、平成16年4月に新しい学校づくりを担当する部署を組織化して、学校適正規模の実現に向け取り組むこととした。

ア 通学区域制度

答申で示された通学区域の提言に基づき、学校適正規模を前提とした通学区域制度の具体的方策に関することについて、平成16年6月に審議会へ諮問を行い、平成17年1月に答申を受けた。

教育委員会としては、審議会答申（平成17年1月）を踏まえて、「隣接校選択制」を平成18年度から小学校で、さらに平成19年度から中学校で実施している。

イ 学校適正配置

教育委員会においては、答申（平成15年9月）を尊重し、学校の適正配置に関する方針及び計画、その他必要な事項について調査検討するため、平成17年5月に「那覇市立学校適正配置検討委員会」を設置し、平成18年3月に那覇市立学校適正配置基本方針を策定した。

(4) 那覇市立学校適正配置計画（通学区域の変更）の策定

教育委員会においては、那覇市立学校適正配置基本方針（平成18年3月）に基づき、通学区域に関する意見交換会を市内各所において11回、通学区域変更計画策定に向けての地域説明会を行い、平成19年6月に「那覇市立学校適正配置計画（通学区域の変更）」を策定した。

(5) 那覇市立学校適正配置計画（統合・分離）の決定

教育委員会においては、那覇市立学校適正配置基本方針（平成18年3月）に基づき、平成22年10

月に「那覇市立学校適正配置計画（統合・分離）素案」を決定した。その後、平成 23 年 1 月から説明会、意見交換会を実施するとともに市民意見提出制度による意見募集を経て、平成 23 年 10 月に「那覇市立学校適正配置計画（統合・分離）」を決定した。

（6）那覇市立学校適正配置計画の実施

教育委員会では、那覇市立学校適正配置計画に基づき、学校の通学区域の変更、分離及び統合を実施してきた。

ア 平成 22 年 4 月 小禄南小学校の通学区域の一部を小禄小学校、宇栄原小学校の通学区域へ変更

イ 平成 24 年 4 月 泊小学校の通学区域の一部を壺屋小学校の通学区域へ変更

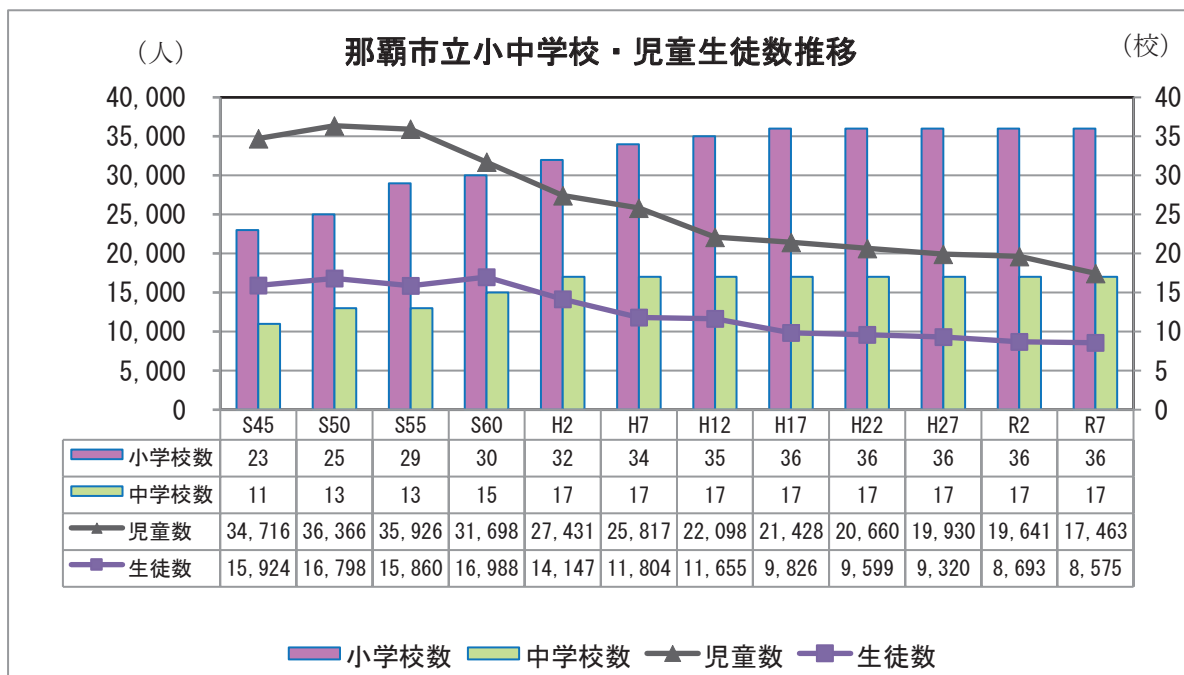
ウ 平成 24 年 4 月 銘苅小学校と安謝小学校の分離校として天久小学校を設置

エ 平成 26 年 4 月 前島小学校と久茂地小学校を廃止し、両校の統合新校となる那覇小学校を設置

（7）学校規模の現状

令和 7 年 5 月 1 日現在、那覇市には市立の小学校が 36 校、中学校が 17 校設置されている。那覇市立学校適正配置計画に基づく学校の通学区域の変更、分離及び統合を実施した結果、学校規模についてはおおむね改善が図られた。しかし、児童生徒数は減少傾向にあり、特別支援学級は増加傾向にある等、学校を取り巻く環境は変化していることから今後の推移を注視し、子どもたちにとってよりよい教育環境を整える。

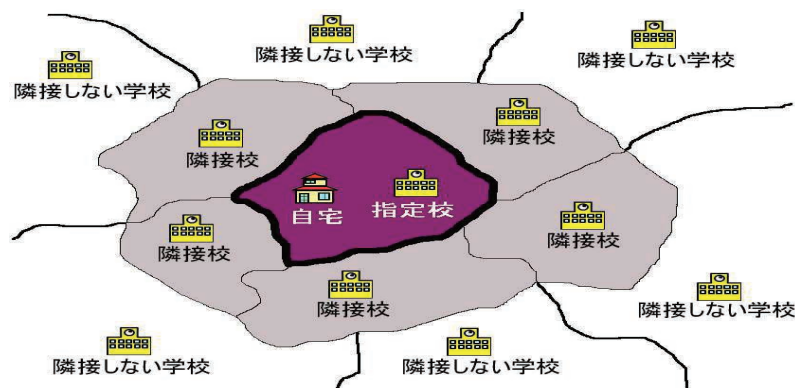
（令和 7 年 5 月 1 日現在・特別支援学級含む）



(8) 那覇市立学校隣接校選択制

教育委員会では平成18年度から那覇市立の小学校へ、平成19年度から那覇市立の中学校へそれぞれ入学する新1年生を対象に、住所により指定された通学区域の学校(以下、指定校)のほかに指定校の通学区域に隣り合う通学区域の学校(以下、隣接校)への入学を希望することができる隣接校選択制を導入した。

【下図 隣接校イメージ】



ア 隣接校選択制の概要

- (ア) 対象者…那覇市に住所を有する那覇市立の小中学校へ入学する新1年生
- (イ) 希望できる学校…各指定校の隣接校
- (ウ) 定員枠と抽選…定員枠は教室数、学校規模等を考慮して学校ごとに設定する。隣接校からの希望者によって、定員枠を超えた場合には希望者を対象に抽選を行う。指定校の児童生徒についてはすべて入学できる。
- (エ) 学校情報の提供…保護者が指定校やその隣接校について、情報が得られるよう学校紹介情報を市民に公開する。また、授業参観日等に合わせて実際に学校を見学できる学校公開日については、各学校長の判断で設ける。

イ 令和7年度入学希望状況

(ア) 小学校

令和7年度の新入学生のうち、全体の約10.7%にあたる292人が隣接校への希望を申請し、希望する隣接校へ入学が許可されたのは、224人で希望者数の約76.7%となっている。

大規模の学校においては、隣接校からの希望者の受入ができない状況である。

小学校項目	人数
児童数（令和6年10月1日現在）	2,717
隣接校への希望者	292
希望した隣接校への入学許可者	224
隣接校へ入学できなかった希望者	68

(イ) 中学校

令和7年度の新入学生のうち、全体の約12.4%にあたる404人が隣接校への希望を申請し、希望する隣接校へ入学が許可されたのは、227人で希望者数の約56.2%となっている。

中学校項目	人数
生徒数（令和6年10月1日現在）	3,271
隣接校への希望者	404
希望した隣接校への入学許可者	227
隣接校へ入学できなかった希望者	177

1.1 那覇市コミュニティ・スクール

(1) 背景

急激な少子化・高齢化の進行、グローバル化の進展、貧困問題の深刻化、児童虐待の増加など多くの問題がある。そのような中で、人と人との関わりや地域のつながりの希薄化も課題となっている。児童生徒のいじめや不登校、児童虐待の増加、規範意識の低下、SNS等インターネット上の諸問題等、児童生徒を取り巻く課題も、一層複雑化・困難化・潜在化しており、学校においては、これらの課題への対応も求められている。

こうした課題やこれからの時代に対応した新しい学校教育を実現するため、学校だけでなく保護者や地域住民等が、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、目指すべき目標を共有し、学校運営に参画するための仕組みである学校運営協議会の設置を行う。学校運営協議会を設置した学校を那覇市コミュニティ・スクールという。

(2) 学校運営協議会

ア ねらい

社会に開かれた教育課程の実現を図り、学校と保護者・地域住民等が育てたい子ども像を共有し、共通の課題について協議する機関としての学校運営協議会を設置することで、学校運営への支援等を推進することにより、未来の創り手となる児童生徒を育成する。

イ 協議会の設置

各学校に学校運営協議会を設置する。

ウ 委員の構成及び人数

校長、PTA 役員、地域関係者、地域有識者、地域学校協働活動推進員
各学校 7 名以内

エ 那覇市小中一貫コミュニティ・スクールについて

本市の小中一貫教育グループ内の各学校に設置する学校運営協議会の一括りを「那覇市小中一貫コミュニティ・スクール」と称する。小中一貫教育を通して育んできた小中学校における教育実践の共通性や人的な関係性を活用し、共通の方向性で学校教育の推進を図るために情報共有するための小中一貫全体会議を行う

オ 会議開催回数

年間 3 回程度（小中一貫全体会議を含む。）

カ 学校運営協議会議題

A 未来志向（学校における情報の共有、学校で目指す子供の姿、具体的な取組）
B 課題解決（学習支援の取組、安全に関する取組、児童生徒支援に関する取組）

(3) 設置状況（令和 7 年 4 月現在）

- ・令和 6 年度 第 1 期導入校（城北中学校、城北小学校、大名小学校）
 - ・令和 7 年度 第 2 期導入校（那覇中学校、那覇小学校、若狭小学校、泊小学校）
- ※令和 9 年度の全小中学校設置に向け段階的に導入予定

第2節 学校施設の補修・整備をすすめ、安全安心な教育環境があるまちをつくる

重点目標

学校施設の耐震化を図るための改築による施設整備や、那覇市学校施設等長寿命化計画に基づく中長期的な補修等維持管理、また、借用校地の用地取得を順次行い、児童・生徒の視点に立った安全安心な学習環境づくりをすすめる。

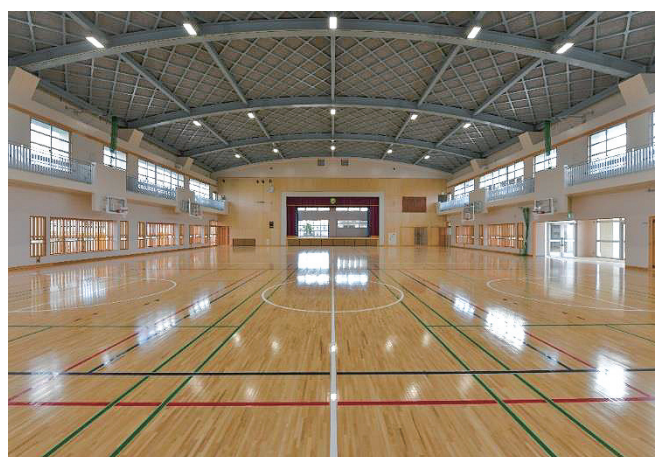
施策事業の概要

1 学校施設の耐震化に向けた改築による施設整備

学校施設の整備にあたっては、全ての老朽校舎や災害時の避難拠点としての役割を果たす屋内運動場の耐震化に向けて、計画的に改築事業等を推進する。

・屋内運動場等改築

古蔵小学校と松川小学校の屋内運動場等が完成し、これにより市内の耐震化を目的とした学校施設改築事業は完了となる。



古蔵小学校屋内運動場 令和6年度完成



松川小学校屋内運動場 令和6年度完成

2 学校施設の維持管理や整備の強化及び長寿命化対策

安全点検を日常的に実施し、安全性確保のための修繕を速やかに行う。なお、緊急性の高いものについては優先的に実施する。

- (1) 学校施設を長期にわたって使用できるように建物の適切な維持管理に努める。また、多様化する学習形態に対応した快適な教育環境づくりに取り組む。

事業名：小学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）

事業名：小学校遊具改修事業

事業名：松島中学校長寿命化改修事業

事業名：城北小学校長寿命化改修事業

事業名：安岡中学校長寿命化改修（予防改修）事業

事業名：城西小学校長寿命化改修（予防改修）事業

事業名：神原中学校長寿命化改修（予防改修）事業

事業名：松川小学校長寿命化改修（予防改修）事業

事業名：真嘉比小学校長寿命化改修（予防改修）事業

事業名：石嶺中学校長寿命化改修（予防改修）事業

- (2) 老朽化や時代の変化に対応できていない設備等の改善に取り組む。

事業名：小・中学校環境整備事業（トイレ整備）

事業名：小・中学校消防用設備等重点整備事業

事業名：小・中学校施設ブロック塀対策事業

事業名：小・中学校擁壁改修事業

事業名：小・中学校空調設備改修整備事業

事業名：小・中学校照明LED化事業

事業名：小・中学校バリアフリー化等施設整備事業

3 借用校地の購入

財政負担の軽減及び学校施設の管理の安定化を図るため、地主の意向及び市の財政状況を踏まえながら、借用校地の購入を継続していく。

第5章 生涯学習を推進し、地域の教育力を

向上させるまちづくり



第1節 どこでも誰でも生涯学習ができるまちをつくる

重点目標

市民一人ひとりが生涯を通して心豊かで潤いと生きがいのある生活を送ることができる生涯学習社会の実現をめざし、社会教育施設の整備・充実、学習情報の収集と提供、相談体制の整備など、学習環境の整備に努めていく。

施策事業の概要

1 生涯学習の活動拠点の整備・充実

(1) 公民館・図書館など生涯学習関連施設の整備

身近な生活圏内で生涯学習の機会を提供できるよう、地域の生涯学習の拠点となる地域学校連携施設や公民館・図書館などの生涯学習関連施設整備・充実に努める。

(2) 公民館

ア 運営目標

(ア) 公民館は、地域の人々が共に学ぶ場を提供し、人と人が相互に影響し合うつながりを育み、地域の人や団体が主体となる地域づくりを支援する。

(イ) 公民館は、学習活動の場をととのえ、個人・地域・社会のニーズに応える学習プログラムを提供し、地域住民が生涯を通じて心身ともに健康で明るく豊かな生活を送る生涯学習社会を推進する。

イ 運営方針

(ア) 公民館は、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会全体でウェルビーイングを実現し、社会の持続的な発展に向けて事業を実施する。

(イ) 公民館は、地域住民が「つどい」「共に学び」「つながりを生む」場を提供するとともに、地域住民の参画を促進する。

(ウ) 公民館は、地域住民が地域及び社会課題に気づき、課題を共有し、ともに学び合い、課題解決へと向かうプロセスを大事にする。

(エ) 公民館は、中立性、公平性、多様性に最大限配慮し、誰でも公民館にアクセスでき、居場所となりうるオープンな環境を整える。

(オ) 公民館は、貴重なプラネタリウム施設を有していることからその特性を活かし、利活用の充実に図る。

(カ) 公民館は、市民に広く公民館を知ってもらうために、適切な情報発信を定期的に行う。

(キ) 公民館は、地域と協働するファシリテーターやコーディネーターの役割を担う職員を育成する。

ウ 公民館の利用

(ア) 利用できる人

原則、市内に在住、在勤、在学する個人及びサークル等の団体は利用できる。特定の営利事業、特定の政党の利害に関する事業、特定の宗教・教団を支援する事業等については、利用制限を設けている。

(イ) 利用の手続き

a 利用の申請は、利用する日の前月の初日から受け付ける。

- b 利用の変更又は取り消しは、利用する日の前日までに申請しなければならない。
 - c 利用許可を受けた者は、利用する日までに、使用料を納付又は利用料金を支払わなければならない。
 - d 利用許可を受けた者は、公民館の利用の権利を他に譲渡したり転貸したりしてはならない。
- (ウ) 利用の心得
- 利用者の遵守事項を守り、「来たときよりも美しく」を心がけること。
- (エ) 開館時間 午前9時～午後10時
- (オ) 休館日
- a 国民の祝日に関する法律第2条に定める国民の祝日
 - b 慰霊の日（6月23日）
 - c 年末年始（12月29日～翌年の1月3日）
 - d その他教育長が特に必要と認めた日

【公民館使用料（利用料金）一覧】

館名	区分	1時間の使用料(円) (利用料金)	
		室料	冷房料
中央公民館	ホール	930	300
	会議室	160	100
小禄南公民館	ホール	930	300
	中研修室	320	100
	視聴覚室	400	100
	和室	240	100
	小会議室A	240	100
	小会議室B	240	100
	児童図書室	160	100
	実習室	320	100
	団体連絡室	160	100
首里公民館	ホール	930	300
	視聴覚室	480	100
	会議室	480	100
	中会議室	320	100
	児童室	240	100
	展示室	930	300
	和室	400	100
	調理室	320	100
	団体室	160	100

館名	区分	1時間の使用料(円) (利用料金)	
		室料	冷房料
若狭公民館	ホール	930	300
	第1研修室	400	100
	第2研修室	240	100
	第3研修室	160	100
	実習室	240	100
	和室	320	100
石嶺公民館	ホール	930	300
	第1学習室	320	100
	第2学習室	320	100
	実習室	400	100
	和室	240	100
繁多川公民館	ホール	930	300
	研修室1	320	100
	研修室2	240	100
	和室	240	100
	実習室	400	100
牧志駅前ほし ぞら公民館	ホール	930	300
	第1学習室	400	100
	第2学習室	160	100
	第3学習室	160	100
	第4学習室	320	100
	実習室	240	100
	パソコン室	400	100
	工作室	320	100
	和室	240	100

エ 那覇市戦後80年の取り組みについて

令和7年度は各館において戦後80年に関連する講座や企画を実施する。

(3) 各地区公民館

ア 那覇市中央公民館

(ア) 沿革

当施設は、米国民政府が「那覇琉米文化会館」として、昭和44年7月に建設し、文化活動の場として市民に利用されてきたが、本土復帰と同時に日本政府に譲渡された。その後、昭和48年6月22日に那覇市へ譲渡され、那覇市企画部の所管のもと「那覇市文化センター」として活用されてきた。昭和50年8月1日に教育委員会へ移管され、1階に那覇市立図書館と那覇市立視聴覚ライブラリーが、2階に那覇市中央公民館がそれぞれ設置された。

平成10年度の第51回優良公民館表彰において文部大臣表彰を受けた。

(イ) 特色

中央公民館は那覇市の全公民館7館の統括を担いながら、地域の公民館として活動している。

毎年、中央図書館と連携して実施している「読み聞かせ養成講座」は、子供たちが絵本の楽しさを体験し、絵本に興味・関心を持てるよう、読み聞かせの基礎や方法を学び、受講後は地域の小学校や保育園などでの読み聞かせの実践につなげている。

長年、夏休みや冬休みなどの長期休暇中に「子どもの居場所」として公民館を開放している。令和6年度も令和5年度に引き続き、沖縄尚学高等学校・附属中学校書道部の生徒たちが先生となり、小学生に習字を教えた。また、利用団体の大人と子どもと一緒にニュースポーツを楽しんだり、単に子どもの居場所となるだけでなく、異世代交流の場にもなっており、地域活性化という意味においても重要な取組となっている。

令和3年度から、与儀公園の活性化を図る取組の一環として、毎年5月の節句を前に、公民館利用団体連絡協議会と一緒に鯉のぼりをガープ川に泳がせる事業を実施している。地域の方や子どもたちに、公園により親しみを感じてもらえるように、近隣のこども園や保育園の子どもたちの力作の手作り鯉のぼりも一緒に掲揚している。令和6年度も5つの近隣のこども園等にご協力いただき、多くの鯉のぼりで与儀公園が賑わった。

また、令和6年度は与儀公園を活用した講座を実施し、市民へ公園の認知、利用の幅を広げることができた。

今後も公園の傍にある公民館の特色を生かし、与儀公園を活用した講座や地域連携事業を実施することで、公園利用の幅を広げるとともに、地域コミュニティの活性化に寄与する。

イ 那覇市小禄南公民館

(ア) 沿革

建設の設計については一般公募（競技設計）方式を採用し、昭和56年9月24日に工事着工、昭和57年3月31日に竣工した。那覇市立としては、中央・久茂地に次ぐ3番目の公民館として、昭和57年5月14日に開館した。当施設は、旧小禄支所跡の丘陵地帯で小禄地区の南に位置し、その規模・設備等、当時としては最も進んだ近代的な公民館であった。経年劣化による老朽化に伴い令和6年度に外壁補修工事を行った。

平成6年度の第47回優良公民館表彰において、那覇市の公民館としては初めての文部大臣表彰を受けた。

平成28年度の第69回優良公民館表彰において文部科学大臣表彰を受けた。

(イ) 特色

小禄地域は、空港・奥武山公園・ショッピングセンターがあり、モノレールや路線バスなどの

交通網も整備された、生活しやすい地域である。

当館が事務局となっている「うるく地域づくり連絡協議会」は、健やかな青少年を育て、心豊かで明るく住みよい地域づくりをめざし、小禄地区自治会連合会をはじめ地域の諸団体と連携協力して事業・活動を展開している。地域学習会や親睦レク、小禄地区市民大運動会、うるく村あしびを開催し、地域の学校・PTA、自治会、青年会、婦人会及び老人会が世代を超えて楽しみながら交流を深めている。

昭和初期まで小禄地域で織られ沖縄戦以降その継承が絶たれていた小禄紺地（ウルククンジー）は、2006年度の成人講座をきっかけに研究会が発足し復活を遂げ、第76回沖展で入選するなど活発に活動している。

今後も地域の伝統や文化を意識した講座を企画し、地域連携により世代を超えた交流を深め文化の継承及び地域の活性化を図る。

ウ 那覇市首里公民館

(7) 沿革

「首里に公立公民館をつくろう」という地域の人々の要請を受け、旧首里バスターミナルであった市有地と周辺一部個人所有地を購入し、公民館建設のプランができ上がった。公民館の建築設計については、競技設計方式を採用し、昭和57年12月18日工事着工。昭和58年11月30日に開館式が行われた。施設は、首里城の北東に位置し、周辺一帯が史跡公園であることから、付近の景観と調和するように屋根全体を銅板で覆い、全体的に丸みをもたせた形になっている。

平成8年度の第49回優良公民館表彰において文部大臣表彰を受けた。

平成25年度の第66回優良公民館表彰において文部科学大臣表彰を受けた。

(4) 特色

当施設のある首里地域は、首里城をはじめ多くの史跡・拝所等が存在し、市民の歴史・文化に対する関心が高い地域である。

高齢者学級「守礼大学」では、王都首里にふさわしい御殿・殿内の屋敷跡や首里に多く存在する拝所の御獄、自然の景観を活かした名勝地など、首里の各地域を実際に歩いて観て回り、改めて各地の歴史や文化に触れる機会となっており、好評を得ている。

慰霊の日特別企画「平和朗読会」は、平成27年に朗読サークルの企画から始まったもので、高齢化で戦争体験者の声を聴く機会が少なくなっていく中、朗読と楽器演奏等により平和の大切さと命の尊さを広く市民に訴える内容となっている。また、公民館利用団体が学習の成果を地域に還元することができるという意味でも重要なイベントとなっている。

(7) 休館期間の対応

令和7年6月1日から令和8年6月30日（予定）までは改修工事のため休館する。

休館中も市民の学習ニーズや地域課題に応えるために、首里公民館周辺の施設（自治公民館等）にて、引き続き各種学級・講座等を開設する。

※工事の進捗状況により変更が生じる場合がある。

エ 那覇市若狭公民館

(7) 沿革

旧若狭市場跡に完成した当施設は、平成元年4月に公民館・図書館建設用地として、用度管財課から教育委員会へ移管され、建設について地域住民・利用団体からの意見、要望を聴取して平

成3年6月22日工事着工。平成4年3月19日に竣工した。施設は、若狭小学校、若狭海浜公園に近く、1階が図書館、2・3階が公民館で、地域住民の学習の場として那覇市内で5番目に誕生し、平成4年6月3日に開館した。

平成11年度の第52回優良公民館表彰において文部大臣表彰を受けた。

平成16年4月から平成22年3月まで非常勤館長を置き、平成22年4月から平成27年3月まで一部業務委託制度を採用。平成27年度から指定管理者制度を導入し、NPO法人地域サポートわかさが指定管理者となる。

平成21年度、平成23年度の第3回及び第4回全国公民館ホームページコンクールにおいて連続最優秀賞受賞。平成22年度の第3回全国公民館報コンクール、平成25年度の第5回全国公民館ホームページコンクールにおいて、優秀賞を受賞。平成27年度、第1回全国公民館インターネット活用コンクール最優秀賞受賞。平成28年度、第6回全国公民館報コンクールにおいて優良賞を受賞。平成29年度、第2回全国公民館インターネット活用コンクール最優秀賞受賞。平成29年度、第70回優良公民館表彰において最優秀館に選ばれる。平成30年度、第7回公民館報コンクールにおいて最優秀賞を受ける。令和元年度、第3回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて、最優秀賞を受ける。令和2年度、第8回全国公民館報コンクールにおいて銀賞を受ける。令和3年度、第4回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて金賞を受ける。令和4年度は、第9回全国公民館報コンクールにおいて銀賞を受けたほか、若狭公民館の取り組みが評価され、指定管理者 NPO 法人地域サポートわかさが、復帰50年記念「うちなー地域づくり大賞」において特別賞、2022年度国際交流基金地球市民賞、2022年度第45回琉球新報活動賞を受ける。令和5年度は、第5回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「金賞」を受け、5回連続の最高賞受賞となった。

(イ) 特色

若狭公民館は2つの中学校と4つの小学校が連携対象となっている。多くの史跡が点在する歴史豊かな地域である。その一方で、多くの在住外国人が就学・就業し、近隣に存在する「若狭バース」には多くのクルーズ船が寄港して県内観光への玄関口となっている。また、県内有数の歓楽街を有し、夜間保育園も多く存在している。

このような地域特性から、様々な背景を持つ人々に、幅広く情報を届けられるよう情報発進に力を入れている。紙媒体での「広報わかさ」の発行やインターネット（ホームページ、メールマガジン、各種SNSや動画配信等）の活用など発信方法を工夫している。

こうした情報発信活動をすることで、当館には地域の声や相談も多く寄せられる。地域の声から生まれた事業（朝食会/うみそら上映会/パーラー公民館など）、相談から生まれた事業（就学援助世帯及びひとり親世帯の児童生徒を対象とした無料英会話教室『ELIPO』/ジュニアジャズオーケストラおきなわ/地域部活動「アート部」/ネパール交流会）では外部団体・組織と連携して取り組んでいる。

また、防災への取り組みにも力を入れており、おもちゃの交換会と防災体験プログラムを組み合わせた「リッカ！ヤールーキャラバン！」や災害による避難を想定した「なは防災キャンプ」を季節ごとに行っている他、若狭児童館と連携した子どもの居場所事業やシニアの居場所「喫茶むすぶ」など各世代の居場所づくりに努めている。さらに、開館当初から続くイベントとして「若狭公民館まつり」、「若狭地域文化祭」があり、多くの地域住民や利用者の協力のもとで成り立つ恒例行事として親しまれている。

オ 那覇市石嶺公民館

(ア) 沿革

首里北地域の人々の強い要望により「社会教育施設整備計画」に基づく6番目の公民館として計画された当施設は、那覇市初の社会教育施設（公民館・図書館）と社会体育施設（温水プール・トレーニングルーム）の複合施設として、平成7年1月13日着工し、平成8年3月15日に竣工した。地下1階にプール・トレーニングルーム、1階に公民館・図書館、2階に公民館の施設が配置されている。建設計画時点から仮称として使用し、地域にも広く親しまれてきた「石嶺文化スポーツプラザ」を愛称として平成8年6月1日に開館した。

平成12年度の第53回優良公民館表彰において文部大臣表彰を受けた。

(イ) 特色

沖縄都市モノレール「ゆいレール」の延伸に伴い、地域住民が待ち望んでいた「石嶺駅」が令和元年10月1日に開通し、公民館への交通アクセスが大きく向上した。

また、王国時代の名家の別荘「御殿山」や「伊江御殿」等の指定文化財も多い地域であり、地域住民の歴史への関心も高く、史跡巡りや沖縄の歴史を学ぶ高齢者学級「ふくらしや大学」等の講座を開催している。

福祉のまちを標榜する石嶺地域として、子どもの居場所事業や、地域の若い世代を筆頭に開催した「子ども食堂」、フードドライブ事業を公民館で取り組んだ。

公民館と地域の交流を目的として開催している「新春もちつき交流会」には石嶺中学校校区成人式実行委員会の方々がボランティアとして参加することで、地域の一員としての自覚を促すきっかけにもなっている。

カ 那覇市繁多川公民館

(ア) 沿革

神応寺跡に7番目の公民館として完成した当施設は、繁多川・真地・識名地区の生涯学習の拠点、および真和志地域のまちづくりに関する拠点として、平成15年12月22日に建設が着手され、翌年の平成16年11月25日に竣工した。

施設は、地域の方々の参加により開催されたワークショップや、建設準備委員会からの要望を元に検討した結果、廊下と部屋との段差をなくしたユニバーサルデザインを採り入れたほか、雨水を溜めるタンクを設置する等、環境に配慮した施設となっている。

平成17年1月からの開館準備期間より、業務の一部をNPO法人なはまちづくりネットに委託し、平成17年4月1日に開館した。

平成22年度の第63回優良公民館表彰において文部科学大臣表彰を受けた。

平成26年4月から業務の一部を特定非営利活動法人1万人井戸端会議に委託した。

平成27年4月から特定非営利活動法人1万人井戸端会議が指定管理者となった。

令和元年度の第72回優良公民館表彰において文部科学大臣表彰と相互評価特別賞を受けた。

令和2年度の第8回「全国公民館報コンクール」にて、銀賞を受けた。

(イ) 特色

繁多川公民館は、琉球王朝時代の古都首里の南方の高台にあり、琉球王家最大の別邸である世界遺産名勝識名園があるなど歴史と文化の色濃い場所にある。この真和志の高台では豊富に湧き出る井泉を活かして、豆腐作りが盛んであったことから近隣小学校や地域の在来大豆栽培と豆腐作りの講座「あたいぐわプロジェクト」を開催しており、地域の誇りを育み地域がつながる

機会となっている。

地域の様々なプロジェクトを多世代で支える取り組みにも力を入れており、すぐれた経験、知識を地域に還元する人を認定し派遣する「すぐりむん認定」や地域の小・中・高校生を対象に、公民館や地域のボランティア活動を通して、多世代との関わりの中で社会性を育み・認められることで、子どもたちの自己肯定感の向上につながる機会となっている。また、こどもたち自身が、自分のやりたいこと・興味のあることにチャレンジできる機会をつくっている。時代を見つめ、ニーズに寄り添った事業を届けられるようコミュニティ支援「地域計画」も教育部会、福祉防災部会を組織し、地域住民とともに課題の抽出とアクションプランを考え実行している。

キ 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館

(ア) 沿革

那覇市牧志駅前ほしぞら公民館は、平成 23 年 7 月 8 日、那覇市久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における 12 階建て複合施設の 3 階に、牧志駅前ほしぞら図書館とともに設置された（1・2 階は商業・宿泊施設、4～12 階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成 21 年 11 月 9 日に着工し、平成 23 年 3 月 18 日に竣工した。

同館の前身である那覇市久茂地公民館の建物は元々、昭和 41 年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあつた。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和 54 年 4 月 1 日付けで那覇市に譲渡され、那覇市久茂地公民館として生まれ変わった。同館は、社会教育施設として広く市民に親しまれ、平成 9 年度の第 50 回優良公民館表彰において文部大臣表彰を受けた。その後、同館は施設の老朽化のため平成 23 年 4 月 30 日に休館した。なお、休館に際し、4 月 29 日・30 日にプラネタリウムの最終投影会を開催し、7 月 8 日付けで同館は廃止された。

平成 26 年度の第 67 回優良公民館表彰において文部科学大臣表彰を受けた。

(イ) 特色

牧志駅前ほしぞら公民館にはプラネタリウムが併設されており、保育園・こども園・小学校などへの団体投影や学校授業の内容に沿った学習投影、さらに音楽とのコラボなどの特別投影を行っている。これまで年間約 2 万人の観覧者が訪れており、牧志駅前ほしぞら公民館開館後、平成 27 年 9 月 5 日に累計 10 万人、令和 4 年 1 月 27 日には累計 20 万人を達成した。

令和 3 年度にはプロジェクターの入れ替えを実施し、星の光などがより正確に投影できるようになり、豊かな演出表現も行えるようになっている。

また、JAXA と協力した「宇宙の学校」や「星空案内人になろう」、「親子ほしぞら教室」など宇宙に関する講座を毎年開講しており、夏休みには、公民館のベランダから望遠鏡で惑星を見る「ほしぞら観望会」などのイベントを行っている。

当施設は、那覇市のメインストリート国際通りに立地する商業複合施設の中にあり、牧志駅や安里バス停、民間の駐車場とも隣接しており、特に交通アクセスに優れた公民館である。そのため、本館で活動するサークル数は県内一である。また、琉球大学のサテライト授業、那覇市主催の事業、毎年多くの人で賑わいをみせる「一万人のエイサー踊り隊」や「那覇大綱挽まつり」「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」の練習・控室としても利用されており、利用頻度の

非常に高い施設である。

今後、学校・地域・通り会など各種団体間の情報交流を深め連携を密にすることにより、住みよい地域づくりを目指す。

(ウ) プラネタリウム事業

プラネタリウムを青少年等の天文学習に活用し、宇宙の構造やその運動などをわかりやすく理解させ、自然科学的な思考力や洞察力を育成する。また沖縄ならではの星の呼び名や民話などを紹介することで、沖縄独自の星文化を学習する。そして、とにかく観望が困難になりがちな星空を再現することによって、星空の美しさを感じさせ、豊かな情緒を育む。

a プラネタリウムの特徴

- ・幼児向け投影、小・中・高校生向け学習投影、一般投影がある。
- ・プラネタリウムは様々な星空を投影することができ、普段では見ることのできない星座や惑星などを観望することができる。

b プラネタリウム投影計画

- ・対象：個人及び団体
- ・投影時間：(個人及び幼児以外の団体) 約 50 分、(幼児の団体) 約 40 分
- ・定員：84 人
- ・休演日：月曜日、火曜日
- ・休演期間：プラネタリウムの定期及び緊急メンテナンスに必要な期間
プラネタリウム番組の入れ替えに必要な期間
- ・プラネタリウム投影開始時間及び観覧対象者

①通常期

投影開始時刻	観 覧 対 象 者			
	水・木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前 10 時	団体	団体		
午後 1 時 30 分			個人 (幼児)	個人 (幼児)
午後 2 時	団体	団体		
午後 3 時			個人 (児童)	個人 (児童)
午後 4 時 30 分			個人 (一般)	
午後 6 時 30 分		個人 (一般)		

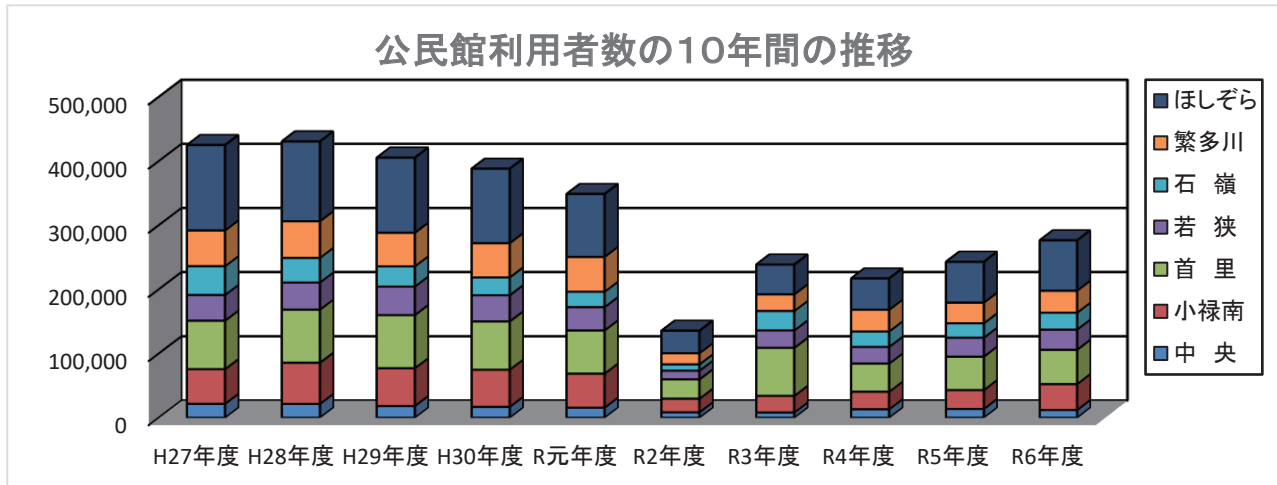
②那覇市立小中学校の夏休み・春休み・秋休み・冬休み期間

投影開始時刻	観 覧 対 象 者			
	水・木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前 10 時	団体	団体		
午前 11 時	団体	団体	団体 (幼児)	
午後 1 時 30 分			個人 (幼児)	個人 (幼児)
午後 2 時	団体	団体		
午後 3 時			個人 (児童)	個人 (児童)
午後 3 時 30 分	個人 (児童)	個人 (児童)		
午後 4 時 30 分			個人 (一般)	
午後 6 時 30 分		個人 (一般)		

※ 7 月 1 日から 7 月 20 日の期間は通常期だが午前 11 時の投影を追加で実施する。

【公民館利用者数】

(単位：人)



	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
中 央	21,734	21,570	18,333	16,982	15,808	8,507	8,215	13,311	13,714	12,132
小禄南	53,995	64,235	58,808	57,853	52,920	21,232	25,939	27,330	29,472	40,327
首 里	75,466	82,568	82,789	75,184	67,308	30,091	74,730	43,815	51,992	53,346
若 狭	40,093	42,331	44,391	40,798	36,270	13,460	27,187	25,944	29,559	31,839
石 嶺	44,738	38,335	31,455	27,759	23,921	9,839	30,297	24,029	22,381	29,873
繁多川	55,797	57,098	52,406	53,343	54,278	17,369	25,875	33,899	32,182	34,233
ほしぞら	133,200	124,544	117,144	116,222	98,098	35,025	46,337	48,691	63,585	86,297
計	425,023	430,681	405,326	388,141	348,603	135,523	238,580	217,019	242,885	288,047

【公民館における社会教育】

(単位：回、人)

	講座・事業名	年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		対象	講座等数	参加者数	講座等数	参加者数	講座等数	参加者数
青少年教育	①少年教室	小中学生	10(0)	1,345(0)	11(0)	403(0)	10(0)	1,017(0)
	②親子ふれあい教室	親 子	12(0)	386(0)	8(0)	397(0)	8(0)	317(0)
	③青年講座	青 年	6(0)	327(0)	8(0)	480(0)	6(0)	763(0)
	④放課後子ども教室	幼稚園～中学生	1(0)	568(0)	1(0)	816(0)	1(0)	1,152(0)
成人教育	①市民講座	市 民	12(0)	443(0)	12(0)	659(0)	21(2)	1,390(417)
	②成人講座	成 人	10(1)	684(220)	10(0)	405(43)	18(0)	765(0)
	③高齢者学級	高齢者	12(0)	818(0)	13(0)	812(0)	18(0)	1,156(0)
	④家庭教育学級	保護者	14(5)	1,196(393)	11(0)	1,222(0)	11(1)	790(11)
	⑤乳幼児学級	保護者	6(1)	274(42)	7(2)	433(62)	10(0)	415(0)
	⑥健康講座	市 民	2(0)	101(0)	2(0)	120(0)	2(0)	35(0)
プラネタリウム投影		市 民	456(0)	9,098(0)	616(0)	14,657(0)	495(0)	18,628(0)
地域連携事業（公民館まつり含）		市 民	46(2)	28,255(8,487)	53(3)	19,650(350)	64(1)	31,058(71)
地域学習支援事業（講師派遣）		地域団体	5(0)	302(0)	7(0)	404(0)	5(0)	371(0)

※（ ）はオンライン講座・事業の内数

(4) 図書館

ア 図書館の目的

図書館は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。

イ 施策事業

(ア) 外部評価

教育マネジメント、各種統計値、その他行事企画等の報告により、外部機関による評価を受け、図書館運営の改善を図る。

(イ) ボランティアとの連携

a おはなしボランティア養成講座を実施し、ボランティアの資質向上を図る。

b 市民との協働による図書館運営を目指し、おはなしボランティアや、図書館業務等のボランティアとの連携を図る。

(ロ) 図書館サービスの充実

中学生・高校生の図書館利用の推進、子育て世代や高齢者、障がい者へのサービスを拡充し、多様な年齢層の幅広いニーズに応えた図書館サービスの充実を図る。

ウ 主な図書館サービス

(ア) 資料の提供

一般書、児童書、郷土資料、行政資料、雑誌、視聴覚資料等を収集し、館外貸出及び館内閲覧による資料提供を行う。また、他市町村図書館等との相互貸借による資料提供を行う。

市立図書館（人材育成支援施設まーいまい Naha 図書室を含む）間において、どの図書館でも貸出・返却ができるようにする。また、各庁舎等にブックポストを設置して利便性の向上を図る。

(イ) 購入リクエスト・予約サービス

求める資料が館内で得られない時は、購入リクエストを受け付ける。

また、求める資料が貸出中の場合は、インターネット・館内検索機からも予約を受け付ける。

(ロ) 児童サービス及びY・A（ヤング・アダルト）サービス

各館に児童コーナー及びY・A（ヤング・アダルト）コーナーを設置し、各種児童書やY・A図書を配架する他、おはなし会の定期的な開催や、Y・A世代を対象とした取り組みを行う。

また、子ども連れの方も気軽に図書館を利用できるよう「赤ちゃんタイム」の取り組みを行う。

(エ) インターネット利用サービス

市民がインターネットを利用することができるように、各館にパソコンを設置する。

(オ) レファレンス（参考調査）サービス

市民の調査研究支援のため、求める資料の検索・紹介及び相談業務を行う。

(カ) 電子図書館サービス

インターネットを通じた、電子書籍の貸出サービスを行う。

(キ) 講座の開催や職場体験等の受け入れ

図書館の活用方法やお話ボランティアを養成するための講座等を開催する。

また、職場体験やインターンシップ等を積極的に受け入れて、社会的貢献を果たす。

(ク) 団体貸出サービス

保育所（園）、児童クラブ等へ団体貸出を行う。

(ケ) 高齢者や身体の不自由な方のためのサービス

拡大読書機を設置（中央図書館）、大活字本の収集に努め、高齢者や視覚障がい者等の利用促進

を図る。障がいなどで来館が困難な方の自宅へ配本のサービスを行う。

(コ) 有料配送サービス（中央図書館）

さまざまな理由で図書館に来館することが困難な方のために、配送費用を利用者負担によって図書館の本・雑誌を貸し出し、自宅へ郵送することで利便性を図る。

(ク) 16ミリフィルムや映写機、スクリーン等の貸出（中央図書館）

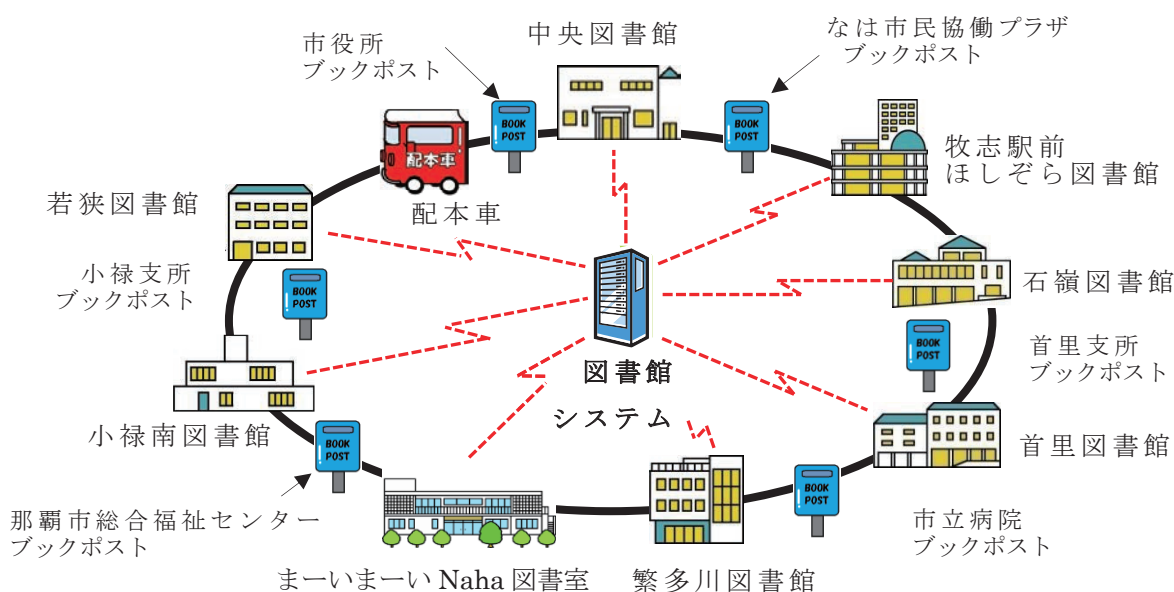
社会教育団体やこども園、小中学校、児童館、保育所(園)等を対象に貸出を行う。

【図書館サービス網】概略図

◎ 配本車（週3回、各図書館やブックポスト設置所を巡回）

・・・返却本の回収・配送、リクエスト本を各館に配送。

◎ コンピュータネットワーク網（図書館システムで各館を結ぶ）



エ 利用案内

(ア) 利用（貸出）できる方

a 個人・・・市内在住、在勤又は在学の方

（貸出期間は2週間（視聴覚資料は1週間）、電子図書館の貸出冊数は3冊以内）

b 団体・・・保育所（園）、児童クラブ等

（貸出期間は1か月、貸出冊数は100冊以内、電子図書館の利用不可）

(イ) 開館時間

平日	午前9時30分 ～ 午後7時
土曜日	午前9時30分 ～ 午後6時
日曜日	午前9時30分 ～ 午後5時（中央、繁多川は午後6時）

(ウ) 休館日

定例休館日	
（毎週月曜）中央、小禄南、若狭、石嶺	※月曜祝日の場合、翌日火曜も休館
（毎週金曜）牧志駅前ほしぞら、首里、繁多川	※金曜祝日の場合、前日木曜も休館
毎月第3水曜日（8月を除く）、国民の祝日（文化の日を除く）、慰霊の日、 年末年始（12月28日～翌年の1月4日）、特別整理期間（年間15日以内）	

オ 各館の概要

(ア) 中央図書館

a 沿革

「那覇琉米文化会館」が昭和 47 年の本土復帰に伴い、市に移管され「市立那覇文化センター」となる。昭和 50 年、所管が教育委員会となり、「那覇市立図書館」として開館した。

平成 8 年 3 月 16 日コンピュータシステムの導入で、市立図書館全館を結ぶコンピュータネットワークが完成された。インターネット、館内検索機からの予約（平成 19 年 4 月～）及び貸出延長（平成 25 年 1 月～）が可能となる（全館）。令和 4 年 3 月 3 日より、なはし電子図書館サービスを開始した。

b 特色

- ・郷土資料室を設け、郷土関係資料の検索及び参考業務に対応できる体制をとっている。
- ・大活字本や朗読CDを揃え、さらに拡大読書機を備え、目の不自由な方への資料提供に努めている。郷土新聞を製本し保存を行い、利用者の閲覧に備えている。
- ・市民の多種多様な質問に対応できる充実した資料や情報の収集・提供に努めている。
- ・社会教育団体、学校、児童館、保育所（園）等、館長が認める団体への視聴覚機器、教材等の貸出しを行っている。
- ・本を読むことが困難な方（視覚障がい者や発達・知的障がい者等）のためのデイジー図書を収集し、貸出しを行っている。また、デイジー図書視聴コーナーを設置し、館内でデイジー図書を視聴できるようにしている。
- ・「医療・健康コーナー」を常設し、予防医学や闘病記、疾患ごとの治療法などわかりやすく分類し配架している。
- ・毎週おはなし会を行い（第 1、2、3 週はボランティア、第 4 週は職員と連携）、児童サービスの充実を図っている。
- ・毎週土日は「図書館わいわいデー」「赤ちゃんタイム」という取組を行い、赤ちゃん連れや障がいのある方も気軽に図書館を利用できる雰囲気づくりに努めている。

(イ) 小禄南図書館

a 沿革

昭和 58 年 4 月 1 日、小禄南公民館との複合施設として設置された 2 番目の分館。同年 6 月 1 日開館。

平成 6 年 2 月 16 日からコンピュータシステムによる貸出しが開始された。平成 11 年に児童コーナーの側におはなしの部屋を増築した。

b 特色

- ・親子連れでの利用が多く、親子で利用できるおはなしの部屋（昼間）があり、おはなしボランティアと連携しながら、毎月第 2、4 土曜日におはなし会等を行っている。
- ・また夏休みには親子講座等を開催し、児童サービスの充実を図っている。
- ・子育てコーナーを設け、子育て応援や暮らしに役立つ資料を充実させている。
- ・公民館行事への参加を通して地域との連携を密にし、親しまれる図書館作りに努めている。

(ウ) 首里図書館

a 沿革

昭和 59 年 3 月 3 日に首里公民館との複合施設として開館した 3 番目の分館。

平成 5 年 2 月 16 日からコンピュータシステムによる貸出が開始された。

b 特色

- ・首里城に最も近い図書館として首里城に関する資料及び郷土資料の充実に努めている。
- ・おはなしボランティアと連携しながら、定例おはなし会（毎週土曜日）を実施し、児童サービスに努めている。

c 休館期間の対応

令和 7 年 6 月 1 日から令和 8 年 6 月 30 日（予定）までは改修工事のため休館する。

休館中、令和 7 年 7 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの間、城南小学校の地域連携室にて予約資料の受取スポットを開設する。

※工事の進捗状況により変更が生じる場合がある。

(エ) 若狭図書館

a 沿革

平成 3 年 11 月 1 日に若狭公民館との複合施設として設置された 4 番目の分館。平成 4 年 6 月 3 日に開館し、市立図書館として初めてコンピュータシステムが導入された。

b 特色

- ・窓が大きく開放的な館内には、琉球松の木製書架やイスが配置され、親しみやすく落ち着いた雰囲気。
- ・視聴覚コーナーを設置しており、館内で各種視聴覚ソフトが鑑賞できる。
- ・暮らしコーナーを設け、子育てや暮らしに役立つ資料を充実させている。
- ・毎月第 2、4 土曜日におはなし会を開催し、児童サービスに努めている。

(オ) 石嶺図書館

a 沿革

平成 8 年 6 月 1 日に石嶺公民館、那覇市民首里石嶺プールとの複合施設（石嶺文化スポーツプラザ）として設置。同日開館。

b 特色

- ・貸出資料の中でも、特に児童書、視聴覚ソフトの貸出が多い。
- ・視聴覚コーナーを設置し、館内で各種視聴覚ソフトを鑑賞できる。
- ・「暮らしコーナー」を設置している。
- ・毎月第 1、3 土曜日に定例おはなし会を実施し、児童サービスに努めている。

(カ) 繁多川図書館

a 沿革

平成 17 年 4 月 2 日に繁多川公民館との複合施設として開館した 6 番目の分館。

県内で初めてカウンター業務等を民間（NPO 法人）に委託。平成 23 年 4 月より、一般社団法人「沖縄県子どもの本研究会」に委託し、現在に至る。

平成 28 年 1 月 24 日 繁多川公民館・図書館開館 10 周年記念式典挙行。

b 特色

- ・視聴覚資料として、市立図書館では初めてDVDソフトの貸出しを行う。館内視聴も可。
- ・沖縄民謡と沖縄県内で活躍するアーティストのCDを数多く所蔵している。
- ・「暮らしのコーナー」を設置し、生活や仕事に直結した情報提供を行う。
- ・職員による定例おはなし会（子ども向け）の充実。
- ・ブックスタート関連事業として、平成 25 年度より 0 歳～2 歳の乳幼児を対象に「ぴよぴよおはなし会」を月 2 回定例化し、赤ちゃんが喜ぶ絵本の紹介や職員による赤ちゃん絵本の読み聞かせを行っている。令和元年度より「ぴよぴよおはなし会」を発展拡大し、毎週水曜日（第 3 水曜日を除く）に開催。就学前の子どもが、絵本に親しむ環境作りに努めている。
- ・小学校への出前読み聞かせや学校行事の中での読書活動を通して、ブックトークやアニメーションなどを取り入れた読書活動支援を行っている。

(キ) 牧志駅前ほしぞら図書館

a 沿革

平成 23 年 7 月 8 日、(旧) 久茂地図書館の機能移転先地として牧志・安里再開発地域の複合施設「さいおんスクエア」の 3 階フロアに設置された。

前身の久茂地図書館は、昭和 54 年旧少年会館が那覇市に移譲され久茂地公民館となった後、同施設の 4 階に昭和 56 年 5 月 18 日、分館第 1 号として開館。その後、施設の老朽化のため平成 23 年 3 月 31 日に休館し、同年 7 月 8 日付けで廃止された。

b 特色

- ・国際通りに位置し、商業施設、ホテルとの複合施設ということもあり、幅広い利用者層からのニーズに応えるべく、ビジネス、観光、郷土、子育て支援等、関係資料の充実に努めている。
- ・毎月第 1、2、3 日曜日におはなし会を開催。夏休みには児童を対象にした講座を実施するなど、児童が本に親しめる環境作りに努めている。
- ・崎間麗進氏から貴重な郷土関係図書の寄贈を受けたことに伴い、その資料をわかりやすいように一ヶ所に集め（崎間麗進氏寄贈図書）一般の利用に供している。
- ・平成 25 年 5 月 1 日より那覇市立病院との連携事業として、市立病院から寄贈された図書を「医療・健康情報」コーナーとして設置し、一般の利用に供している。
- ・同施設内に公民館が運営するプラネタリウムがあり、星や宇宙に関する資料を集め「ほしぞら」コーナーとして設置し、一般の利用に供している。

カ 令和 7 年度特別企画

各図書館で戦後 80 年や慰霊の日に関連する展示やおはなし会、講演会などを企画している。

【令和6年度 企画行事】



秋の読書週間展示 (牧志駅前ほしぞら図書館)



新春おはなし会 (繁多川図書館)



テレイドスコープを作ろう (中央図書館)



高校生ボランティアによる YA コーナーツアー (石嶺図書館)

【定例おはなし会日程】

内容：ボランティア又は職員によるおはなし会・折り紙・工作等

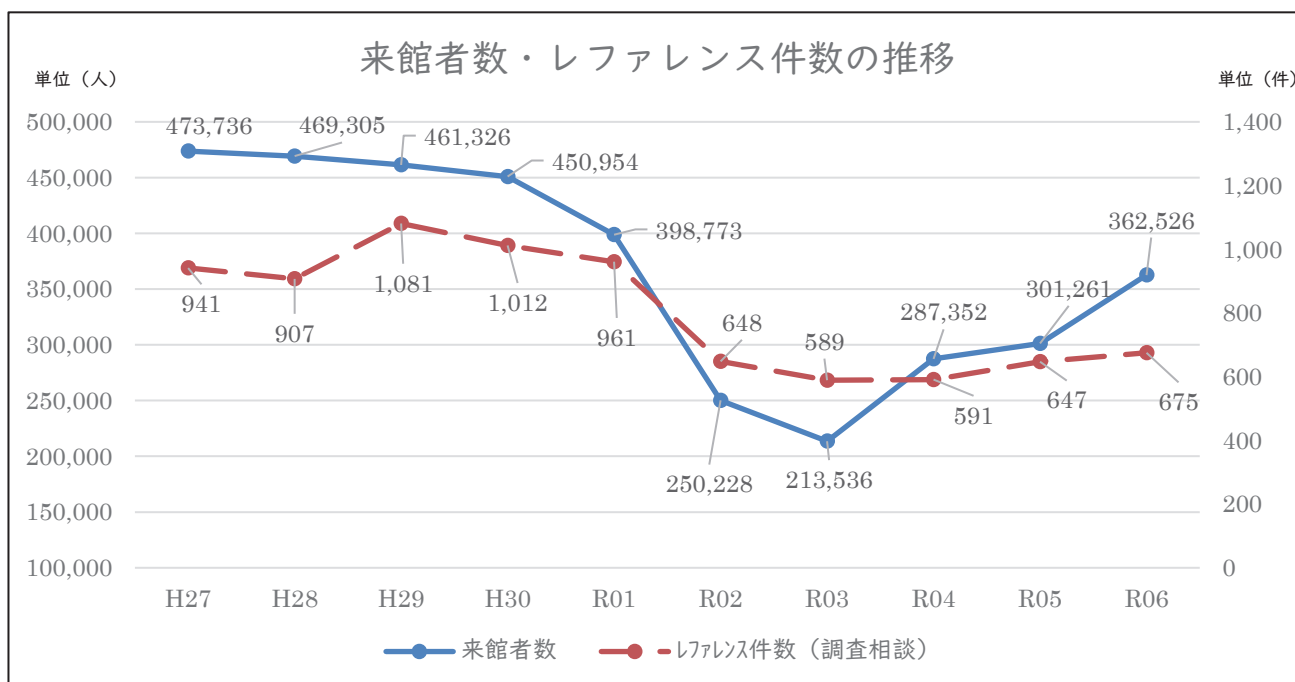
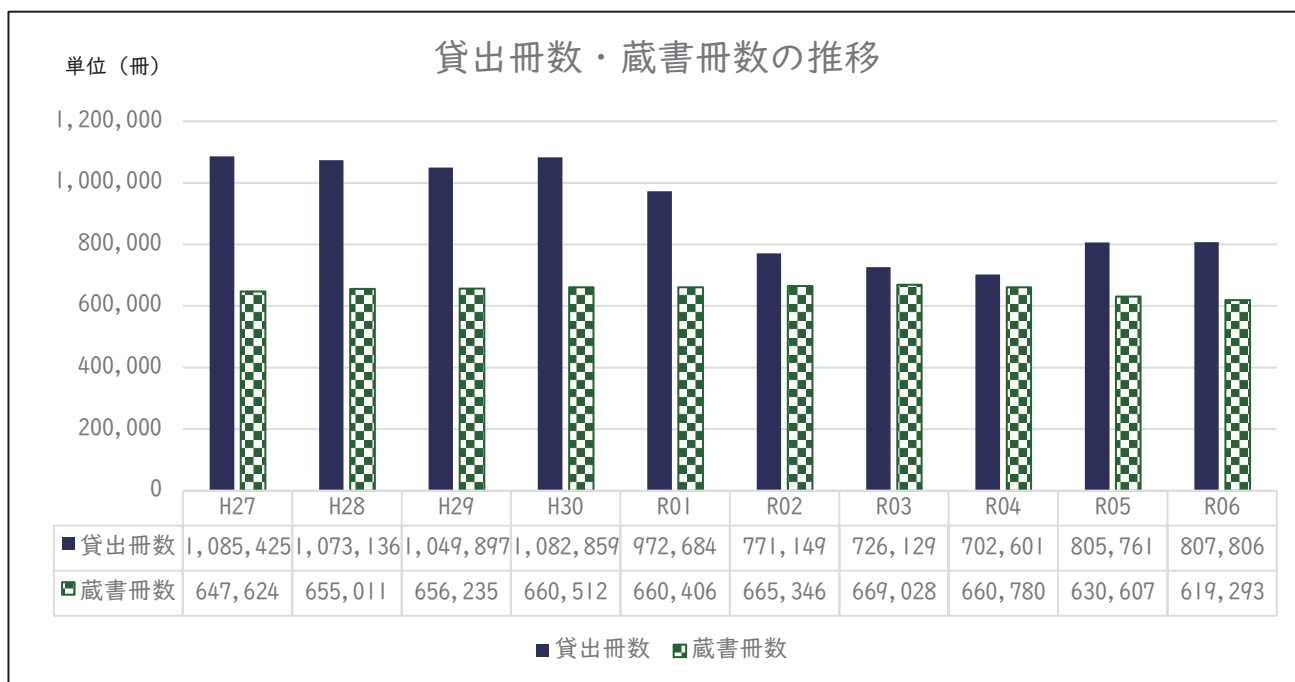
	日	時 間
中央図書館	第1 土曜日	午前10時30分～午前11時
	第2・4 日曜日	午前10時30分～午前11時
	第3 土曜日	午後2時～午後2時30分
牧志駅前ほしぞら図書館	第1・2・3 日曜日	午前11時～午前11時30分
小禄南図書館	第2・4 土曜日	午前10時～午前10時30分
首里図書館	毎週 土曜日	午前11時～午前11時30分
若狭図書館	第2・4 土曜日	午前11時～午前11時30分
石嶺図書館	第1・3 土曜日	午前10時30分～午前11時
繁多川図書館	毎週水曜日(第3水曜日を除く)	午前10時～午前12時
	第2・4 土曜日	午前11時～午前11時30分

令和6年度那覇市立図書館利用状況（対前年度比較）

館 名	貸出冊数			蔵書数			来館者数		
	令和 5年度	令和 6年度	前年度比	令和 5年度	令和 6年度	前年度比	令和 5年度	令和 6年度	前年度比
中央図書館	130,723	132,506	101.4%	148,741	134,939	90.7%	52,267	54,293	103.9%
牧志駅前ほし ぞら図書館	161,879	168,558	104.1%	104,131	98,565	94.7%	74,956	109,778	146.5%
小禄南図書館	159,508	153,520	96.2%	87,355	87,909	100.6%	47,206	43,507	92.2%
首里図書館	99,043	102,262	103.3%	79,416	77,915	98.1%	35,569	42,527	119.6%
若狭図書館	62,723	66,029	105.3%	70,567	73,570	104.3%	29,122	33,666	115.6%
石嶺図書館	115,848	110,062	95.0%	74,401	76,738	103.1%	37,787	46,012	121.8%
繁多川図書館	76,037	74,869	98.5%	65,996	69,657	105.5%	24,354	32,743	134.4%
全館計	805,761	807,806	100.3%	630,607	619,293	98.2%	301,261	362,526	120.3%

貸出冊数・蔵書冊数・来館者数・レファレンス（調査相談）件数の10年間の推移

	貸出冊数 （市民一人あたり）	蔵書冊数 （市民一人あたり）	来館者数	レファレンス件数 （調査相談）
H27	1,085,425（ 3.36 ）	647,624（ 2.00 ）	473,736	941
H28	1,073,136（ 3.32 ）	655,011（ 2.03 ）	469,305	907
H29	1,049,897（ 3.26 ）	656,235（ 2.04 ）	461,326	1,081
H30	1,082,859（ 3.37 ）	660,512（ 2.06 ）	450,954	1,012
R01	972,684（ 3.03 ）	660,406（ 2.06 ）	398,773	961
R02	771,149（ 2.42 ）	665,346（ 2.09 ）	250,228	648
R03	726,129（ 2.29 ）	669,028（ 2.11 ）	213,536	589
R04	702,601（ 2.29 ）	660,780（ 2.09 ）	287,352	591
R05	805,761（ 2.57 ）	630,607（ 2.01 ）	301,261	647
R06	807,806（ 2.59 ）	619,293（ 1.98 ）	362,526	675



(5) 人材育成支援センターまーいまい Naha

ア 運営目標

沖縄振興や観光振興などに役立つ人材の育成を図るとともに、市民の学習・交流活動を支援するための拠点施設となることを目指す。「人材育成機能」、「ライブラリー機能」、「コミュニティ機能」を備えた施設として運営する。

イ 沿革

人材育成支援センターまーいまい Naha は、平成 25 年 7 月策定の「那覇市人材育成施設（社会教育施設等）整備基本構想」の考えに基づき、真和志南地区に整備し、平成 30 年 8 月 21 日に工事着工。令和元年 11 月 8 日に竣工した。1 階に図書室や会議室等、2 階にホールや研修室等を備えた那覇市初の人材育成支援施設として整備し、令和 2 年 4 月 1 日に設置した（4 月 1 日、図書室以外の施設を先行開館。4 月 5 日、開館式を実施し、図書室も開室。）。

ウ 運営方針

(7) 人材育成機能

人材育成支援センターまーいまい Naha は、各種講座の開催や商用利用を含めた市民（企業等を含む）への施設の提供を通じ、国際化などの社会情勢に柔軟に対応できる人材の育成を図る。

a 主催講座の実施

- ・語学習得関連講座
- ・国際相互理解増進に関する講座
- ・独自文化継承・発信に関する講座
- ・市民の学習・交流等の促進に関する講座

b 商用利用を含めた市民（企業等を含む）への施設の提供

- ・各種サークル活動や地域活動等の利用
- ・企業や法人等の研修や会議、異業種交流会等の商用利用
- ・市民の学習・交流イベント、産業振興等に資するイベント等の利用

(4) ライブラリー機能

郷土、観光・経済、語学など特色ある専門性の高い図書資料等を中心に整備し、国際的に通用する人材の育成と国際相互理解を目的とした図書サービスの提供をおこなう。また、市内における市立図書館との連携を図ることで、市民の利便性を高める。

a 特色のある蔵書構成

- ・郷土、観光・経済、語学、国際相互理解、国際交流、留学情報等、専門性の高い図書・AVコンテンツ等の整備

b 国際相互理解・交流

- ・幼児期からの国際相互理解を念頭に置いた外国語絵本、洋書等の充実と、関連行事の実施

c 地域への図書サービス

- ・図書資料の貸出・閲覧、レファレンスサービス、おはなし会等、本市の市立図書館と同水準程度のサービスの提供

(5) コミュニティ機能

人材育成支援センターまーいまい Naha は、市民と外国人との交流、地域関係団体との連携による地域づくり活動の促進や市民の学習・交流活動の支援を行い、地域コミュニティづくりに寄与する。

a 市民と外国人との交流機会の提供による国際相互理解促進

- b センター利用団体や各種地域団体（まちづくり協議会・自治会・PTA・子ども会・青年団・婦人会・老人会等）、NPO、関係機関等との連携による地域づくり活動の促進
- c 地域関連講座、ビジネス関連講座、IT活用講座、公民館類似講座など、市民の学習・交流活動を支援する各種講座の開催を通じた、地域人材の発掘・育成と協働関係づくり

エ 施設の利用

(ア) 会議室等の利用

原則、市内に在住、在勤、在学する個人、サークル等の団体及び企業・法人等は商用利用を含め利用できる。

a 会議室等の利用手続き

- ・ 利用の申請は、利用する日の前月の初日から受け付ける。
- ・ 利用の変更又は取り消しは、利用する日の前日までに申請しなければならない。
- ・ 利用許可を受けた者は、利用する際、使用料を納付しなければならない。
- ・ 利用許可を受けた者は、人材育成支援センターまーいまーい Naha の利用の権利を他に譲渡したり転貸してはならない。

b 開館時間 午前9時 ～ 午後10時

c 休館日 国民の祝日に関する法律第2条に定める国民の祝日、慰霊の日（6月23日）、年末年始（12月29日～翌年の1月3日）

(イ) 図書室の利用（貸出）

a 原則、市内に在住、在勤、在学する個人、市内の事業所、機関又は団体等

b 開室時間

曜日	開 室 時 間
月～木	午前10時 ～ 午後7時30分
土	〃 ～ 午後6時30分
日	〃 ～ 午後5時30分

c 休室日

毎週金曜日（金曜日が祝日にあたる場合は、前日の木曜日も休室）、毎月第3水曜日、国民の祝日に関する法律第3条に定める休日（文化の日を除く）、慰霊の日（6月23日）、年末年始（12月28日～翌年の1月4日）、特別整理期間（年間15日以内）

【人材育成支援センターまーいまいいNaha使用料一覧】

区分	部屋名	1時間の使用料(円)	
		室料	冷房料
通常料金	会議室	1,200	100
	調理実習室	1,200	100
	和室	1,200	100
	ホール	4,650	300
	スタジオ	1,200	100
	研修室	1,600	100
	学習室	800	100
	講師控室	500	100
10分の5減免 (本市共催及び 営利の高校生以下・65歳 以上・障がい者の団体)	会議室	600	100
	調理実習室	600	100
	和室	600	100
	ホール	2,320	300
	スタジオ	600	100
	研修室	800	100
	学習室	400	100
	講師控室	250	100
区分	部屋名	1時間の使用料(円)	
		室料	冷房料
10分の8減免 (非営利のサークル活動等)	会議室	240	100
	調理実習室	240	100
	和室	240	100
	ホール	930	300
	スタジオ	240	100
	研修室	320	100
	学習室	160	100
	講師控室	100	100
10分の9減免 (非営利の65歳以上・障がい者の団体)	会議室	120	100
	調理実習室	120	100
	和室	120	100
	ホール	460	300
	スタジオ	120	100
	研修室	160	100
	学習室	80	100
	講師控室	50	100

※本市主催、公共団体または公共的団体、非営利の高校生以下の団体の利用については全額免除

【図書室の定例おはなし会】

団体名	曜日	時間
NPO 法人 沖縄児童英語研究会 (OASTEC)	毎月第3土曜日	午前10時30分～午前11時
読み聞かせボランティア すみれの会	毎月第4土曜日	午前10時30分～午前11時

※臨時的に曜日、時間を変更する場合がある。

【会議室等の利用者数】

(単位：人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3,483	2,872	13,742	17,073	23,302

※令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響による臨時休館や利用制限を行った（令和4年度は利用制限のみ）。

【図書室の利用状況】

	貸出冊数（冊）	蔵書数（冊）	来室者数（人）	レファレンス件数 （調査相談）
令和2年度（※1）	20,481	15,503	13,496	15
令和3年度（※1）	27,085	17,206	12,387	8
令和4年度（※2）	30,970	18,909	20,905	6
令和5年度	39,542	20,710	25,990	7
令和6年度	39,959	22,621	29,946	8

※1 令和2、3年度は、新型コロナウイルスの影響による臨時休館や利用制限を行った。

※2 令和4年度は、図書館システム障害の影響による貸出制限を行った。

【各種講座、おはなし会など】

(単位：回、人)

事業名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
委託講座(外国語) (※1)	33	438	73	1,049	78	933 (176)	75	1,072 (169)	75	722 (116)
直営講座(※2)	31	—	80 (77)	52 (—)	28 (1)	372 (—)	15	247	31	294
直営講座(沖縄大学連携)(※2)	1	—	2 (2)	— (—)	3	30	14	285	13	281
定例おはなし会	—	—	—	—	—	—	19	173	18	97
特別おはなし会	—	—	1	44	4	107	5	169	7	235
各種行事(交流会、フェスティバル)	—	—	—	—	2	約1,050	2	約1,250	2	約1,400

※1 令和2、3年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンライン講座として実施した。

令和4、5年度は、対面講座として実施したが、オンラインでの受講も可とした。()内はオンライン参加者数であり、内数である。

令和6年度から沖縄振興特別推進交付金を活用して実施。

※2 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により動画配信にて実施のため、参加者数は「—」としている。

令和3、4年度の()内は、新型コロナウイルスの影響により動画配信にて実施した分であり、内数である。

2 生涯学習関連事業の充実

(1) 生涯学習に関する計画の整備

ア 那覇市生涯学習推進計画

令和6年度に策定した第3次那覇市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習に関する施策を推進する。

イ 那覇市子どもの読書活動推進計画

子どもたちの読書環境を計画的に整備し、発達段階に応じた読書活動を推進するため、令和5年度に策定した第4次那覇市子どもの読書活動推進計画に基づき、本市の子どもの読書活動を推進する。

ウ な一ふあぬわらび・わかむん計画(那覇市子ども・若者計画)

子ども・若者育成支援推進法に基づく「市町村子ども・若者計画」として第2次な一ふあぬわらび・わかむん計画を令和3年度に策定。本計画に基づき、子ども・若者育成施策を推進する。

(2) 生涯学習に関する審議会等の開催

ア 生涯学習推進協議会

学識経験者、関係団体の代表等による那覇市生涯学習推進協議会を開催し、生涯学習推進施策に関する調査審議等を行う。

イ 社会教育委員の会議

社会教育行政に広く地域の意見等を反映させるため、社会教育法に基づき、社会教育委員の会議を開催し、社会教育に関する重要事項に関する審議等を行う。

ウ 青少年問題協議会

地方青少年問題協議会法に基づく条例で設置された協議会で、青少年に関する総合的施策の重要事項を調査審議することや関係行政機関の相互連絡調整を図る。

(3) 生涯学習情報提供システムの整備

市民の多種多様な学習ニーズに的確に対応し支援するため、必要な学習情報を収集・整理し、インターネットを利用した生涯学習情報を提供する。那覇市では「あけもどろネット」の中で、市内の各施設で開催されるイベント・講座情報を掲載した「生涯学習メニュー」や生涯学習出前講座の情報などを提供している。（生涯学習メニューブックとして冊子でも配布予定）

【あけもどろネット】

<https://www.city.naha.okinawa.jp/child/education/kyouikusyougaiakus/akemodoro.html>

また、沖縄県の生涯学習情報提供システム（まなびネットおきなわ）の構築に伴い、全県的な情報の提供が可能になったことから、那覇市の生涯学習情報を同システムへ提供することにより、一層の生涯学習の振興に寄与する。

【まなびネットおきなわ】 <https://www.lll-okinawa.info/>

(4) 社会教育関係団体の育成・支援

那覇市PTA連合会や那覇市女性連合会、那覇市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体及び各種学習グループ等を支援し、その自主的な運営を促進するとともに、相互の連携強化を図る。また、市民による地域づくり活動の充実強化を図るための指導者情報の収集及び提供を行う。

(5) 那覇市社会教育功労者等表彰

那覇市における社会教育活動を推進するため、多年にわたり社会教育の普及または振興に功績のあった個人及び団体を表彰する。日頃の優れた社会教育実践活動を市民に広め、さらに今後の本市の社会教育の発展を図る。

(6) 各種団体との連携による生涯学習関連事業の充実

ア 那覇市子育て支援ブックスタート事業

絵本を介して親子の触れ合いを高め、親がゆとりを持ち安心して子育てができることにより、赤ちゃんの心と体が豊かに育つことを目的に実施している。事業の実施にあたり、地域保健課、こども教育保育課、市立図書館と連携し、那覇市ともかぜ振興会館での乳児健診（9～11ヶ月）の会場で、直接赤ちゃんと保護者へ、読み聞かせのアドバイスと絵本のプレゼントを行っている。

イ 那覇市森の家みんな管理運営事業（平成18年度より指定管理者制度導入）

森の家みんなは、那覇市内に残された自然を活かし、子どもたちが自然体験・社会体験活動を行うための宿泊研修施設として平成14年に末吉公園内にオープン、供用開始された。

「親子で森の遠足」や、夏休み特別企画「キッズマンデープロジェクト」等、末吉の森を有効活用した各種事業を展開しており、自然に親しみ、自然に学ぶといった、五感を使った体験を通し、利用する子ども達が自然を大切にすることを育むようになることが期待できる本施設の活用を促進を図る。

- ・対象者 子どものグループ（引率者が必要）又は青少年育成関係者で8人以上の団体
- ・利用時間 午前9時～午後9時まで 要予約（問合せ 午前9時～午後6時の間）
- ・休館日 毎週火曜日と年末年始（12月29日～翌年の1月3日）、旧盆3日間
- ・HPアドレス <https://minmin-naha.com>

森の家みんな利用人数（延べ人数）

年度	宿泊利用人数（延べ）	日帰り利用人数（延べ）	利用人数（延べ）
令和4年度	317 人	2,237 人	2,554 人
令和5年度	1,024 人	2,819 人	3,843 人
令和6年度	1,047 人	2,627 人	3,674 人

ウ 青少年交流推進事業（津波避難ビル内）

那覇市津波避難ビル3階「青少年わいわい広場」の平常時の活用として、青少年を対象に無料で交流の場（学習スペース、レクリエーションルーム、ダンスルーム、音楽スタジオ、ミーティングルーム）の提供や、青少年団体に無償で伝統芸能楽器（三線、太鼓、パーランクー等）の貸出しを行い、交流・居場所づくりを通して青少年の健全育成を図る。

【利用時間】

曜日	利用時間
月曜日～金曜日（水曜日を除く）	午後1時～午後7時
学校休業日の月曜日～金曜日（水曜日を除く） （春季・夏季・秋季・冬季）	午前9時～午後7時
土曜日・日曜日	午前9時～午後5時

【休業日】 毎週水曜日、祝日、慰霊の日、年末年始（12月29日～翌年の1月3日）

【利用延べ人数】

年度	利用延べ人数
令和4年度	8,500 人
令和5年度	10,969 人
令和6年度	13,155 人

（7）生涯学習を支える人材の育成

ア 専門知識を有する人材の育成

社会教育行政職員及び生涯学習関係職員の研修の充実に努めるとともに、NPOや地域団体等と生涯学習関係職員との相互交流、意見交換の場の確保等により、生涯学習を支える人材の育成に努める。

イ ボランティア活動の支援

ボランティア活動を支援するために、NPO団体等から必要な情報を収集して、積極的に市民へ提供するよう努める。

3 地域コミュニティ活動の充実

（1）自治公民館

ア 概要

自治公民館では、地域住民による自主的な学習活動や伝統行事（祭事など）等が催されているが、教育委員会事務局及び市内に設置された7館の公立公民館との関わりを大切にして、新たなコミュニティ形成に取り組んでいる。

イ 自治公民館講座の沿革

(ア) 昭和 40 年 12 月 25 日那覇教育区教育委員会は「那覇教育区公民館の設置及び管理に関する規則」(規則第 32 号)を制定し同規則に基づき、18 館の自治公民館を選び那覇教育区公民館として指定した。これにより、那覇教育区教育委員会の主催事業及び補助事業として、学級や講座が開設され、公民館活動が展開された。

(イ) 昭和 47 年 5 月 15 日の日本復帰に伴って、18 館の那覇教育区公民館は、社会教育法の適用により、公民館類似施設として位置づけられ、那覇市教育委員会の補助を受けて自治公民館講座を開設。地域住民の趣味・教養・健康に関する学習、地域課題に関する学習の他、地域コミュニティの活性化につながる様々な学習活動が行われた。

(2) 地域と地区公民館の連携

ア 中央公民館は、与儀小学校区全域を対象とし、その住民(在勤者を含む)をもって構成する「那覇市与儀小学校区まちづくり協議会」と連携し、協議会の目的である「住民主体の活動を通じて交流を深めながら、地域の課題に地域が一体となって取り組み、楽しくつながって安心・安全で住みよいまちづくりの推進を図る」ための行事等に参加している。

イ 小禄南公民館は、小禄地区自治会連合会や小禄地区老人クラブ連合会、小禄・垣花小中学校PTA連絡協議会他 20 団体で構成されている「うるく地域づくり連絡協議会」と連携し、小禄地域における伝統文化の継承及び復活を図り、地域住民の福祉と相互の親睦を図るための行事等で連携を行っている。

ウ 首里公民館と石嶺公民館は、「より住みよい町にするための首里ネットワーク」の事務局を輪番制で担当し、首里地区にある施設・機関がお互いの情報交換や連携を図ることにより、地域住民に対するサービスの向上及び地域活性化を図るための協議会を開催している。

エ 繁多川公民館に、真和志自治会長連絡協議会の下部組織である「真和志地区地域活性化委員会」の事務局が設置され、真和志地区の教育力の向上を図るとともに、青少年健全育成、地域の後継者育成、高齢者の生きがいづくり等の事業を通して連携を行っている。

オ 繁多川公民館に、「識名園友遊会実行委員会」の事務局が設置され、世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を主会場とし、青少年団体等による伝統芸能の発表で構成する識名園友遊会の開催を通して地域連携を行っている。

カ 校区まちづくり協議会の設立やその活動を支援し、自治会やPT(C)A及び地域で活動する個人・企業等と連携して地域コミュニティの活性化を図る。

キ 若狭公民館は、若狭・曙・天妃・那覇の各小学校区まちづくり協議会との連携、また地域在住外国人と地域住民の交流創出の場として、地域コミュニティの形成及び生き甲斐づくりに取り組んでいる。

4 地域との連携による青少年健全育成

(1) 那覇市青少年健全育成市民会議との連携

那覇市青少年健全育成市民会議は、昭和 56 年 7 月 29 日に結成され、市の青少年健全育成施策と呼応して、次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的とした組織である。

本市から団体補助金を交付するとともに、連携しながら活動を支援する。

ア 那覇市少年の主張大会

中学生が、日常生活を通じて日頃考えていることについて、中学生らしい自由にユニークな発想を飾り気のない言葉で発表する大会。広く社会に訴えることにより、中学生に社会の一員としての自覚を促すと共に、少年の健全育成に対する一般の理解と協力を深める契機にすることを目的として実施している。



イ 那覇市少年自然体験

那覇市立森の家みんなでの自然体験学習。児童生徒が、森の家みんなでの交流・自然体験を通して視野を広げ、リーダーとしての資質を育むことにより、地域社会に貢献する青少年の育成を図る。



ウ 青少年健全育成綱引き大会

余暇の有意義活用として、運動することによって健康な心身を育み、小学生・中学生・大人と異年齢が交わるチームを構成して参加することにより、縦・横のふれあい、つながりをつくる機会とし、各中学校区青少年健全育成協議会の親善を図る。



エ 早くお家へ帰ろう「Go家運動の推進」

子どもたちの深夜徘徊防止と健全育成を目的とし早くお家へ帰ろう「Go家（ゴーヤー）運動」を展開している。

沖縄の言葉で「家」のことを「ヤー」と言い、その言葉に英語のGO（ゴー）「行く」をかけて「Go家（ゴーヤー）（お家へ帰ろう）」と呼びかけることで子どもたちを事件事故から守ることを目的に、深夜徘徊防止の「Go家運動」を推進している。



(2) なは青年祭の支援

那覇青年育成連合会が主催する「なは青年祭」へ補助金を交付するなど、開催に向けた支援を行う。なは青年祭を通して、市内の青年団体等の連携が図られ、人材育成に寄与し地域活性化の取組に発展することを目的としている。



(3) 各中校区はたちの記念式典の支援

二十歳の節目を祝福・激励するとともに、社会人としての責任と義務についての自覚を促し、かつ地域活動への参加を奨励するため、地域で自主的に行っている式典開催を支援する。

また、今後のより良い式典を考える機会とし、地域協働に寄与する取り組みの継続発展となるよう「はたちの記念式典パネル展」を開催する。



(4) 善行青少年並びに青少年育成功労者表彰

「なは教育の日式典」において、善行青少年並びに青少年育成功労者を表彰し、広くその功績を讃えることで、明るい社会づくりに貢献する人材を育成する。

第2節 どこでも誰でも生涯スポーツができるまちをつくる

重点目標

本市では「どこでも誰でも生涯スポーツができるまち NAHA」を目指す将来像に掲げた「那覇市スポーツ推進計画」を2019年（平成31年）3月に策定した。

市民一人ひとりが、それぞれのライフスタイルに合わせ、生涯にわたって、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができるように、「市民のライフステージに合わせたスポーツ・レクリエーションの推進」、「身近でスポーツ・レクリエーションができる環境の整備・充実」、「行政、学校、地域、企業、スポーツ団体等との連携・協働推進」などに取り組み、「生涯スポーツ社会」の実現を目指す。

施策事業の概要

1 身近でスポーツ・レクリエーションができる環境の整備・充実

（1）スポーツ推進委員による地域スポーツ教室の開催

地域住民の生涯スポーツの振興と地域のコミュニティづくりに繋がることを目的として、那覇市スポーツ推進委員が主体となって実施している。

（2）那覇市体育施設、那覇市営奥武山体育施設

那覇市体育施設（那覇市民体育館、那覇市民首里石嶺プール、漫湖公園市民庭球場）や那覇市営奥武山体育施設（那覇市営奥武山野球場、那覇市営奥武山屋内運動場、那覇市営奥武山トレーニング室）の整備により、市民のニーズに応えるスポーツ教室・各種スポーツ大会の開催やプロ野球観戦、スポーツ・レクリエーション活動の場として、健康づくり・体力づくり等の拠点施設としての充実が図られている。

2 市民のライフステージに合わせたスポーツ・レクリエーションの推進

（1）各種事業の展開

ウォーキング大会、体力測定会等のスポーツイベントを開催し、市民がスポーツやレクリエーションを楽しみながら体力の向上を図る機会を設けている。また、地域スポーツ教室の開催やレクリエーション活動への指導員派遣を行い、あらゆる世代で生涯スポーツに親しむ機会を提供している。

種目別・世代層・技術の修得レベルや体力レベルに対応した競技大会及びスポーツ教室の開催やレクリエーション活動を展開し、市民がそれぞれのライフスタイルに合わせ、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう環境を整える。



ひやみからせはウォーク 2024

3 人材育成と指導者の確保

（1）人材育成

ア スポーツ推進委員の強化

関係団体等との連携・協力を図りながら、地域でのスポーツ振興を推進するとともに、推進役を担うスポーツ推進委員の発掘、育成、支援を行う。

イ スポーツ専門指導員派遣事業

本市の児童・生徒の体力・運動能力の向上、トップレベルのスポーツを体感できる機会の拡充を図るため、技術及び指導力に優れた指導者を「スポーツ専門指導員」として派遣している。

ウ 児童生徒のスポーツ県外派遣補助

本市在住の小学生・中学生が、学校教育活動外のスポーツ活動に参加するため、県外で開催されるスポーツ大会に県または本市の代表として派遣される場合に、その経費（航空運賃・宿泊料）の一部を補助し、児童生徒の競技力の向上と育成を図る。

エ「那覇市スポーツ少年団」への支援

那覇市体育協会のもとで青少年健全育成を図るため、学校をはじめ、地域の指導者や関係部署、関係団体等と連携を取り、児童・生徒のスポーツ・レクリエーション活動を地域で支えることを目的に「那覇市スポーツ少年団」の運営を支援する。

令和6年度実績、125団、団員3431人、指導者238人が活動している。

(2) 競技力向上及び指導者の育成・確保

ア 那覇市体育協会事業への補助

市民のスポーツ活動の推進、各競技団体の市民スポーツ大会の開催、沖縄県民体育大会への選手派遣、各競技団体の競技力向上、スポーツ少年団の育成など、那覇市体育協会の事業に対し補助を行っている。

イ 競技指導者の育成

那覇市体育協会等を通じ、各競技団体における指導者養成の取り組みを奨励するとともに、指導者資格取得についての啓発や情報提供を行いながら、質の高い指導者の育成・確保を図る。

4 地域、学校、企業、スポーツ団体等との連携・協働推進

今後も学校や社会教育団体及び指導者組織等とのネットワーク化を推進し、各組織の専門性を活かせる体制づくりの構築に努めるとともに、スポーツ事業の効果的な展開を図るため地域や関係部署関係団体との緊密な連携・協力関係を強化する。

(1) NAHAマラソンの実施に伴う関係団体との連携・協力

本市では、企業と連携・協力し、「NAHAマラソン」を開催している。市民スポーツ課においては、競技部会として「NAHAマラソン」の運営に携わっており、各関係団体と連携・協力しながら実施している。

(2) ウォーキング推進事業の実施に伴う関係団体との連携・協力

本市では、「健康なは21」を推進するため、ウォーキングを通し市民一人ひとりの健康意識を高め、日頃から歩くことを習慣化させ、市民の誰もが健康で心豊かな社会を目指すことを目的に、那覇市健康ウォーキング推進事業を実施している。

本事業の実施にあたり、本市、那覇市ウォーキング協会、那覇市医師会、那覇市自治会長会連合会など健康づくりや地域づくりに関わる44団体で構成する実行委員会を設立し、ウォーキング講座や、ウォーキング大会の開催等、全市民的な事業として取り組んでいる。

(3) 那覇市体育協会との連携

那覇市体育協会は市民の健康・体力づくりを推進し、スポーツ精神を培い、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図り、本市の体育文化の発展に寄与することを目的として活動している。本市では、多様化・高度化する市民のスポーツニーズに応えるため、那覇市体育協会と連携し「スポーツの日 スポーツフェスティバル」を開催するなど協働してスポーツ施策に取り組んでいる。

5 スポーツ教室、大会等

区分	事業名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		事業数	参加者数	事業数	参加者数	事業数	参加者数
スポーツ教室	対象：児童・親子	9	163	7	143	7	138
	水泳、ソフトテニス、バドミントン、幼児体操等						
	対象：成人	13	232	13	184	12	226
	水泳、水中運動、バドミントン、ヨガ、シェイプアップ、						
	対象：青少年、成人（一般）	22	261	25	417	24	420
	地域スポーツ教室						
	対象：一般、児童	5	262	6	304	6	279
	ウォーキング講座・教室（ウォーキング推進事業）						
指導者の派遣	スポーツ専門指導員派遣事業	129	3,850	88	3,855	118	6,978
	スポーツ・レクリエーション指導者派遣事業	19	1,754	23	2,197	34	2,691
大会等	スポーツの日 スポーツフェスティバル in なは	1	781	1	791	1	843
	ひやみかち なは ウォーク	1	3,924	1	3,228	1	3,396
	NAHAマラソン	1	11,933	1	18,874	1	21,438
	なはM i xスポーツフェスタ	1	91	1	64	1	121

区分	事業名		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			事業数	参加者数	事業数	参加者数	事業数	参加者数
スポーツ・レクリエーション大会等	那覇市体育協会	スポーツ少年団スポーツ大会	9	2,329	10	4,845	12	4598
		キンボールスポーツ大会（那覇市長杯）	大会中止		1	195	1	150
		那覇市民グラウンドゴルフ交流大会	大会中止		1	168	1	161
		那覇市長杯ダブルステニストーナメント	1	250	1	292	1	272
		那覇市シングルステニストーナメント	1	184	1	210	1	216
		那覇市メンズチーム対抗テニストーナメント	1	262	1	262	1	136
		那覇市レディースチーム対抗テニストーナメント	1	245	1	252	1	200
		那覇市ミックスチーム対抗テニストーナメント	1	415	1	184	1	202
		那覇市民テニス大会	1	258	1	206	1	224
		テニス競技 県体選手選考会	1	35	1	20	1	14
		ソフトテニス県体選手選考会	1	180	1	30	1	23
		那覇市長杯ソフトテニス大会	1	460	1	240	1	370
		那覇市中学生・高校生ソフトテニス大会	1	312	1	210	1	260
		会長杯バドミントン大会 （兼県体選手選考会）	大会中止		1	280	1	135
		那覇市バドミントン選手権大会	1	200	1	200	1	200
		新春バドミントン大会	1	250	1	240	1	185
		那覇市民卓球大会（個人） （兼県体選手選考会）	1	37	1	40	1	29
		那覇市民卓球大会（団体戦）	1	302	1	320	1	220
		那覇市民卓球大会（ダブルス団体戦）	1	420	1	380	1	410
		那覇市民バレーボール大会（女子） （兼県体選手選考会）	1	214	1	388	2	790
		那覇市民バレーボール大会（男子） （兼県体選手選考会）	大会中止		1	340	2	670

区分	事 業 名		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			事業数	参加者数	事業数	参加者数	事業数	参加者数
スポーツ・レクリエーション大会等	那覇市体育協会	那覇市長杯争奪サッカー大会	1	780	1	1,080	1	1,060
		那覇市民フットサル交流大会	1	580	1	680	1	540
		ボウリング競技 県体選手選考会	1	20	1	12	1	17
		陸上競技 県体選手選考会	1	15	1	10	1	10
		那覇市空手道古武道選手権大会 (兼県体選手選考会)	1	100	1	100	1	100
		那覇市空手道選手権大会	1	314	1	25	1	290
		那覇市幼少年剣道練成大会	1	80	1	78	1	60

6 社会体育施設

(1) 那覇市民体育館

所在地 那覇市字識名 1227 番地（識名公園内） TEL 853-6979（管理事務所）

指定管理者 特定非営利活動法人 那覇市体育協会

開 館 昭和 62 年 4 月 1 日

施設内容

建築面積 5,278 m² 競技面積（メインアリーナ）2,586 m²（サブアリーナ）909 m²

・メイン、サブアリーナ ・トレーニングルーム ・会議室 ・多目的室（兼卓球室） ・控室

・ステージ ・観覧席 ・更衣室

【利用時間】 午前9時～午後9時
(更衣室を除く)
(準備から片付け時間まで含む)
午前9時～午後9時30分
(更衣室)

	メインアリーナ	サブアリーナ
バレーボール	6 面	2 面
バスケットボール	3 面	1 面
バドミントン	14面	4 面
卓 球	20面	10面

【休館日】 毎月第2・4火曜日（ただし、その日が祝日、慰霊の日にあたる場合はその翌日）及び12月29日から翌年1月3日までの日

【利用方法】

ア 当日利用の場合

当日受付。窓口で個人利用券を購入し利用する。

イ 予約利用の場合

那覇市公共施設予約システムで申請手続きを行う。事前のアカウント登録が必要。

利用日の1か月前の月の初日から利用日の前日まで受付ける。大規模行事や大会の利用方法など、詳細の問い合わせは管理事務所へ。

【市民体育館利用料金】

ア 当日利用する場合・・・1人1回（2時間以内）につき

・中学生以下 100 円 ・高校生 150 円 ・その他 200 円

イ 予約利用する場合

(ア) 予約利用の利用料金（メイン・サブアリーナ）

区 分				1 時間当たりの金額（円）	
				午前 9 時～ 午後 9 時	その他の時間 帯又は超過時 間
メイン アリーナ	アマチュアスポーツ及び レクリエーションに利用する場合		入場料を領収しない場合	2, 835	2, 947
			入場料を領収する場合	4, 267	4, 351
	アマチュアスポーツ及び レクリエーション以外に 利用する場合	入場料を領収し ない場合	営利を目的としない場合	4, 267	4, 351
			営利を目的とする場合	15, 448	15, 940
		入場料を領収す る場合	営利を目的としない場合	15, 448	15, 940
			営利を目的とする場合	30, 792	31, 752
サブ アリーナ	アマチュアスポーツ及び レクリエーションに利用する場合		入場料を領収しない場合	1, 072	1, 209
			入場料を領収する場合	1, 616	1, 663
	アマチュアスポーツ及び レクリエーション以外に 利用する場合	入場料を領収し ない場合	営利を目的としない場合	1, 616	1, 663
			営利を目的とする場合	5, 728	6, 036
		入場料を領収す る場合	営利を目的としない場合	5, 728	6, 036
			営利を目的とする場合	11, 456	12, 074

- 備考 1 利用時間に 1 時間に満たない端数があるときは、その端数を 1 時間として計算する。
- 2 利用するための準備及び原状回復に要する時間は、利用時間に含むものとする。
- 3 アリーナの一部を利用する場合の額は、その利用面積が 2 分の 1、3 分の 1、又は 4 分の 1 又は 6 分の 1 のときは、それぞれこの表の金額欄に定める額の 2 分の 1、3 分の 1 又は 4 分の 1 又は 6 分の 1 の額とする。
- 4 入場料（会費、賛助金、寄付金、募金等を含む。以下同じ。）を領収し、かつ、営利又は宣伝を目的とする催物のために利用する場合の額は、当該催物 1 回（同様な内容構成の催物が時間を区切って数度にわたり行われる場合は、その 1 度 1 回とする。）につき、1 人当たりの入場料の最高額に 100 を乗じて得た額をこの表の金額欄に定める額に加算した額とする。
- 5 その他の時間帯（午前 9 時～午後 9 時以外の時間帯をいう。以下同じ。）に利用する場合（利用料金の全部又は一部を免除する場合も含む。）は、この表の金額欄に定める額に 2, 500 円を加算した額とする。

(イ) 那覇市民体育館の予約利用の利用料金（他の施設及び設備）

区 分	単 位	金 額（円）			
		通常の場合		営利を目的とする場合	
		午前 9 時～ 午後 9 時	その他の時間帯 又は超過時間	午前 9 時～ 午後 9 時	その他の時間帯 又は超過時間
第 1 会議室	1 時間	161	176	800	876
第 2 会議室		96	112	550	598
第 3 会議室		96	112	550	598
多目的室（兼卓球室）	1 時間	209	226	1, 118	1, 224
役員選手控室	1 室 1 時間	64	72	404	453
ステージ	1 時間	226	259	1, 209	1, 329
観覧席		1, 965	2, 116	6, 036	6, 598

放送用設備	メインアリーナ	1 回	3,240
	サブアリーナ		1,080
電光表示装置			1,080
冷房設備	メインアリーナ	1 時間	10,000
	サブアリーナ		3,000
	会議室及び多目的室		388
	役員選手控室		118
	ステージ		500

- 備考 1 利用時間に1時間に満たない端数があるときは、その端数を1時間として計算する。
- 2 メインアリーナをアマチュアスポーツ又はレクリエーションに利用する場合は、役員選手控室、ステージ及び観覧席の利用料金を免除する。ただし、入場料を領収する場合は、この限りでない。
- 3 冷房設備の利用料金は、当日利用の場合についても適用する。

(ウ) 那覇市民体育館の予約利用の利用料金（照明設備）

区 分	単 位	金 額 (円)			
		全点灯	3/4 点灯	2/4 点灯	1/4 点灯
メインアリーナ	1 時間	12,960	3,024	2,160	1,296
サブアリーナ		2,160	540	377	216

- 備考 メイン・サブアリーナの一部を利用する場合の額は、その利用面積が2分の1、3分の1、又は4分の1又は6分の1のときは、それぞれこの表の金額欄に定める額の2分の1、3分の1又は4分の1又は6分の1の額とする。

(エ) 那覇市民体育館の予約利用の利用料金（体育用器具）

器 具 名		単 位	金 額 (円)
バレーボール用器具		1 組 1 回	108
バドミントン用器具			108
バスケット用器具	移動式		540
	固定式		216
卓球用器具			108
テニス用器具			216
フットサル用器具			216
ハンドボール用器具			216

- 備考 器具には得点板、審判台等の備品類を含め、ラケット、ボール等の消耗品は除くものとする。

(2) 漫湖公園市民庭球場

所在地 那覇市鏡原町 37 番 1 号 TEL 857-8783 (管理事務所)

指定管理者 特定非営利活動法人 那覇市体育協会

施設内容 砂入り人工芝コート 10 面

竣 工 昭和 62 年

- 【利用時間】 午前7時～午後9時（4月1日～10月31日）
午前8時～午後9時（11月1日～翌年3月31日）
- 【休場日】 毎月第2・4火曜日（ただし、その日が祝日、慰霊の日にあたる場合はその翌日）及び12月29日から翌年の1月3日までの日
- 【利用方法】 那覇市公共施設予約システムで予約利用の申請手続きを行う。事前のアカウント登録が必要。利用方法など、詳細の問い合わせは管理事務所へ。

【利用料金】

区 分	1コート・1時間につき（円）			
	4月1日～9月14日		9月15日～3月31日	
	開場～午後7時	午後7時～午後9時	開場～午後6時	午後6時～午後9時
高校生以下	170	450	170	450
その他	360	640	360	640

（3）那覇市民首里石嶺プール

- 所在地 那覇市首里石嶺町2丁目70番地9（石嶺文化スポーツプラザ内・地下1階）
TEL 835-5079（管理事務所）
- 指定管理者 特定非営利活動法人 那覇市体育協会
- 地下一階部分床面積 1,009 m²
- 供用開始 平成8年6月1日
- 施設概要 一般プール 250 m²（25m×6コース） 幼児用プール（円型）半径3.5m
トレーニングルーム 134 m²
- 開場時間 午前10時～午後9時30分（トレーニングルームは午前9時～午後9時30分）
- 休場日 毎月第2・4火曜日（ただし、その日が祝日、慰霊の日に当たるときはその翌日）及び12月29日から翌年1月3日までの日

【利用時間】

【当日利用料金】

25メートルプール 及び 幼児用プール	1回目 午前10時～午後12時30分 2回目 午後1時～午後3時30分 3回目 午後4時～午後9時30分
トレーニングルーム	午前9時～午後9時30分 （1回2時間以内）

区分		利用単位	金額(円)
プール	幼 児	1人1回 （2時間30分以内）	120
	小中学生		250
	高校生		370
	その他		510
トレーニングルーム	高校生	1人1回 （2時間以内）	150
	その他		200

※3回目のプール利用は2時間半まで。

※利用時間には準備からシャワー後の退場時間までを含む。

※回数券は11枚で10回分料金

（4）奥武山体育施設

- 指定管理者 特定非営利活動法人 那覇市体育協会
- ア 那覇市営奥武山野球場（愛称：沖縄セルラースタジアム那覇）
- 所在地 那覇市奥武山町42番地の1 TEL 857-0889（管理事務所）
- 開 場 平成22年4月3日

施設内容 建築面積 8,485 m²
延床面積 1階 4,937 m² 2階 3,183 m² 3階 7,992 m² 合計 16,112 m²
収容人員 内野スタンド固定席 15,000 席（車椅子席最大 69 席確保可）
照明設備 4 基（高さ約 41.5m）＋ 2 基（屋根部）
グラウンド 内野：黒土混合土 外野：天然芝
グラウンド寸法 両翼 100m、中堅 122m、本塁バックネット間 18.7m
諸 室 ・会議室（1 塁側 3 室、3 塁側 3 室） ・野球資料館 ・応接室 ・医務室
・貴賓室 ・競技運営室 ・大会主催者室 ・記録室 ・審判員室 ・整備員控室
・ロッカールーム ・ウォーミングアップ室 ・シャワールーム ・次選手控室
・審判員控室 ・警備員室 ・室内ブルペン ・ダッグアウト ・カメラマン席
・切符売り場

イ 那覇市営奥武山屋内運動場（愛称：沖縄セルラーパーク那覇）

所在地 那覇市奥武山町 50 番地の 1 地先 TEL 857-0889（野球場と同じ）
開 場 平成 22 年 4 月 3 日
施設内容 建築面積 3,549 m² 延床面積 3,254 m²
規模・構造 2 階建て RC 造、鉄骨造（屋根）、アリーナの広さ（57m×66m）
用 途 野球練習、レクリエーション、小運動会、フットサル、ドッジボール等
諸 室 ・更衣室

ウ 那覇市営奥武山トレーニング室

所在地 那覇市奥武山町 42 番地の 1 地先 TEL 857-0889（野球場と同じ）
開 場 平成 26 年 4 月 1 日
施設内容 建築面積 309.57 m² 延床面積 303.25 m²
規模・構造 S 造、平屋建て
諸 室 ・シャワー室 ・更衣室 ・身障者用トイレ完備
トレーニング室の主な器具 スクワットトラック・ランニングマシン・ラバーダンベル等

【利用時間】 午前 9 時～午後 9 時（閉場は午後 9 時 30 分）

【休場日】 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの日とする。

（必要があるときは、臨時に開場し、又は休場することができる。）

【利用方法】

球場窓口で事前に団体登録手続きを行い、利用希望日の属する月の前々月の 20 日から 25 日までに申請書を受付ける。詳細等、問い合わせは管理事務所へ。

【主な利用料金】

那覇市営奥武山野球場（愛称：沖縄セルラースタジアム那覇）（単位：円）

区 分		料金（1 コマ 2 時間）	照明料金（1 コマ 2 時間あたり）		
児 童 生 徒 等 の 団 体	土曜、日曜及び休日	2,468	全点灯 (144球)	2/3点灯 (108球)	1/3点灯 (54球)
	その他の日	2,056	18,226	16,868	14,132
そ の 他 の 団 体	土曜、日曜及び休日	7,404			
	その他の日	6,170			

※上記における全点灯（144 球）とは、最大点灯 432 球の 1/3 点灯（144 球）である。

その他の設備及び施設

区 分	1 時間当たり (円)	
	アマチュアスポーツレクリエーションに利用の場合	その他の利用の場合
電光表示板	1,080	2,160
放送設備	432	864
大会関係者室	432	864
会議室 (大)	432	864
会議室 (小)	216	432

那覇市営奥武山屋内運動場 (愛称：沖縄セルラーパーク那覇)

区 分	料金 (1 時間あたり) (円)
児童生徒等の団体	1,748
その他の団体	3,497

(単位：lx)

区 分	照明料金 (1 時間あたり) (円)		
	1500 lx	1000 lx	500 lx
全面利用 (野球・フットサル)	2,832	1,248	672
1/2利用 (フットサル等)		1,536	528

※照明の明るさは、利用面積の平均lx(ルクス)である。

※照度(lx(ルクス))は光が当たっている面の明るさを数値化したものである。

那覇市営奥武山トレーニング室

区分		利用単位	金額 (円)
個人利用	高校生及び本市に住所を有する65才以上の者	1 回 (2 時間以内)	200
	その他	1 回 (2 時間以内)	400
団体予約利用	高校生	1 時間	1,000
	その他	1 時間	2,000

※団体予約利用は、10 人以上で構成する団体が施設を予約して利用する場合に適用する。

令和6年度社会体育施設利用者数

単位：人

施設名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市民体育館	13,485	19,079	16,581	21,440	17,425	16,442	21,115	11,589	13,598	20,551	13,611	14,130	199,046
市民庭球場	4,498	5,389	5,018	5,651	5,321	4,716	4,757	4,599	4,836	0 ^(※)	0 ^(※)	0 ^(※)	44,785
石嶺プール	2,666	2,900	3,275	4,236	3,942	2,948	2,813	2,515	1,917	1,878	1,971	2,490	33,551
野球場	24,822	41,073	8,756	29,854	6,873	5,915	4,766	3,570	14,521	110,475	97,377	4,785	352,787
屋内運動場	4,140	3,446	4,211	4,110	3,637	4,737	3,683	135,364	2,550	278	525	3,837	170,518
トレーニング室	1,018	1,038	1,271	1,272	1,474	1,530	1,430	1,416	1,084	1,019	754	1,544	14,850
合 計	50,629	72,925	39,112	66,563	38,672	36,288	38,564	159,053	38,506	134,201	114,238	26,786	815,537

(※)施設改修工事に伴う休場期間

第3節 学校が学びや育ちの拠点となるまちをつくる

重点目標

学校を地域資源として捉え、学校施設等の利活用を促進し、市民のライフステージに合わせたスポーツ・レクリエーションの機会を提供する。また、学校を拠点に地域と連携した児童生徒の健全育成活動を活性化させ、地域教育力の向上を図る。

施策事業の概要

1 学校を拠点としたコミュニティの充実

(1) 地域学校連携施設の整備と活用の促進

学校を、地域の人々や団体等をつなぐ場、子育て・健康・福祉サービスを行う場等のコミュニティの拠点（プラットフォーム）として位置づけ、学校のオープン化に努める。

地域住民の技能・経験を活用し、地域学校連携施設等において事業展開することで、地域の活力を高める。地域学校連携施設は、現在 32 校に設置開放されており、施設の維持管理と併せて、活用の促進に努めている。

【地域学校連携施設一覧】

令和 7 年 5 月現在

学校名		開放時間		面積 (㎡)	和室	学校名		開放時間		面積 (㎡)	和室
		平日	学校休業日					平日	学校休業日		
①	城 東 小	学校長との調整		248	あり	⑰	古 蔵 小	学校長との調整		250	あり
②	城 南 小	学校長との調整		250	あり	⑱	上 間 小	学校長との調整		250	あり
③	泊 小	学校長との調整		150	あり	⑲	大 名 小	午前 9 時～午後 10 時		250	あり
④	大 道 小	学校長との調整		130	あり	⑳	石 嶺 小	学校長との調整		140	なし
⑤	松 川 小	学校長との調整		450	あり	㉑	仲井真小	午後 6 時 30 分～ 午後 9 時 30 分	午前 9 時～ 午後 9 時 30 分	69	なし
⑥	識 名 小	学校長との調整		150	あり	㉒	曙 小	学校長との調整		150	なし
⑦	若 狭 小	学校長との調整		140	なし	㉓	小緑南小	学校長との調整		150	なし
⑧	神 原 小	学校長との調整		140	なし	㉔	真 地 小	学校長との調整		150	あり
⑨	真和志小	学校長との調整		150	あり	㉕	さつき小	学校長との調整		394	あり
⑩	与 儀 小	学校長との調整		200	なし	㉖	銘 荊 小	午後 7 時～ 午後 9 時 30 分	午前 8 時～ 午後 9 時	400	あり
⑪	城 岳 小	午後 6 時 30 分～ 午後 9 時 30 分	午前 9 時～ 午後 9 時 30 分	135	あり	㉗	天 久 小	学校長との調整		250	あり
⑫	開 南 小	午前 9 時～午後 9 時 30 分		269	あり	㉘	那 覇 小	学校長との調整		250	あり
⑬	垣 花 小	学校長との調整		150	なし	㉙	石 田 中	学校長との調整		150	なし
⑭	宇栄原小	学校長との調整		450	あり	㉚	城 北 中	学校長との調整		450	あり
⑮	高 良 小	学校長との調整		125	なし	㉛	上 山 中	学校長との調整		250	あり
⑯	松 島 小	学校長との調整		150	あり	㉜	鏡 原 中	学校長との調整		250	あり

(2) 地域学校協働活動の推進

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を推進する。

令和7年度は、市立小中学校17校に、地域と学校をつなぐ推進員（コーディネーター）を配置する予定としており、幅広い地域の参画を得て、学習支援や校内の清掃活動、学校の行事支援等を行う。



ボランティア講師による学習支援
（書初め）

2 地域との連携による青少年健全育成

(1) 放課後子ども教室の推進

放課後や週末等に、子どもたちの安全・安心な居場所づくりを目的に、学校施設等を活用して実施。地域の大人の参画を得て、学習支援やスポーツ、文化、伝統芸能など様々な体験交流活動の機会を提供している。

年度	実施校区数	教室数	参加児童数（延べ人数）
令和4年度	29 校区	40 教室	47,572 人
令和5年度	30 校区	41 教室	45,665 人
令和6年度	32 校区	41 教室	45,277 人



(2) 「子どもフェスタ in なは」の開催

学校や放課後子ども教室等、地域で実施されている児童生徒の文化活動や伝統芸能、スポーツ活動などの成果発表の場として開催し、人材育成に寄与している。また、地域で子どもたちに関わる団体で組織された実行委員会が主催となり、育成者同士の繋がり場の場にもなっている。



(3) 「やる気・元気旗頭フェスタ in なは」の開催

中学校区青少年健全育成協議会（青少協）や地域の旗頭保存会や青年会、自治会等の方々が、郷土（那覇市）の伝統文化の1つである旗頭の活動に児童生徒と一緒に取り組む中で、旗頭活動をきっかけに地域の繋がりを深める。

旗頭活動に関わる児童生徒は、地域の方々との交流などから、人との関わり方を学び、自分自身の「居場所」を得、自己肯定感を高めることができる。また、このイベントに参加することで、児童生徒が地域を誇りに思い、地域社会へ積極的に関わっていくようになり、そして、地域の方々が、旗頭活動に参加することにより、更なる児童生徒への理解と学校や児童生徒への支援を行うようになってくることが期待できる。

児童生徒の社会的規範意識や地域の先輩方への敬愛の念を育むと共に、地域社会に積極的に貢献できる新しい時代の活力に満ちた青少年の育成を目指す。



(4) 青少協の充実と活動の推進、強化

那覇市青少年健全育成市民会議の実行組織として、各中学校区を単位として組織されている団体。小中学校やPTA等と連携し、夜間街頭指導や中学校区単位の地域祭りの開催、各中学校区はたちの記念式典の支援等を行っている。

(5) 他県青少年団体受入れ事業

福岡県久留米市が「久留米市少年の翼」で来沖する機会を活用し、お互いの文化に触れあい、交流する場を設けることで、相互理解と友情を育むことができる広い視野を持った児童の育成を図ることを目的に実施。

年度	受入者	受入れ人数
令和5年度	放課後子ども教室 3団体	小中学生 40 人、スタッフ 20 人

※令和6年度は久留米市が事業内容を変更したため、来沖せず中止。

3 生涯学習関連事業の充実

(1) 学校施設を利用した公民館講座

学校には、公民館にはない機能をもつ施設があり、地域と学校が共同で利用できる地域学校連携施設、大規模な人数を収容できる体育館、屋外行事が開催できる運動場等を利用して、公民館講座の目的に合った施設利用を企画し、学習機会を提供する。

ア 講座について

- (ア) 地域学校連携施設において、PTCA等が主催するイベントに際し、防災啓発のための講師を公民館から派遣し、イベント参加者全体を対象とした防災に関する体験学習を行うことで、異世代間交流を図った（地域連携事業）。
- (イ) グループワークを通して、特定の学年・クラスに対し複数回の講座を実施、より詳しい内容を学習することができる（キャリア教育等）。
- (ウ) 総合学習を通して、公民館利用団体の講師が学校に赴き、地域の伝統文化を伝え、その継承までを児童に対して行うことができる（学社連携事業）。
- (エ) 天体観望会を通して、夜の運動場において、一度に多くの児童生徒たちに実際の星座や惑星を見てもらい教科で学習した内容を実際に確認する。

4 身近でスポーツ・レクリエーションができる環境の整備、充実

(1) 学校体育施設の開放

学校教育に支障のない範囲で市内小・中学校 53 校の体育館、中学校 7 校の武道場及び夜間照明設備を設置している中学校 5 校の運動場を開放しており、地域住民や各種サークル等のスポーツ・レクリエーション活動に活用されている。

(2) 学校体育施設の開放状況

ア 利用対象

- (ア) 市内に在住、在勤又は在学する者で構成され、その構成員が 10 人以上の団体
- (イ) 代表者が満 20 歳以上の者であること
- (ウ) 構成員全体のうち 18 歳以上の者が半数以上いること
(ただし、午後 7 時までに使用終了の場合は 2 割以上)

イ 管理体制

開放している各施設に学校体育施設開放管理指導員（教育委員会委嘱）を配置している。

ウ 利用の手続き

市民スポーツ課において利用団体登録後に利用申請の手続きを行う。

エ 開放施設の状況

	開放校	開放期間	開放時間
体 育 館	小学校 (36 校) 中学校 (17 校)	通 年 (年末年始を除く)	(平 日) 午後 5 時 30 分～午後 9 時 30 分 (土・日・公休日) 午前 8 時～午後 9 時 30 分
武 道 場	(中学校) ・石田中 ・神原中 ・寄宮中 ・松島中 ・石嶺中 ・小禄中 ・古蔵中	同 上	午後 7 時～午後 9 時 30 分
運 動 場	(中学校) ・首里中 ・石田中 ・小禄中 ・金城中 ・城北中	同 上	午後 7 時 30 分～午後 9 時 30 分

オ 学校体育施設使用料一覧

施設名	開放校	使用料	備 考
体育館	市内小学校体育館 (ただし、銘苅小学校を除く)	1 時間 (全面) 797 円	2 団体で利用する場合は、双方で使用料を折半する
	市内中学校体育館	1 時間 (全面) 834 円	
武道場	・石田中 ・神原中 ・寄宮中 ・小禄中 ・松島中 ・石嶺中 ・古蔵中	1 時間 (全面) 262 円	
夜間照明 運動場	・首里中 ・石田中 ・小禄中 ・金城中 ・城北中	野球 2 時間 5,846 円 サッカー等 2 時間 3,720 円	種目により照度(金額)が異なる ※使用時間 午後 7 時 30 分～ 午後 9 時 30 分

カ 令和 6 年度学校体育施設利用者数

単位：人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
体育館	小学校	7,874	8,381	7,515	8,133	6,800	8,049	9,985	9,466	6,913	6,857	7,038	5,565	92,576
	中学校	7,694	7,808	7,893	8,269	7,065	6,770	9,151	7,361	6,150	5,882	6,531	6,237	86,811
運動場	中学校 (夜間)	267	264	238	342	378	212	331	364	156	281	317	326	3,476
合 計		15,835	16,453	15,646	16,744	14,243	15,031	19,467	17,191	13,219	13,020	13,886	12,128	182,863

第6章 郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、

新たな文化を創造するまちづくり



第1節 文化が保存され継承されるまちをつくる

重点目標

本市に所在する「識名園」「玉陵」「園比屋武御嶽石門」「首里城跡」を含む9件が「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として、平成12年12月2日にユネスコの世界遺産に登録された。それら世界遺産をはじめ、本市における多くの歴史的文化財について、適正に維持管理を行い、保存・継承する必要がある。

文化財の保護は、市民生活の精神的基盤であり、広く市民の理解と協力を得てこそ推進することが出来るものであることから、市民との「協働」のもとに、地域の歴史・文化財に親しめるような取組みを行い、博物館等文化施設の事業を充実させ、学校教育との連携を強化し、更に文化遺産への理解と普及を図るよう市内外への広報活動を推進し、より一層の文化財保護行政の充実・発展を図る。

施策事業の概要

1 文化財の認知度を高める

- (1) 歴史博物館、壺屋焼物博物館における常設展示や企画展・特別展に関する解説会・解説講座の新設、既存の解説会等の回数を増やすなど、文化財との接点となる機会創出に努める。



玉冠（国宝）

ア 那覇市歴史博物館では、「王朝文化と都市（まち）の歴史」を展示テーマとして「那覇」や「沖縄」の美術工芸、歴史資料を展示しており、現代史や民俗学、美術史にかかる企画展を開催しており、令和6年度の企画展の来場者は11,601人であった。

イ 壺屋焼物博物館の学芸員と教育普及員が、那覇市立壺屋焼物博物館常設展展示資料を一般の方々により詳しく知ってもらうため、解説会（学芸員と展示を見よう～常設展ギャラリートーク～）を3月と4月を除く、毎月1回開催している。

（※令和6年度は館内エレベーター改修工事による臨時休館のため、令和6年12月～令和7年2月の3回分は中止。）

沖縄の焼物の文化や歴史、壺屋焼の技法や製作工程をわかりやすく説明するこの解説会は、月毎に専門の異なる職員が担当し、回によって解説するテーマや内容を変えながら、定期的に実施している。令和6年度は計7回開催し138人が参加した。企画展「那覇市指定無形文化財壺屋焼9人展～壺屋BARサーフー～」の関連催事では、出品作家を招きトークイベントを3回開催し、合計49人が参加した。



解説会（壺屋焼物博物館）

ウ 世界遺産解説会の開催

世界遺産への理解を深めてもらうため、識名園・玉陵において、無料の世界遺産解説会をそれぞれ年6回実施している。

エ ボランティアガイドの活用

歴史や文化を学びたいという市民等の学習意欲に応えるため、史跡めぐり案内講師「案内親方」、識名園ボランティアガイド「識名里主」が活動している。

オ 文化財の広報の促進

(ア) 「那覇市の文化財」(令和2年度版)の販売

那覇市に所在する指定文化財の概要をまとめて紹介し、市民や観光客の文化財探索や学習に役立てる(有料)。

(イ) 歴史散歩マップ、昔話、玉陵ガイドブック販売

自由に探索できるように文化財の所在地をわかりやすく紹介した「歴史散歩マップ5種」、那覇市に昔から伝わる昔話を紹介した「昔話シリーズ4種」、玉陵についての多くの画像や資料を掲載したガイドブックを用意した(有料)。



世界遺産解説会(玉陵)



(2) 児童・生徒を対象とした学習プログラムによる教育普及活動を強化し、学校における学習活動との連携の充実を図る。

児童・生徒及び社会教育施設等を対象に、沖縄の伝統工芸「壺屋焼」を楽しく、わかりやすく学ぶための「出前展示」「出前体験教室」及び「出前授業・講座」を実施している。焼物を実際に見て、さわって、体験しながら学習できるプログラムを通して、沖縄の焼物文化や伝統工芸「壺屋焼」に対する理解を育んでいる。小学校の副読本『わたしたちの那覇市』の「かわる道具とくらし」・「市のうつりかわり」の学習にも対応している。



出前体験教室(壺屋焼物博物館)

(3) 埋蔵文化財発掘調査の現地説明会、出土遺物の実物や写真パネルによる展示会を実施し、文化財への興味や関心の高揚を図る。



現地説明会の様子(墓地小前古墓)

2 文化財の保全

(1) 文化財の保全・整備を推進し、市民・県民並びに観光客へ文化財の魅力発信の取り組みを強化する。

ア 埋蔵文化財試掘調査事業

住宅建設および諸開発などから文化財を保護するために、事前に試掘調査等を行い埋蔵文化財の有無を確認する。

イ 文化財情報の周知、開発情報の収集

文化財情報の周知を図り、諸開発から文化財を保護するための開発情報の収集および発信を推進するとともに、事業者との事前協議の徹底を図る。



試掘調査の様子

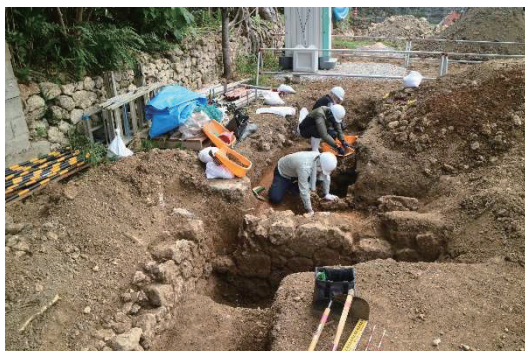


立会調査の様子

ウ 埋蔵文化財発掘調査事業

住宅建設および諸開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行う。発掘調査で出土した遺物の整理を行い、発掘調査報告書を刊行する。また、調査を行った際には現場の状況に応じて適時現地説明会を行う。

- ・那覇市内遺跡発掘調査（伊江殿内庭園・三重グスク・天界寺跡・首里寒水川村跡・首里旧金城村跡・具志頭殿内跡・(仮)首里久場川古墓群）
- ・開南小学校施設建替工事に係る埋蔵文化財発掘調査（湧田村跡）
- ・「(仮称) 宇国場複合ビル」建設に係る埋蔵文化財発掘調査（国場前原遺跡）
- ・安里緑地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（安里羽佐間原古墓群）
- ・末吉公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（末吉村跡）
- ・小禄道路敷設に伴う埋蔵文化財発掘調査（ミノシン毛古墓群・らくだ山戦争遺跡群 A 地点・らくだ山戦争遺跡群 B 地点・鏡水水溜屋原 B 遺跡・宮城平田原古墓群・宮城平田原壕群）
- ・那覇空港国際線ターミナル地域再編事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（崎原グスク）
- ・那覇警察署繁多川交番新築工事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（墓地小前古墓）



発掘調査の様子（首里寒水川村跡）



発掘調査の様子（三重グスク）

エ 文化財の調査・指定の促進

文化財を詳細に調査し保存するとともに、未指定文化財はその指定を促進する。

オ 文化財の管理及び運営の強化

文化財を保護し環境を適正に維持するため、定期清掃、除草、巡回等を行うとともに、一般公開されている文化財の適切な活用に努める。

(ア) 識名園管理・運営

世界遺産・国指定特別名勝「識名園」は 1799 年に造営された王家の別邸で、近世日本の大名庭園に琉球独自の工夫が加えられた庭園である。中国皇帝の勅使である「冊封使」^{さつぽうし}を接待する場として王府の外交面において重要な役割を果たしたほか、王族の保養の場としても利用された。平成 7 年 11 月 1 日から「那覇市玉陵及び識名園条例」を施行し一般公開を行い、市民の文化財に対する理解に資している。



識名園

(イ) 玉陵^{たまうどうん}管理・運営

世界遺産・国宝・国指定史跡「玉陵」は、第二尚氏王統第 3 代の尚真王によって築かれた第二尚氏王統の陵墓で、琉球王国時代に造られた独自の技法を凝らした石造建造物として貴重なものである。平成 5 年 5 月 1 日から一般公開を行い、平成 16 年度からは新たに東の御番所^{あがり うばんじゅ}の一般公開を行っている。また、平成 30 年 12 月に沖縄県で初めて建造物として国宝に指定された。



玉陵墓室石牆

(ウ) 新垣家住宅管理・公開

国指定重要文化財「新垣家住宅」は伝統的な壺屋の陶工の住宅形式を知る上で唯一残された貴重な建造物である。国、県、市から所有者に補助金を交付して保存、修理事業を実施し、令和元年度に整備が完了した。令和 3 年 2 月 26 日に那覇市が管理団体に指定され、同年 3 月 5 日より居住区域を除き一般公開を行っている。



新垣家住宅

カ 文化財の修復・整備の促進

史跡等の文化財保護活用を図るため、文化財の公有化、修復整備を行っている。

(ア) 首里金城町石畳道保存修復事業

昭和 59 年度から継続して、石畳道の轍や破損部分について県補助を受けて保存改修を行っている。

(イ) 伊江殿内庭園保存整備事業

国指定名勝「伊江殿内庭園」は、国王や冊封使^{さつぽうし}の接待、交流の場として使用された歴史的な琉球庭園である。平成 15 年から保存整備事業に着手しており、平成 29 年度には急傾斜地の安全対策工事が完了し、主庭部の復旧に向けた設計に着手した。平成 30 年度からは主庭部設計を段階的

に進めながら整備工事に着手しており、今後も公開活用に向けた整備を進める。

(ウ) 識名園保存整備事業

世界遺産・国指定特別名勝「識名園」は、1799年に造営された王家の別邸で、近世日本の大名庭園に琉球独自の工夫が加えられた芸術上・鑑賞上の価値が高い庭園である。令和7年度に、同庭園の保存と公開・活用についての大枠を定める保存活用計画を策定。今後も公開活用に向けた整備を進める。

(エ) 崇元寺跡保存整備事業

旧崇元寺は、歴代琉球国王の位牌が祀られ、冊封の際には先王諭祭の儀式が行われる重要な場所であったが、沖縄戦で建物は焼失し、現在は門と石牆が当時をしのばせる。崇元寺跡の隣地に、旧崇元寺の歴史や文化を紹介するガイダンス施設や遺構の展示施設等の整備を行い、新たな文化観光施設として活用を図る。令和8年度以降の供用を予定している。

キ 文化財の保存・整備・活用の推進

文化財を市民の身近な学習の場にするとともに、文化財の保存・整備・活用のため環境整備を推進する。

ク 文化財周辺環境の整備

文化財と周辺環境の連続性を保つため、文化財を取りまく周辺の整備を行う必要がある。

ケ 歴史的まちなみ保存・整備

文化財の安全性の確保と、歴史的景観の確保に努める。

(2) 関係団体との協働事業の充実により、身近にある文化遺産の愛護活動を支援する。

ア 地域団体との協働による文化財の保全

市民が文化財を身近なものとして親しみをもち、保護に積極的に関われるよう、市内19ヶ所の文化財について地域の自治会やNPO等6団体に管理委託を行っている。今後も管理委託の推進に努める。

イ 住民や地域団体と協力して「なはの日」に「壺屋地域文化財(南ヌ窯、東ヌ窯等)・壺屋やちむん通り清掃」を実施した。



(3) 発掘調査に伴う遺物の展示公開・保管のあり方を検討する。

ア 調査に伴う遺物の保管と公開活用、発掘調査によって出土した資料を適切に保管し、これらを展示会等で公開することで活用を図る。

3 地域連携の充実

(1) 地域イベントと連携し、地域活性化とともに文化財の普及活動の充実を図る。

ア 真和志地域における伝統文化の継承と新しい文化の創造、青少年の健全育成と地域の活性化及び文化財保護の啓蒙を図ることを目的に、毎年、世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を会場として「識名園友遊会」が行われている。

イ 那覇市歴史博物館では首里振興会と連携して、古都首里の歴史や文化、芸術を市民目線で探訪する「首里大学」を例年開催し、毎年テーマを変えながら地域密着型スタイルの講座を開催することにより、地域活性化とともに文化財の普及活動の充実を図っている。

令和6年度は、「崇元寺」をテーマに計4回の講座を実施した。

ウ 壺屋焼物博物館は、那覇市の「協働によるまちづくり」をテーマに地域団体と共催で「壺屋でシーサーの日!」、「壺屋やちむん通り祭り」、「壺屋陶器まつり」、「新春もちつき大会」などのイベントを実施している。（※令和6年度の「壺屋でシーサーの日!」は津波警報の発令により一部のイベントを中止し、「新春もちつき大会」はエレベーター改修工事による臨時休館のため、中止した。）



「壺屋やちむん通り祭り」での壺屋まーいの様子

4 文化財の活用推進

【令和6年度 那覇市歴史博物館入館者数】

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数		25	25	26	25	26	24	25	26	22	19	24	26	293
入館者総計	一般	971	1,535	1,135	1,261	984	1,727	1,867	1,549	1,061	1,051	1,065	1,130	15,336
	高・大学生	79	88	116	153	134	251	307	212	106	92	153	173	1,864
	中学生以下	47	97	76	164	192	298	85	63	88	44	30	68	1,252
	シルバー	17	66	22	59	67	92	82	28	31	16	27	21	528
	その他（免除）	67	95	69	57	91	109	127	77	203	69	50	72	1,086
	レファレンス等	24	23	19	31	11	23	25	25	16	14	16	27	254
	計	1,205	1,904	1,437	1,725	1,479	2,500	2,493	1,954	1,505	1,286	1,341	1,491	20,320

【令和6年度 那覇市歴史博物館企画展事業】

	名 称	開 催 期 間
1	「ウルク今昔」	7月5日（金）～9月2日（月）
2	「10・10 空襲」	9月6日（金）～10月28日（月）
3	「新収蔵品展 皆の記憶Ⅲ」	11月1日（金）～12月25日（水）

【令和6年度 壺屋焼物博物館 常設展観覧者数】

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数		26	28	20	27	28	28	28	22	0	0	0	0	207
入館者数総計	一般	1,280	952	612	1,127	869	862	930	3,563	0	0	0	0	10,195
	高・大学生	203	230	223	189	305	273	204	450	0	0	0	0	2,077
	中学生以下	200	93	82	148	279	353	175	632	0	0	0	0	1,962
	シルバー	74	47	40	68	62	69	75	106	0	0	0	0	541
	計	1,757	1,322	957	1,532	1,515	1,557	1,384	4,751	0	0	0	0	14,775

※令和6年12月～令和7年3月は館内エレベーター改修工事により臨時休館。

【令和6年度 壺屋焼物博物館 企画展事業】

	名 称	開催期間
1	シーサー展	4月3日（水）～4月21日（日）
2	那覇市指定無形文化財壺屋焼9人展 壺屋BARサーフーフー	7月26日（金）～8月12日（月）
3	國吉清尚	前期：10月25日（金）～11月5日（火） 後期：11月8日（金）～11月24日（日）

【令和6年度 沖縄県内の学校行事等による玉陵・識名園の利用状況】

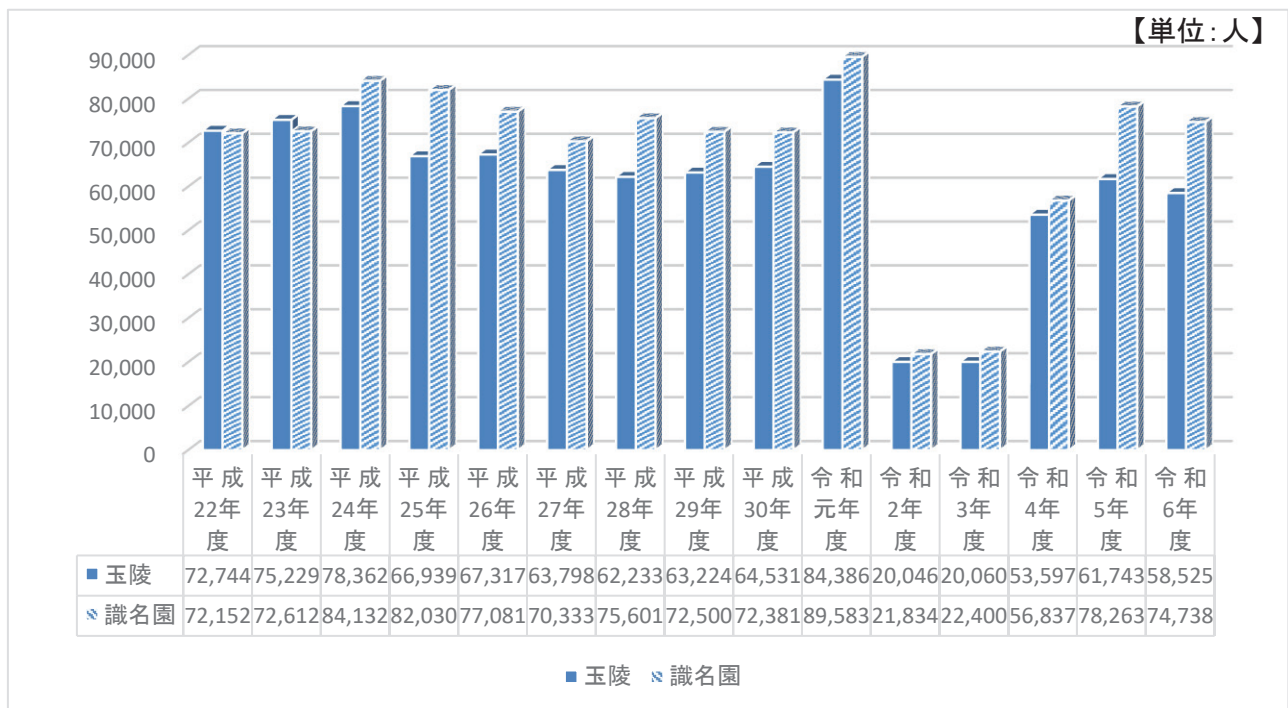
玉陵

	区 分	人数
1	市内小学校	136
2	市内中学校	0
3	市内高校	845
4	市内大学・専門学校	66
5	市外小学校	10
6	市外中学校	0
7	市外高校	321
計		1,378

識名園

	区 分	人数
1	市内小学校	161
2	市内中学校	234
3	市内高校	28
4	市内大学・専門学校	109
5	市外小学校	8
6	市外中学校	36
7	市外高校	0
計		576

【玉陵・識名園の入場者数】



【那覇市所在世界遺産】

＜世界遺産＞

(令和7年5月末現在)

条約資産種別	国内指定区分	名称	登録年月日	所在地・所有者等
記念工作物	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	園比屋武御嶽石門	平成12年 12月 2日	首里真和志町1丁目7 那覇市
	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	玉陵	平成12年 12月 2日	首里金城町1丁目3・3-1 沖縄県・那覇市
遺 跡	記念物（史跡）	首里城跡	平成12年 12月 2日	首里当蔵町3丁目1・1-1 国・沖縄県
	記念物（特別名勝）	識名園	平成12年 12月 2日	字真地421-1 外 那覇市 外

【那覇市内指定等文化財一覧】

＜国指定＞

(令和7年5月末現在)

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・ 代表者等
	国 宝	歴史資料	琉球国王尚家関係資料	平成18年6月9日	那覇市歴史博物館	那覇市
		建造物	玉陵墓室石牆	平成30年12月25日	首里金城町1丁目3	沖縄県、那覇市
記念物	特別名勝		識名園	平成12年3月30日	字真地421-1 外	那覇市
		史 跡	円覚寺跡	昭和47年5月15日	首里当蔵町1丁目1 外	沖縄県、那覇市
	史 跡		首里城跡	昭和47年5月15日	首里当蔵町3丁目1-1 外	国、沖縄県
			末吉宮跡	昭和47年5月15日	首里末吉町1丁目	個人所有
			玉陵	昭和47年5月15日	首里金城町1丁目3、3の1	沖縄県、那覇市
			銘苅墓跡群	平成19年7月26日	銘苅2-3-1, 2-10-1	那覇市
			弁之御嶽	平成30年10月15日	首里鳥堀町4丁目121外	那覇市
	名 勝		伊江殿内庭園	昭和61年6月16日	首里当蔵町2丁目21の1	那覇市
			伊江御殿別邸庭園	平成21年2月12日	首里石嶺町1丁目62-1外	那覇市
			首里城書院・鎖之間庭園	平成21年7月23日	首里当蔵3-1 外	国
			アマミクスムイ(弁之御嶽)	平成30年10月15日	首里鳥堀町4丁目121 外	那覇市
	天然記念物		識名園のシマズリ発生地	昭和47年5月15日	字真地421の1, 7	那覇市
			首里金城の大アカギ	昭和47年5月15日	首里金城町3丁目18, 20	那覇市
有形文化財 重要文化財	建 造 物	住 宅	新垣家住宅	平成14年12月26日	壺屋1丁目28-32	個人所有
		橋 梁	旧円覚寺放生橋	昭和47年5月15日	首里当蔵町2丁目1	沖縄県
			天女橋	昭和47年5月15日	首里当蔵町1丁目2	沖縄県
		その他	旧崇元寺第一門及び石牆	昭和47年5月15日	泊1丁目9-1	那覇市
			園比屋武御嶽石門	昭和47年5月15日	首里真和志町1丁目7	那覇市
			伊江御殿墓	平成11年12月1日	首里石嶺町1丁目62-4 外	個人所有
	美術工芸品	工芸品 (金工)	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	昭和53年6月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧円覚寺殿前鐘 ・殿中鐘・桜鐘）	昭和53年6月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			金銅雲龍紋簪	令和6年8月27日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		典 籍	おもろさうし	昭和48年6月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			混効験集	昭和48年6月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			中山世鑑・蔡鐸本中山世譜	令和2年9月30日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			蔡温本中山世譜			
		古文書	田名家文書（附麻姓田名家家譜）	昭和48年6月6日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			琉球国時代石碑	令和元年7月3日	沖縄県立博物館・美術館 沖縄県埋蔵文化財センター	沖縄県
			銘苅家文書	令和4年11月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			琉球国王朱印状	令和4年11月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		歴史資料	明孝宗勅諭	平成11年6月7日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			琉球国中山王尚真王宛 琉球芸術調査写真 鎌倉芳太郎撮影	平成17年6月9日	沖縄県立芸術大学	公立大学法人沖縄県 立芸術大学
			琉球国之図・間切図	平成28年8月17日	沖縄県立図書館 沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			伊江御殿家関係資料	令和元年7月3日	那覇市歴史博物館	那覇市
無形文化財	重要無形文化財	芸能	琉球古典音楽	令和元年10月25日	宇栄原	中村 一雄
			組踊音楽歌三線	平成17年8月30日	与儀	城間 徳太郎
			組踊音楽歌三線	平成23年9月5日	仲井真	西江 喜春
			組踊音楽太鼓	平成29年10月2日	繁多川	比嘉 聰
			琉球舞踊立方	令和3年7月16日	辻	宮城 幸子
			琉球古典音楽	令和5年10月18日	若狭	大湾 清之
		工芸技術	紅型	平成8年5月10日	首里山川町	玉那覇 有公
			首里の織物	令和5年10月18日	識名	祝嶺 恭子
選択	無形文化財	陶芸	壺屋の荒焼	昭和52年6月1日	壺屋	沖縄陶器保存会
	無形民俗文化財		那覇安里のフェースシマ	昭和54年12月7日	宇安里	那覇安里 フェースシマ保存会
			沖縄の綱引き	平成6年12月7日	県内各地	

〈国指定〉

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
選定	保存技術	建 造 物	組踊道具・衣裳製作修理	平成21年9月2日	組踊道具・衣裳製作修理技術保存会	新垣 孝
登録 有形文化財			新垣家住宅主屋	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	個人所有
			新垣家住宅ヒンブン	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅石垣	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅フル	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅東池	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			新垣家住宅南池	平成19年7月31日	首里末吉町2-124-2	
			沖縄ホテル旅館棟	令和6年3月6日	字大道上大道原35	有限会社沖縄ホテル
			沖縄ホテルレンガ棟	令和6年3月6日	字大道上大道原35	
			沖縄ホテル大道門	令和6年3月6日	字大道上大道原35	
			沖縄ホテル瓦石垣	令和6年3月6日	字大道上大道原35	

〈県指定〉

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
有形文化財	建 造 物	寺院建築	旧円覚寺総門	昭和47年5月12日	首里当蔵町2丁目1	沖縄県
		城郭建築	旧首里城守礼門	昭和47年5月12日	首里当蔵町3丁目	沖縄県
		橋 梁	末吉宮礎道	昭和31年2月22日	首里末吉町1丁目	末吉宮
			龍淵橋	昭和34年1月29日	首里当蔵町1丁目2	那覇市
			ヒジ川橋及び取付道路	昭和34年12月16日	字真地	沖縄県
		その他	壺屋荒焼のぼり窯附石牆	昭和48年3月19日	壺屋1丁目86	沖縄陶器（株）
	美術工芸品	絵 画	自了筆白沢之図	昭和33年1月17日	首里城公園管理センター	一般財団法人沖縄美ら島財団
			絹本着色花鳥図（殷元良筆）	昭和54年4月9日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本着色雪中雉子の図（殷元良筆）	昭和54年4月9日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本着色奉使琉球図	昭和57年3月4日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本墨画竹の図（殷元良筆）	昭和57年3月4日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			紙本着色冊封使行列図	平成15年7月11日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			神猫図（山口宗季筆）	平成18年9月12日	那覇市歴史博物館	那覇市
		彫 刻	崇元寺下馬碑	昭和30年1月25日	泊1丁目9-1	那覇市
			円覚寺放生池石橋勾欄	昭和31年12月14日	首里当蔵町2丁目1	沖縄県
			玉陵石彫獅子	昭和31年12月14日	首里金城町1丁目3	那覇市
			木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			世持橋勾欄羽目	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			玉陵碑	昭和34年1月29日	首里金城町1丁目3	那覇市
			旧円覚寺関係木彫資料	平成15年7月11日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		工芸品（金工）	銅鐘（旧一品権現鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			銅鐘（旧天尊殿鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			銅鐘（旧天妃宮鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧天竜精舎鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧普門禪寺鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧霊応寺鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧大安禪寺鐘）	昭和63年1月12日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			梵鐘（旧永福寺鐘）	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
有形文化財	美術工芸品	工芸品（漆工）	黒塗堆錦山水絵大文庫	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒漆薔薇堆錦軸盆	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒漆山水樓閣人物螺鈿机	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			朱漆山水樓閣人物箔絵丸型東道盆	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			白密陀山水樓閣人物漆絵箔絵角盆	平成2年2月6日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠	平成18年9月12日	首里城公園管理センター	一般財団法人沖縄美ら島財団
			黒漆牡丹七宝繫沈金食籠	平成18年9月12日	首里城公園管理センター	一般財団法人沖縄美ら島財団
		工芸品（陶磁）	色象嵌栗絵菊花皿	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			枝梅竹紋赤絵椀	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			線彫染付魚文皿	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			象嵌色差面取抱瓶	昭和54年9月3日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県

<県指定>

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
有形文化財	美術工芸品	工芸品 (楽器)	三線志多伯開鐘	昭和30年5月23日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線湧川開鐘	昭和30年5月23日	首里当蔵町	個人蔵
			三線江戸与那	昭和31年12月14日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			三線久葉の骨型	昭和33年8月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線南風原型	昭和33年8月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線南風原型	昭和33年8月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線大真壁型銘西平	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			三線大真壁型銘安室	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線大真壁型	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	個人蔵
			三線与那城銘玉城與那	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			三線糸蔵長与那城型	平成6年3月15日	那覇市首里	個人蔵
			三線大真壁型附胴	平成6年3月15日	識名	個人蔵
			三線富盛開鐘附胴	平成6年3月15日	沖縄県立芸術大学	公立大学法人沖縄県立芸術大学
			三線盛嶋開鐘附胴	平成6年3月15日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		書跡	蔡温の書	昭和42年4月11日	前島	個人蔵
			程順則の書	昭和42年4月11日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			扁額「徳高」鄭元偉書	平成元年9月29日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			扁額「凌雲」林麟煥書	平成元年9月29日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
有形文化財	美術工芸品	古文書	羽地間切の屋我のろへの辞令書	昭和56年3月30日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
		歴史資料	銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘）	昭和60年6月18日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県
			伊江家資料	平成14年1月18日	那覇市歴史博物館	個人蔵
無形文化財	芸能		沖縄伝統音楽箏曲	昭和47年12月28日	沖縄伝統音楽箏曲保存会	野里 葉子
	工芸技術		びん型	昭和48年7月30日	沖縄伝統びん型保存会	城間 榮順
			本場首里の織物	昭和49年1月17日	沖縄伝統本場首里織物保存会	多和田 淑子
			琉球漆器	平成3年1月16日	琉球漆器保存会	
記念物	史跡		園比屋武御嶽	昭和30年11月29日	首里真和志町1丁目7	那覇市
			龍潭及びその周辺	昭和30年11月29日	首里真和志町1丁目1 外	沖縄県
			崎樋川貝塚	昭和31年10月19日	字天久	個人所有
			仲島の大石	昭和33年3月14日	泉崎1丁目20-3	旭橋都市再開発㈱
			首里金城町石畳道	昭和39年5月1日	首里金城町2丁目，3丁目	那覇市
			山下町第一洞穴遺跡	昭和44年8月26日	山下町167	那覇市
			国学・首里聖廟石垣	平成5年6月11日	首里当蔵町1丁目4-1	沖縄県
			第32軍司令部壕（首里司令部壕跡）	令和6年11月29日	首里真和志町1丁目7番1	沖縄県、那覇市、公立大学法人沖縄県立芸術大学
	名勝		首里金城町石畳道	昭和39年5月1日	首里金城町2丁目，3丁目	那覇市
	天然記念物		仲島の大石	昭和33年3月14日	泉崎1丁目20-3	旭橋都市再開発㈱
選択	無形民俗文化財		首里王府の路次楽	昭和53年3月24日	沖縄民俗芸能保存会	

〈市指定〉

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	所有者・保持者・代表者等
有形文化財	建築物	その他	読谷山御殿の墓	昭和59年8月1日	首里石嶺町2丁目68	那覇市
	美術工芸品	古文書	新修美栄橋碑	昭和52年4月8日	牧志1丁目951の地先	那覇市
			高宮城村地籍図	平成26年2月20日	那覇市歴史博物館	那覇市
		工芸品	蔵骨器 1 7 2 7 年製「壺」 ^{どん}	平成25年2月1日	壺屋1-9-32	那覇市
無形文化財	工芸技術		壺屋焼	平成13年10月1日	壺屋	壺屋焼保存会
民俗文化財	有形		安谷川嶽	昭和52年6月27日	首里当蔵町1丁目28-4	那覇市
			内金城嶽	昭和53年11月14日	首里金城町3丁目18, 20	那覇市
			旧御茶屋御殿石造獅子	昭和61年6月25日	首里崎山町1丁目77-1	那覇市
	無形		首里汀良町の獅子舞い	昭和62年8月10日	首里汀良町	那覇市首里汀良町獅子舞い保存会
			首里末吉町の獅子舞い	平成2年4月12日	首里末吉町	那覇市首里末吉町獅子舞い保存会
			泊地バーリー	平成3年7月15日	泊	とまり会
			字安里のフェーヌシマ	平成6年3月30日	字安里	安里南之島保存会
			字安次嶺の村踊り	平成6年3月30日	字小禄（安次嶺自治会館）	安次嶺村踊り保存会
			字国場のウズンピーラ	平成6年3月30日	字国場	国場民俗芸能保存会
			首里のクエーナ	平成6年3月30日	字安里	首里クエーナ保存会
			首里王府の路次楽	平成10年3月20日	首里山川町	沖縄県民俗芸能路次楽保存会
			字大嶺の獅子舞い	平成13年10月1日	字栄原（字大嶺自治会館）	字大嶺向上会
			字大嶺の地バーリー	平成13年10月1日	字栄原（字大嶺自治会館）	字大嶺向上会
記念物	史跡		雨乞嶽	昭和51年4月16日	首里崎山町1丁目77	那覇市
			与那覇勢頭豊見親逗留旧跡碑	昭和51年4月16日	上之屋1丁目6	那覇市
			宜野湾御殿の墓及び墓域	昭和51年9月28日	首里末吉町1丁目20, 21	個人所有
			宝口樋川	昭和51年9月28日	首里儀保町4丁目80	那覇市
			上天妃宮跡の石門	昭和52年4月8日	久米1丁目3-8	那覇市
			金城大樋川	昭和52年4月8日	首里金城町2丁目8	那覇市
			仲之川	昭和52年4月8日	首里金城町2丁目11	那覇市
			沢岬親方の墓	昭和52年6月27日	繁多川4丁目193-2	個人所有
			安谷川	昭和53年11月14日	首里大中町1丁目61-2	那覇市
			王の殿と王川	昭和53年11月14日	楚辺1丁目345, 346	個人所有
			寒水川樋川	昭和54年7月21日	首里寒川町1丁目54 外	那覇市
			ヒジ川ピラ	昭和54年12月7日	首里崎山町4丁目	那覇市
			崎山御嶽	昭和61年6月25日	首里崎山町1丁目39	那覇市
			泊外人墓地	昭和62年8月10日	泊3丁目20-1	那覇市
			新垣ヌカー	昭和63年8月25日	首里金城町2丁目39	那覇市
			上ヌ東門ガー	昭和63年8月25日	首里金城町3丁目39	那覇市
			潮汲川	昭和63年8月25日	首里金城町2丁目50	那覇市
			下ヌ東門ガー	昭和63年8月25日	首里金城町3丁目60	那覇市
			加良川（取付道路を含む）	平成元年7月14日	首里儀保町2丁目10-1 外	那覇市
			さくの川	平成2年4月12日	首里山川町1丁目89	那覇市
			渡嘉敷三良の墓	平成2年12月25日	牧志1丁目547	那覇市
			旧天界寺の井戸	平成6年8月10日	首里金城町1丁目2-40	沖縄県
			火立毛	平成10年3月20日	首里石嶺町2丁目250-97	那覇市
			美連嶽	平成10年3月20日	首里寒川町1丁目4-4 外	那覇市
			アモールシガー	平成11年2月10日	字小禄628	那覇市
			シマダガー	平成11年2月10日	字小禄606	那覇市
			波上（ナンミン）	平成18年10月10日	若狭1丁目26-3	波上宮
			臺灣遭害者の墓	平成20年4月10日	若狭1丁目26-5の一部 外	那覇市
	名勝		ガーナー森	昭和49年12月2日	鏡原町10-3, 10-7	那覇市
			波上（ナンミン）	平成18年10月10日	若狭1丁目26-3	波上宮
	天然記念物		ガーナー森	昭和49年12月2日	鏡原町10-3, 10-7	那覇市

【所在地、地域を定めず指定する天然記念物】

<国指定>

(令和7年5月末現在)

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	
天然記念物	特別天然記念物		コウノトリ	昭和31年7月19日	所在地、地域を定めず指定する	
			アホウドリ	昭和40年5月10日	〃	
			ノグチゲラ	昭和52年3月15日	〃	
			イリオモテヤマネコ	昭和52年3月15日	〃	
			カンムリワシ	昭和52年3月15日	〃	
	天然記念物		アカヒゲ	昭和45年1月23日	所在地、地域を定めず指定する	
			オカヤドカリ	昭和45年11月12日	〃	
			カラスバト	昭和46年5月19日	〃	
			ジュゴン	昭和47年5月15日	〃	
			ケナガネズミ	〃	〃	
			トゲネズミ	〃	〃	
			セマルハコガメ	〃	〃	
			リュウキュウキンバト	〃	〃	
			ダイトウオオコウモリ	昭和48年6月2日	〃	
			カンムリウミスズメ	昭和50年6月26日	〃	
			イイジマムシクイ	〃	〃	
			キシノウエトカゲ	〃	〃	
			リュウキュウヤマガメ	〃	〃	
			ヤンバルクイナ	昭和57年12月18日	〃	
			ヤンバルテナガコガネ	昭和60年5月14日	〃	

<県指定>

分野	種類等	種別	名称	指定等年月日	所在地	
天然記念物	天然記念物		フタオチョウ	昭和44年8月26日	所在地、地域を定めず指定する	
			コノハチョウ	〃	〃	
			イボイモリ	昭和53年11月9日	〃	
			クロイワトカゲモドキ (マダラトカゲモドキも含む)	〃	〃	
			ヨナグニサン	昭和60年3月29日	〃	
			ホルストガエル	〃	〃	
			ナミエガエル	〃	〃	
			イシカワガエル	〃	〃	
			アマミヤマシギ	平成6年2月4日	〃	

那覇市内指定等文化財件数一覧

(令和7年5月末現在)

	有形文化財（89件）												無形文化財（14件）			民俗文化財（16件）			記念物（54件）			選 定 保 存 技 術	登 録 有 形 文 化 財	国 県 市 別 計		
	建造物（14件）						美術工芸品（75件）						芸 能	工 芸 技 術	空 手・古 武 術	選 択	有 形	無 形	選 択	史 跡	（特別名勝含む） 天然記念物					
	建造物 （国定）	寺院建築	城郭建築	橋梁	住宅	その他	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書													歴史資料	
国	1			2	1	3			3		3	4	5	6	2		1			2	6	5	2	1	10	57
県		1	1	3		1	7	7	36	4		1	2	1	3				1	8	1	1			78	
市						1			1			2			1			3	10		28	2	1		49	
計	1	1	1	5	1	5	7	7	40	4	3	7	7	7	6	0	1	3	10	3	42	8	4	1	10	184

【資料編】

各種委員会等



1 那覇市教育事務点検評価委員会委員

令和7年5月現在

氏 名	分野
◎伊禮 靖	家庭教育・青少年教育
○喜瀬 乗英	学校教育
兼浜 みどり	学校教育
島袋 恒男	家庭教育・青少年教育
土屋 恭子	社会教育・スポーツレクリエーション

任期：令和7年4月23日～令和9年4月22日

◎委員長 ○副委員長

3 那覇市青少年問題協議会委員

令和7年3月現在

氏 名	役 職 名
◎吉川 麻衣子	沖縄大学 人文学部 教授
○大山 正	那覇市子ども会育成連絡協議会 会長
島津 典子※1	沖縄県こども未来部 こども若者政策課 課長
山城 勝※1	那覇警察署 少年課長
新城 正志※1	沖縄県中央児童相談所 所長
高良 直子	那覇市青少年指導員連絡協議会 副会長
前泊 紀子	那覇市青少年健全育成市民会議 鏡原中学校区青少年健全育成協議会 会長
知名 孝	沖縄国際大学 総合文化学部 教授
福本 利江子	那覇市立小学校長会 副会長
名嘉原 安志※1	那覇市立中学校長会 会長
安里 幸治	那覇市PTA連合会 会長
安座間 なつみ	沖縄県キャリアセンター センター長
高良 奈美子	那覇市民生委員児童委員連合会 副会長

任期：令和6年2月1日～令和8年1月31日

※1 任期：令和7年1月30日～令和9年1月29日

◎会長 ○副会長

2 那覇市奨学生選考委員会委員

令和7年5月現在

氏 名	区 分
◎津野 良信	沖縄県高等学校長協会 副会長
○島袋 伊津子	沖縄国際大学 学生部長 教授
宮里 智子	沖縄県立看護大学 附属図書館長兼教授
仲程 大輔	那覇市社会福祉協議会 地域福祉課長
仲里 隆司	国立大学法人 琉球大学 学生部長
平井 りい子	公益財団法人那覇市育英会 理事

任期：令和7年5月15日～令和9年5月14日

◎会長 ○副会長

4 那覇市生涯学習推進協議会委員

令和7年5月現在

氏 名	役 職 名
◎長濱 克実	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会 副会長
○柴田 聡史	国立大学法人琉球大学 地域連携推進機構 准教授
島村 聡	沖縄大学 名誉教授
山盛 淳子	沖縄キリスト教短期大学 保育課 特任教授
松堂 美和子	キャリアデザイン研究所 代表
翁長 有希	一般社団法人沖縄キャリア教育支援企業ネットワーク 理事
与儀 実彦	那覇市牧志駅前ほしぞら公民館利用団体連絡会 会長
上原 啓渡	一般社団法人 那覇青年会議所 人財拡大委員会 委員長
玉寄 文代	曙小学校区まちづくり協議会 副会長
栩野 浩※1	沖縄ツーリスト株式会社 執行役員

任期：令和5年10月24日～令和7年10月23日

※1 任期：令和6年5月31日～令和8年5月30日

◎会長 ○副会長

5 那覇市社会教育委員

令和7年5月現在

氏 名	役 職 名
◎安里 幸治	那覇市PTA連合会 会長 城東小学校区まちづくり協議会 会長
○土屋 恭子	那覇市社会教育指導員 OB会 副会長
上原 博	那覇市自治会長連合会 副会長
仲村渠 好美	那覇市女性連合会 会長
伊良波 尚美	那覇市青少年健全育成 市民会議 副会長
柴田 聡史	琉球大学地域連携推進 機構 准教授
谷本 裕	沖縄県立芸術大学音楽部 沖縄文化コース 教授
仲吉 恭子	仲井真小学校区まちづく り協議会子ども部会会長
添石 幸伸	沖縄経済同友会会計監事 沖縄県ユネスコ協会会長
佐渡山 要	株式会社琉球のタネ・ていあん だクラブ・アルパカすく〜る 代表
佐和田 紀子※1	NPO法人沖縄児童英 語研究会
松田 孝※2	那覇市立中学校 元校長
知念 みね子※2	社会福祉法人立保育園 那覇市園長会 副会長

任期：令和6年5月15日～令和8年5月14日

※1 任期：令和7年5月15日～令和8年5月14日

※2 任期：令和7年5月15日～令和9年5月14日

◎議長 ○副議長

6 那覇市立図書館協議会委員

令和7年5月現在

氏 名	役 職 名
◎平井 りい子	沖縄女子短期大学 特別任 用教授
○呉屋 美奈子	日本図書館協会認定司書
徳門 敦子	さつき小学校 校長
浦崎 直己	那覇市社会福祉協議会 社会福祉士
知念 康代	おはなしボランティア シークワサー代表
松井 秀夫 ※1	那覇市PTA連合会 副会長

任期：令和5年8月16日～令和7年8月15日

※1任期：令和6年7月11日～令和7年8月15日

◎会長 ○副会長

7 那覇市立壺屋焼物博物館協議会委員

令和7年5月現在

氏 名	所 属
◎島袋 常秀	壺屋陶器事業協同組合 理事長
○小島 哲夫	那覇市立壺屋小学校 教頭
小林 純子	沖縄県立芸術大学 教授
金子 康一	壺屋やちむん通り会 会員
金城 修	一般財団法人沖縄観光コンベン ションビューロー 国内事業部長
當山 理恵子	那覇市立神原小学校 PTA 会員
栗国 恭子	沖縄国際大学・沖縄県立芸術 大学 非常勤講師
新本 英亨	株式会社沖縄タイムス社 事業局 次長兼企画事業部部長
大城 誠二	株式会社琉球新報社編集局 くらし報道グループ 副グループ長
高江洲 康信	壺屋町民会自治会 副会長

任期：令和6年11月21日～令和8年11月20日

◎会長 ○副会長

8 那覇市文化財調査審議会委員

令和7年5月現在

氏 名	専 門 分 野
◎宮城 晴美	近現代史
○深澤 秋人	歴史学
永松 義博	歴史（庭園史）
平良 啓	建造物・史跡
樋口 純一郎	天然記念物
森 達也	美術工芸・工芸技術
平良 次子	美術工芸・戦跡
前田 一舟	民俗学
仲村 顕	歴史学
宮城 弘樹	考古学・史跡・埋蔵文化財
鈴木 耕太	芸能
前田 舟子	琉中関係史

◎会長 ○副会長

9 那覇市歴史博物館運営審議会委員

令和7年5月現在

氏 名	所 属
◎宮城 晴美	新沖縄県史編集委員会会長
○與那嶺 一子	琉球大学非常勤講師
小林 純子	沖縄県立芸術大学教授
麻生 伸一	琉球大学教授
幸喜 淳	一般財団法人沖縄美ら島財団研究室室長
照屋 美奈子	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー課長
金城 睦	沖縄県立首里高校教諭
田島 繁	那覇市自治会長会連合会会長

◎会長 ○副会長

10 那覇市琉球王尚家伝来品修理等審議会委員

令和7年5月現在

氏 名	所 属
◎田名 真之	沖縄県立博物館・美術館館長
上江洲 安亨	一般財団法人沖縄美ら島財団首里城事業課 副参事
祝嶺 恭子	沖縄県無形文化財技術保持者
豊見山 和行	琉球大学 名誉教授
宮里 正子	浦添市美術館 元館長

◎会長

11 那覇市学校給食運営審議会委員

令和7年6月現在

氏 名	役 職 名
◎仲地 千佳	真嘉比小学校 校長
佐久田 悟	古蔵小学校 校長
徳門 敦子	さつき小学校 校長
仲間 健	金城中学校 校長
下地 渉	保護者代表
根元 崇英	保護者代表
井口 直子	琉球大学 准教授
喜屋武 ゆりか	沖縄大学 准教授
友寄 泰樹	ともよせ歯科医院 院長
渡久地 朝子	一般社団法人 沖縄県環境科学センター
玉城 邦彦	公益財団法人 沖縄県学校給食会 事務局長
底田 春奈	大名学校給食センター 栄養教諭

任期：令和6年3月13日～令和8年3月12日

◎会長

12 那覇市立教育研究所運営審議会委員

令和7年5月現在

氏 名	役 職 名
◎上江洲 朝男※2	琉球大学教職センター 教授
喜屋武 政勝※2	沖縄大学こども文化学科 教授
小野寺 清光※1	琉球大学教育学部教授
太田 寛※2	那覇教育事務所 指導班長
森山 涼子※2	真和志中学校 校長
吉村 聡子※1	大道小学校 校長
嘉数 千賀子※1	那覇市立寄宮中学校 教頭
内間 正樹※1	那覇市立天妃小学校 教頭
山内 淳子※1	沖縄県子どもの本研究会 副会長

◎会長

任期 ※1 令和5年6月13日～令和7年6月12日

※2 令和6年6月10日～令和8年6月9日

13 那覇市スポーツ推進審議会委員

令和7年5月現在

氏 名	P
砂川 力也	琉球大学 教育学部 准教授
仲村 ミヨ子	那覇市スポーツ推進委員 協議会 会長
嘉数 健悟	沖縄大学 人文学部 教授
徳永 成子	那覇市テニス協会 事務局次長
長崎 宏伸	一般財団法人 沖縄県健康づくり財団 健康増進部 室長
青山 喜佐子	社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ 代表
渡嘉敷 唯夫	渡嘉敷唯夫税理士事務所 税理士

任期：令和6年3月27日～令和8年3月26日

14 那覇市スポーツ推進委員

令和7年5月現在

No.		担当校区	氏 名	No.		担当校区	氏 名
1	那覇 A	壺屋小	大沼 実由紀	7	那覇 B	泊 小	
2		与儀小		8		那覇小	名城 のり子
3		神原小		9		若狭小	三木 紀子
4		城岳小	西原 貴大	10		天妃小	松本 てい子
5		古蔵小		11		天久小	
6		開南小	武村 朝勝				
12	真和志 A	曙小		18	真和志 B	上間小	
13		真嘉比小	佐久川 洋子	19		松川小	金城 翔
14		松島小	仲村 ミヨ子	20		識名小	栗栖 香代子
15		安謝小		21		真和志小	島尻 香雄
16		大道小		22		仲井真小	
17		銘苅小	屋宜 智英	23		真地小	
24	首里	城東小	兼次 政福	30	小 緑	垣花小	
25		城北小		31		高良小	
26		城西小		32		さつき小	堀川 江梨子
27		城南小	末吉 雪乃	33		宇栄原小	
28		石嶺小	太田 敏勝	34		小緑小	伊波 佳枝
29		大名小	松田 吉貞	35		小緑南小	
				36		金城小	

※スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法第32条第2項に基づき「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う」ことを目的に各市町村が委嘱し、業務等に従事する。

15 那覇市青少年指導員

令和7年7月現在

地区	校区	氏 名	校区	氏 名	校区	氏 名	校区	氏 名
首里地区	首里中	秋元 克則	城北中	舟浮 俊郎	石嶺中	佐久川 正次		
		潮平 廣文		山川 均		山城 裕一		
		伊波 文柯		照屋 正巳		宮本 聡志		
		古謝 克幸				徳永 孝太		
		前田 暁寛						
本庁地区	那覇中	高良 直子	上山中	渡慶次 全康	神原中	吉濱 辰美		
		眞喜志 修		大城 新吾		伊佐 和子		
		塩濱 健		安里 勇一		久手堅 正雄		
		玉城 直美		島田 理				
		伊地 柴基		宮平 章司				
真和志北地区	安岡中	儀間 わかな	真和志中	島袋 剛	松島中	金城 喜美代	松城中	新川 唯司
		安里 忠志		金城 康貴		赤嶺 徳男		比嘉 歩
		坂井 浩二		山城 悠子		諫山 竜多		我那覇 治
		照屋 陽		古堅 大輔		山城 美津代		與那覇 洋
		與倉 幹枝		力宗 寛行		屋我 誠		又吉 由姫
真和志南地区	石田中	大城 美智子	寄宮中	石川 静子	古蔵中	大城 百合子	仲井真中	新垣 邦夫
		大城 哲夫		島尻 香雄		根間 良昭		
		平良 史子		伊江 朝芳		眞栄城 孝		
		伊良波 尚美				永山 盛太郎		
		宮里 博晃				大湾 敦紀		
小緑地区	小緑中	高良 清二	鏡原中	高良 善貢	金城中	大田 秀美		
		知念 康代		照屋 崇男		有銘 盛邦		
		和田 晴美		知名 まさみ		甲斐 智広		
		杉本 一彦		松山 耕平		世良 路子		
		平良 泉太		吉元 さつき		平良 俊		

16 学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

(1) 小学校

令和7年5月現在

学校名	学校医	勤務先	学校歯科医	勤務先	学校薬剤師	勤務先
1 安 謝	玉井 修	曙クリニック	川満 聖子	ミント歯科	川満 亜希子	ミント薬局 泉崎店
2 城 東	天久 憲治	首里こどもクリニック	丸山 幸子	プラスデンタルクリニック	我喜屋 美香	沖縄中部療育医療センター
3 城 北	伊波 剛彦	光輪会沖縄クリニック	佐竹 ひびき	ひびきデンタルクリニック	伊佐 要一	りんご調剤薬局 西原東店
4 城 西	安田 忍	首里の杜耳鼻咽喉科	加藤 真由美	くばがわ歯科医院	奥野 聖子	すこやか薬局 松島店
5 城 南	砂川 憲政	とおのくら整形外科	護得久 朝保	知花歯科医院	田場 英美	すこやか薬局 松川店
6 真嘉比	宮城 裕之	おもろキッズクリニック	嘉数 武男		田鍋 大史	おもろまち薬局
7 泊	上原 弘行	うえはら小児科医院	金城 清一郎	泊ポート歯科	備瀬 紀子	おなは薬局
8 大 道	饒波 正史	のは耳鼻咽喉科	仲村 将健	大道歯科医院	吉田 将司	りんご調剤薬局 うるま店
9 松 川	岸本 幸明	岸本整形リハビリクリニック	前城 康一	前城歯科	城間 司	ぐすく薬局
10 識 名	喜久村 徳清	三原内科クリニック	町田 宗直	沖縄まちだ歯科クリニック	吉田 洋史	吉田薬局 はんたがわ店
11 壺 屋	真栄城 徳秀	真栄城耳鼻咽喉科	新城 美由紀	たから歯科	備瀬 紀子	おなは薬局
12 若 狭	豊田 和正	けいわクリニック	宮城 嗣典	みやぎ歯科クリニック	山里 美恵子	
13 神 原	知念 正人	知念医院	仲程 泰之介	国際通り歯科クリニック	福里 乙梨恵	こくら虹薬局
14 真和志	吉田 馨	かおる小児科	林 尚樹	はやしファミリー歯科	嘉陽 孝雄	
15 与 儀	山城 慶子	山城消化器内科医院	友寄 清喜	友寄デンタルクリニック	米村 わかな	沖縄県 薬務生活衛生課
16 城 岳	山城 千秋	山城整形外科眼科医院	崎山 哲弘	さき山歯科クリニック	前濱 朋子	つる薬局
17 天 妃	真栄田 篤彦	西町クリニック	仲里 耕治	仲里歯科医院	山里 美恵子	
18 開 南	宮城 政剛	新川クリニック	宮國 義樹	エム・エム歯科クリニック	城間 千賀子	新垣病院（薬局）
19 垣 花	玉城 研太朗	那覇西クリニック	高良 麻呂	ペリー歯科クリニック	又吉 智賀子	ぐすく薬局
20 小 禄	宮城 哲哉	駅前の内科・神経内科クリニック	友寄 泰樹	ともよせ歯科医院	玉城 祐太朗	こくら虹薬局
21 高 良	比嘉 睦	まんまる子どもクリニック	与那覇 朝路	よなは歯科クリニック	町田 里穂	こくら虹薬局
22 宇栄原	新城 和明	しんじょうクリニック	大山 哲生	大山歯科医院	飯塚 雄矢	会営薬局うえはら
23 松 島	大城 聡	おおキッズクリニック	眞座 孝	たかし歯科医院	植田 真紀	リーフ調剤薬局
24 古 蔵	野原 忍	野原耳鼻咽喉科医院	山城 正裕	山城歯科医院	桃原 和樹	はれ薬局
25 上 間	屋宜 晃	やぎSUNクリニック	玉城 均	ながた歯科医院	古賀 功	さんご薬局
26 大 名	玉城 仁	那覇ゆい病院	屋嘉 智彦	やかデンタルクリニック	古堅 恵利	病院前薬局
27 石 嶺	森 叶	叶クリニック	勝連 義之	那覇まかび歯科	花岡 翔子	すこやか薬局 宮城店
28 仲井真	川満 克紀	こくらクリニック	上原 修	あいあい歯科医院	久手堅 奈央	こくら虹薬局
29 金 城	武村 盛信	かなぐすくクリニック	西川 謙	西川歯科医院	秋山 武司	ゆい薬局 知花店
30 曙	高良 吉広	安謝ファミリークリニック	高江洲 實	たかえす歯科クリニック	亀谷 浩昌	
31 小禄南	玻座真 博明	はざま胃腸内科クリニック	神山 まり	ココ歯科医院	西川 裕	そうごう薬局 新赤十字前店
32 真 地	當間 隆也	K u k u r u きつザクリニック	平良 浩	つばや歯科医院	古堅 直也	すこやか薬局 松島店
33 さつき	上原 剛	さつきクリニック	金城 光也	さつき歯科クリニック	宇根 良太	メディコープおきなわ
34 銘 莉	仲本 正人	仲本クリニック	上間 聡子	うえま歯科クリニック	奈良本 清佳	アイティーアイ(株) 沖縄支店
35 天 久	玉那覇 康一郎	小児クリニックたまなは	井上 博文	きらきらデンタルクリニック	上江洲 美由紀	ゆらき薬局天久店
36 那 覇	仲地 紀之	仲地耳鼻咽喉科	古堅 信	古堅歯科矯正歯科医院	阿部 義則	会営薬局医療センター前

(2) 中学校

令和7年5月現在

学校名	学校医	勤務先	学校歯科医	勤務先	学校薬剤師	勤務先
1 安 岡	仲本 昌文	仲本内科・小児科	高良 宗男	あけぼの歯科	村田 美智子	うちどまり薬局
2 首 里	金城 盛男	首里内科クリニック	外間 宏正	ほかも歯科クリニック	野村 久子	こくら虹薬局
3 真和志	石田 吉樹	はいさいクリニック	新城 美由紀	たから歯科	國場 志音	ふく薬局 まかび店
4 石 田	白井 和美	白井クリニック	長堂 芳子	長堂歯科医院	新垣 紀子	つる薬局
5 那 覇	友利 博朗	八重洲クリニック	新垣 秀也	久茂地歯科クリニック	高里 麻子	がじまる薬局
6 上 山	仲松 元二郎	仲松内科クリニック	高嶺 邦朗	たかみね歯科クリニック	永村 亮	りんご調剤薬局 糸満店
7 神 原	真志取 浩貴	ましどり整形外科	友寄 清喜	友寄デンタルクリニック	吉田 洋史	吉田薬局 はんたがわ店
8 寄 宮	下地 武義	沖縄セントラル病院	太田 正昭	太田歯科医院	大城 聖子	ミズホ薬局
9 古 蔵	伊泊 広二	沖縄協同病院	森 真二郎	もり歯科	枅井 亮太	ミルク薬局 天久店
10 小 禄	寺田 幸平	うえばるクリニック	中里 一郎	中里歯科医院	玉村 澄恵	すこやか薬局 沖赤店
11 松 島	前浜 宏之	前浜小児科医院	徳田 安成	とくだ歯科クリニック	石川 恵市	とくりん薬局 与勝店
12 城 北	金井 透 若夏分校	金井医院	能登原 敬	のとはら歯科	知念 邦之	パンダ薬局
13 鏡 原	高原 明子	形成外科K C	石原 一	いしはら歯科医院	久高 祐一	はるはな薬局
14 松 城	久手堅 憲史	くばがわメディカルクリニック	長濱 正	長浜歯科医院	神里 奈々子	オアシス薬局
15 仲井真	長田 清	長田クリニック	大城 一乃	ライオン歯科クリニック	玉津 亜矢	薬志堂薬局 糸満店
16 金 城	小禄 雅人	新健幸クリニック	新里 吉之	かなぐすく歯科	祖堅 華奈	とくりん薬局 赤嶺駅前店
17 石 嶺	田名 毅	首里城下町クリニック第一	加藤 進作	くばがわ歯科医院	我喜屋 啓	(株)沖明

(3) 公立こども園

令和7年5月現在

学校名	学校医	勤務先	学校歯科医	勤務先	学校薬剤師	勤務先
1 城 北	天久 憲治	首里こどもクリニック	佐竹 ひびき	ひびきデンタルクリニック	伊佐 要一	りんご薬局 西原東店
2 城 西	天久 憲治	首里こどもクリニック	加藤 真由美	くばがわ歯科医院	奥野 聖子	すこやか薬局 松島店
3 城 南	天久 憲治	首里こどもクリニック	護得久 朝保	知花歯科医院	田場 英美	すこやか薬局 松川店
4 大 名	天久 憲治	首里こどもクリニック	屋嘉 智彦	やかデンタルクリニック	古堅 恵利	病院前薬局
5 泊	上原 弘行	医) 仁 うえはら小児科医院	金城 清一郎	泊ポート歯科	備瀬 紀子	おなは薬局
6 天久みらい	玉那覇 康一郎	医) いちろ会 小児クリニックたまなは	井上 博文	きらきらデンタルクリニック	上江洲 美由紀	ゆらき薬局 天久店
7 真嘉比	宮城 裕之	おもろキッズクリニック	嘉数 武男		田鍋 大史	おもろまち薬局
8 那 覇	仲地 紀之	仲地耳鼻咽喉科	古堅 信	医) 古堅会 古堅歯科矯正歯科医院	阿部 義則	会営薬局医療センター前
9 壺 屋	真栄城 徳秀	医) 真仁会 真栄城耳鼻咽喉科	新城 美由紀	たから歯科	備瀬 紀子	おなは薬局
10 開 南	宮城 政剛	医) 善孜会 新川クリニック	宮國 義樹	医) またよし会 エム・エム歯科クリニック	城間 千賀子	新垣病院(薬局)
11 天 妃	川満 克紀	医) 徳洲会 こくらクリニック	仲里 耕治	仲里歯科医院	山里 美恵子	
12 上 間	知花 愛里		玉城 均	ながた歯科医院	古賀 功	さんご薬局
13 大道みらい	吉田 馨	医) ゆうりな かおる小児科	仲村 将健	医) 大道歯科医院	吉田 将司	りんご調剤薬局 うるま店
14 真和志	吉田 馨	医) ゆうりな かおる小児科	林 尚樹	はやしファミリー歯科	嘉陽 孝雄	
15 与 儀	山城 慶子	医) 雄光会 山城消化器内科医院	友寄 清喜	友寄デンタルクリニック	下地 悠子	沖縄県薬務生活衛生課
16 小禄南	玻座真 博明	はざま胃腸内科クリニック	神山 まり	ココ歯科医院	西川 裕	そうごう薬局新赤十字前店
17 久場川みらい	天久 憲治	首里こどもクリニック	加藤 真由美	くばがわ歯科医院	久場 奈緒子	グリーンドラッグ薬局 首里店
18 宇栄原みらい	玻座真 博明	はざま胃腸内科クリニック	山城 ひとみ		平良 仔己子	調剤薬局 クオレ

17 那覇市教育委員会教科等指導員

校 種	No.	担当教科等	氏 名	所 属
小学校	1	国語	我那覇 翔太	城北小
	2	理科	宮城 幸太	石嶺小
	3	音楽	小宮 輝子	高良小
	4	音楽	工藤 かや	さつき小
	5	特活	小橋川 共啓	泊小
	6	特活	我那覇 ゆり子	城南小
	7	道德	新垣 博也	松島小
	8	総合	地主園 亮	真嘉比小
	9	特支	與座 美夏	石嶺小
中学校	10	理科	渡嘉敷 光範	真和志中
	11	道德	宮城 豪	真和志中

任期：令和8年3月31日まで

【資料編】

園児・児童・生徒・教職員等



1 令和6年度卒業者の状況（中学校）

令和7年5月1日現在

（1）進路別卒業者数

単位：人

卒業者 総数		高等学校（本科）						高等 専門 学校		特別 支援 学校 高等 部		専修 学校 等		就職者		左記 以外 の者		死亡・ 不詳 の者	
		全日制		定時制		通信制													
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1,524	1,400	1,334	1,194	35	34	61	116	18	11	30	13	8	8	6	0	32	24	0	0
2,924		2,528		69		177		29		43		16		6		56		0	
比率		86.5%		2.4%		6.1%		1.0%		1.5%		0.5%		0.2%		1.9%		0.0%	

（2）産業別就職者数（就職進学者を含む）

単位：人

性別	産業別	第1次産業		第2次産業		第3次産業		その他		合計		
		県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	計
男		0	0	1	0	5	0	0	0	6	0	6
女		0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
計		0	0	1	0	6	0	0	0	7	0	7

2 就学援助を受けた児童生徒数（推移）

小学校

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
要保護	349	314	274	234	221
準要保護	4,256	4,094	3,892	3,694	3,539
合計	4,605	4,408	4,166	3,928	3,760
児童数	19,641	19,272	19,002	18,361	18,041
認定率	23.4%	22.9%	21.9%	21.4%	20.8%
申請者数	5,627	5,257	5,029	4,893	4,779
申請率	28.6%	27.3%	26.5%	26.6%	26.5%

中学校

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
要保護	231	221	194	184	182
準要保護	2,205	2,250	2,185	2,199	2,058
合計	2,436	2,471	2,379	2,383	2,240
生徒数	8,693	8,650	8,662	8,738	8,643
認定率	28.0%	28.6%	27.5%	27.3%	25.9%
申請者数	2,919	2,886	2,860	2,943	2,803
申請率	33.6%	33.4%	33.0%	33.7%	32.4%

※認定率＝全児童又は、全生徒に占める就学援助を受けた児童生徒の割合

※申請率＝全児童又は、全生徒に占める就学援助を申請した児童生徒の割合

3 令和7年度 小学校児童数（学校別、学年別、男女別）

小 学 校 名		1 年				2 年				3 年				4 年			
		男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級
1	安 謝 小	46	44	(6) 90	3	45	38	(4) 83	3	45	34	(6) 79	3	55	50	(5) 105	3
2	城 東 小	36	35	(5) 71	2	40	39	(6) 79	3	35	38	(4) 73	2	43	51	(8) 94	3
3	城 北 小	43	58	(8) 101	3	50	60	(5) 110	4	64	50	(3) 114	4	51	46	(7) 97	3
4	城 西 小	53	48	(6) 101	3	53	54	(5) 107	4	42	38	(5) 80	3	64	44	(7) 108	3
5	城 南 小	27	23	(6) 50	2	24	29	(1) 53	2	36	29	(0) 65	2	33	25	(4) 58	2
6	真 嘉 比 小	40	41	(1) 81	3	54	45	(4) 99	3	41	46	(4) 87	3	47	51	(1) 98	3
7	泊 小	52	42	(4) 94	3	52	54	(2) 106	4	61	57	(7) 118	4	57	55	(1) 112	4
8	大 道 小	19	12	(0) 31	1	28	22	(2) 50	2	19	18	(3) 37	1	28	29	(8) 57	2
9	松 川 小	34	41	(5) 75	2	36	41	(6) 77	2	41	34	(2) 75	3	36	38	(1) 74	3
10	識 名 小	63	33	(5) 96	3	53	54	(2) 107	4	36	49	(4) 85	3	46	59	(10) 105	3
11	壺 屋 小	16	19	(7) 35	1	23	14	(4) 37	1	17	13	(4) 30	1	23	20	(5) 43	2
12	若 狭 小	12	22	(1) 34	1	17	15	(3) 32	1	25	18	(4) 43	2	21	14	(3) 35	1
13	神 原 小	31	29	(5) 60	2	30	32	(1) 62	2	32	29	(8) 61	2	31	34	(5) 65	2
14	真 和 志 小	32	37	(5) 69	2	32	35	(4) 67	2	34	35	(4) 69	2	45	27	(12) 72	2
15	与 儀 小	18	22	(4) 40	2	27	24	(5) 51	2	17	16	(2) 33	1	23	30	(7) 53	2
16	城 岳 小	43	38	(1) 81	3	40	50	(7) 90	3	57	41	(8) 98	3	44	54	(10) 98	3
17	天 妃 小	29	30	(2) 59	2	29	37	(5) 66	2	34	30	(3) 64	2	30	38	(4) 68	2
18	開 南 小	27	25	(4) 52	2	25	31	(2) 56	2	37	24	(5) 61	2	39	30	(1) 69	2
19	垣 花 小	22	15	(1) 37	2	16	16	(2) 32	1	18	11	(0) 29	1	25	23	(2) 48	2
20	小 祿 小	18	22	(2) 40	2	30	25	(4) 55	2	25	24	(2) 49	2	35	27	(9) 62	2
21	高 良 小	56	61	(2) 117	4	74	56	(9) 130	5	81	65	(11) 146	4	63	79	(8) 142	4
22	宇 栄 原 小	32	34	(2) 66	2	42	43	(9) 85	3	39	40	(6) 79	3	46	33	(3) 79	3
23	松 島 小	54	38	(5) 92	3	31	47	(4) 78	3	34	39	(4) 73	2	50	46	(6) 96	3
24	古 蔵 小	48	49	(10) 97	3	48	54	(3) 102	4	44	53	(11) 97	3	45	63	(6) 108	3
25	上 間 小	50	42	(11) 92	3	43	28	(4) 71	2	51	34	(5) 85	3	52	47	(6) 99	3
26	大 名 小	23	12	(4) 35	1	11	14	(4) 25	1	11	14	(1) 25	1	13	15	(2) 28	1
	若夏分教室																
27	石 嶺 小	65	48	(6) 113	4	75	72	(8) 147	5	81	57	(6) 138	4	62	72	(4) 134	4
28	仲 井 真 小	52	56	(7) 108	4	65	52	(8) 117	4	63	55	(6) 118	4	59	57	(5) 116	4
29	金 城 小	55	53	(4) 108	4	64	47	(2) 111	4	50	54	(5) 104	3	54	56	(3) 110	3
30	曙 小	25	17	(4) 42	2	14	27	(0) 41	2	20	29	(4) 49	2	26	27	(3) 53	2
31	小 祿 南 小	47	52	(7) 99	3	40	43	(3) 83	3	55	50	(12) 105	3	57	55	(9) 112	3
32	真 地 小	33	35	(4) 68	2	52	36	(5) 88	3	38	32	(3) 70	2	50	39	(7) 89	3
33	さ つ き 小	51	40	(5) 91	3	42	64	(2) 106	4	45	48	(7) 93	3	45	33	(5) 78	3
34	銘 苺 小	34	39	(3) 73	2	52	55	(6) 107	4	42	37	(5) 79	3	63	50	(1) 113	4
35	天 久 小	52	55	(7) 107	4	55	59	(5) 114	4	43	60	(2) 103	3	55	73	(3) 128	4
36	那 覇 小	29	31	(1) 60	2	30	26	(4) 56	2	27	26	(3) 53	2	46	44	(6) 90	3
合 計		1,367	1,298	(160) 2,665	90	1,442	1,438	(150) 2,880	102	1,440	1,327	(169) 2,767	91	1,562	1,534	(187) 3,096	99

令和7年5月1日現在

5 年				6 年				合 計				小 学 校 名
男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	
40	43	(7) 83	3	54	50	(7) 104	3	285	259	(35) 544	(7) 25	安 謝 小 1
36	44	(4) 80	3	47	41	(5) 88	3	237	248	(32) 485	(6) 22	城 東 小 2
63	62	(4) 125	4	51	61	(7) 112	3	322	337	(34) 659	(5) 26	城 北 小 3
43	47	(4) 90	3	62	61	(9) 123	4	317	292	(36) 609	(6) 26	城 西 小 4
34	28	(4) 62	2	45	32	(6) 77	3	199	166	(21) 365	(3) 16	城 南 小 5
45	44	(1) 89	3	43	55	(6) 98	3	270	282	(17) 552	(3) 21	真 嘉 比 小 6
67	77	(4) 144	4	58	49	(5) 107	3	347	334	(23) 681	(5) 27	泊 小 7
19	19	(2) 38	2	22	16	(3) 38	1	135	116	(18) 251	(4) 13	大 道 小 8
39	35	(4) 74	2	53	44	(6) 97	3	239	233	(24) 472	(4) 19	松 川 小 9
55	45	(7) 100	3	51	57	(3) 108	3	304	297	(31) 601	(5) 24	識 名 小 10
14	26	(5) 40	1	27	22	(3) 49	2	120	114	(28) 234	(6) 14	壺 屋 小 11
27	31	(3) 58	2	30	19	(2) 49	2	132	119	(16) 251	(3) 12	若 狭 小 12
26	18	(4) 44	2	31	32	(6) 63	2	181	174	(29) 355	(6) 18	神 原 小 13
45	36	(10) 81	3	42	36	(5) 78	3	230	206	(40) 436	(6) 20	真 和 志 小 14
23	20	(4) 43	2	21	27	(2) 48	2	129	139	(24) 268	(5) 16	与 儀 小 15
43	36	(5) 79	3	50	47	(2) 97	3	277	266	(33) 543	(5) 23	城 岳 小 16
46	31	(5) 77	3	25	31	(5) 56	2	193	197	(24) 390	(5) 18	天 妃 小 17
29	30	(3) 59	2	33	37	(6) 70	2	190	177	(21) 367	(3) 15	開 南 小 18
20	14	(2) 34	1	21	15	(4) 36	1	122	94	(11) 216	(2) 10	垣 花 小 19
38	25	(6) 63	2	30	28	(2) 58	2	176	151	(25) 327	(4) 16	小 禄 小 20
61	72	(7) 133	4	66	55	(9) 121	4	401	388	(46) 789	(7) 32	高 良 小 21
53	49	(4) 102	3	38	48	(3) 86	3	250	247	(27) 497	(5) 22	宇 栄 原 小 22
53	46	(6) 99	3	52	45	(7) 97	3	274	261	(32) 535	(4) 21	松 島 小 23
64	48	(6) 112	4	74	63	(8) 137	4	323	330	(44) 653	(6) 27	古 蔵 小 24
49	42	(9) 91	3	43	45	(4) 88	3	288	238	(39) 526	(6) 23	上 間 小 25
8	13	(2) 21	1	18	16	(5) 34	1	84	84	(18) 168	(3) 9	大 名 小 26
										(0) 0	(0) 0	若夏分教室
62	72	(11) 134	4	68	82	(6) 150	5	413	403	(41) 816	(8) 34	石 嶺 小 27
49	50	(2) 99	3	58	57	(4) 115	4	346	327	(32) 673	(6) 29	仲 井 真 小 28
40	57	(5) 97	3	60	69	(11) 129	4	323	336	(30) 659	(6) 27	金 城 小 29
21	16	(2) 37	1	23	19	(5) 42	2	129	135	(18) 264	(4) 15	曙 小 30
51	54	(3) 105	3	60	48	(12) 108	3	310	302	(46) 612	(7) 25	小 禄 南 小 31
35	36	(6) 71	2	36	40	(4) 76	3	244	218	(29) 462	(5) 20	真 地 小 32
45	42	(1) 87	3	59	45	(5) 104	3	287	272	(25) 559	(4) 23	さ つ き 小 33
45	43	(8) 88	3	53	36	(7) 89	3	289	260	(30) 549	(6) 25	銘 荊 小 34
60	57	(7) 117	4	56	65	(5) 121	4	321	369	(29) 690	(5) 28	天 久 小 35
37	32	(5) 69	2	43	34	(6) 77	2	212	193	(25) 405	(5) 18	那 覇 小 36
1,485	1,440	(172) 2,925	96	1,603	1,527	(195) 3,130	101	8,899	8,564	(1033) 17,463	(180) 759	合 計

() は特別支援学級であり、内数である。

4 令和7年度 中学校生徒数（学校別、学年別、男女別）

令和7年5月1日現在

中学校名		1 年				2 年				3 年				合 計			
		男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級
1	安岡中			(15)				(18)				(6)				(39)	(6)
		127	131	258	7	150	152	302	9	138	127	265	8	415	410	825	30
2	首里中			(10)				(10)				(6)				(26)	(5)
		94	93	187	5	95	124	219	6	120	112	232	7	309	329	638	23
3	真和志中			(11)				(10)				(3)				(24)	(4)
		47	61	108	3	47	35	82	3	45	33	78	3	139	129	268	13
4	石田中			(8)				(7)				(5)				(20)	(3)
		63	71	134	4	69	64	133	4	48	70	118	4	180	205	385	15
5	那覇中			(7)				(7)				(9)				(23)	(4)
		106	90	196	6	105	94	199	6	112	96	208	6	323	280	603	22
6	上山中			(8)				(9)				(5)				(22)	(3)
		66	61	127	4	54	59	113	4	62	69	131	4	182	189	371	15
7	神原中			(8)				(9)				(10)				(27)	(4)
		40	39	79	3	51	48	99	3	61	47	108	3	152	134	286	13
8	寄宮中			(9)				(9)				(12)				(30)	(5)
		80	93	173	5	68	89	157	5	83	96	179	5	231	278	509	20
9	古蔵中			(6)				(10)				(7)				(23)	(4)
		93	99	192	6	101	75	176	5	102	99	201	6	296	273	569	21
10	小禄中			(20)				(18)				(14)				(52)	(8)
		145	118	263	7	138	130	268	8	128	119	247	7	411	367	778	30
11	松島中			(7)				(10)				(8)				(25)	(4)
		119	96	215	6	109	73	182	5	110	109	219	7	338	278	616	22
12	城北中			(9)				(7)				(4)				(20)	(3)
		74	64	138	4	71	51	122	4	55	76	131	4	200	191	391	15
12'	若夏分校			(1)				(3)				(1)				(5)	(2)
		1		1		5		5	1	5	4	9	1	11	4	15	4
13	鏡原中			(8)				(8)				(14)				(30)	(5)
		94	99	193	6	96	94	190	6	133	98	231	6	323	291	614	23
14	松城中			(6)				(4)				(4)				(14)	(3)
		41	33	74	2	44	38	82	3	31	49	80	3	116	120	236	11
15	仲井真中			(7)				(6)				(14)				(27)	(4)
		96	79	175	5	70	75	145	4	75	80	155	5	241	234	475	18
16	金城中			(10)				(9)				(6)				(25)	(5)
		89	86	175	5	73	103	176	5	101	80	181	5	263	269	532	20
17	石嶺中			(9)				(7)				(10)				(26)	(4)
		70	93	163	5	74	57	131	4	83	87	170	5	227	237	464	18
合 計		1,445	1,406	2,851	83	1,420	1,361	2,781	85	1,492	1,451	2,943	89	4,357	4,218	8,575	333

() は特別支援学級であり、内数である。

5 令和7年 幼保連携型認定こども園園児数（園別、男女別）

(1) 公立型

※天久みらい・大道みらい・久場川みらい・宇栄原みらいこども園は0～2歳の在籍あり

令和7年5月1日現在

こども園 名	3歳児					4歳児					5歳児					合計				
				(再掲)				(再掲)				(再掲)				(再掲)				
	男 女	計	学級	1号認定 2号認定	男 女	計	学級	1号認定 2号認定	男 女	計	学級	1号認定 2号認定	男 女	計	学級	1号認定 2号認定				
城こども園	北園				5			1	21			8	26			9				
城こども園	西園	9		1	10	15	1	14	18	39	2	31	28	54	3	45				
城こども園	南園	5	14	13	6	21	1	4	15			3	30			8				
城こども園	大園				15	21	1	17	12	27	2	24	32	62	4	54				
城こども園	泊園				8			1	15			1	23			2				
城こども園	天久みらい園				2	10	1	9	9	24	1	23	11	34	2	32				
城こども園	真比園				1				13			1	14			1				
城こども園	那覇園				2	3		3	10	23	1	22	12	26	1	25				
城こども園	壺屋園				14			3	23			2	37			5				
城こども園	開成園	22		1	11	25	1	22	23	46	2	44	34	71	3	66				
城こども園	天久みらい園	8	30	29	22	47	2	39	22	50	3	43	55	127	7	111				
城こども園	真比園				15			2	32			4	47			6				
城こども園	那覇園				9	24	1	22	39	71	3	67	48	95	4	89				
城こども園	壺屋園				11			2	19			30				2				
城こども園	開成園				14	25	1	23	26	45	2	45	40	70	3	68				
城こども園	天久みらい園				5			12				17								
城こども園	真比園				7	12	1	12	11	23	1	23	18	35	2	35				
城こども園	那覇園				6			2	12			2	18			4				
城こども園	壺屋園				8	14	1	12	10	22	1	20	18	36	2	32				
城こども園	開成園	9		2	11			1	24			2	44			5				
城こども園	天久みらい園	6	15	13	14	25	1	24	14	38	2	36	34	78	4	73				
城こども園	真比園	9		2	11				25			4	45			6				
城こども園	那覇園	6	15	13	14	25	1	25	20	45	2	41	40	85	4	79				
城こども園	壺屋園	7		1	13			4	13			33				5				
城こども園	開成園	8	15	14	10	23	1	19	19	32	2	32	37	70	4	65				
城こども園	天久みらい園				13			2	23			4	36			6				
城こども園	真比園				8	21	1	19	18	41	2	37	26	62	3	56				
城こども園	那覇園				6			3	18			5	24			8				
城こども園	壺屋園				10	16	1	13	19	37	2	32	29	53	3	45				
城こども園	開成園				7			4	14			1	21			5				
城こども園	天久みらい園				6	13	1	9	19	33	2	32	25	46	3	41				
城こども園	真比園	8		0	8			0	1			17				0				
城こども園	那覇園	5	13	13	8	16	1	16		1		1	13	30	2	30				
城こども園	壺屋園	6		0	5			0				11				0				
城こども園	開成園	6	12	12	6	11	1	11	2	2		2	14	25	2	25				
合 計		70		7	167			37	308			44	545			88				
		44	114	8	107	179	346	18	309	291	599	30	555	514	1,059	56	971			

(2) 公私連携型

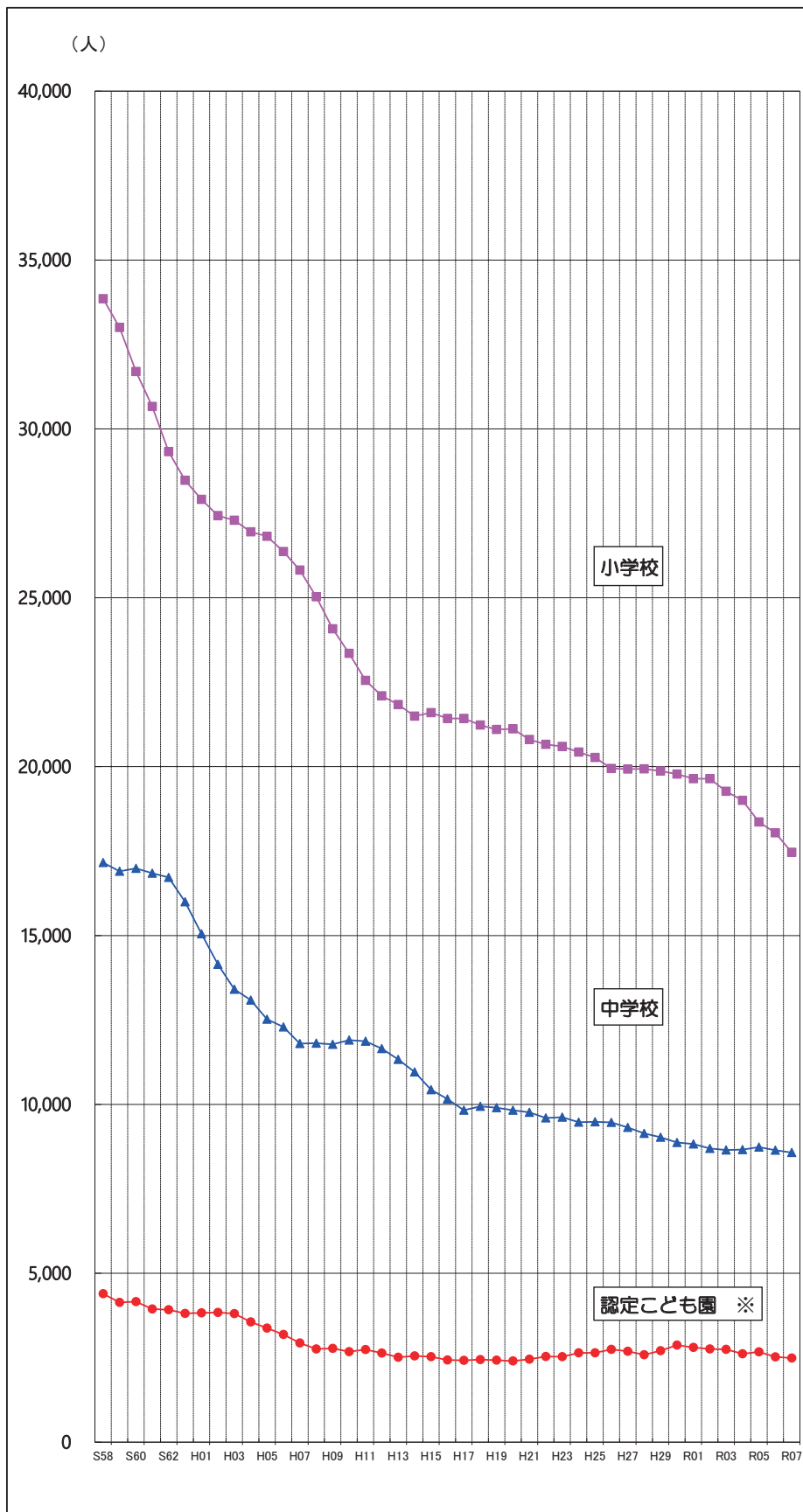
令和7年5月1日現在

こども園 名		3歳児				4歳児				5歳児				合計								
					(再掲)				(再掲)				(再掲)				(再掲)					
		男	女	計	学級	1号認定	男	女	計	学級	1号認定	男	女	計	学級	1号認定	男	女	計	学級	1号認定	
						2号認定					2号認定					2号認定					2号認定	
城こども園	東園	6				6				1	9			1	21			2				2
城こども園	石園	5	11	1	11	10	16	1	15	13	22	1	21	28	49	3						47
石こども園	嶺園	3			1	7			2	24			6	34								9
石こども園	謝園	6	9	1	8	10	17	1	15	18	42	2	36	34	68	4						59
安こども園	曙園	7			2	17			3	14			3	38								8
安こども園	園	4	11	1	9	11	28	1	25	8	22	2	19	23	61	4						53
こども園						10			1	15			1	25								2
こども園	町園					7	17	1	16	19	34	2	33	26	51	3						49
銘こども園	狭園	8			19	9			6	16			6	43								12
銘こども園	原園	12	20	1	20	9	28	1	22	18	34	2	28	39	82	4						70
若こども園	神園	7			1	12			4	16			35									5
若こども園	園	9	16	1	15	10	22	1	18	16	32	2	32	35	70	4						65
神こども園	城園	9			1	8			2	22			1	39								4
神こども園	城園	4	13	1	12	6	14	1	12	13	35	2	34	23	62	4						58
城こども園	垣園	8			10				2	16			6	34								8
城こども園	垣園	9	17	1	17	15	25	1	23	15	31	1	25	39	73	3						65
垣こども園	松園					11			4	8			3	19								7
垣こども園	松園					5	16	1	12	5	13	1	10	10	29	2						22
松こども園	島園	12			4	15			5	20			4	47								13
松こども園	島園	8	20	1	16	11	26	1	21	17	37	2	33	36	83	4						70
松こども園	川園	4			2	9			3	26			1	39								6
松こども園	川園	7	11	1	9	10	19	1	16	19	45	2	44	36	75	4						69
識こども園	名園	7			1	12			2	29			5	48								8
識こども園	名園	10	17	1	16	10	22	1	20	16	45	2	40	36	84	4						76
真こども園	地園					13			4	24			1	37								5
真こども園	地園					14	27	1	23	21	45	2	44	35	72	3						67
仲こども園	井園	8			1	9			19				2	36								3
仲こども園	井園	5	13		12	10	19	1	19	24	43	2	41	39	75	3						72
古こども園	蔵園	8			11				6	30			2	49								8
古こども園	蔵園	8	16	1	16	19	30	1	24	27	57	2	55	54	103	4						95
金こども園	城園	6			5	16			6	31			9	53								20
金こども園	城園	9	15	1	10	9	25	1	19	15	46	2	37	33	86	4						66
小こども園	禄園					7			13				2	20								2
小こども園	禄園					5	12	1	12	8	21	1	19	13	33	2						31
さこども園	つき園	11			18				3	26			8	55								11
さこども園	つき園	9	20	1	20	12	30	1	27	22	48	2	40	43	98	4						87
宇こども園	栄園	10			3	18			2	25			5	53								10
宇こども園	栄園	10	20	1	17	12	30	1	28	28	53	2	48	50	103	4						93
高こども園	良園					9			26				1	35								1
高こども園	良園					8	17	1	17	30	56	2	55	38	73	3						72
合計	計	114			21	237			56	409			67	760								144
		115	229	14	208	203	440	20	384	352	761	36	694	670	1,430	70						1,286

6 認定こども園（幼稚園）・小学校・中学校の園児・児童・生徒在籍数の推移

（昭和58年度～令和7年度）

※各年度ともに5月1日現在の在籍数である。
（単位：人）



年度	認定こども園	小学校	中学校
S58	4,394	33,853	17,158
S59	4,140	33,000	16,902
S60	4,161	31,698	16,988
S61	3,945	30,663	16,843
S62	3,920	29,327	16,721
S63	3,813	28,479	15,997
H01	3,831	27,910	15,052
H02	3,838	27,431	14,147
H03	3,807	27,296	13,410
H04	3,560	26,954	13,090
H05	3,377	26,821	12,520
H06	3,186	26,367	12,291
H07	2,939	25,817	11,804
H08	2,762	25,031	11,815
H09	2,774	24,083	11,781
H10	2,678	23,352	11,907
H11	2,742	22,552	11,870
H12	2,640	22,098	11,655
H13	2,516	21,839	11,334
H14	2,556	21,493	10,959
H15	2,530	21,600	10,436
H16	2,431	21,424	10,160
H17	2,422	21,428	9,826
H18	2,446	21,234	9,944
H19	2,429	21,100	9,901
H20	2,403	21,119	9,827
H21	2,458	20,806	9,768
H22	2,539	20,660	9,599
H23	2,533	20,598	9,621
H24	2,644	20,429	9,472
H25	2,642	20,270	9,487
H26	2,745	19,947	9,470
H27	2,690	19,930	9,320
H28	2,590	19,935	9,141
H29	2,706	19,869	9,029
H30	2,875	19,779	8,872
R01	2,804	19,641	8,828
R02	2,759	19,641	8,693
R03	2,746	19,272	8,650
R04	2,617	19,002	8,662
R05	2,675	18,361	8,738
R06	2,527	18,041	8,643
R07	2,489	17,463	8,575

※ 那覇市では平成28年度に幼稚園から認定こども園へ移行を開始し、令和元年度には全ての幼稚園が認定こども園に移行したため、平成27年度以前の数値は幼稚園のみ、平成28年度～平成30年度は幼稚園と認定こども園の合算、令和元年度以降は認定こども園のみの在籍数となっている。

7 小学校別 児童数の推移

★各年度ともに5月1日現在

単位：人

学 校 名		平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
1	安 謝 小	(28) 580	(36) 605	(37) 601	(41) 595	(44) 605	(48) 585	(47) 591	(48) 564	(38) 550	(35) 544
2	城 東 小	(22) 669	(27) 642	(32) 591	(37) 579	(43) 570	(34) 548	(31) 528	(31) 490	(31) 489	(32) 485
3	城 北 小	(19) 808	(25) 799	(29) 784	(31) 752	(36) 748	(38) 733	(36) 687	(33) 682	(31) 676	(34) 659
4	城 西 小	(13) 675	(11) 667	(12) 691	(13) 701	(15) 711	(18) 695	(21) 680	(25) 629	(32) 620	(36) 609
5	城 南 小	(10) 407	(9) 419	(9) 419	(11) 400	(14) 409	(16) 410	(20) 402	(17) 388	(19) 363	(21) 365
6	真 嘉 比 小	(11) 505	(14) 538	(23) 563	(25) 574	(27) 601	(26) 592	(22) 591	(20) 577	(16) 576	(17) 552
7	泊 小	(10) 797	(14) 818	(18) 812	(23) 818	(21) 773	(30) 796	(21) 759	(21) 743	(21) 729	(23) 681
8	大 道 小	(14) 279	(17) 264	(18) 272	(19) 277	(23) 266	(24) 260	(32) 279	(35) 272	(32) 265	(18) 251
9	松 川 小	(16) 467	(20) 472	(23) 448	(23) 471	(24) 489	(24) 490	(26) 505	(25) 503	(25) 505	(24) 472
10	識 名 小	(20) 702	(24) 664	(34) 659	(36) 627	(40) 621	(36) 616	(33) 627	(30) 611	(30) 602	(31) 601
11	壺 屋 小	(7) 226	(9) 250	(6) 263	(7) 270	(9) 267	(11) 272	(17) 257	(18) 246	(21) 244	(28) 234
12	若 狭 小	(27) 321	(23) 318	(25) 297	(29) 294	(29) 290	(17) 303	(15) 292	(16) 286	(15) 264	(16) 251
13	神 原 小	(22) 336	(25) 322	(23) 321	(19) 336	(29) 375	(33) 363	(31) 360	(41) 368	(33) 370	(29) 355
14	真 和 志 小	(23) 527	(29) 509	(32) 514	(32) 500	(37) 498	(35) 485	(36) 482	(32) 456	(37) 444	(40) 436
15	与 儀 小	(23) 342	(28) 329	(30) 327	(32) 321	(30) 312	(26) 294	(28) 283	(25) 259	(24) 266	(24) 268
16	城 岳 小	(14) 550	(19) 569	(25) 567	(23) 567	(29) 579	(29) 573	(32) 585	(32) 574	(33) 563	(33) 543
17	天 妃 小	(10) 435	(15) 442	(20) 451	(21) 452	(23) 442	(31) 435	(36) 437	(30) 405	(28) 403	(24) 390
18	開 南 小	(10) 366	(8) 388	(11) 393	(12) 414	(24) 423	(22) 404	(23) 416	(29) 406	(26) 382	(21) 367
19	垣 花 小	(7) 216	(16) 230	(18) 229	(16) 229	(17) 230	(13) 221	(12) 230	(7) 212	(8) 205	(11) 216
20	小 禄 小	(29) 446	(23) 434	(24) 446	(29) 426	(29) 417	(27) 405	(27) 382	(26) 359	(24) 344	(25) 327
21	高 良 小	(30) 896	(31) 876	(37) 859	(39) 842	(34) 844	(35) 850	(45) 832	(52) 835	(49) 822	(46) 789
22	宇 栄 原 小	(12) 671	(17) 675	(22) 676	(26) 676	(25) 680	(29) 659	(26) 614	(26) 571	(30) 548	(27) 497
23	松 島 小	(12) 693	(20) 695	(25) 669	(23) 655	(32) 633	(35) 618	(36) 616	(32) 580	(28) 564	(32) 535
24	古 蔵 小	(25) 837	(28) 829	(34) 820	(38) 801	(40) 791	(49) 778	(44) 747	(41) 706	(39) 685	(44) 653
25	上 間 小	(17) 582	(17) 559	(17) 558	(11) 561	(10) 565	(15) 562	(21) 562	(22) 546	(32) 532	(39) 526
26	大 名 小	(9) 202	(10) 211	(9) 208	(6) 209	(11) 203	(11) 182	(12) 179	(10) 171	(15) 163	(18) 168
	若夏分教室	(0) 1	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 0
27	石 嶺 小	(36) 800	(39) 805	(45) 783	(48) 820	(47) 848	(49) 845	(40) 841	(35) 830	(39) 846	(41) 816
28	仲 井 真 小	(6) 630	(17) 611	(23) 624	(30) 615	(32) 633	(30) 624	(27) 636	(20) 661	(29) 676	(32) 673
29	金 城 小	(17) 818	(20) 797	(27) 814	(24) 794	(35) 784	(39) 760	(38) 717	(39) 697	(35) 669	(30) 659
30	曙 小	(20) 312	(25) 299	(22) 292	(20) 290	(19) 293	(19) 287	(21) 276	(21) 274	(23) 274	(18) 264
31	小 禄 南 小	(21) 764	(25) 742	(27) 764	(31) 761	(45) 729	(44) 701	(46) 695	(51) 672	(52) 635	(46) 612
32	真 地 小	(4) 442	(16) 429	(12) 429	(17) 432	(19) 443	(20) 446	(25) 471	(24) 463	(28) 476	(29) 462
33	さつき小	(34) 602	(36) 609	(35) 587	(36) 616	(35) 621	(32) 611	(25) 595	(27) 567	(28) 577	(25) 559
34	銘 苅 小	(14) 752	(19) 733	(23) 710	(30) 674	(29) 666	(29) 610	(25) 622	(31) 598	(31) 591	(30) 549
35	天 久 小	(9) 847	(13) 869	(19) 874	(19) 836	(21) 822	(23) 797	(24) 766	(26) 725	(28) 697	(29) 690
36	那 覇 小	(21) 432	(24) 451	(23) 463	(25) 456	(26) 460	(27) 461	(25) 460	(25) 435	(26) 425	(25) 405
合 計		(622) 19,935	(749) 19,869	(850) 19,779	(902) 19,641	(1003) 19,641	(1025) 19,272	(1026) 19,002	(1023) 18,361	(1037) 18,041	(1033) 17,463

※（ ）は特別支援学級の児童数であり、内数である。

8 中学校別 生徒数の推移

★各年度ともに5月1日現在

単位：人

学 校 名		平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
1	安 岡 中	(25) 767	(23) 785	(32) 795	(33) 807	(38) 818	(35) 836	(41) 846	(29) 847	(39) 853	(39) 825
2	首 里 中	(17) 763	(26) 773	(23) 736	(21) 731	(19) 673	(25) 653	(22) 669	(21) 699	(25) 703	(26) 638
3	真和志中	(14) 242	(17) 212	(21) 193	(17) 183	(12) 196	(19) 211	(20) 245	(19) 250	(16) 251	(24) 268
4	石 田 中	(16) 469	(14) 472	(16) 443	(15) 429	(23) 397	(23) 418	(24) 419	(22) 411	(21) 390	(20) 385
5	那 覇 中	(11) 639	(19) 618	(23) 620	(27) 612	(23) 610	(30) 597	(36) 596	(38) 595	(33) 617	(23) 603
6	上 山 中	(15) 407	(23) 366	(23) 367	(14) 327	(9) 310	(14) 323	(14) 338	(16) 376	(21) 353	(22) 371
7	神 原 中	(12) 295	(9) 288	(13) 273	(25) 286	(29) 310	(30) 307	(22) 328	(24) 323	(30) 342	(27) 286
8	寄 宮 中	(13) 630	(20) 650	(28) 642	(37) 655	(36) 626	(34) 607	(25) 541	(29) 526	(26) 498	(30) 509
9	古 蔵 中	(16) 574	(25) 583	(30) 549	(38) 548	(29) 550	(26) 570	(19) 589	(22) 581	(25) 578	(23) 569
10	小 禄 中	(13) 795	(16) 801	(18) 786	(26) 780	(27) 779	(30) 736	(30) 714	(34) 704	(40) 732	(52) 778
11	松 島 中	(13) 643	(10) 636	(5) 654	(13) 667	(17) 637	(22) 632	(26) 612	(27) 634	(32) 598	(25) 616
12	城 北 中	(6) 402	(10) 357	(13) 348	(16) 361	(16) 388	(19) 393	(23) 425	(24) 416	(22) 410	(20) 391
12'	若夏分校	(3) 13	(3) 6	(3) 11	(4) 10	(9) 17	(5) 13	(4) 12	(4) 8	(1) 13	(5) 15
13	鏡 原 中	(9) 582	(16) 588	(21) 579	(29) 612	(32) 625	(36) 639	(29) 651	(31) 660	(32) 640	(30) 614
14	松 城 中	(7) 268	(3) 217	(4) 240	(5) 226	(6) 221	(7) 197	(3) 189	(6) 210	(7) 227	(14) 236
15	仲井真中	(3) 518	(3) 521	(7) 497	(15) 494	(17) 470	(13) 475	(15) 453	(25) 461	(24) 446	(27) 475
16	金 城 中	(4) 615	(11) 611	(13) 585	(15) 567	(9) 548	(14) 543	(19) 551	(22) 551	(24) 540	(25) 532
17	石 嶺 中	(18) 519	(19) 545	(27) 554	(28) 533	(31) 518	(38) 500	(37) 484	(36) 486	(29) 452	(26) 464
合 計		(215) 9,141	(267) 9,029	(320) 8,872	(378) 8,828	(382) 8,693	(420) 8,650	(409) 8,662	(429) 8,738	(447) 8,643	(458) 8,575

※（ ）は特別支援学級の児童数であり、内数である。

9 こども園別園児数の推移

令和7年5月1日現在

単位：人

園名 (こども園移行年度)			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公立型	1	城北こ (H30移行)	3歳 26 4歳 51 5歳 77	26 50 76	19 53 72	18 48 66	18 51 69	18 43 61	15 53 68	19 59 78	16 44 60	15 39 54
	2	城西こ (H31移行)	3歳 — 4歳 21 5歳 73	16 59 75	23 45 68	17 52 69	17 28 45	20 41 75	14 18 38	14 24 41	17 15 53	19 21 85
	3	城南こ (H30移行)	3歳 — 4歳 36 5歳 36	36 36	29 21 50	14 43 57	11 23 34	16 24 40	16 28 44	8 24 32	11 22 33	10 24 34
	4	大名こ (H31移行)	3歳 — 4歳 5 5歳 21	6 18 24	11 24 35	3 25 28	6 13 19	4 21 25	3 18 21	2 17 19	7 19 26	3 23 26
	5	泊こ (H31移行)	3歳 30 4歳 67 5歳 97	27 59 86	20 59 79	30 57 87	29 58 87	29 48 77	27 53 80	30 46 76	30 41 71	25 46 71
	6	天久みらいこ (H31移行) (R2保と統合)	3歳 60 4歳 98 5歳 158	60 95 155	57 79 136	55 77 132	28 73 161	40 73 158	40 69 159	39 72 165	54 63 145	47 50 127
	7	真嘉比こ (H31移行)	3歳 30 4歳 76 5歳 106	30 75 105	23 69 92	30 78 108	24 62 86	26 72 98	30 58 88	22 67 89	30 57 87	24 71 95
	8	那覇こ (H31移行)	3歳 16 4歳 48 5歳 64	22 46 68	13 46 59	22 45 67	28 43 71	20 53 73	23 34 57	28 31 59	25 43 68	25 45 70
	9	壺屋こ (H30移行)	3歳 — 4歳 27 5歳 27	— 17 17	11 23 34	15 28 43	10 28 38	5 24 29	8 19 27	11 20 31	9 21 30	12 23 35
	10	開南こ (H29移行)	3歳 19 4歳 36 5歳 55	13 54 67	16 42 58	20 34 54	15 30 45	19 39 58	17 29 46	18 28 46	12 31 43	14 22 36
	11	天妃こ (H30移行)	3歳 19 4歳 60 5歳 79	30 59 89	28 77 105	29 53 82	28 63 91	15 58 73	26 47 85	29 54 99	26 45 91	25 38 78
	12	上間こ (H31移行)	3歳 13 4歳 62 5歳 75	20 55 75	19 65 84	20 60 110	15 56 101	20 59 99	20 44 89	19 46 91	20 44 87	15 45 85
	13	大道みらいこ (H28移行)	3歳 15 4歳 37 5歳 52	18 40 77	19 46 83	21 25 66	18 26 63	20 30 68	17 22 30	17 31 72	21 22 63	15 23 32
	14	真和志こ (H31移行)	3歳 20 4歳 67 5歳 87	24 65 89	27 61 88	26 59 85	20 54 74	21 54 75	19 47 66	15 36 51	21 42 63	21 41 62
	15	与儀こ (H30移行)	3歳 14 4歳 41 5歳 55	(7) 42 56	(9) 46 67	(7) 46 61	15 32 52	20 40 51	11 22 35	9 36 45	21 23 44	16 37 53
	16	小禄南こ (H30移行)	3歳 — 4歳 59 5歳 59	— 65 65	24 62 86	13 63 76	30 55 85	16 57 73	19 49 68	19 46 65	15 35 50	13 33 46
	17	久場川みらいこ (R2移行)	3歳 — 4歳 — 5歳 —	— — —	— — —	— — —	20 8 48	17 3 38	20 0 35	18 0 31	20 0 38	13 1 30
	18	宇栄原みらいこ (R2移行)	3歳 — 4歳 — 5歳 —	— — —	— — —	— — —	20 18 0	18 19 37	18 13 0	20 17 37	19 11 0	12 13 25
公私連携型	1	城東こ (H31移行)	3歳 25 4歳 51 5歳 76	(6) 22 52 74	(2) 13 47 60	12 37 49	13 32 45	11 37 48	12 30 42	15 30 45	9 26 35	11 22 49
	2	石嶺こ (H30移行) (R3公も連携へ移行)	3歳 — 4歳 68 5歳 68	30 65 95	23 84 107	15 74 89	29 65 94	20 71 91	24 59 83	8 70 78	16 35 51	9 42 68
	3	安謝こ (H31移行)	3歳 21 4歳 42 5歳 63	15 40 55	17 40 57	20 38 58	16 33 49	14 30 44	10 23 33	12 24 52	19 28 66	11 28 61
	4	曙こ (H29移行)	3歳 — 4歳 43 5歳 43	11 42 53	22 45 67	22 38 60	21 39 60	19 45 64	24 43 67	19 37 56	8 39 47	17 34 51
	5	銘苅こ (H28移行)	3歳 19 4歳 57 5歳 76	25 58 103	27 55 102	30 47 97	30 48 93	26 58 104	30 41 91	25 46 91	27 30 77	28 34 82
	6	若狭こ (H28移行)	3歳 14 4歳 40 5歳 54	19 46 65	28 44 92	28 44 92	20 53 93	17 35 77	14 39 68	12 28 63	10 34 58	16 32 70
	7	神原こ (H30移行)	3歳 — 4歳 39 5歳 39	— 27 27	15 51 66	11 41 52	12 30 42	15 33 48	20 41 61	18 46 71	20 37 70	14 35 62
	8	城岳こ (H30移行)	3歳 — 4歳 50 5歳 50	— 50 50	29 57 86	21 47 68	22 31 53	18 50 68	17 41 58	12 31 63	15 36 73	17 31 73
	9	垣花こ (H31移行)	3歳 — 4歳 24 5歳 24	— 21 21	— 16 16	10 23 33	16 16 32	8 29 37	15 14 29	17 20 37	7 23 30	16 13 29
	10	松島こ (H30移行)	3歳 — 4歳 56 5歳 56	— 47 47	23 68 91	20 57 93	15 53 95	14 53 91	20 36 78	20 47 94	18 39 85	20 37 83
	11	松川こ (H30移行)	3歳 17 4歳 64 5歳 81	27 57 84	23 63 86	12 63 90	23 41 73	23 41 73	18 42 77	23 37 74	17 39 67	19 45 75
	12	識名こ (H28移行)	3歳 16 4歳 61 5歳 77	20 68 111	26 64 107	17 58 104	24 57 99	20 53 95	28 54 102	18 58 100	24 40 85	17 45 84
	13	真地こ (H29移行)	3歳 — 4歳 64 5歳 64	25 68 93	18 68 86	25 53 78	21 56 77	23 60 83	30 48 78	24 61 85	23 40 63	27 45 72
	14	仲井真こ (H30移行)	3歳 25 4歳 60 5歳 85	22 68 90	30 74 104	21 70 91	26 65 91	27 73 100	24 54 78	12 59 71	18 58 89	19 43 75
	15	古蔵こ (H30移行)	3歳 29 4歳 95 5歳 124	25 81 106	30 89 119	25 85 110	29 76 105	25 72 97	25 67 92	30 64 114	20 59 109	16 57 103
	16	金城こ (H29移行)	3歳 — 4歳 27 5歳 66	20 31 70	20 30 121	30 59 109	30 55 105	30 55 105	30 51 101	20 53 103	20 52 102	15 25 46
	17	小禄こ (H31移行)	3歳 28 4歳 53 5歳 81	(8) 24 59 83	(6) 13 40 53	22 36 58	12 37 49	15 33 48	15 32 47	6 29 35	9 19 28	12 21 33
	18	さつきこ (H28移行)	3歳 19 4歳 60 5歳 79	27 49 99	31 60 111	30 54 104	28 57 105	30 46 96	30 56 106	33 53 106	31 45 96	30 48 98
	19	宇栄原こ (H31移行)	3歳 30 4歳 70 5歳 100	25 52 77	27 45 72	30 49 94	18 57 103	19 44 89	20 48 95	22 53 107	20 58 111	20 53 103
	20	高良こ (H31移行)	3歳 29 4歳 81 5歳 110	26 66 92	20 68 88	30 58 88	19 70 89	24 60 84	22 60 82	23 51 74	22 51 73	17 56 73
合 計			3歳 587 4歳 2,003 5歳 2,590	(21) 102 (21) 2,706	(11) 115 (11) 2,875	(0) 183 (0) 2,804	(0) 236 (0) 2,759	(0) 266 (0) 2,746	(0) 301 (0) 2,617	(0) 340 (0) 2,675	(0) 373 (0) 2,527	(0) 343 (0) 2,489

注1：（ ）は園児数の内、特別支援学級の園児数

注3：平成28年4月より、公立幼稚園が順次認定こども園へ移行

注5：天久みらい・大道みらい・久場川みらい・宇栄原みらいこども園は、0～2歳の在籍あり。

注2： 部分は園児数

注4：令和2年4月、保育所がこども園へ移行。R3年4月より石嶺こは公私連携へ移行。

注6：令和6年度より仲井真こども園3歳児保育実施

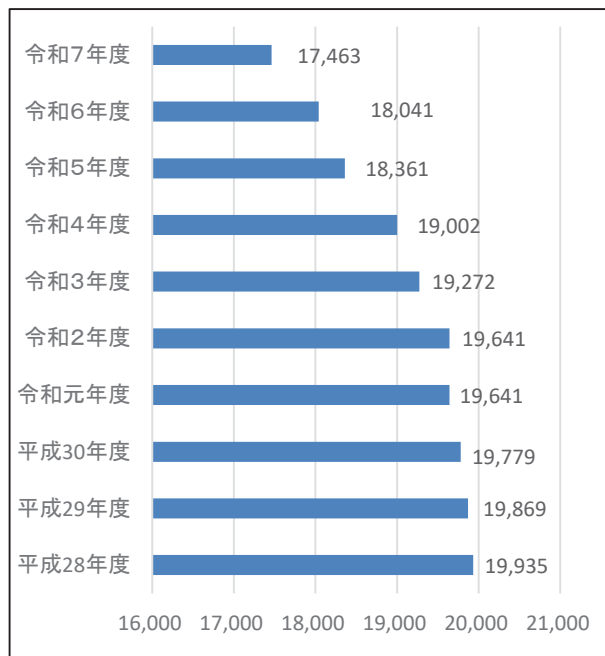
10 教員数の推移及び年齢構成比

※ 校長、教頭、教諭（本務・再任用）のみ
 ※ 年齢は令和7年度満年齢
 ※ 臨任・充て指導主事は含まない
 （令和7年5月1日現在）

（1）小学校

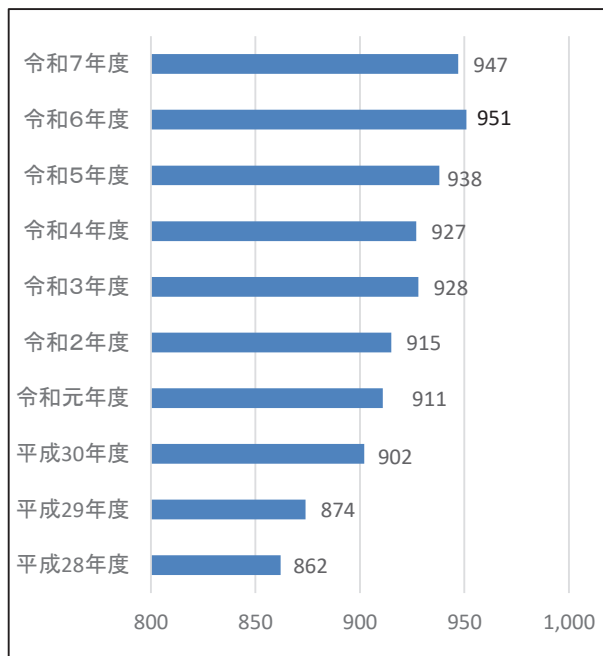
①児童の推移

単位：人



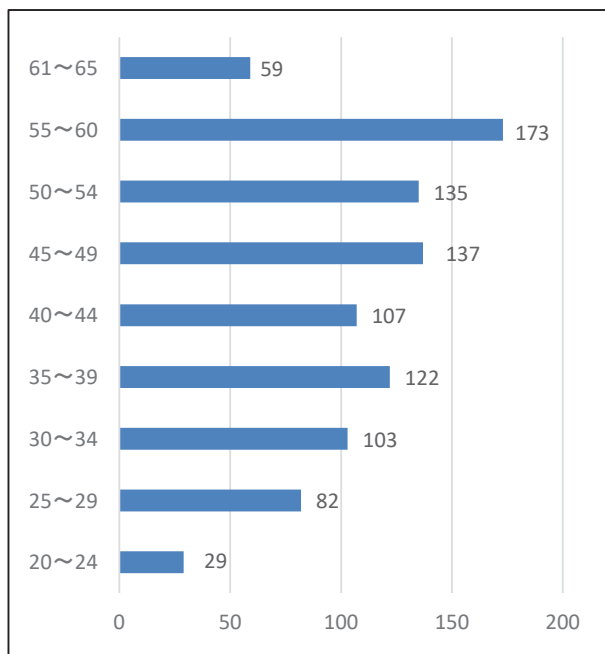
②教員の推移

単位：人



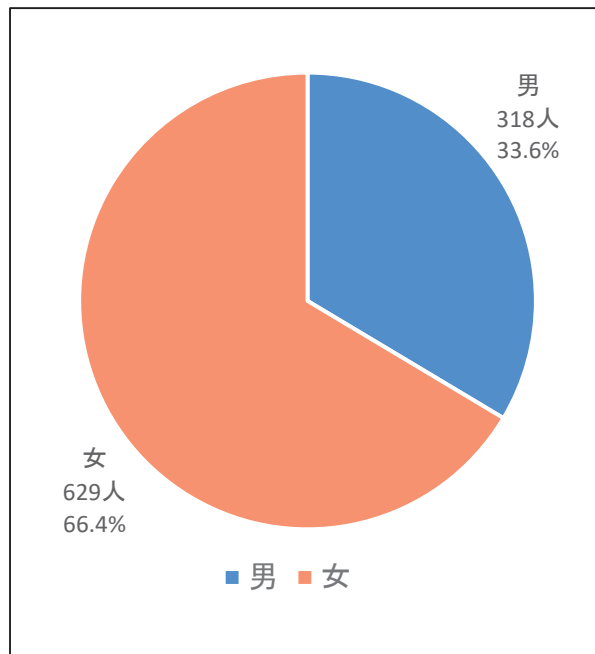
③教員の年齢別構成比

単位：人



④教員の男女構成比

単位：人

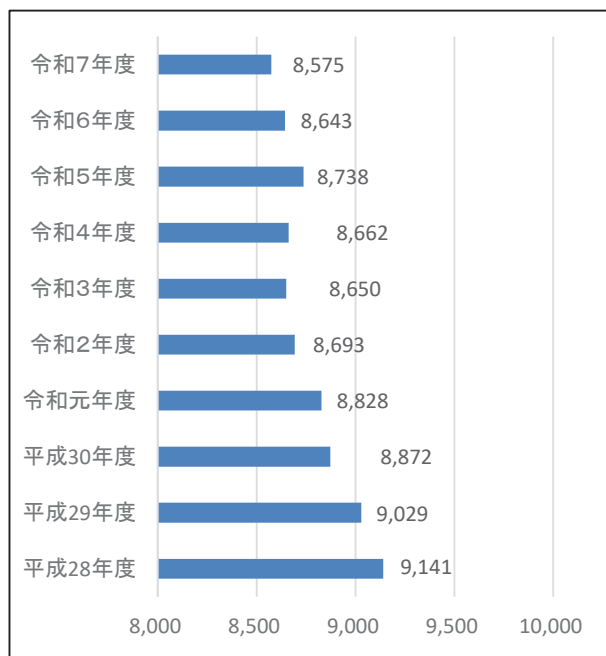


※ 校長、教頭、主幹教諭、教諭（本務・再任用）のみ
 ※ 年齢は令和7年度満年齢
 ※ 臨任・充て指導主事は含まない
 （令和7年5月1日現在）

（2）中学校

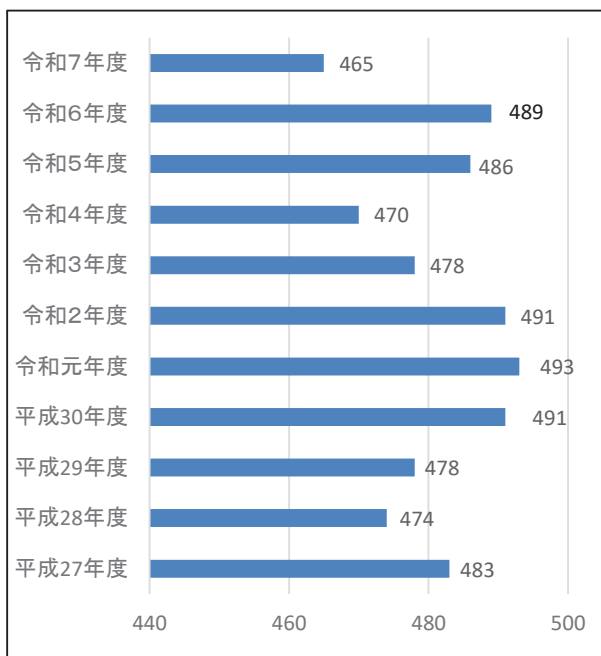
①生徒の推移

単位：人



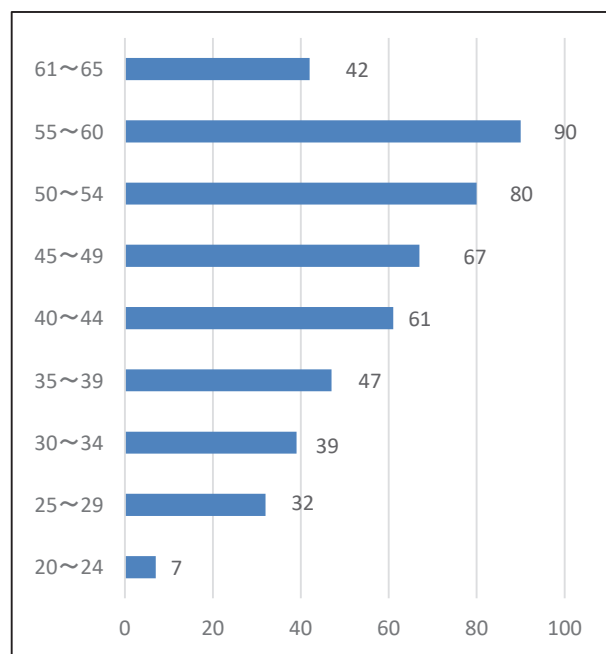
②教員の推移

単位：人



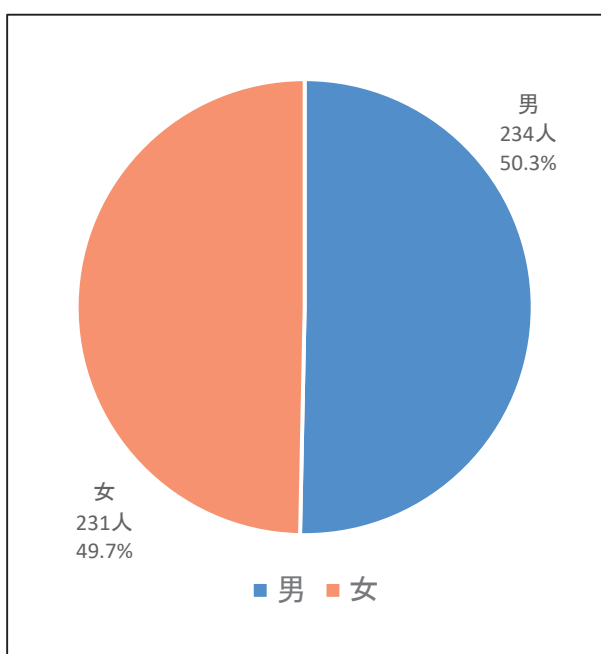
③教員の年齢別構成比

単位：人



④教員の男女構成比

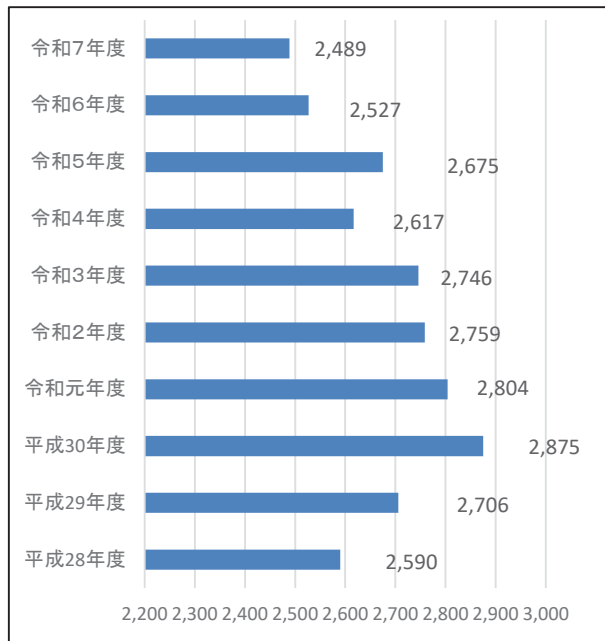
単位：人



※ 年齢は令和7年度満年齢
 ※ 再任用・会計年度任用職員は含まない
 (令和7年5月1日現在)

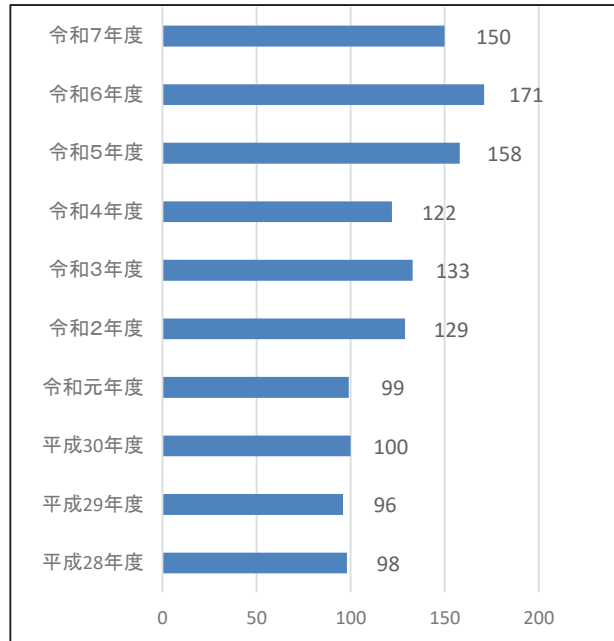
(3) 公立型こども園

①園児の推移（公私連携型こども園含む） 単位：人



②教員の推移

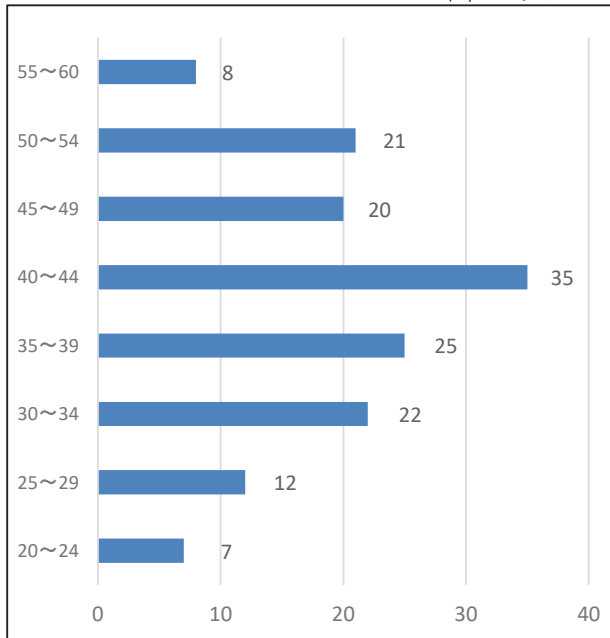
単位：人



※ 令和2年度より、天久・久場川・宇栄原みらいこども園の園長・教頭・3歳～5歳クラス担任を含む

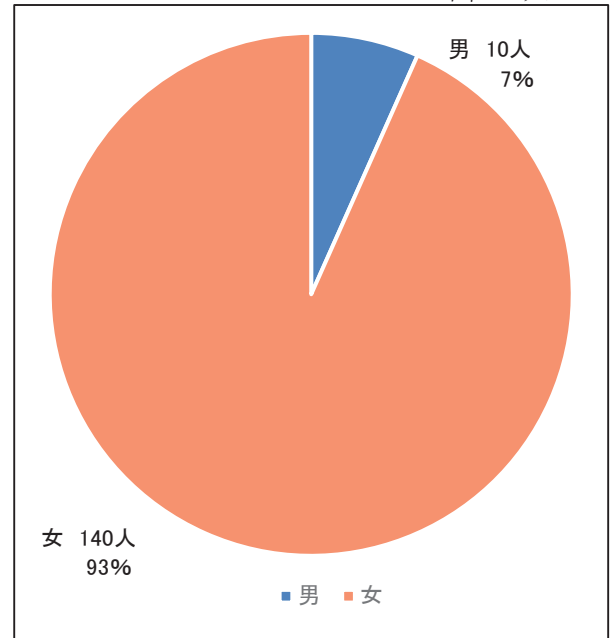
③教員の年齢別構成比

単位：人



④教員の男女構成比

単位：人



【資料編】

予算・学校施設状況



1 令和7年度那覇市一般会計歳入歳出予算

単位：千円

歳 入			歳 出		
科 目	予 算 額	構成比(%)	科 目	予 算 額	構成比(%)
市税	58,869,165	31.8	議会費	780,450	0.4
地方譲与税	772,052	0.4	総務費	15,662,036	8.4
利子割交付金	15,080	0.0	民生費	101,429,324	54.7
配当割交付金	104,676	0.1	衛生費	15,410,900	8.3
株式等譲渡所得割交付金	201,448	0.1	労働費	37,852	0.0
地方消費税交付金	8,778,308	4.7	農林水産業費	736,746	0.4
環境性能割交付金	54,855	0.0	商工費	1,386,933	0.7
国有提供施設等所在市町村助成交付金	365,446	0.2	土木費	16,438,214	8.9
地方特例交付金	119,117	0.1	消防費	4,214,413	2.3
地方交付税	10,130,204	5.5	教育費	17,558,393	9.5
交通安全対策特別交付金	35,000	0.0	災害復旧費	4	0.0
法人事業税交付金	892,449	0.5	公債費	10,941,385	5.9
分担金及び負担金	640,177	0.3	諸支出金	700,350	0.4
使用料及び手数料	3,661,793	2.0	予備費	100,000	0.1
国庫支出金	55,482,601	29.9			
県支出金	21,023,370	11.3			
財産収入	1,355,001	0.7			
寄附金	1,175,561	0.6			
繰入金	7,745,229	4.2			
繰越金	500,000	0.3			
諸収入	2,421,468	1.3			
市債	11,054,000	6.0			
合計	185,397,000	100.0	合計	185,397,000	100.0

2 年度別一般会計予算と教育予算対比表

単位：千円

年 度 項 目	予 算 額	財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一般財源
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	
平成28年度一般会計予算	143,005,000	57,946,054	7,026,400	6,744,142	71,288,404
教 育 予 算	15,962,325	2,972,397	3,438,300	465,109	9,086,519
平成29年度一般会計予算	143,260,000	56,512,605	6,166,600	8,450,286	72,130,509
教 育 予 算	16,945,343	3,569,218	3,768,100	433,710	9,174,315
平成30年度一般会計予算	147,571,000	61,303,652	6,993,900	8,154,594	71,118,854
教 育 予 算	17,071,903	3,719,557	3,565,800	964,268	8,822,278
令和元年度一般会計予算	146,814,000	58,596,469	6,862,100	7,046,143	74,309,288
教 育 予 算	13,850,158	2,498,192	2,360,800	1,154,461	7,836,705
令和2年度一般会計予算	157,597,000	60,984,002	12,443,600	8,043,474	76,125,924
教 育 予 算	14,451,272	2,513,080	2,406,400	481,030	9,050,762
令和3年度一般会計予算	161,017,000	65,618,903	11,701,874	6,618,435	77,077,788
教 育 予 算	16,599,119	3,597,518	2,898,500	288,785	9,814,316
令和4年度一般会計予算	159,515,000	62,235,288	9,592,766	8,860,656	78,826,290
教 育 予 算	14,638,219	2,663,588	2,248,900	350,685	9,375,046
令和5年度一般会計予算	168,677,000	64,301,083	16,693,624	8,726,723	78,955,570
教 育 予 算	17,267,494	3,596,839	3,271,200	275,321	10,124,134
令和6年度一般会計予算	174,789,000	69,504,682	13,213,200	10,349,969	81,721,149
教 育 予 算	15,453,389	2,414,352	2,194,100	536,209	10,308,728
令和7年度一般会計予算	185,397,000	76,487,949	11,054,000	12,183,360	85,671,691
教 育 予 算	17,558,393	3,638,869	2,425,700	594,437	10,899,387

3 令和7年度教育予算目別集計表

単位：千円

款 項 目	令和7年度予算額(a)	令和6年度予算額(b)	増 減 額 (a)－(b)
10款 教育費	17,558,393	15,453,389	2,105,004
1 項 教育総務費	2,750,325	2,544,300	206,025
1 目 教育委員会費	7,579	7,429	150
2 目 事務局費	2,067,705	1,856,571	211,134
3 目 教育研究所費	675,041	680,300	△ 5,259
2 項 小学校費	4,153,608	5,881,152	△ 1,727,544
1 目 学校管理費	3,194,536	2,795,306	399,230
2 目 教育振興費	648,422	831,481	△ 183,059
3 目 学校建設費	310,650	2,254,365	△ 1,943,715
3 項 中学校費	3,252,497	2,634,551	617,946
1 目 学校管理費	1,535,232	1,369,472	165,760
2 目 教育振興費	568,572	464,455	104,117
3 目 学校建設費	1,148,693	800,624	348,069
4 項 社会教育費	3,423,939	1,925,907	1,498,032
1 目 社会教育総務費	1,600,218	880,134	720,084
2 目 公民館費	220,987	192,637	28,350
3 目 図書館費	252,868	227,582	25,286
4 目 青少年費	110,879	105,009	5,870
5 目 文化財保護費	1,167,999	420,706	747,293
6 目 博物館費	70,988	99,839	△ 28,851
5 項 保健体育費	3,978,024	2,467,479	1,510,545
1 目 保健体育総務費	1,381,893	1,292,174	89,719
2 目 体育施設費	206,734	379,955	△ 173,221
3 目 学校給食費	2,389,397	795,350	1,594,047

4 令和7年度小学校施設保有状況

令和7年5月1日現在

No.	学校名	児童数		学級数	校舎面積			連携・施設(校舎)	保有教室数										屋内運動場面積			連携・施設(運動場内)	水泳プール水面積		
		通常学級	特別支援学級		必要	保有	整備資格		普通	理科	音楽	図画	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書	特別活動	数	スペース(m ²)	多目的			必要	保有
1	安謝小	509	35	18	7	6,176	7,524	0	28	2	1	1	1	2	0	1	1	1	1	1,215	1,049	166	200	311	
2	城東小	453	32	16	6	6,246	6,558	0	248	23	1	0	2	1	1	0	1	1	1	1,215	1,164	51	0	400	
3	城北小	625	34	21	5	6,854	6,228	626	0	27	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1,215	1,336	0	0	400	
4	城西小	573	36	20	6	6,849	6,230	619	0	28	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1,215	1,215	0	0	260	
5	城南小	344	21	13	3	5,066	5,668	0	250	19	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1,215	970	245	0	364	
6	真嘉比小	535	17	18	3	6,098	4,830	1,268	0	19	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1,215	1,194	21	0	300	
7	泊小	658	23	22	5	7,046	6,489	557	0	29	2	0	2	1	1	0	1	1	0	1,215	1,215	0	0	400	
8	大道小	233	18	9	4	3,848	5,446	0	注3	130	17	2	0	1	1	0	1	1	0	919	1,215	0	0	400	
9	松川小	448	24	15	4	5,874	6,302	0	450	23	1	2	1	1	0	1	1	0	0	1,215	1,215	0	0	320	
10	識名小	570	31	19	5	6,471	5,968	503	150	26	2	1	1	0	1	0	1	1	3	1,215	1,214	1	0	370	
11	壺屋小	206	28	8	6	3,948	4,382	0	0	11	1	1	1	1	0	1	1	1	0	919	725	194	0	400	
12	若狭小	235	16	9	3	4,077	4,823	0	140	14	1	1	1	0	1	0	1	1	2	704	919	0	0	320	
13	神原小	326	29	12	6	5,417	5,447	0	注1	140	17	1	2	1	0	0	1	1	1	1,215	1,215	0	0	370	
14	真和志小	396	40	14	6	5,831	5,496	335	150	22	2	0	1	1	1	0	1	1	0	1,215	1,215	0	0	400	
15	与儀小	244	24	11	5	4,973	4,702	271	200	16	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1,215	1,215	2	0	400	
16	城岳小	510	33	18	5	5,840	6,647	0	注1	135	25	2	1	2	1	0	1	1	0	1,215	1,215	0	0	400	
17	天妃小	366	24	13	5	5,438	5,441	0	0	17	1	1	1	1	1	0	0	1	2	728	1,215	0	0	370	
18	開南小	346	21	12	3	4,859	5,378	0	注2	269	19	2	1	2	2	0	1	1	1	919	1,215	0	0	320	
19	垣花小	205	11	8	2	3,630	3,586	44	150	12	1	0	1	1	0	0	1	0	1	443	894	919	0	320	
20	小緑小	302	25	12	4	5,045	5,693	0	0	18	2	0	2	1	1	1	0	1	0	1,215	945	270	0	300	
21	高良小	743	46	25	7	7,993	8,573	0	注1	125	31	2	0	2	1	2	0	1	2	1,299	1,215	0	0	400	
22	宇栄原小	470	27	17	5	6,267	6,324	0	450	22	1	1	2	1	1	0	0	1	1	1,024	1,215	0	0	400	
23	松島小	506	29	17	4	6,081	6,410	0	150	27	2	0	2	2	1	0	1	0	1	580	1,215	270	0	300	
24	古蔵小	609	44	21	6	7,040	7,357	0	250	25	2	1	2	1	1	0	1	1	1	1,309	1,215	0	0	320	
25	上間小	487	39	17	6	6,453	6,496	0	注1	250	21	2	1	1	1	0	0	1	1	1,204	1,215	0	0	363	
26	大名小	150	18	6	3	3,293	3,768	0	250	8	1	0	1	1	1	0	0	1	1	532	894	0	0	400	
27	石嶺小	775	41	26	8	8,371	7,791	580	注1	140	31	2	0	1	1	0	0	1	1	760	1,215	0	0	400	
28	仲井真小	641	32	23	6	7,424	6,327	1,097	注2	69	30	1	0	1	0	1	1	0	1	1,094	1,215	230	0	367	
29	金城小	629	30	21	6	7,232	6,990	242	200	28	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1,256	1,215	296	0	400	
30	曙小	246	18	11	4	4,787	4,920	0	150	19	1	0	2	1	1	0	1	1	0	1,199	919	928	0	400	
31	小緑南小	567	45	18	7	6,843	6,101	742	150	25	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1,078	1,215	1,010	205	400	
32	真地小	433	29	15	5	5,852	5,325	527	150	20	1	0	2	1	1	0	1	1	0	938	1,215	1,010	205	400	
33	さつき小	534	25	19	4	6,285	6,021	264	0	21	1	1	2	1	1	0	1	1	1	715	1,215	982	233	400	
34	銘苅小	519	30	19	6	6,657	7,323	0	400	25	1	1	2	1	1	0	0	1	1	1,266	1,215	1,336	0	200	
35	天久小	661	29	23	5	7,051	7,318	0	0	25	1	1	2	1	1	0	0	1	1	1,317	1,215	0	250	400	
36	那覇小	380	25	13	5	5,645	4,894	751	250	20	2	0	1	1	2	1	0	1	1	1,215	1,010	205	180	372	
	計	16,434	1,029	579	180	212,860	214,776	8,426	5,546	788	52	17	50	36	39	4	21	35	36	27	29	27,172	2,594	1,974	13,247

注1：一般財源の予算で整備した施設
注2：少子化対策事業の予算で整備した施設
注3：大規模改造事業で整備した施設

(面積：㎡)

注1：一般財源の予算で整備した施設

注2：少子化対策事業の予算で整備した施設

注3：大規模改修事業で整備した施設

注4：若夏分教室児童数を除く

※注1～3については校舎保有面積に含む

(面積：㎡)

5 令和7年度中学校施設保有状況

令和7年5月1日現在

No.	学 校 名	生徒数		学級数		校 舎 面 積			連 携 ・ 施 学 校 設 校 (校 舎)	保 有 教 室 数										屋 内 運 動 場 面 積			連 携 ・ 施 学 校 設 校 (校 舎)	武 道 場 面 積	水 泳 プール 水 面 積			
		通 常 学 級	特 別 支 援 級	通 常 学 級	特 別 支 援 級	必 要	保 有	整 備 資 格		普 通 科 楽 術 術 庭 語 覚	外 視 聴	図 書 室	特 別 活 動 指 導	進 路 指 導	ス ペー ス (㎡)	必 要	保 有	整 備 資 格										
1	安岡中	786	39	24	6	8,641	6,706	1,935	0	25	2	2	1	1	2	0	0	1	1	1	1	216	1,476	1,475	1	0	300	370
2	首里中	612	26	18	5	6,769	9,503	0	0	26	3	3	2	3	2	1	1	1	1	2	1	0	1,476	1,222	254	200	0	400
3	真和志中	244	24	9	4	4,532	4,245	0	0	10	2	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	403	1,138	1,251	0	0	350	400
4	石田中	365	20	12	3	5,756	6,364	0	150	18	2	2	1	2	2	0	1	1	1	4	0	357	1,138	1,222	0	200	350	400
5	那覇中	580	23	18	4	6,281	8,624	0	163	25	4	2	2	3	3	1	2	1	1	1	0	1,476	1,222	254	37	350	375	
6	上山中	349	22	12	3	5,404	6,413	0	250	16	2	1	1	2	2	0	0	1	1	2	0	793	1,138	1,251	0	0	350	400
7	神原中	259	27	9	4	4,884	5,263	0	0	17	2	1	1	1	2	0	0	1	1	2	0	649	1,138	1,251	0	200	350	400
8	寄宮中	479	30	15	5	6,824	6,281	543	0	21	2	2	2	2	2	0	0	1	1	2	1	544	1,476	1,243	233	200	350	400
9	古蔵中	546	23	17	4	6,815	7,481	0	0	23	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	1	573	1,476	1,476	0	200	350	400
10	小禄中	726	52	22	8	8,535	8,429	0	0	26	2	2	2	2	2	0	0	1	1	3	1	1,056	1,476	1,222	254	200	350	400
11	松島中	591	25	18	4	7,162	6,759	403	0	18	2	1	1	2	2	0	1	1	1	2	1	643	1,476	1,476	0	0	300	320
12	城北中	371	20	12	3	5,756	6,035	0	450	14	2	1	1	1	2	0	0	1	1	2	1	689	1,138	1,138	0	0	350	400
13	鏡原中	584	30	18	5	7,171	6,746	425	250	18	3	1	1	1	2	0	0	1	1	1	2	705	1,476	1,476	0	0	300	400
14	松城中	222	14	8	3	3,685	6,123	0	0	17	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	1	0	1,138	1,122	16	0	0	400
15	仲井真中	448	27	14	4	6,468	5,698	770	151	17	2	2	1	2	2	0	1	1	1	1	1	623	1,138	1,020	118	49	350	400
16	金城中	507	25	15	5	6,997	7,329	0	0	23	2	2	2	2	2	0	1	1	1	2	1	489	1,476	1,222	254	200	0	400
17	石嶺中	438	26	14	4	6,294	6,749	0	0	16	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	738	1,138	1,222	0	200	350	375
計		8,107	453	255	74	107,974	114,748	4,076	1,414	330	38	29	24	31	34	3	10	17	17	29	14	8,478	22,388	21,511	1,384	1,686	4,750	6,640

注1:若夏分校生徒数を除く

6 令和7年度認定こども園施設保有状況

(1) 公立型

令和7年5月1日現在

No.	園 名	園児数	学級数	園 舎 面 積 (㎡)			保 有 教 室 数				
				必 要	保 有	整備資格	保育室	遊戯室	管理室	図書室	その他
1	城北こども園	54	3	725	554	171	4	1	1	0	0
2	城西こども園	62	4	725	857	0	4	1	1	0	0
3	城南こども園	34	2	516	604	0	3	1	1	0	0
4	大名こども園	26	1	516	516	0	2	1	1	1	0
5	泊 こども園	71	3	725	1,018	0	4	1	1	1	1
6	天久みらいこども園	127	7	1,047	1,968	0	7	1	1	1	0
7	真嘉比こども園	95	4	886	857	29	4	1	1	1	0
8	那覇こども園	70	3	725	416	309	3	1	1	0	0
9	壺屋こども園	35	2	516	500	16	2	1	1	1	0
10	開南こども園	36	2	516	602	0	3	1	1	1	0
11	天妃こども園	78	4	886	870	16	4	1	1	1	0
12	上間こども園	85	4	886	1,018	0	4	1	1	0	0
13	大道みらいこども園	70	4	725	941	0	4	1	1	0	0
14	真和志こども園	62	3	725	847	0	3	1	1	1	1
15	与儀こども園	53	3	516	857	0	4	1	1	1	0
16	小禄南こども園	46	3	516	411	105	3	1	1	0	0
17	久場川みらいこども園	30	2		914.9		2	0	1	0	0
18	宇栄原みらいこども園	25	2		913.7		3	1	1	0	0
計		1,059	56	11,151	14,665	646	63	17	18	9	2

(2) 公私連携型

令和7年5月1日現在

No.	園 名	園児数	学級数	園 舎 面 積 (㎡)			保 有 教 室 数				
				必 要	保 有	整備資格	保育室	遊戯室	管理室	図書室	その他
1	城東こども園	49	3		467		3	1	1	1	0
2	石嶺こども園	68	4		1,077		4	1	1	1	0
3	安謝こども園	61	4		832		4	1	1	0	1
4	曙 こども園	51	3	725	451	274	3	1	1	0	0
5	銘苅こども園	82	4	725	725	0	4	1	1	1	1
6	若狭こども園	70	4	725	557	168	4	1	1	0	0
7	神原こども園	62	4	886	585	301	4	0	1	0	0
8	城岳こども園	73	3	886	420	466	3	1	1	1	1
9	垣花こども園	29	2		879		2	1	1	0	1
10	松島こども園	83	4	886	471	415	3	1	1	0	0
11	松川こども園	75	4	886	725	161	4	1	1	1	0
12	識名こども園	84	4	886	520	366	4	1	1	1	1
13	真地こども園	72	3	725	472	253	3	1	1	0	0
14	仲井真こども園	75	4	886	704	182	4	1	1	0	0
15	古蔵こども園	103	4	886	1,041	0	4	1	1	1	1
16	金城こども園	86	4	886	668	218	4	1	1	0	0
17	小禄こども園	33	2	516	673	0	2	1	1	1	2
18	さつきこども園	98	4	886	559	327	4	1	1	0	0
19	宇栄原こども園	103	4		1,173		4	1	1	0	1
20	高良こども園	73	3	725	1,018	0	4	1	1	1	1
計		1,430	71	12,115	14,017	3,131	71	19	20	9	10

7 学校用地管理状況

令和7年5月1日現在

No.	学 校 名	県有地 (㎡)	市 有 地 (㎡)	個人有地 (㎡)	合 計 (㎡)
1	安 謝 小	0.00	14,725.95	818.00	15,543.95
2	城 東 小	0.00	17,587.43	2,399.00	19,986.43
3	城 北 小	0.00	17,029.00	0.00	17,029.00
4	城 西 小	0.00	17,537.41	0.00	17,537.41
5	城 南 小	0.00	14,254.17	1,228.85	15,483.02
6	真 嘉 比 小	0.00	15,581.24	3,148.66	18,729.90
7	泊 小	0.00	12,222.00	0.00	12,222.00
8	大 道 小	7,554.24	11,324.30	1,141.00	20,019.54
9	松 川 小	0.00	22,854.87	456.40	23,311.27
10	識 名 小	0.00	21,731.33	0.00	21,731.33
11	壺 屋 小	0.00	11,351.79	111.53	11,463.32
12	若 狭 小	0.00	12,984.84	0.00	12,984.84
13	神 原 小	14,730.73	0.00	0.00	14,730.73
14	真 和 志 小	0.00	17,731.01	0.00	17,731.01
15	与 儀 小	11,259.24	2,208.56	2,978.36	16,446.16
16	城 岳 小	0.00	15,568.87	0.00	15,568.87
17	天 妃 小	0.00	5,927.57	0.00	5,927.57
18	開 南 小	0.00	13,697.00	0.00	13,697.00
19	垣 花 小	0.00	11,964.42	152.03	12,116.45
20	小 禄 小	0.00	10,586.94	0.00	10,586.94
21	高 良 小	0.00	21,032.04	0.00	21,032.04
22	宇 栄 原 小	0.00	21,824.60	0.00	21,824.60
23	松 島 小	0.00	12,705.73	7,423.69	20,129.42
24	古 蔵 小	0.00	28,270.00	0.00	28,270.00
25	上 間 小	0.00	19,943.24	0.00	19,943.24
26	大 名 小	0.00	18,077.00	0.00	18,077.00
27	石 嶺 小	0.00	23,723.37	0.00	23,723.37
28	仲 井 真 小	80.00	18,630.42	0.00	18,710.42
29	金 城 小	0.00	30,879.00	0.00	30,879.00
30	曙 小	0.00	17,143.00	0.00	17,143.00
31	小 禄 南 小	0.00	19,000.00	0.00	19,000.00
32	真 地 小	0.00	16,676.52	0.00	16,676.52
33	さ つ き 小	0.00	14,827.89	0.00	14,827.89
34	銘 苅 小	0.00	19,000.84	0.00	19,000.84
35	天 久 小	0.00	18,999.40	0.00	18,999.40
36	那 覇 小	0.00	11,375.00	0.00	11,375.00
小 学 校 合 計		33,624.21	578,976.75	19,857.52	632,458.48
1	安 岡 中	0.00	15,147.45	4,268.55	19,416.00
2	首 里 中	6,399.00	7,978.42	6,209.12	20,586.54
3	真 和 志 中	5,463.00	4,660.23	633.00	10,756.23
4	石 田 中	0.00	18,817.70	1,814.00	20,631.70
5	那 覇 中	0.00	15,803.03	0.00	15,803.03
6	上 山 中	0.00	18,828.57	0.00	18,828.57
7	神 原 中	17,168.00	0.00	0.00	17,168.00
8	寄 宮 中	0.00	14,162.39	2,274.90	16,437.29
9	古 蔵 中	0.00	14,978.11	0.00	14,978.11
10	小 禄 中	0.00	22,555.67	0.00	22,555.67
11	松 島 中	0.00	23,851.59	0.00	23,851.59
12	城 北 中	0.00	25,461.00	0.00	25,461.00
13	鏡 原 中	20,848.00	0.00	0.00	20,848.00
14	松 城 中	0.00	25,720.53	0.00	25,720.53
15	仲 井 真 中	0.00	20,027.00	0.00	20,027.00
16	金 城 中	0.00	33,075.67	0.00	33,075.67
17	石 嶺 中	0.00	20,797.83	0.00	20,797.83
中 学 校 合 計		49,878.00	281,865.19	15,199.57	346,942.76
総 合 計		83,502.21	860,841.94	35,057.09	979,401.24

※面積は実測を基本としている。なお、幼稚園は平成30年度末をもって全て認定こども園へ移行したことに伴い、幼稚園用地面積は全て小学校用地面積に合算した（但し、こどもみらい部に所管換えした用地は除く）

8 小学校校地及び運動場基準に対する保有状況

令和7年5月1日現在

No.		学級数		在籍 (人) ※ ³	校地面積 (㎡)					運動場面積 (㎡)				
		通常 学級	特別 支援		※ ¹ 目安	保有+借地	保有率 (%)	過不足	一 当 た り	※ ² 基準	保有+借地	保有率 (%)	過不足	一 当 た り
1	安謝小	18	7	544	26,484	15,544	58.7	-10,940	28.6	5,440	5,210	95.8	-230	9.6
2	城東小	16	6	485	23,930	19,986	83.5	-3,944	41.2	4,850	5,320	109.7	470	11.0
3	城北小	21	5	659	27,115	17,029	62.8	-10,086	25.8	6,590	7,494	113.7	904	11.4
4	城西小	20	6	609	27,115	17,537	64.7	-9,578	28.8	6,090	4,407	72.4	-1,683	7.2
5	城南小	13	3	365	19,871	15,483	77.9	-4,388	42.4	3,650	5,499	150.7	1,849	15.1
6	真嘉比小	18	3	552	23,299	18,730	80.4	-4,569	33.9	5,520	4,815	87.2	-705	8.7
7	泊小	22	5	681	27,746	12,222	44.0	-15,524	17.9	6,810	6,441	94.6	-369	9.5
8	大道小	9	4	251	16,810	20,020	119.1	3,210	79.8	2,510	6,100	243.0	3,590	24.3
9	松川小	15	4	472	22,037	23,311	105.8	1,274	49.4	4,720	4,265	90.4	-455	9.0
10	識名小	19	5	601	25,193	21,731	86.3	-3,462	36.2	6,010	5,057	84.1	-953	8.4
11	壺屋小	8	6	234	18,217	11,463	62.9	-6,754	49.0	2,400	3,888	162.0	1,488	16.6
12	若狭小	9	3	251	15,983	12,985	81.2	-2,998	51.7	2,510	4,234	168.7	1,724	16.9
13	神原小	12	6	355	21,406	14,731	68.8	-6,675	41.5	3,550	4,320	121.7	770	12.2
14	真和志小	14	6	436	22,668	17,731	78.2	-4,937	40.7	4,360	4,616	105.9	256	10.6
15	与儀小	11	5	268	19,871	16,446	82.8	-3,425	61.4	2,680	5,305	197.9	2,625	19.8
16	城岳小	18	5	543	24,562	15,569	63.4	-8,993	28.7	5,430	4,192	77.2	-1,238	7.7
17	天妃小	13	5	390	21,406	5,928	27.7	-15,478	15.2	3,900	1,766	45.3	-2,134	4.5
18	開南小	12	3	367	19,044	13,697	71.9	-5,347	37.3	3,670	4,312	117.5	642	11.7
19	垣花小	8	2	216	13,710	12,116	88.4	-1,594	56.1	2,400	4,986	207.8	2,586	23.1
20	小禄小	12	4	327	19,871	10,587	53.3	-9,284	32.4	3,270	3,964	121.2	694	12.1
21	高良小	25	7	789	30,902	21,032	68.1	-9,870	26.7	7,200	4,303	59.8	-2,897	5.5
22	宇栄原小	17	5	497	23,930	21,825	91.2	-2,105	43.9	4,970	6,690	134.6	1,720	13.5
23	松島小	17	4	535	23,299	20,129	86.4	-3,170	37.6	5,350	7,230	135.1	1,880	13.5
24	古蔵小	21	6	653	27,746	28,270	101.9	524	43.3	6,530	7,713	118.1	1,183	11.8
25	上間小	17	6	526	24,562	19,943	81.2	-4,619	37.9	5,260	3,854	73.3	-1,406	7.3
26	大名小	6	3	168	12,883	18,077	140.3	5,194	107.6	2,400	5,380	224.2	2,980	32.0
27	石嶺小	26	8	816	32,165	23,723	73.8	-8,442	29.1	7,200	6,017	83.6	-1,183	7.4
28	仲井真小	23	6	673	29,009	18,710	64.5	-10,299	27.8	6,730	4,252	63.2	-2,478	6.3
29	金城小	21	6	659	27,746	30,879	111.3	3,133	46.9	6,590	8,963	136.0	2,373	13.6
30	曙小	11	4	264	19,044	17,143	90.0	-1,901	64.9	2,640	7,482	283.4	4,842	28.3
31	小禄南小	18	7	612	26,484	19,000	71.7	-7,484	31.0	6,120	8,936	146.0	2,816	14.6
32	真地小	15	5	462	22,668	16,677	73.6	-5,991	36.1	4,620	6,254	135.4	1,634	13.5
33	さつき小	19	4	559	24,562	14,828	60.4	-9,734	26.5	5,590	4,700	84.1	-890	8.4
34	銘苅小	19	6	549	26,484	19,001	71.7	-7,483	34.6	5,490	6,527	118.9	1,037	11.9
35	天久小	23	5	690	28,378	18,999	67.0	-9,379	27.5	6,900	6,673	96.7	-227	9.7
36	那覇小	13	5	405	21,406	11,375	53.1	-10,031	28.1	4,050	3,075	75.9	-975	7.6
計		579	180	17,463	837,606	631,182	75.4	-206,424	36.1	174,000	194,240	111.6	20,240	11.1

※¹公立学校施設整備費補助金交付要綱（平成8年5月11日文教施設第22号文部大臣裁定）の

校地面積基準に基づく。しかし、同交付要綱が廃止になったため「基準」を「目安」とする。

※²小学校設置基準（平成14年3月29日文部科学省令第14号）の運動場面積基準に基づく。

※³若夏分教室児童数を除く。

9 中学校校地及び運動場基準に対する保有状況

令和7年5月1日現在

No.	学校名	学級数		在籍 (人) ※ ³	校地面積(㎡)					運動場面積(㎡)				
		通常 学級	特別 支援		※ ¹ 目安	保有+借用	保有率 (%)	過不足	一人 当たり	※ ² 基準	保有+借用	保有率 (%)	過不足	一人 当たり
1	安岡中	24	6	825	36,153	19,416	53.7	-16,737	23.5	8,400	7,601	90.5	-799	9.2
2	首里中	18	5	638	30,835	20,587	66.8	-10,248	32.3	7,580	7,570	99.9	-10	11.9
3	真和志中	9	4	268	21,544	10,756	49.9	-10,788	40.1	3,880	3,830	98.7	-50	14.3
4	石田中	12	3	385	24,059	20,632	85.8	-3,427	53.6	5,050	7,963	157.7	2,913	20.7
5	那覇中	18	4	603	30,097	15,803	52.5	-14,294	26.2	7,230	7,175	99.2	-55	11.9
6	上山中	12	3	371	24,059	18,829	78.3	-5,230	50.8	4,910	7,015	142.9	2,105	18.9
7	神原中	9	4	286	21,544	17,168	79.7	-4,376	60.0	4,060	7,546	185.9	3,486	26.4
8	寄宮中	15	5	509	28,470	16,437	57.7	-12,033	32.3	6,290	5,810	92.4	-480	11.4
9	古蔵中	17	4	569	29,358	14,978	51.0	-14,380	26.3	6,890	6,962	101.0	72	12.2
10	小禄中	22	8	778	36,153	22,556	62.4	-13,597	29.0	8,400	7,349	87.5	-1,051	9.4
11	松島中	18	4	616	30,097	23,852	79.3	-6,245	38.7	7,360	9,772	132.8	2,412	15.9
12	城北中	12	3	391	24,059	25,461	105.8	1,402	65.1	5,110	9,670	189.2	4,560	24.7
13	鏡原中	18	5	614	30,835	20,848	67.6	-9,987	34.0	7,340	6,834	93.1	-506	11.1
14	松城中	8	3	236	20,067	25,721	128.2	5,654	109.0	3,600	6,172	171.4	2,572	26.2
15	仲井真	14	4	475	26,273	20,027	76.2	-6,246	42.2	5,950	6,945	116.7	995	14.6
16	金城中	15	5	532	28,470	33,076	116.2	4,606	62.2	6,520	11,513	176.6	4,993	21.6
17	石嶺中	14	4	464	26,273	20,798	79.2	-5,475	44.8	5,840	9,307	159.4	3,467	20.1
計		255	74	8,560	468,346	346,945	74.1	-121,401	40.5	104,410	129,034	123.6	24,624	15.1

※¹公立学校施設整備費補助金交付要綱(平成8年5月11日文教施設第22号文部大臣裁定)の校地面積基準に基づく。しかし、同交付要綱が廃止になったため、「基準」を「目安」とする。

※²中学校設置基準(平成14年3月29日文部科学省令第15号)の運動場面積基準に基づく。

※³若夏分校生徒数を除く。

【資料編】

学校・教育機関等一覧



1 学校一覧

幼保連携型認定こども園（公立型18園）

令和7年5月1日現在

番号	園名	園長	教頭	園児数			学級数	教職員数		園舎 (㎡)	創立 年月日	移行 年月日
				3歳	4歳	5歳		保育教諭	のその他職員			
1	城北こども園	宮里 美貴江	下地 智子	—	15	39	3	9	2	554	昭和21. 4. 1	平成30. 4. 1
2	城西こども園	喜名 智美	宇禄 真由美	14	21	27	4	13	2	857	昭和21. 4. 1	平成31. 4. 1
3	城南こども園	上原 恵子	岸本 利子	—	10	24	2	8	2	604	昭和21. 8. 1	平成30. 4. 1
4	大名こども園	金城 美紀	安里 一枝	—	3	23	1	5	2	516	昭和52. 1. 1	平成31. 4. 1
5	泊こども園	上間 良乃	謝花 真乃	—	25	46	3	11	2	1,018	昭和34. 4. 14	平成31. 4. 1
6	天久みらいこども園	栄野川 公恵	大城 みなみ	30	47	50	7	41	3	1,968	平成23. 11. 1	平成31. 4. 1
			金城 裕子								令和 2. 4. 1	
7	真嘉比こども園	渡久地 順	真境名 章子	—	24	71	4	12	2	857	昭和39. 1. 13	平成31. 4. 1
8	那覇こども園	伊藝 しのぶ	村田 まきこ	—	25	45	3	10	2	416	平成25. 11. 1	平成31. 4. 1
9	壺屋こども園	伊地 さとみ	沖本 理子	—	12	23	2	4	2	500	昭和21. 4. 9	平成30. 4. 1
10	開南こども園	金城 恵	西浜 幸子	—	14	22	2	8	2	602	昭和22. 6. 10	平成29. 4. 1
11	天妃こども園	金城 かおり	門馬 美規	15	25	38	4	13	2	870	昭和41. 1. 26	平成30. 4. 1
12	上間こども園	上原 かをる	新垣 さつき	15	25	45	4	13	2	1,018	昭和52. 1. 1	平成31. 4. 1
13	大道みらいこども園	比嘉 ミチ子	仲地 吉野	15	23	32	4	24	2	941	昭和22. 4. 1	平成28. 4. 1
14	真和志こども園	名幸 享子	新城 香理	—	21	41	3	10	2	847	昭和21. 2. 10	平成31. 4. 1
15	与儀こども園	仲盛 夫美子	嶺井 奈奈子	—	16	37	3	10	2	857	昭和21. 2. 25	平成30. 4. 1
16	小禄南こども園	喜名 弥生	國吉 裕子	—	13	33	3	10	2	411	平成2. 4. 1	平成30. 4. 1
17	久場川みらいこども園	宮良 利恵子	根間 浩美	13	16	1	2	31	2	914.9	昭和41. 5. 28	令和 2. 4. 1
18	宇栄原みらいこども園	出原 綾子	崎山 未来	12	11	2	2	27	2	913.7	昭和41. 8. 2	令和 2. 4. 1
計				114	346	599	56	259	37	14,665		

※保育教諭は、担任・週休代替・休憩代替・特別支援教育担当教諭とする

※その他の職員は園長・教頭とする

※天久みらい・大道みらい・久場川みらい・宇栄原みらいこども園の保育教諭は、3歳未満クラス・一時預かり保育の職員を含む

※移行年月日とは公立幼稚園・公立保育所から公立型こども園へ移行した年月日を示す

幼保連携型認定こども園（公私連携型20園）

令和7年5月1日現在

番号	園名	園長	園児数			学級数	教職員数		園舎 (㎡)	創立 年月日	移行 年月日
			3歳	4歳	5歳		保育教諭	のその他職員			
1	城東こども園	村上 昭二	11	16	22	3	—	—	467	昭和46. 4. 8	平成31. 4. 1
※2	石嶺こども園	高良 勝子	9	17	42	4	—	—	1,077	昭和54. 1. 1	平成29. 4. 1 令和 3. 4. 1
3	安謝こども園	糸数 由美子	11	28	22	4	—	—	832	昭和21. 6	平成31. 4. 1
4	曙こども園	末吉 八千代	—	17	34	3	—	—	451	平成2. 4. 1	平成29. 4. 1
5	銘苅こども園	仲宗根 悠子	20	28	34	4	—	—	725	平成16. 11. 1	平成28. 4. 1
6	若狭こども園	宮城 米子	16	22	32	4	—	—	557	昭和34. 4. 1	平成28. 4. 1
7	神原こども園	上原 悦子	13	14	35	4	—	—	585	昭和35. 4. 6	平成30. 4. 1
8	城岳こども園	岡沢 桂子	17	25	31	3	—	—	420	昭和22. 4. 10	平成30. 4. 1
9	垣花こども園	金城 光哉	—	16	13	2	—	—	879	昭和22. 4. 5	平成31. 4. 1
10	松島こども園	島 朋子	20	26	37	4	—	—	471	昭和48. 4. 1	平成30. 4. 1
11	松川こども園	前田 やよい	11	19	45	4	—	—	725	昭和34. 3. 27	平成30. 4. 1
12	識名こども園	與那覇 利香代	17	22	45	4	—	—	520	昭和38. 4. 1	平成28. 4. 1
13	真地こども園	屋我 誠	—	27	45	3	—	—	472	平成6. 4. 1	平成29. 4. 1
14	仲井真こども園	宮平 多美子	13	19	43	4	—	—	704	昭和57. 1. 1	平成30. 4. 1
15	古蔵こども園	武富 美智子	16	30	57	4	—	—	1,041	昭和51. 1. 10	平成30. 4. 1
16	金城こども園	石原 香	15	25	46	4	—	—	668	昭和60. 11. 1	平成29. 4. 1
17	小禄こども園	小波津 優也	—	12	21	2	—	—	673	昭和23. 4. 1	平成31. 4. 1
18	さつきこども園	内間 こずえ	20	30	48	4	—	—	559	平成11. 11. 1	平成28. 4. 1
19	宇栄原こども園	高田 真奈美	20	30	53	4	—	—	1,173	昭和47. 4. 1	平成31. 4. 1
20	高良こども園	金城 成人	—	17	56	3	—	—	1,018	昭和21. 2. 17	平成31. 4. 1
計			229	440	761	71	—	—	14,017		

※移行年月日とは公立幼稚園から公私連携型こども園へ移行した年月日を示す

※番号2:石嶺こども園の移行年月日については、平成29年4月1日付で公立幼稚園から公立こども園へ移行、

令和3年4月1日付で公立こども園から公私連携こども園へ移行を示す

小学校(市立36校)

令和7年5月1日現在

番 号	学校名	校長	教頭	児童数		(人)	学級数		県費					市費			創立 年月日					
				男	女		計	内 特別 支援	通 常 学 級	教員数(人)			職員数		職員数(人)							
										校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	計	事 務	栄 養 職		事 務	図 書	栄 養 士	調 理 員	用 務 員
1	安謝小学校	大川 剛	武村 盛晃	285	259	544	35	18	7	1	1	30	1	33	1	1	(1)	1	-	(1)	明治43. 5. 24	
2	城東小学校	神谷 貴子	新垣 清	237	248	485	32	16	6	1	1	26	1	29	1	-	(1)	1	-	(2)	昭和45. 4. 1	
3	城北小学校	工藤 直也	玉城 聖江	322	337	659	34	21	5	1	1	30	1	33	1	-	(1)	(1)	-	(2)	明治28. 5	
4	城西小学校	古賀 義之	泉 愛	317	292	609	36	20	6	1	1	32	1	35	1	1	(1)	1	-	3	(2)	明治19. 12. 8
5	城南小学校	田島 正敏	中野 謙	199	166	365	21	13	3	1	1	18	1	21	1	-	(1)	1	-	(2)	明治13. 11	
6	真嘉比小学校	仲地 千佳	上原 敏希	270	282	552	17	18	3	1	1	26	1	29	1	1	(1)	(1)	-	3	(2)	昭和37. 11. 23
7	泊小学校	玉村 かおり	比嘉 正和	347	334	681	23	22	5	1	1	33	1	36	2	1	(1)	(1)	-	3	(2)	明治14. 6. 1
8	大道小学校	新川 美紀	屋田 巧	135	116	251	18	9	4	1	1	15	1	18	1	-	(1)	1	-	(2)	昭和 9. 4. 1	
9	松川小学校	石原 郁代	平安山 功	239	233	472	24	15	4	1	1	22	1	25	1	1	(1)	1	-	3	(1)	昭和32. 9. 26
10	識名小学校	上間 輝代	新城 淳	304	297	601	31	19	5	1	1	29	1	32	1	1	(1)	1	-	(2)	昭和35. 9. 10	
11	壺屋小学校	金城 こずえ	小島 哲夫	120	114	234	28	8	6	1	1	16	1	19	1	-	(1)	(1)	-	(2)	昭和21. 1. 27	
12	若狭小学校	照屋 謙二	鈴木 ゆかり	132	119	251	16	9	3	1	1	18	1	21	1	-	(1)	(1)	-	(2)	昭和32. 1. 7	
13	神原小学校	宮城 信夫	古波津 美香	181	174	355	29	12	6	1	1	24	1	27	2	1	(1)	1	-	(2)	昭和34. 4. 2	
14	真和志小学校	瀬名波 淳	富真 昌子	230	206	436	40	14	6	1	1	24	1	27	1	1	(1)	1	-	(2)	明治13. 3. 5	
15	与儀小学校	福本 利江子	大澤 幸司	129	139	268	24	11	5	1	1	19	1	22	1	-	(1)	1	-	(2)	昭和15. 4. 1	
16	城岳小学校	永田 聖子	仲地 健	277	266	543	33	18	5	1	1	28	1	31	1	-	(1)	1	-	(2)	昭和22. 4. 8	
17	天妃小学校	奥那嶺 美奈子	内間 正樹	193	197	390	24	13	5	1	1	21	1	24	1	-	(1)	(1)	-	(2)	明治22. 5	
18	開南小学校	儀間 実子	鉢嶺 勲	190	177	367	21	12	3	1	1	18	1	21	1	1	(1)	1	-	(1)	昭和22. 6. 6	
19	垣花小学校	上江洲 卓	石川 大悟	122	94	216	11	8	2	1	1	12	1	15	1	-	(1)	1	-	(1)	昭和22. 2. 3	
20	小緑小学校	美差 淳司	比嘉 正人	176	151	327	25	12	4	1	1	19	1	22	1	1	(1)	1/0	-	(2)	昭和22. 1. 6	
21	高良小学校	宮里 満男	呉屋 智之	401	388	789	46	25	7	1	1	38	1	41	2	1	(1)	1	-	1	昭和21. 2. 13	
22	宇栄原小学校	奥平 美智子	宮城 敏之	250	247	497	27	17	5	1	1	26	1	29	1	-	(1)	1	-	1	昭和47. 3. 1	
23	松島小学校	奥間 千賀子	大城 弘明	274	261	535	32	17	4	1	1	24	1	27	1	1	(1)	1	-	(2)	昭和48. 4. 1	
24	古蔵小学校	佐久田 悟	西本 ゆかり	323	330	653	44	21	6	1	1	33	1	36	1	1	(1)	1	-	(2)	昭和51. 1. 10	
25	上間小学校	赤嶺 栄達	比嘉 君代	288	238	526	39	17	6	1	1	27	1	30	1	1	(1)	1	-	(1)	昭和52. 1. 1	
26	大名小学校	宮里 辰也	金城 美華	84	84	168	18	6	3	1	1	11	1	14	1	1	(1)	1	-	1	昭和52. 1. 1	
																					平成14. 4. 1	
27	石嶺小学校	中山 盛延	玉城 優子	413	403	816	41	26	8	1	1	39	1	42	2	1	(1)	1	-	(2)	昭和54. 1. 1	
28	仲井真小学校	大城 香織	安里 克也	346	327	673	32	23	6	1	1	34	1	37	1	-	(1)	(1)	-	1	昭和57. 1. 1	
29	金城小学校	米富 睦子	嘉敷 裕明	323	336	659	30	21	6	1	1	32	1	35	2	1	(1)	(1)	-	(2)	昭和60. 11. 1	
30	曙小学校	真喜志 達哉	金城 里子	129	135	264	18	11	4	1	1	17	1	20	1	-	(1)	(1)	1	3	(2)	平成 2. 4. 1
31	小緑南小学校	宮城 紀子	上原 学	310	302	612	46	18	7	1	1	29	1	32	1	-	(1)	1	-	(2)	平成 4. 4. 1	
32	真地小学校	長嶺 奈々子	興島 守	244	218	462	29	15	5	1	1	23	1	26	1	2	(1)	(1)	-	(2)	平成 6. 4. 1	
33	さつき小学校	徳間 敦子	石川 清文	287	272	559	25	19	4	1	1	27	1	30	1	-	(1)	1	-	(2)	平成11. 11. 1	
34	銘苅小学校	渡口 里夏	中里 昭夫	289	260	549	30	19	6	1	1	29	1	32	1	1	(1)	(1)	-	(2)	平成16. 11. 1	
35	天久小学校	松永 智昭	仲間 亜矢	321	369	690	29	23	5	1	1	34	1	37	1	2	(1)	(1)	-	1	平成23. 11. 1	
36	那覇小学校	眞境名 君代	津嘉山 琢也	212	193	405	25	13	5	1	1	22	1	25	1	-	(1)	1	1	3	(1)	平成25. 11. 1
			計	8, 899	8, 564	17, 463	1, 033	579	180	36	36	905	36	1, 013	41	22	-	24	2	18	5	

※県費教職員数は主幹教諭・加配・欠員補充を含み、在外派遣等の管理職・充て指導主事・代替補充等は含まない。栄養教諭は栄養職の欄へ計上。

※市費調理員：本務職員のみ、再任用職員含む。市費用職員：再任用職員含む。() は会計年度任用職員。

中学校(市立17校)

令和7年5月1日現在

番 号	学校名	校長	教頭 *は副校長	生徒数			学級数		県費						市費				創立 年月日					
				男	女	計	内 特別 支援	通 常 学 級	特 別 支 援	教員数(人)				職員数(人)										
										校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	計	事 務	栄 養 職	職員数		図書	栄 養 士	調 理 員	用 務 員	
1	安岡中学校	平良 一	宮城 栄一郎 宮城 陽子	415	410	825	39	24	6	1	-	2	48	2	53	2	-	1	(1)	1	-	-	1/(1)	昭和28. 4. 1
2	首里中学校	島袋 勝範	植前 秀一郎	309	329	638	26	18	5	1	-	1	38	1	41	2	-	1/(1)	(1)	1	-	-	1	昭和23. 4. 8
3	真和志中学校	森山 涼子	野原 幸平	139	129	268	24	9	4	1	-	1	23	1	26	1	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和23. 4. 8
4	石田中学校	宮良 安剛	玉城 裕章	180	205	385	20	12	3	1	-	1	25	1	28	2	-	1	(1)	1	-	-	1	昭和40. 4. 1
5	那覇中学校	石田 陽一郎	菊地 智裕	323	280	603	23	18	4	1	-	1	37	1	40	2	-	1	(1)	1	-	-	1	昭和23. 4. 8
6	上山中学校	當間 五弥	大城 邦夫	182	189	371	22	12	3	1	-	1	25	1	28	1	-	1	(1)	1	-	-	1	昭和28. 4. 10
7	神原中学校	名嘉原 安志	上江洲 かおり	152	134	286	27	9	4	1	-	1	24	1	27	1	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和36. 4. 2
8	寄宮中学校	濱川 太	嘉数 千賀子	231	278	509	30	15	5	1	-	1	33	1	36	2	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和29. 6. 26
9	古蔵中学校	太田 寛	名嘉 めぐみ	296	273	569	23	17	4	1	-	1	36	1	39	2	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和37. 11. 22
10	小禄中学校	松茂良 尚哉	寺澤 与聖夫	411	367	778	52	22	8	1	-	1	47	1	50	2	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和23. 4. 1
11	松島中学校	大田 守利	喜納 多枝子	338	278	616	25	18	4	1	-	1	37	1	40	2	1	(1)	(1)	1	-	-	(2)	昭和37. 4. 1
12	城北中学校	喜久川 洋	吉田 知子	200	191	391	20	12	3	1	-	1	25	1	28	1	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和49. 4. 1
	平良 達彦		11	4	15	5	2	2	-	-	1	9	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13. 4. 1
13	鏡原中学校	望月 雄紀	上原 亮輔	323	291	614	30	18	5	1	-	1	39	1	42	2	1	(1)	1	1	-	-	(2)	昭和53. 1. 1
14	松城中学校	黒島 佐和子	上江洲 卓	116	120	236	14	8	3	1	-	1	21	1	24	1	-	1	(1)	1	-	-	(1)	昭和58. 4. 1
15	仲井真中学校	山田 泰之	眞喜志 和人	241	234	475	27	14	4	1	-	1	29	1	32	2	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和60. 1. 1
16	金城中学校	仲間 健	宜寿次 力	263	269	532	25	15	5	1	-	1	33	1	36	1	1	(1)	1	1	-	-	(2)	昭和60. 11. 1
17	石嶺中学校	馬上 晃	赤嶺 永	227	237	464	26	14	4	1	-	1	30	1	33	1	-	1	(1)	1	-	-	(2)	昭和63. 4. 1
			計	4,357	4,218	8,575	458	257	76	17	-	19	559	19	614	27	3	-	13	0	0	5		

※県費教職員数は主幹教諭・加配・欠員補充を含み、在外派遣等の管理職・充て指導主事・代替補充等は含まない。栄養教諭は栄養職の欄へ計上。

※市費調理員：本務職員のみ、再任用職員含む。 市費用務員：再任用職員含む。 () は会計年度任用職員。

2 教育委員会事務局・学校 電話番号等一覧

教育委員会事務局

令和7年4月1日現在

教育長	宮里 寿子
-----	-------

生涯学習部					
部 長	稲福 喜久二				
副部長	稲福 由乃				
課 名	課長等		住 所	電 話	FAX
総 務 課	参事兼課長	平良 美夏	那覇市泉崎1-1-1	917-3500	917-3520
	副参事	大城 孝史			
	副参事	幸地 英子			
生涯学習課	課 長	稲森 恵子	那覇市泉崎1-1-1	917-3502	917-3521
	室 長	田場 壮子			
市民スポーツ課	課 長	牧野 成人	那覇市泉崎1-1-1	917-3504	917-3521
	副参事	仲宗根 健			
施 設 課	課 長	上原 聡	那覇市泉崎1-1-1	917-3503	917-0303
	副参事	島袋 一郎			

学校教育部					
部 長	比嘉 真一郎				
副部長	安次嶺 博志				
課 名	課長等		住 所	電 話	FAX
学校教育課	課 長	吉村 雅也	那覇市泉崎1-1-1	917-3506	917-3522
	副参事	仲宗根 司			
	副参事	新川 範子			
	副参事	平良 真哉			
	副参事	上原 彩子			
学 務 課	課 長	松田 信男	那覇市泉崎1-1-1	917-3505	917-3380
	室 長	上原 理也			
学校給食課	課 長	島袋 久美子	那覇市泉崎1-1-1	917-3507	917-2328
	副参事	我喜屋 綾子			
教育相談課	課 長	上江洲 寛	那覇市松山2-22-1 津波避難ビル2階	941-7868	941-7869

No.	小学校	校長	教頭	郵便番号	所在地	電 話	F A X
1	安 謝	大川 剛	武村 盛晃	900-0003	安謝2丁目15番28号	917-3301	917-3341
2	城 東	神谷 貴子	新垣 清	903-0804	首里石嶺町2丁目74番地1	917-3302	917-3342
3	城 北	工藤 直也	玉城 聖江	903-0804	首里石嶺町1丁目162番地	917-3303	917-3343
4	城 西	古賀 義之	泉 愛	903-0816	首里真和志町1丁目5番地	917-3304	917-3344
5	城 南	田島 正敏	中野 謙	903-0814	首里崎山町4丁目35番地2	917-3305	917-3345
6	真 嘉 比	仲地 千佳	上原 敏希	902-0068	真嘉比1丁目17番1号	917-3306	917-3346
7	泊	玉村 かおり	比嘉 正和	900-0012	泊2丁目23番地9	917-3307	917-3347
8	大 道	新川 美紀	屋田 巧	902-0066	字大道146番地1	917-3308	917-3348
9	松 川	石原 郁代	平安山 功	902-0062	松川1丁目7番1号	917-3309	917-3349
10	識 名	上間 輝代	新城 淳	902-0078	識名2丁目2番1号	917-3310	917-3350
11	壺 屋	金城 こずえ	小島 哲夫	900-0013	牧志3丁目14番12号	917-3311	917-3351
12	若 狭	照屋 謙二	鈴木 ゆかり	900-0031	若狭2丁目16番1号	917-3312	917-3352
13	神 原	宮城 信夫	古波津 美香	900-0022	樋川2丁目7番1号	917-3315	917-3355
14	真 和 志	瀬名波 淳	當眞 昌子	902-0064	寄宮3丁目1番1号	917-3316	917-3356
15	与 儀	福本 利江子	大澤 幸司	902-0076	与儀1丁目1番1号	917-3317	917-3357
16	城 岳	永田 聖子	仲地 健	900-0023	楚辺2丁目1番1号	917-3318	917-3358
17	天 妃	與那嶺 美奈子	内間 正樹	900-0033	久米1丁目3番2号	917-3319	917-3359
18	開 南	儀間 実子	鉢嶺 勲	900-0021	泉崎1丁目1番6号	917-3320	917-3360
19	垣 花	上江洲 卓	石川 大悟	900-0027	山下町17番1号	917-3321	917-3361
20	小 禄	美差 淳司	比嘉 正人	901-0152	字小禄1150番地	917-3322	917-3362
21	高 良	宮里 満男	呉屋 智之	901-0145	高良2丁目12番1号	917-3323	917-3363
22	宇 栄 原	奥平 美智子	宮城 敬之	901-0152	字小禄1066番地	917-3324	917-3364
23	松 島	奥間 千賀子	大城 弘明	902-0061	古島2丁目30番地12	917-3325	917-3365
24	古 蔵	佐久田 悟	西本 ゆかり	900-0024	古波蔵1丁目33番1号	917-3326	917-3366
25	上 間	赤嶺 栄達	金城 恵介	902-0077	長田2丁目11番60号	917-3327	917-3367
26	大 名	宮里 辰也	金城 美華	903-0802	首里大名町1丁目49番地	917-3328	917-3368
27	石 嶺	中山 盛延	玉城 優子	903-0804	首里石嶺町4丁目360番地8	917-3329	917-3369
28	仲 井 真	大城 香織	安里 克也	902-0074	字仲井真173番地	917-3330	917-3370
29	金 城	米嵩 睦子	嘉数 裕明	901-0155	金城4丁目3番地1	917-3331	917-3371
30	曙	真喜志 達哉	金城 里子	900-0002	曙2丁目18番1号	917-3332	917-3372
31	小 禄 南	宮城 紀子	上原 学	901-0152	小禄4丁目14番地1	917-3333	917-3373
32	真 地	長嶺 奈々子	與島 守	902-0072	字真地313番地	917-3334	917-3374
33	さ つ き	徳門 敦子	石川 清文	901-0153	宇栄原1丁目12番1号	917-3335	917-3375
34	銘 苺	渡口 里夏	中里 昭夫	900-0004	銘苺2丁目3番20号	917-3336	917-3376
35	天 久	松永 智昭	仲間 亜矢	900-0005	天久1丁目4番1号	917-3337	917-3377
36	那 覇	眞境名 君代	津嘉山 琢也	900-0016	前島1丁目7番1号	917-3339	917-3353

No.	中学校	校長	教頭	郵便番号	所在地	電 話	F A X
1	安 岡	平良 一	宮城 栄一郎 宮城 陽子	900-0004	銘苺3丁目10番26号	917-3401	917-3421
2	首 里	島袋 勝範	植前 秀一郎	903-0806	首里汀良町2丁目55番地	917-3402	917-3422
3	真 和 志	森山 涼子	野原 幸平	902-0066	字大道158番地	917-3403	917-3423
4	石 田	宮良 安剛	玉城 裕章	902-0071	繁多川5丁目17番1号	917-3404	917-3424
5	那 覇	石田 陽一郎	菊地 智裕	900-0032	松山2丁目24番1号	917-3405	917-3425
6	上 山	當間 五弥	大城 邦夫	900-0033	久米1丁目3番1号	917-3406	917-3426
7	神 原	名嘉原 安志	上江洲 かおり	900-0022	樋川2丁目8番1号	917-3407	917-3427
8	寄 宮	濱川 太	嘉数 千賀子	902-0077	長田1丁目13番65号	917-3408	917-3428
9	古 蔵	太田 寛	名嘉 めぐみ	900-0024	古波蔵4丁目8番1号	917-3409	917-3429
10	小 禄	松茂良 尚哉	寺澤 与聖夫	901-0153	宇栄原2丁目23番1号	917-3410	917-3430
11	松 島	大田 守利	喜納 多枝子	902-0061	古島2丁目11番地2	917-3411	917-3431
12	城 北 (若夏分校)	喜久川 洋	吉田 知子 平良 達彦	903-0804 903-0802	首里石嶺町1丁目112番地 首里大名町3丁目112番地	917-3412 885-5453	917-3432 886-6144
13	鏡 原	望月 雄紀	上原 亮輔	901-0151	鏡原町36番1号	917-3413	917-3433
14	松 城	黒島 佐和子	上江洲 卓	902-0071	繁多川3丁目15番1号	917-3414	917-3434
15	仲 井 真	山田 泰之	眞喜志 和人	902-0074	字仲井真189番地	917-3415	917-3435
16	金 城	仲間 健	宜寿次 力	901-0155	金城4丁目4番地1	917-3416	917-3436
17	石 嶺	馬上 晃	赤嶺 永	903-0804	首里石嶺町2丁目109番地	917-3417	917-3437

No.	こども園	園長	教頭 副園長・主幹保育教諭	郵便番号	所在地	電話	FAX
1	安 謝	糸数 由美子	上間 かおる（副園長） 宮城 奈美（主幹保）	900-0003	安謝2丁目15番27号	862-0387	電話・FAX兼用 862-2255
2	城 東	村上 昭二	城間 弘美（副園長）	903-0804	首里石嶺町2丁目74番地1	887-3588	887-3589
3	城 北	宮里 美貴江	下地 智子	903-0804	首里石嶺町1丁目162番地	884-0936	電話・FAX兼用
4	城 西	喜名 智美	宇禄 真由美	903-0816	首里真和志町1丁目5番地	885-5030	電話・FAX兼用
5	城 南	上原 恵子	岸本 利子	903-0814	首里崎山町4丁目35番地2	884-5909	電話・FAX兼用
6	真 嘉 比	渡久地 順	真境名 章子	902-0068	真嘉比1丁目18番1号	884-4476	電話・FAX兼用
7	泊	上間 良乃	謝花 真乃	900-0012	泊2丁目23番地9	867-2657	電話・FAX兼用
8	大道みらい	比嘉 ミチ子	仲地 吉野	902-0066	字大道146番地1	884-5769	電話・FAX兼用
9	松 川	前田 やよい	崎濱 貴史（副園長） 玉寄 未来（主幹保）	902-0062	松川1丁目7番1号	836-0330	836-0550
10	識 名	與那覇 利香代	新里 晴美（副園長） 荒木 正博（主幹保）	902-0078	識名2丁目2番1号	836-0850	836-0855
11	壺 屋	伊地 さとみ	沖本 理子	900-0013	牧志3丁目14番12号	863-4070	電話・FAX兼用
12	若 狭	宮城 米子	下里 仁子（主幹保）	900-0031	若狭3丁目11番1号	868-7685	868-7681
13	神 原	上原 悦子	寺澤 民雄（副園長） 新垣 純（主幹保）	900-0022	樋川2丁目7番1号	833-2613	833-2618
14	真 和 志	名幸 享子	新城 香理	902-0064	寄宮3丁目1番1号	832-7093	電話・FAX兼用
15	与 儀	仲盛 夫美子	嶺井 奈奈子	902-0076	与儀1丁目1番1	832-6759	電話・FAX兼用
16	城 岳	岡沢 桂子	高井 美和子（主幹保）	900-0023	楚辺2丁目1番1号	894-3955	894-3988
17	天 妃	金城 かおり	門馬 美規	900-0033	久米1丁目3番2号	868-2480	電話・FAX兼用
18	開 南	金城 恵	西浜 幸子	900-0021	泉崎1丁目1番5号	867-2475	電話・FAX兼用
19	垣 花	金城 光哉	砂川 良美（主幹保）	900-0027	山下町17番55号	851-7230	851-7235
20	小 禄	小波津 優也	新里 妃菜乃（主幹保）	901-0152	字小禄1150番地	857-7722	857-7733
21	高 良	金城 成人	戸澤 美貴（主幹保）	901-0145	高良2丁目12番1号	851-9157	851-9158
22	宇 栄 原	高田 真奈美	松本 あかり（主幹保）	901-0152	字小禄1066番地	857-2088	996-4000
23	松 島	島 朋子	呉屋 彩美（主幹保）	902-0061	古島2丁目30番地12	943-3558	943-3559
24	古 蔵	武富 美智子	座波 智恵美（副園長） 宮里 登子（主幹保） 桑江 かおり（主幹保）	900-0024	古波蔵1丁目33番地2号	853-0065	853-0067
25	上 間	上原 かをる	新垣 さつき	902-0077	長田2丁目11番60号	854-3060	電話・FAX兼用
26	大 名	金城 美紀	安里 一枝	903-0802	首里大名町1丁目49番地	886-1413	電話・FAX兼用
27	石 嶺	高良 勝子	青木 真紀子（主幹保）	903-0804	首里石嶺町4丁目360番地8	886-5160	988-0760
28	仲 井 真	宮平 多美子	岡沢 徹（副園長） 端迫 恵美子（主幹保）	902-0074	字仲井真173番地	853-6695	851-3581
29	金 城	石原 香	宮里 美代子（副園長） 新垣 実由（主幹保）	901-0155	金城4丁目3番地1	858-7020	858-7030
30	曙	末吉 八千代	高江洲 成（副園長） 川崎 あかり（主幹保）	900-0002	曙2丁目18番2号	860-2727	860-2766
31	小 禄 南	喜名 弥生	國吉 裕子	901-0152	小禄4丁目14番地1	858-8189	電話・FAX兼用
32	真 地	屋我 誠	高江洲 彩花（主幹保）	902-0072	字真地313番地	851-3313	851-3314
33	さ つ き	内間 こずえ	仲宗根 美枝子（主幹保） 宮里 純佳（主幹保）	901-0153	宇栄原1丁目12番1号	996-4333	996-4334
34	銘 莉	仲宗根 悠子	宮城 由香（主幹保） 寺田 美和（主幹保）	900-0004	銘莉2丁目3番20号	860-7239	860-7249
35	天久みらい	栄野川 公恵	大城 みなみ 金城 裕子	900-0005	天久1丁目4番1号	917-3338	867-9014
36	那 覇	伊藝 しのぶ	村田 まきこ	900-0016	前島1丁目7番1号	861-0622	電話・FAX兼用
37	久場川みらい	宮良 利恵子	根間 浩美	903-0807	首里久場川町2丁目18番10	886-8042	電話・FAX兼用
38	宇栄原みらい	出原 綾子	崎山 未来	901-0153	宇栄原4丁目17番地10号	857-0483	電話・FAX兼用

3 教育機関等一覧

令和7年4月1日現在

施設名	所属長名等	所在地	連絡先	職員数	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	収容 人員等	備考
教育研究所	棚原 歩	大道1 4 6番地1	917-3441	6	—	426.40	—	大道小学校内
中央公民館	伊禮 道子	寄宮1丁目2番15号	917-3442	4	1,703.90	1,750.29 (公672.00)	315人	図書館併設
小祿南公民館	小渡 美奈	高良2丁目7番1号	917-3444	3	5,778.09	2,477.63 (公1,757.97)	545人	図書館併設
首里公民館	金城 浩二	首里当蔵町2丁目8番地2	917-3445	3	3,710.67	3,188.02 (公2,662.93)	635人	図書館併設
若狭公民館	指定管理者 NPO法人 地域サポートわかさ	若狭2丁目12番1号	917-3446	—	988.07	1,982.52 (公1,379.53)	405人	図書館併設
石嶺公民館	富名腰 史之	首里石嶺町2丁目70番地9	917-3447	3	2,945.38	2,903.74 (公1,408.54)	310人	図書館・プール併設
繁多川公民館	指定管理者 NPO法人 1万人井戸端会議	繁多川4丁目1番38号	917-3448	—	1,632.00	1,891.16 (公1,151.66)	320人	図書館併設
牧志駅前ほしぞら 公民館	富村 奈央	安里2丁目1番1号	917-3443	4	5,783.66	2,640.19 (公1,867.02)	484人	図書館併設 ※複合施設
中央図書館	平良 洋子	寄宮1丁目2番15号	917-3449	10	1,703.90	1,750.29 (図1,078.29)	40席	公民館併設
小祿南図書館	惣慶 敦子	高良2丁目7番1号	917-3451	3	5,778.09	2,477.63 (図719.66)	36席	公民館併設
首里図書館	久場 貴子	首里当蔵町2丁目8番地2	917-3452	2	3,710.67	3,188.02 (図525.09)	44席	公民館併設
若狭図書館	野里 純	若狭2丁目12番1号	917-3453	3	988.07	1,982.52 (図602.99)	37席	公民館併設
石嶺図書館	奥平 真理	首里石嶺町2丁目70番地9	917-3454	3	2,945.38	2,903.74 (図485.21)	32席	公民館・プール併設
繁多川図書館	奥濱 真(兼務)	繁多川4丁目1番38号	917-3455	—	1,632.00	1,891.16 (図739.5)	32席	公民館併設
牧志駅前ほしぞら 図書館	加納 留美子	安里2丁目1番1号	917-3450	3	5,783.66	2,640.19 (図773.17)	56席	公民館併設 ※複合施設
人材育成支援センター まーいまーいNaha	稲森 恵子(所長) 島袋 元治(副所長)	字上間549番1	917-3314	8	2,728.90	1,516.16 (内図330.45)	246人 (図47席)	コミュニティ機能・ライ ブラリー機能等併設
壺屋焼物博物館	仲村 仁	壺屋1丁目9番32号	862-3761	4	1,187.34	1,852.58	280人	
那覇市歴史博物館		久茂地1丁目1番1号 パレットくもじ4階	869-5266	5	159.11	810.48	161人	商業施設内
学校給食センター	我喜屋 綾子(所長)			1				
★首里	備瀬 純子(副所長)	首里石嶺町2丁目108番地1	917-3458	10	2,708.59	1,038.00	3,620食	
安謝		安謝2丁目15番28号	917-3471	—	—	462.00	1,147食	安謝小併設
銘苅		銘苅2丁目3番20号	917-3463	—	—	482.00	1,171食	銘苅小併設
大名		首里大名町1丁目49番地	917-3488	—	—	483.00	1,218食	大名小併設
★小祿	多和田かおり(副所長)	田原3丁目3番地4	917-3459	10	1,649.15	973.00	2,412食	
天久		天久1丁目4番1号	917-3464	—	—	483.00	1,515食	天久小併設
鏡原		鏡原町36番1号	917-3492	—	—	520.00	1,226食	鏡原中併設
高良		高良2丁目12番1号	917-3484	—	—	520.00	1,286食	高良小併設
開南		泉崎1丁目1番6号	917-3483	4	—	526.00	1,300食	開南小敷地内
★真和志	山田 義海(副所長)	字真地373番地	917-3460	10	3,214.00	1,192.00	3,016食	
神原		樋川2丁目7番1号	917-3479	—	—	321.00	641食	神原小併設
古蔵		古波蔵1丁目33番1号	917-3486	—	—	483.00	1,222食	古蔵小併設
上間		長田2丁目11番60号	917-3487	—	—	520.00	1,035食	上間小併設
森の家みんな	指定管理者 沖縄自然環境ファンクラブ	首里儀保町4丁目79番地8	882-3195	—	1,650.00	1,023.16	200人	宿泊研修可
那覇市民体育館	指定管理者 特定非営利活動法人 那覇市体育協会	字識名1227番地	853-6979	—	30,804.00	10,114.00	3,000席	
那覇市民首里石嶺 プール		首里石嶺町2丁目70番地9	835-5079		2,945.38 (7'×11,009.99)	2,903.74		石嶺公民館・図書館併 設
漫湖公園市民庭球 場		鏡原町37番1号	857-8783		9,842.00	240.00		
那覇市営奥武山野 球場		奥武山町42番地の1	857-0889		50,395.35	16,112.00	内野 15,000席	
那覇市営奥武山屋 内運動場		奥武山町50番地の1地先				3,254.00		
那覇市営奥武山ト レーニング室		奥武山町42番地の1地先				303.25		

★は、副所長の在籍センター 職員数は再任用職員を含み、会計年度任用職員を除く

※各学校給食センターの食数については、5月1日現在の児童生徒数より算出

4 市内県立・私立学校一覧

(1) 私立幼稚園 (4園)

区分	幼稚園名	所在地	電話番号
私立	愛 児	樋川1-13-10	834-2731
	首 里 カ ト リ ッ ク	首里崎山町4-60	885-3174
	ナ ザ レ	三原2-11-33	855-1389
	光 の 子	首里山川町1-17	886-0648

(2) 私立幼稚園型認定こども園 (2園)

区分	こども園名	所在地	電話番号
私立	相 愛	長田1-11-9	832-1502
	育 英 義 塾	宮城1-7-41	858-0064

(3) 私立幼保連携型認定こども園 (5園)

区分	こども園名	所在地	電話番号
私立	わかめこども園	首里石嶺町3-199-2	885-2103
	かぐらこども園	宇栄原3-15-46	857-4033
	童夢認定こども園	繁多川2-15-1	832-2525
	美ら夢こども園	安謝1-20-1	860-9614
	愛 心 こ ど も 園	上間384-15	854-5386

(4) 特別支援学校 (3校)

区分	学校名	所在地	電話番号	児童・生徒・学生数
県立	那 覇 特 別 支 援	寄宮2-3-30	834-0948	16 人
県立	那 覇 み ら い 支 援	古波蔵4-10-17	855-7831	284 人
県立	島 尻 特 別 支 援 真和志高校文教室	那覇市真地248	998-8240	3 人

(5) 中学校 (2校)

区分	学校名	所在地	電話番号	生徒数
私立	興 南	古島1-7-1	887-2727	488 人
	沖縄尚学高等学校付属	字国場747	832-1767	836 人

(6) 高等学校 (13校)

区分	学校名	所在地	電話番号	学生数
県立	那 覇	松尾1-21-44	867-1623	全日制 1,201 人
	首 里	首里真和志町2-43	885-0028	全日制 1,186 人
	首 里 東	首里石嶺町3-178	886-1578	全日制 665 人
	真 和 志	字真地248	833-0810	全日制 452 人
	小 禄	鏡原町22-1	857-0481	全日制 1,064 人
	那 覇 西	金城3-5-1	858-8274	全日制 1,067 人
	那 覇 国 際	天久1-29-1	860-5931	全日制 1,072 人
	沖 縄 工 業	松川3-20-1	832-3831	全日制 896 人
	那 覇 商 業	松山1-16-1	866-6555	全日制 941 人 定時制 28 人
私立	興 南	古島1-7-1	884-3292	全日制 1,057 人
	沖 縄 尚 学	字国場747	832-1767	全日制 1,039 人
	つくば開成国際	樋川2-5-1	835-0298	通信制 370 人

(7) 大学・短期大学・高等専門学校 (3校)

区分	学校名	所在地	電話番号	学部等
県立	芸 術 大 学	首里当蔵町1-4	882-5000	美術工芸学部/音楽学部
	看 護 大 学	与儀1-24-1	833-8800	看護学部
私立	沖 縄 大 学	字国場555	832-3216	経法商学部/人文学部/健康栄養学部

出典: 沖縄県教育委員会HP 学校一覧 <https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008451/1008452.html>

5 令和7年度那覇市の教育行政に関する刊行物一覧

担 当 課	刊行物名	内 容	規格	発行 年月等
総務課	那覇市の教育	那覇市の教育行政全般の概要	A 4	年 1 回
生涯学習課	那覇市生涯学習メニューブック	学級・講座・イベント情報及び出前講座案内	A 4	年 1 回
	なは教育の日冊子	なは教育の日式典等概要	A 4	年 1 回
	まーいまーいNahaリーフレット	施設利用案内	A 4 三つ折り	随時
	まーいまーいNaha News	まーいまーいNahaの情報及び地域の話 題	A 4	年 4 回
	まーいまーいNaha図書室利用案内	利用案内・図書室カレンダー	A 4 二つ折り	随時
	まーいまーい	新着図書の紹介、図書室行事の案内等	A 4	月 1 回
	第2次な一ふあぬわらび・わかむ ん計画（R4年度～R8年度）	那覇市の子ども・若者育成施策の推進 を図るための計画	A 4	—
	第4次那覇市子どもの読書活動推 進計画（R5年度～R9年度）	那覇市の子どもの読書環境の整備、読 書活動推進のための計画	A 4	—
	第3次那覇市生涯学習推進計画 （R7年度～R11年度）	那覇市の生涯学習施策の推進を図るた めの計画	A 4	—
中央公民館	那覇市の公民館	公民館の事業報告・事業案内	A 4	年 1 回
	公民館事業計画	年間の事業計画	A 3	年 1 回
	広報「相思樹」	公民館情報及び地域の話 題	A 4	年 4 回
小禄南公民館	館報「みなみ」	〃	A 4	年 3 回
首里公民館	広報「龍 樋」	〃	A 4	年 4 回
若狭公民館	広報わかさ「むすぶ」	〃	A 4 冊子 (8P)	年 4 回
石嶺公民館	館報「いしんみ」	〃	A 4	年 3 回
繁多川公民館	はんたがわ公民館News	〃	A 3 二つ折り	年 4 回
牧志駅前ほしぞら 公民館	館報「ほしぞらジャーナル」	〃	A 4	年 3 回
中央図書館	館 報	図書館の概要、事業報告等	A 4	年 1 回
	利用案内	図書館の利用案内	A 4	随時
	さくら通信	新着図書の紹介、図書館事業の案内等	A 4	月 1 回
牧志駅前ほしぞら 図書館	ほしぞらメール	〃	A 4	月 1 回
小禄南図書館	なおと通信	〃	A 4	月 1 回
首里図書館	首里図書館だより	〃	A 4	月 1 回
若狭図書館	わかさ通信	〃	A 4	月 1 回
石嶺図書館	いしみねメール	〃	A 4	月 1 回
繁多川図書館	繁多川だいありー	〃	A 4	月 1 回
こども政策課	第2期那覇市子ども・子育て支援 事業計画（R2年度～R6年度）	子ども・子育て支援に関する施策を総 合的かつ計画的に実行する計画	A 4	—

担 当 課	刊行物名		内 容	規格	発行 年月等
文化財課 ※ 文化財課・玉陵・ 識名園・壺屋焼物 博物館・那覇市歴 史博物館にて販売	歴史散歩マップ5種（かいせつ 編・首里まーい・那覇まーい・真 和志まーい・小禄まーい）		沖縄県にある世界遺産や那覇市内にあ る文化財を紹介するルートマップ	A 4	—
	※有料		各種1冊100円	中折	
	昔話シリーズ4種（しゅいぬんか しばなし・なあふあぬんかしばな し・まあじぬんかしばなし・うる くぬんかしばなし）		那覇市に昔から伝えられている昔話を 紹介する。	B 5	—
	※有料		各種1冊100円		
	那覇市の文化財		那覇市内の文化財の写真と解説	A 4	R3. 3
	※有料		1,000円		
	玉陵ガイドブック		玉陵に関する画像資料を多数収録した コンパクトなガイドブック	A 5	H29. 8
	※有料		300円		
	識名園、玉陵絵葉書		識名園、玉陵の記念絵葉書	葉書	H29. 8
	※有料		識名園200円・玉陵100円		
文化財課 ※非売品	壺 屋 焼 物 博 物 館	令和6年度那覇市立壺屋焼 物博物館企画展「國吉清 尚」	令和6年度企画展の図録	B 5	R6. 10
		※有料	1,100円		
	歴 史 那 覇 市 博 物 館	ウルク今昔	企画展の図録	A 4	R6. 9
		※有料	600円		
		10・10空襲	企画展の図録	A 4	R6. 9
		※有料	600円		
	歴 史 那 覇 市 博 物 館	新収蔵品展 皆の記憶Ⅲ	企画展の図録	A 4	R7. 3
		※有料	550円		
文化財課 ※非売品	国場前原遺跡 -「（仮称）字国場複合ビル」建設 に伴う埋蔵文化財発掘調査-		字国場に所在する国場前原遺跡の埋蔵 文化財発掘調査報告書	A 4	R7. 2
	壺 屋 焼 物 博 物 館	壺屋焼物博物館紀要 第26 号	職員及び協力者の研究論文・成果の発 表	A 4	年1回
		令和6年度壺屋焼物博物館 年報	博物館活動報告・統計資料	A 4	年1回
	歴 史 那 覇 市 博 物 館	那覇市歴史博物館紀要 第 2号	職員及び協力者の研究論文・成果の発 表	A 4	R7. 3
		横内家文書 教育関係史料 翻刻集Ⅵ	「横内家文書」の翻刻	A 4	R7. 3

令和7年度 那覇市の教育

発 行 日 令和7年7月

発 行 那覇市教育委員会

編 集 生涯学習部 総務課

〒900-8553

沖縄県那覇市泉崎1丁目1番1号

電話番号 098-917-3500